

医薬部外品の成分表示名称リスト (平成20年3月25日版)

平成20年3月25日

日本化粧品工業連合会

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1	99	999999	AG エキス BM		AG エキス BM	本品は、アロエ Aloe andongensis Bak. (Liliaceae)の葉の液汁をエタノールで処理したものに、1,3-ブチレングリコールを加えたものである。
2	99	999999	WMP478ホワイト			本品は粧原基「酸化チタン」を粧原基「ポリエチレングリコール6000」、粧原基「ポリオキシエチレンステアリアルエーテル」及び粧配規「オレイン酸ナトリウム」で被覆処理したものである。
3	51	532001	アクリルアミド・アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム共重合体液	アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミドコーポリマー液		本品は、アクリル酸、塩化ジメチルジアリルアンモニウム及びアクリルアミドの共重合体の水溶液である。
4	51	532002	アクリル酸・アクリル酸2-エチルヘキシル・スチレン共重合体エマルジョン	アクリル酸オクチル・アクリル酸・スチレン共重合体エマルジョン	アクリル酸・アクリル酸エチルヘキシル・スチレン共重合体エマルジョン	本品は、主としてアクリル酸、アクリル酸2-エチルヘキシル及びスチレンを「ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル」と「ラウリル硫酸ナトリウム」を用いて乳化重合したものである。
5	51	522001	アクリル酸・アクリル酸アミド・アクリル酸エチル共重合体		アクリル酸・アクリルアミド・アクリル酸エチル共重合体	本品は、アクリル酸、アクリル酸アミド及びアクリル酸エチルからなる共重合体である。
6	51	522002	アクリル酸・アクリル酸アミド・アクリル酸エチル共重合体カリウム塩液		アクリル酸・アクリルアミド・アクリル酸エチル共重合体K塩液	本品は、アクリル酸、アクリル酸アミド及びアクリル酸エチルの共重合体のカリウム塩の水及びエタノールの混液に溶かしたものである。
7	51	523001	アクリル酸アミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体		アクリルアミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシPEG共重合体、アクリル酸アミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシPEG共重合体	本品は、tert-ブチルアクリルアミドとアクリル酸エチルとN, N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミドとメタクリル酸メキシポリエチレングリコールのおよそ57:27:13:3モル比の共重合体である。本品の平均分子量は、4万～16万であり、メタクリル酸メキシポリエチレングリコールのポリエチレングリコール部分の平均分子量は、約400である。
8	51	520005	アクリル酸アミド・スチレン共重合体		アクリルアミド・スチレン共重合体	本品は、主としてアクリル酸アミド又はメタクリル酸アミドとスチレンからなる共重合体である。
9	51	532324	アクリル酸アミド・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体液		アクリルアミド・メタクリル酸メキシPEG共重合体液	本品は、tert-ブチルアクリルアミド、N, N-ジメチルアクリルアミド、N, N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミド及びメタクリル酸メキシポリエチレングリコールの共重合体のエタノール溶液である。平均分子量は、10000以上である。
10	51	532003	アクリル酸アミドメチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合体	2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸N, N-ジメチルアミノエチル共重合体	アクリルアミドメチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合体	本品は、主として2-アクリル酸アミド-2-メチルプロパンスルホン酸とメタクリル酸N, N-ジメチルアミノエチルとの共重合体からなる。平均分子量は、115万～180万である。
11	51	520006	アクリル酸アルキルエステル・メタクリル酸アルキルエステル・ジアセトンアクリルアミド・メタクリル酸共重合体液		アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・ジアセトンアクリルアミド・メタクリル酸共重合体液	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4, C6, C8, C10, C12)エステル、メタクリル酸アルキル(C1～C4, C6, C8, C10, C12)エステル、ジアセトンアクリルアミドとメタクリル酸との共重合体のエタノール溶液である。
12	51	522003	アクリル酸アルキル共重合体			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4, C8)、メタクリル酸アルキル(C1～C4, C8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体である。
13	51	522004	アクリル酸アルキル共重合体液(1)		アクリル酸アルキル共重合体液-1	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上の成分からなる共重合体で、通常、水、「エタノール」又はこれらの混液を含む。
14	51	522005	アクリル酸アルキル共重合体液(2)		アクリル酸アルキル共重合体液-2	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4,C8)、メタクリル酸アルキル(C1～C4,C8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上の成分からなる共重合体で、通常、水、エタノール、「プロピレングリコール」又はこれらの混液、あるいは変性アルコールを含む。
15	51	522007	アクリル酸アルキル共重合体エマルジョン(1)		アクリル酸アルキル共重合体エマルジョン-1	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体のエマルジョンである。
16	51	522008	アクリル酸アルキル共重合体エマルジョン(2)		アクリル酸アルキル共重合体エマルジョン-2	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1～C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体のエマルジョンである。
17	51	532325	アクリル酸アルキル共重合体メチルポリシロキサンエステル	アクリル酸2-エチルヘキシル・メタクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体メチルポリシロキサンエステル	アクリル酸アルキル共重合体ジメチコンエステル、アクリル酸エチルヘキシル・メタクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体ジメチコンエステル	本品は、アクリル酸2-エチルヘキシル、メタクリル酸、メタクリル酸アルキル(C1, C4)の共重合体とメチルポリシロキサンのメチル基の一部をヒドロキシプロピル基で置換したものととのエステルで、その分子量は30000～300000である。
18	51	522009	アクリル酸アルキル・酢酸ビニル共重合体液		アクリル酸アルキル・VA共重合体液	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4, C8及びC12)及びメタクリル酸アルキル(C1～C4, C8及びC12)の中の1種以上のモノマーと酢酸ビニルからなる共重合体で、通常、トルエンを含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
19	51	522010	アクリル酸アルキル・酢酸ビニル共重合体 エマルジョン		アクリル酸アルキル・VA共重合体エ マルジョン	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4, C8, C12)及びメタクリル酸アルキル(C1～C4, C8, C12)の中 の1種以上の成分と酢酸ビニルからなる共重合体のエマルジョンである。
20	51	520010	アクリル酸アルキル・スチレン共重合体			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1～C4, C8, C12), メタクリル酸アルキル(C1～C4, C8, C12), アクリ ル酸及びメタクリル酸の中の1種以上の成分とスチレンからなる共重合体である。
21	51	522011	アクリル酸アルキル・スチレン共重合体エ マルジョン			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C4, C8, C12), メタクリル酸アルキル(C4, C8, C12), アクリル酸及びメ タクリル酸の中の1種以上の成分とスチレンからなる共重合体のアンモニウム塩又はナトリウム塩のエマルジョン である。
22	99	999999	アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・ イタコン酸ポリオキシエチレン(20)ステアリ ルエーテル共重合体エマルジョン			本品は、主としてアクリル酸, メタクリル酸, アクリル酸アルキル(C1～C4, C8)又はメタクリル酸アルキル(C1～ C4, C8)の少なくとも1種以上のモノマーと, ポリオキシエチレン(20)ステアリルエーテルとイタコン酸とのモノエ ステルの共重合体のエマルジョンである。
23	51	540014	アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・ メタクリル酸ポリオキシエチレンステアリ ルエーテル(20E. O.)共重合体エマルシ ョン		アクリル酸アルキル・メタクリル酸アル キル・メタクリル酸POE(20)ステアリ ルエーテル共重合体エマルジョン	本品は、主としてアクリル酸, メタクリル酸, アクリル酸アルキル(C1～C4), 又はメタクリル酸アルキル(C1～C4) の少なくとも1種以上のモノマーとポリオキシエチレンステアリルエーテル(20E. O.)とメタクリル酸のエステル の共重合体のエマルジョンである。
24	51	522012	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸エステ ル共重合体	オクチルアクリルアミド・ア クリル樹脂	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸 アルキル共重合体	本品は、主としてアクリル酸オクチルアミド, アクリル酸, メタクリル酸及びそのエステル(C1～C4)の共重合体か らなる。
25	51	522013	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸ヒドロ キシプロピル・メタクリル酸ブチルアミノエチ ル共重合体			本品は、主としてアクリル酸オクチルアミド, アクリル酸 2-ヒドロキシプロピル及びメタクリル酸ブチルアミノエチル の共重合体である。
26	51	520020	アクリル酸ヒドロキシエチル・アクリル酸ブチ ル・アクリル酸メキシエチル共重合体液			本品は、アクリル酸 2-ヒドロキシエチル, アクリル酸ブチル及びアクリル酸メキシエチルの共重合体のエタノール 溶液である。
27	51	520021	アクリル酸ヒドロキシエチル・アクリル酸メ キシエチル共重合体液			本品は、アクリル酸 2-ヒドロキシエチルとアクリル酸 2-メキシエチルの共重合体のエタノール溶液である。
28	51	523002	アクリル酸・フィブロイン共重合体			本品は、主としてフィブロイン, アクリル酸ナトリウム及びジアクリル酸ポリエチレングリコール 800 の共重合体であ る。
29	51	520022	アクリル酸ブチル・アクリロニトリル・スチレン 共重合体			本品は、アクリル酸ブチル, アクリロニトリル及びスチレンからなる共重合体である。
30	51	532004	アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体			本品は、アクリル酸とメタクリル酸アルキル(C10～C30)の共重合体である。
31	51	500001	アクリル樹脂アルカノールアミン液			本品は、アクリル樹脂を 2-アミノ-2-メチル-1, -3-プロパンジオール, 2-アミノ-2-メチルプロパノール, トリエタ ノールアミン又はトリエタノールアミンで中和したもの無水エタノールの溶液である。
32	51	507003	アクリル樹脂被覆アルミニウム末		アクリル樹脂被覆Al末	本品は、アルミニウム薄板にアルミニウム樹脂及び必要に応じて法廷色素を加え一定の温度で焼き付けた後、 切断したものである。
33	51	520033	麻セルロース末	麻セルロースパウダー		本品は、カラムシ Boehmeria nivea Hooker et Arnott (Urticaceae)から得た繊維を、鉱酸で部分的に加水分解 した麻セルロースである。
34	51	523003	アシタバエキス	アシタバ抽出液		本品は、アシタバ Angelica keiskei Koidzumi (Umbelliferae)の葉及び、茎から1, 3-ブチレングリコール溶液で抽出 して得られるエキスである。
35	51	532005	(アジピン酸・2-エチルヘキサン酸・ステ アリン酸)グリセリルオリゴエステル	グリセリン脂肪酸エステル アジピン酸縮合物	(アジピン酸・エチルヘキサン酸・ステ アリン酸)グリセリルオリゴエステル	本品は、アジピン酸, 2-エチルヘキサン酸及びステアリン酸の混合物とグリセリンからなるオリゴエステルであ る。
36	51	540015	アジピン酸ジ2-エチルヘキシル		アジピン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてアジピン酸と2-エチルヘキシルアルコールのジエステル(C22H42O4:370.57)からなる。
37	51	512001	アジピン酸ジ2-ヘキシルデシル		アジピン酸ジヘキシルデシル	本品は、主としてアジピン酸と「ヘキシルデカノール」とのジエステル(C38H74O4:594.99)からなる。
38	51	532008	アジピン酸ジ2-ヘプチルウンデシル		アジピン酸ジヘプチルウンデシル	本品は、主としてアジピン酸と2-ヘプチルウンデカノールのジエステル(C42H82O4:651.10)からなる。
39	51	110681	アジピン酸ジイソブチル			本品は、主としてアジピン酸とイソブチルアルコールのジエステル(C14H26O4:258.35)からなる。
40	51	101861	アジピン酸ジイソプロピル			本品は、主として、アジピン酸と「イソプロパノール」のジエステル(C12H22O4:230.30)からなる。
41	51	532007	アジピン酸ジエトキシエチル			本品は、主としてアジピン酸とエトキシエタノールからなるジエステル(C14H26O6:290.35)である。
42	51	520034	アジピン酸ジグリセリル混合脂肪酸エステ ル			本品は、主として、カプリル酸, カプリン酸, イソステアリン酸, ステアリン酸, 12-ヒドロキシステアリン酸による混 合脂肪酸ジグリセリンとアジピン酸とのジエステルである。
43	51	532229	アジピン酸ジブチル			本品は、主としてアジピン酸とn-ブタノールのジエステル(C14H26O4:258.35)からなる。
44	51	504016	N-アシル-L-グルタミン酸トリエタノール		アシルグルタミン酸TEA	本品は、定量するとき、N-アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン 28.0～32.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			アミン			
45	51	504017	N-アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		アシルグルタミン酸Na	本品は、主として炭素数 12~18 の脂肪酸とL-グルタミン酸からなる酸アミドのナトリウム塩である。
46	51	511001	アズキデンプン		小豆デンプン	本品は、アズキ <i>Phaseolus radiatus</i> L. var. <i>aurea</i> Prain (Leguminosae) の種子から得たデンプンである
47	51	520037	アズキ末		小豆末	本品は、アズキ <i>Phaseolus angularis</i> W.F.Wight (Leguminosae) の種子の粉末である。
48	51	001008	アスコルビン酸	ビタミンC		本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸(C6H8O6:176.12)99.0%以上を含む。
49	99	999999	L-アスコルビン酸 2-グルコシド		ビタミンC・2-グルコシド、アスコルビル2-グルコシド、アスコルビン酸2-グルコシド	本品は、定量するとき、L-アスコルビン酸 2-グルコシド(C12H18O11:338.27)98.0%以上を含む。
50	51	106612	アスコルビン酸ナトリウム		アスコルビン酸Na、ビタミンC・Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸ナトリウム(C6H7NaO6:198.11)95.0%以上を含む。
51	51	520038	L-アスコルビン酸硫酸エステル二ナトリウム	硫酸-L-アスコルビル二ナトリウム	アスコルビン酸硫酸2Na、ビタミンC硫酸2Na、硫酸アスコルビル2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸硫酸エステル二ナトリウム(C6H6Na2O9S・2H2O:336.18)95.0%以上を含む。
52	99	999999	アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム		ビタミンCリン酸ナトリウム、ビタミンCリン酸Na、アスコルビン酸リン酸Na	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対して、アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム(C6H6Na3O9P:322.05)95.0%以上を含む。
53	99	999999	アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム		ビタミンCリン酸ナトリウム、ビタミンCリン酸Na、アスコルビン酸リン酸Na	本品は、定量するとき、L-アスコルビン酸エステルナトリウム(C<site>6</site>H<site>6</site>O<site>9</site>S<site>3</site>P<site>3</site>22.05)95.0%以上を含む。
54	51	532272	アスタキサンチン液			本品は、ユーハウシア シミリス <i>Euphausia similis</i> (Euphausiidae)等の甲殻・眼等よりアセトンで抽出して得られるカロチノイド系の色素(主としてアスタキサンチン)に「トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル」を加えたものである。本品は、定量するとき、アスタキサンチンとして4.5~5.5%を含む。
55	99	999999	アスパラガスエキス			本品はアスパラガス <i>Asparagus officinalis</i> Linne (Liliaceae)の茎部を60vol%エタノール溶液にて抽出したものである。
56	51	003608	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸(C4H7NO4:133.10)98.0%以上を含む。
57	51	003025	L-アスパラギン酸カリウム		アスパラギン酸K	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸カリウム(C4H6KNO4:171.19)95.0%以上を含む。
58	51	111532	L-アスパラギン酸ナトリウム		アスパラギン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸ナトリウム(C4H6NNaO4・H2O:173.10)98.0%以上を含む。
59	51	003026	L-アスパラギン酸マグネシウム		アスパラギン酸Mg	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸マグネシウム(C8H12MgN2O8:288.49)95.0%以上を含む。
60	51	532273	アスパラギン酸・モノヒドロキシプロリンモノメチルシラノール塩液		アスパラギン酸・ヒドロキシプロリンモノメチルシラノール塩液	本品は、主としてアスパラギン酸とモノヒドロキシプロリンモノメチルシラノールのオリゴマー塩の水溶液である。
61	51	532009	アスパラサスリネアリスエキス			本品は、アスパラサスリネアリス <i>Aspalathus linearis</i> (N. L. Burm.) R. Dahlgren (Leguminosae)の全草から1,3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
62	31	109295	アスパルテーム	L-αアスパルチル-L-フェニルアラニンメチルエステル		本品を乾燥物換算したものは、アスパルテーム(C14H18N2O5)98.0~102.0%を含む。
63	31	523088	アセスルファムカリウム		アセスルファムK	本品を乾燥したものは、アセスルファムカリウム(C4H4KNO4S)99.0~101.0%を含む。
64	51	520048	N-アセチル-DL-メチオニン		アセチル-DL-メチオニン、酢酸DL-メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-DL-メチオニン(C7H13NO3S:191.25)98.0%以上を含む。
65	51	520043	N-アセチル-L-アスパラギン酸ジエチル		アセチルアスパラギン酸ジエチル、酢酸アスパラギン酸ジエチル	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、N-アセチル-L-アスパラギン酸ジエチル(C10H17NO5:231.25)95.0%以上を含む。
66	51	520044	N-アセチルグルコサミン	N-アセチルキトサミン	アセチルグルコサミン、酢酸グルコサミン、アセチルキトサミン、酢酸キトサミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-D-グルコサミン(C8H15NO6:221.21)98.0%以上を含む。
67	51	532010	N-アセチル-L-グルタミン		アセチルグルタミン、酢酸グルタミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-L-グルタミン(C7H12N2O4:188.18)98.5%以上を含む。
68	51	520045	N-アセチル-L-グルタミン酸		アセチルグルタミン酸、酢酸グルタミン酸	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-L-グルタミン酸(C7H11NO5:189.17)98.0%以上を含む。
69	51	532011	N-アセチル-L-グルタミンステアリル		アセチルグルタミンステアリル、酢酸グルタミンステアリル	本品は、N-アセチル-L-グルタミンとステアリルアルコールとのエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-L-グルタミンステアリルエステル(C25H48N2O4:440.66)97.0%以上を含む。
70	51	520047	アセチルシステイン	N-アセチル-L-システイン	アセチルシステイン、酢酸システイン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-L-システイン(C5H9NO3S:163.19)98.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
71		532238	N-アセチルチロシン		アセチルチロシン、酢酸チロシン	本品は、定量するとき、N-アセチルチロシン(C11H13NO4:223.23)98.0%以上を含む。
72		500007	アセチルパントテニルエチルエーテル		酢酸パントテニルエチルエーテル	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、アセチルパントテニルエチルエーテル(C13H25NO:275.34)96.0~104.0%を含む。
73		520049	N-アセチル-L-メチオニン		アセチルメチオニン、酢酸メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-アセチル-L-メチオニン(C7H13NO3S:191.25)98.0%以上を含む。
74		532269	アセチルモノエタノールアミド		アセチルエタノールアミド、酢酸エタノールアミド	本品は、酢酸と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミドである。
75		505003	アセチルリシノレイン酸ラノリンアルコールエステル		アセチルリシノレイン酸ラノリル、酢酸リシノレイン酸ラノリル	本品は、リシノレイン酸のアセチル化物とラノリンアルコールのエステルである。
76		520052	アセトアニリド			本品を乾燥したものは、定量するとき、アセトアニリド(C8H3NO:135.16)として98.0%以上を含有する。
77		001018	アセトン			本品は、定量するとき、アセトン(C3H6O:58.08)98.0%以上を含む。
78		520053	アセンヤクエキス			本品は、ガンビールノキ <i>Uncaria gambir</i> Roxburgh (Rubiaceae)の葉及び若枝から水にて抽出し乾燥して得られたエキス(アセンヤク)から、更にエタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
79		520056	アデノシン一リン酸二ナトリウム		アデノシン1リン酸2Na	本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、アデノシン一リン酸二ナトリウム(C10H12N5Na2O7P:391.18)97.0~102.0%を含む。
80		003008	アデノシン三リン酸二ナトリウム		アデノシン3リン酸2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、アデノシン三リン酸二ナトリウム(C10H14N5Na2O13P3:551.14)96.0%以上を含む。
81		100557	アニス油			本品は、アニス <i>Pimpinella anisum</i> Linne' (Umbelliferae)又は <i>Illicium verum</i> Hooker filius (Illiciaceae)の熟した果実(生)を水蒸気蒸留して得られる精油である。
82		520059	アボカドエキス			本品は、アボカド <i>Persea americana</i> Miller (Lauraceae)の果実(生)から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
83		500009	アボカド油			本品は、ワニナシ <i>Persea gratissima</i> Gaertn (Lauraceae)の果実から得た脂肪油である。
84		502003	アボカド油脂肪酸エチル			本品は、主として「アボカド油」から得られた脂肪酸のエチルエステルである。
85		520061	アマチャエキス		甘茶エキス	本品は、アマチャ <i>Hydrangea serrata</i> Seringe var. <i>thunbergii</i> Sugimoto (Saxifragaceae)の葉及び枝先から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
86		523004	アマチャヅルエキス			本品は、アマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino (Cucurbitaceae)の葉から水にて抽出して得られるエキスである。
87		504028	2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール	アミノヒドロキシメチルプロパンジオール		本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-プロパンジオール(C4H11NO3:121.14)97.0%以上を含む。
88		500011	2-アミノ-2-メチル-1, 3-プロパンジオール		AMPD	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-メチル-1, 3-プロパンジオール(C4H11NO2:105.14)97.0%以上を含む。
89		500010	2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール		AMP	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール(C4H11NO:89.14)97.0%以上を含む。
90		522015	アミノエチルアミノプロピルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体エマルジョン			本品は、ジメチルシロキサンと γ -(β -アミノエチル)アミノプロピルシロキサンの共重合体のエマルジョンで、「塩化ステアリルトリメチルアンモニウム」、「塩化ジコイルジメチルアンモニウム」及び「ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル(10E. O.)」の中から選ばれた2種以上を含む。
91		532166	アミノエチルアミノプロピルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体			本品は、ジメチルシロキサンと γ -(β -アミノエチル)アミノプロピルメチルシロキサンの共重合体である。ジメチルシロキサンの付加モル数は50~300、 γ -(β -アミノエチル)アミノプロピルメチルシロキサンの付加モル数は1~10である。
92		500036	ϵ -アミノカプロン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、アミノカプロン酸(C6H13NO2:131.17)98.0%以上を含む。
93		509010	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(1)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-1	本品は、下記のアミノ酸を水に溶解、分散したものをセロファン製の半透膜の袋又はチューブに入れ、これを「エタノール」中に浸漬し、加圧しながら超音波照射して得られるアミノ酸及びアミノ酸エステルのエタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)3.3~3.8%を含む。L-アスパラギン酸、L-アルギニン、グリシン、L-グルタミン酸、シスチン、L-ヒスチジン、L-リジン。
94		511003	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(2)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-2	本品は、下記のアミノ酸を水に溶解、分散したものをセロファン製の半透膜の袋又はチューブに入れ、これを「エタノール」中に浸漬し、加圧しながら超音波照射して得られるアミノ酸及びアミノ酸エステルのエタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~3.5%を含む。L-アスパラギン酸、グリシン、L-グルタミン酸。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
95	51	523005	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(3)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-3	本品は、アミノ酸(L-アスパラギン酸及びL-グルタミン酸)及びそのエステルの混合物の「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~3.5%を含む。
96	51	507005	アミノ酸・糖混合物			本品は、アミノ酸(グリシン 21.2g, DL-アラニン 18.8g, L-アルギニン 2.5 g, L-グルタミン酸塩 3.5 g, L-ヒスチジン塩酸塩 2g, L-アスパラギン酸ナトリウム 8.5g, L-バリン 4.5 g 及びL-ロイシン 4g)と還元糖(ブドウ糖 13.5g 及び果糖 1.5 g)をアルコール溶液中で 65℃に加熱した後、その生成物に「塩化ナトリウム」1.5 g, 「塩化カリウム」2g, 「塩化カルシウム」1.5 g, 「乳酸ナトリウム液(50%)」11g 及び「尿素」4g を添加したものである。本品は定量するとき、総窒素(N:14.01)11.0~14.0%, α-アミノ態窒素 5.0 ~8.0 %及び総糖類 8.8 ~13.0%を含む。
97	51	004004	γ-アミノ酪酸	アミノ酪酸		本品は、主としてγ-アミノ酪酸からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、γ-アミノ酪酸(C ₄ H ₉ NO ₂ :103.12)98.0%以上を含む。
98	51	500012	α-アミルシンナムアルデヒド		α-アミルケイ皮アルデヒド	本品は、主としてα-アミルシンナムアルデヒド(C ₁₄ H ₁₈ O:202.30)98.0%以上を含む。
99	51	511004	アラキルアルコール			本品は、主としてアラキルアルコール(C ₂₀ H ₄₂ O:298.55)からなる。
100	51	003609	L-アラニン		アラニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アラニン(C ₃ H ₇ NO ₂ :89.09)98.5%以上を含む。
101	51	101962	DL-アラニン			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-アラニン(C ₃ H ₇ NO ₂ :89.09)98.0%以上を含む。
102	51	001035	アラビアゴム			本品は、Acacia senegal Willdenow(Leguminosae)又は他の同属植物の幹及び枝から得た分泌物である。
103	51	003015	アラントイン			本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C ₄ H ₆ N ₄ O ₃ :158.12)98.0%以上を含む。
104	51	508003	アラントインDL-パントテニルアルコール			本品は、アラントインとDL-パントテニルアルコールの複合体(C ₁₃ H ₂₅ N ₅ O ₇ :363.37)である。本品を乾燥したものは、定量するとき窒素(N:14.01)として11.0~13.0%を含む。
105	51	520072	アラントインβ-グリチルレチン酸			本品は、主として、「アラントイン」と「β-グリチルレチン酸」の錯化合物で、本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C ₄ H ₆ N ₄ O ₃ :158.12)26.0~34.0%及びβ-グリチルレチン酸(C ₃₀ H ₄₆ O ₄ :470.68)66.0~74.0%を含む。
106	51	540016	アラントインアセチルDL-メチオニン		アラントイン酢酸DL-メチオニン	本品は、主としてアラントインアセチルDL-メチオニン(C ₁₁ H ₁₉ N ₅ O ₆ S:349.36)からなり、乾燥したものを定量するとき、95.0~105.0%を含む。
107	51	109008	アラントインクロロヒドロキシアルミニウム		アラントインクロロヒドロキシAl	本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C ₄ H ₆ N ₄ O ₃ :158.12)36.0~44.0%及び酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃ :101.96)として25.0~31.0%を含む。
108	51	500018	アラントインジヒドロキシアルミニウム		アラントインジヒドロキシAl	本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C ₄ H ₆ N ₄ O ₃ :158.12)64.0~88.0%及び酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃ :101.96)として20.0~27.0%を含む。
109	51	505007	アラントインポリガラクトロン酸			本品は、アラントインとポリガラクトロン酸の複合体である。
110	51	001037	亜硫酸水素ナトリウム		亜硫酸水素Na	本品は、定量するとき、亜硫酸水素ナトリウム(NaHSO ₃ :104.06)95.0%以上を含む。
111	51	507006	アルカンスルホン酸ナトリウム		アルカンスルホン酸Na	本品は、主として炭素数14~18のアルキル基を有する第2級アルカンスルホン酸ナトリウムからなり、本品を定量するとき、アルカンスルホン酸ナトリウム(RSO ₃ Na:328)として表示量の90~110%を含む。
112	51	003610	L-アルギニン		アルギニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アルギニン(C ₆ H ₁₄ N ₄ O ₂ :174.20)98.0~102.0%を含む。
113	51	520079	L-アルギニンL-アスパラギン酸塩		アルギニン・アスパラギン酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アルギニンL-アスパラギン酸(C ₁₀ H ₂₁ N ₅ O ₆ :307.30)98.5%以上を含む。
114	51	520081	L-アルギニンL-グルタミン酸塩		アルギニン・グルタミン酸塩	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、L-アルギニンL-グルタミン酸塩(C ₁₁ H ₂₃ N ₅ O ₆ :321.33)98.5%以上を含む。
115	51	532177	N-[3-アルキル(12, 14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩液		アルキル(12, 14)オキシヒドロキシプロピルアルギニンHCl液	本品は、主としてN-[3-アルキル(12, 14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩からなりエタノール、「イソプロパノール」、「1, 3-ブチレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、N-[3-アルキル(12, 14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩(C _{21.5} H ₄₅ N ₄ O ₄ ·HCl:460.13)として表示量の90~110%を含む。
116	51	500021	2-アルキル-N-カルボキシメチル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタイン		アルキルカルボキシメチルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタイン	本品は、主として2位に炭素数11~17のn-アルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化して得られ、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
117	51	523007	アルキル(8~16)グルコシド	アルキルグリコシド		本品は、主として炭素数8~16のアルキル基を有するアルコールとグルコースとの縮合反応によって得られるものである。通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。
118	51	508004	アルキル(12, 14, 16)硫酸アンモニウム			本品は、主として炭素数12, 14, 16のアルキル基を有するアルキル硫酸アンモニウムからなる。本品は定量するとき、アルキル(12, 14, 16)硫酸アンモニウム(平均分子量:299)として表示量の90~110%を含む。
119	51	523006	アルキル(12~13)硫酸ジエタノールアミン液		アルキル(12, 13)硫酸DEA液	本品は、主として炭素数12~13のアルキル硫酸ジエタノールアミンの水溶液からなる。本品は、定量するとき、アルキル硫酸ジエタノールアミン(平均分子量:378.14)として表示量の90.0~110.0%を含む。
120	51	508005	アルキル(11, 13, 15)硫酸トリエタノール		アルキル(11, 13, 15)硫酸TEA-1	本品は主として炭素数11, 13, 15のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			アミン(1)			量するとき、アルキル(11, 13, 15) 硫酸トリエタノールアミン(平均分子量:434)として表示量の 90~110%を含む。
121	51	508006	アルキル(11, 13, 15) 硫酸トリエタノールアミン(2)		アルキル(11, 13, 15) 硫酸TEA-2	本品は、主として炭素数11, 13, 15のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定量するとき、アルキル(11, 13, 15) 硫酸トリエタノールアミン(平均分子量:423)として表示量の 90~110%を含む。
122	51	508007	アルキル(12~14) 硫酸トリエタノールアミン		アルキル(12~14) 硫酸TEA	本品は主として炭素数12~14のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定量するとき、アルキル(12~14) 硫酸トリエタノールアミン(平均分子量:423)として表示量の 90~110%を含む。
123	51	508008	アルキル(12~15) 硫酸トリエタノールアミン		アルキル(12~15) 硫酸TEA	本品は主として、炭素数 12~15 のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、アルキル(12~15) 硫酸トリエタノールアミン(平均分子量:429.38)として表示量の 90~110%を含む。
124	51	507007	アルキル硫酸トリエタノールアミン液		アルキル硫酸TEA液	本品は、主として直鎖の炭素数 12, 13 の合成アルコール(C12:C13=1:1.4)を硫酸化した後、トリエタノールアミンで中和して得られる。本品は、定量するとき、アルキル硫酸トリエタノールアミン(平均分子量:424.2)として表示量の 90~110 %を含む。
125	51	508009	アルキル(12, 13) 硫酸ナトリウム		アルキル(12, 13) 硫酸Na	本品は、主として炭素数12, 13のアルキル基を有するアルキル硫酸ナトリウムからなる。本品は定量するとき、アルキル(12, 13) 硫酸ナトリウム(平均分子量:296.1)として表示量の 90~110 %を含む。
126	51	540017	アルキル(11, 13, 15) 硫酸ナトリウム液		アルキル(11, 13, 15) 硫酸Na液	本品は、主として炭素数11,13,15のアルキル基を有するアルキル硫酸ナトリウムからなる。本品を定量するとき、アルキル(11,13,15) 硫酸ナトリウム[平均分子量 296]として、表示量の 90~110%を含む。
127	51	532012	アルキル(11, 13, 15)リン酸カリウム液		アルキル(11, 13, 15)リン酸K液	本品は、主として炭素数 11, 13 及び 15 のアルキル基を有するアルコールとリン酸を縮合して得られるアルキルリン酸エステルのカリウム塩のエタノールを含む水溶液である。
128	51	508010	アルキレン(15~18)グリコール			本品は、主として炭素数 15~18 のアルキル基を有するグリコールである。
129	51	501010	アルギン酸カリウム		アルギン酸K	本品は、褐藻類 Phaeophyceae から希アルカリ液で抽出した、炭水化物のカリウム塩である。
130	51	532274	アルギン酸カルシウム		アルギン酸Ca	本品は、アルギン酸のカルシウム塩である。
131	51	001039	アルギン酸ナトリウム		アルギン酸Na	本品は、褐藻類(Phaeophyceae)を希アルカリ液で抽出し、精製した炭水化物のナトリウム塩である。
132	51	111538	アルギン酸プロピレングリコール		アルギン酸PG	本品は、主としてアルギン酸と「プロピレングリコール」のエステルからなる。
133	51	540018	アルギン酸メチルシラノールエステル液		アルギン酸メチルシラノール液、アルギン酸メチルシラノールエステル	本品は、主としてアルギン酸のメチルシラノールエステルのオリゴマーの水溶液である。
134	51	532182	アルギン酸硫酸ナトリウム		アルギン酸硫酸Na	本品は、「アルギン酸ナトリウム」の硫酸エステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、イオウ(S:32.07)8.5~11.5%を含む。
135	51	520088	アルテアエキス	ピロウダアオイエキス		本品は、ピロウダアオイ <i>Althaea officinalis</i> Linne' (Malvaceae) の根又は根及び葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、若しくは 1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
136	51	109613	アルニカエキス			本品は、アルニカ <i>Arnica montana</i> Linne' (Compositae) の花から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
137	51	511006	アルファー化トウモロコシデンブ		α 化コーンデンブ、 α 化コーンスターチ、 α 化トウモロコシデンブ	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne' (Gramineae) の種子から得たデンブに水を加えて加熱してアルファー化したものを、形状を変化することなく乾燥したものである。
138	99	999999	アルブチン			本品を乾燥したものは、定量するとき、4-ハイドロキシノン- β -D-グルコピラノシド(C12H16O7)97.0~102.0%を含む。
139	51	100359	アルブミン	乾燥脱糖卵白		本品は、鶏卵卵白を脱糖処理して噴霧乾燥したものである。
140	51	500024	アルミニウム末		Al末	本品は、アルミニウム地金を油脂の薄膜で覆いながら粉砕したものである。
141	51	520090	アルモンドエキス		アーモンドエキス	本品は、アルモンド <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (Rosaceae) の種子(甘扁桃)から水又は「プロピレングリコール」で抽出して得られるエキスである。
142	51	100405	アルモンド油		アーモンド油	本品は、 <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (Rosaceae) の変種、甘扁桃の種子から得られる脂肪油である。
143	51	507009	アルモンド核仁末		アーモンド核仁末	本品は <i>Prunus amygdalus</i> Batsch の変種、甘扁桃の核仁の粉末である。
144	51	520091	アロエ液汁			本品は、 <i>Aloe barbadensis</i> Miller (<i>Aloe vera</i> Linne') 又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種 (<i>Liliaceae</i>) の葉の液汁又は液汁を濃縮したものである。
145	51	520092	アロエ液汁末(1)	ロカイ末	アロエ液汁末-1	本品は、 <i>Aloe ferox</i> Miller 又はこれと <i>Aloe africana</i> Miller 又は <i>Aloe spicata</i> Baker との雑種 (<i>Liliaceae</i>) の葉から得られた液汁を乾燥し、粉末としたものである。
146	51	520093	アロエ液汁末(2)		アロエ液汁末-2	本品は、 <i>Aloe barbadensis</i> Miller (<i>Aloe vera</i> Linne') 又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						(Liliaceae)の葉の液汁の乾燥物から、アロインを除去して得られた粉末である。
147	51	520094	アロエエキス(1)		アロエエキス-1	本品は、アロエ <i>Aloe ferox</i> Miller 又はこれと <i>Aloe africana</i> Miller 又は <i>Aloe spicata</i> Baker との雑種(Liliaceae)若しくは <i>Aloe barbadensis</i> Miller (<i>Aloe vera</i> Linne') 又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉又は葉の液汁を乾燥したものより、水、「エタノール」、「無水エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
148	51	520095	アロエエキス(2)		アロエエキス-2	本品は、 <i>Aloe barbadensis</i> Miller (<i>Aloe vera</i> Linne') 又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉から得られた液汁より、アロインを除去した後、得られた粉末を水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出又は溶解して得られたものである。
149	51	509013	アロエエキス(9)		アロエエキス-9	本品は、アロエ <i>Aloe barbadensis</i> Miller (<i>Aloe Vera</i>) (ユリ科 Liliaceae)の葉から「硬化油」・「流動パラフィン」、「ヤシ油」又はこれらの混液にて抽出液して得られるエキスである。
150	99	999999	アロエエキス AGM			本品は、アロエ <i>Aloe andongensis</i> Bak. (Liliaceae)の葉の液汁より得られた抽出液である。
151	99	999999	アロエ植物乳酸菌はっ酵液			本品は、アロエベラ <i>Aloe barbadensis</i> Miller の葉の液汁の濃縮液を、乳酸菌 <i>Lactobacillus plantarum</i> で発酵して得た培養液を、水酸化ナトリウムにてPHを約6.0に調整し、加熱処理の後、ろ過をして不要物を除去したものである。
152	99	999999	アロエ抽出液			本品はアロエ <i>Aloe barbadensis</i> Miller 又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller の葉から得た水溶液であり、多糖類及び少量のアミノ酸を含む。
153	51	100631	アロエ葉末			本品は、 <i>Aloe ferox</i> Miller 及びその変種又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉を乾燥し、粉末としたものである。
154	51	520104	アンズ核粒	アプリコット核粒		本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne', アンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' var. <i>ansu</i> Maximowicz 又はその他近縁植物(Rosaceae)の内果皮を粉砕したものである。
155	51	520105	アンズ果汁			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' (Rosaceae)の果実(生)を圧搾して得られる果汁である。
156	51	002023	安息香酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸(C ₇ H ₆ O ₂ :122.12)99.3%以上を含む。
157	51	512004	安息香酸アルキル(C12~C15)	高級アルコール(C12~C15)安息香酸エステル	安息香酸アルキル(12~15)	本品は、主として安息香酸と炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールとのエステルである。本品は定量するとき、安息香酸テトラデシル(C ₂₁ H ₃₄ O ₂ :318.49)として93.0%以上を含む。
158	51	504034	安息香酸アルミニウム		安息香酸Al、安息香酸塩	本品は、主として安息香酸アルミニウム(Al(C ₇ H ₅ O ₂) ₃ :390.32)からなる。
159	1	001042	安息香酸エストラジオール	エストラジオール安息香酸エステル		本品を乾燥したものは定量するとき、安息香酸エストラジオール(C ₂₅ H ₂₈ O ₃)97.0%以上を含む。
160		000000	安息香酸デナトニウム変性アルコール			本品は、「エタノール」に安息香酸デナトニウムを加え、変性させたものである。
161	51	002024	安息香酸ナトリウム		安息香酸Na、安息香酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸ナトリウム(C ₇ H ₅ NaO ₂ :144.10)99.0%以上を含む。
162	51	520107	安息香酸バントテニルエチルエーテル	ベンゾイルバントテニルエチルエーテル		本品は、安息香酸とバントテニルエチルエーテルのエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸バントテニルエチルエーテル(C ₁₈ H ₂₇ NO ₅ :337.41)98.0~102.0%を含む。
163	51	002025	安息香酸ベンジル			本品は、定量するとき、安息香酸ベンジル(C ₁₄ H ₁₂ O ₂ :212.24)95.0%以上を含む。
164	51	520108	アンソクウエキス			本品は、 <i>Styrax benzoin</i> Dryander 又はその他同属植物(Styracaceae)から得られた樹脂より「プロピレングリコール」にて抽出して得られるエキスである。
165	51	520109	アンバー			本品は、天然に産し、主としてケイ酸アルミニウム、酸化マンガン及び酸化鉄水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄(Fe ₂ O ₃ :159.69)として50.0~60.0%を含む。
166	51	532228	イガイグリコーゲン			本品は、ムラサキイガイ <i>Mytilus edulis</i> Linne' の貝肉より得られるグリコーゲンである。
167	51	512006	イカスミ末			本品は、イカ <i>Sepia subaculeata</i> の墨汁から「塩酸」により抽出したメラニン乾燥し、粉末にしたものである。
168	51	001053	イクタモール			本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、アンモニア(NH ₃ :17.03)として2.5%以上、硫酸アンモニウム[(NH ₄) ₂ SO ₄ :132.14]として8.0%以下及び総イオウ(S:32.06)として10.0%以上を含む。
169	51	532013	イザヨイバラエキス			本品は、イザヨイバラ <i>Rosa roxburghii</i> Tratt.f.normalis Rehd.et Wils (Rosaceae)の果実からエタノール溶液で抽出し、減圧凝固したものから、更に1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
170	51	520114	イセチオン酸ナトリウム	ヒドロキシエタンスルホン酸ナトリウム	イセチオン酸Na	本品は、主として2-ヒドロキシエタンスルホン酸のナトリウム塩(C ₂ H ₅ NaO ₄ S:148.11)からなる。
171	51	108522	イノステアリアルアルコール			本品は、主として、イノステアリアルアルコール(C ₁₈ H ₃₈ O:270.49)からなる。
172	51	520115	イノステアリアルグリセリルエーテル			本品は、主としてグリセリンのα-モノイノステアリアルエーテル(C ₂₁ H ₄₄ O ₃ :344.57)からなる。
173	51	103139	イノステアリン酸			本品は、主としてイノステアリン酸(C ₁₈ H ₃₆ O ₂ :284.48)からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
174	51	508015	イノステアリン酸アルミニウム		イノステアリン酸Al	本品は、主としてモノイノステアリン酸アルミニウム(C18H37AlO4)からなる。本品を乾燥したものは定量するとき、アルミニウム(Al:26.98)7.0~9.0%を含む。
175	51	511007	イノステアリン酸イソステアリル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C36H72O2:536.96)からなる。
176	51	501013	イノステアリン酸イソプロピル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「イソプロパノール」のエステル(C21H42O2:326.56)からなる。
177	51	504040	イノステアリン酸エチル			本品は、主として「イノステアリン酸」とエタノールのエステル(C20H40O2:312.53)からなる。
178	51	523008	イノステアリン酸オクチルドデシル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「オクチルドデカノール」とのエステル(C38H76O2:565.01)からなる。
179	51	509015	イノステアリン酸グリセリル(2)		イノステアリン酸グリセリル-2	本品は、主として「イノステアリン酸」とグリセリンのモノ、ジ及びトリエステルからなる。
180	51	505014	イノステアリン酸硬化ヒマシ油		イノステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として水素添加により硬化したヒマシ油のイノステアリン酸モノエステルからなる。
181	51	510003	イノステアリン酸コレステリル			本品は、主として「イノステアリン酸」のコレステロールエステル(C45H80O2:653.12)からなる。
182	51	502008	イノステアリン酸ジエタノールアミド			本品は、主としてイノステアリン酸と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C22H45NO3:371.60)である。
183	51	532014	イノステアリン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「ジヒドロコレステロール」のエステル(C45H82O2:655.13)からなる。
184	51	110718	イノステアリン酸パチル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「パチルアルコール」のモノエステルからなる。
185	51	532015	イノステアリン酸フィトステリル			本品は、主として「イノステアリン酸」と「フィトステロール」のエステルからなる。
186	51	510004	イノステアリン酸プロピレングリコール		イノステアリン酸PG	本品は、主として「イノステアリン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステル(C21H42O3:342.56)からなる。
187	51	504042	イノステアリン酸ヘキシル			本品は、主として「イノステアリン酸」とヘキシルアルコールのエステル(C24H48O2:368.64)からなる。
188	51	532016	イノステアリン酸2-ヘキシルデシル	イノステアリン酸イソセチル	イノステアリン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「イノステアリン酸」と「ヘキシルデカノール」のエステル(C34H68O2:508.90)からなる。
189	51	503122	イノステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		イノステアリン酸POEグリセリル	本品は、主として「イノステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンからなるモノエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、3~60である。
190	51	540019	イノステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		イノステアリン酸POE硬化ヒマシ油、 イノステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油のイノステアリン酸モノエステルである。酸化エチレンの付加モル数は20~50である。
191	51	510005	イノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)		イノステアリン酸POE(20)ソルビタン	本品は、モノイノステアリン酸ソルビタンに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は20である。
192	51	508016	イノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット(3E. O.)		イノステアリン酸POE(3)ソルビット	本品は、主として「イノステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのエステルであり、酸価エチレンの平均付加モル数は3である。
193	51	503009	イノステアロイル加水分解コラーゲン(1)		イノステアロイル水解コラーゲン-1	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イノステアリン酸」との縮合物の25%流動パラフィン溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として1.0%以上含む。
194	51	532217	イノステアロイル加水分解コラーゲン(4)		イノステアロイル水解コラーゲン-4	本品は、「イノステアリン酸」と「加水分解コラーゲン液」との縮合物である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)4.0~10.0%を含む。
195	51	503010	イノステアロイル加水分解コラーゲン・アミノメチルプロパンジオール塩		イノステアロイル水解コラーゲンAMPD塩	本品は、主としてコラーゲンたん白質の加水分解物とイノステアリン酸との縮合物の2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール塩からなる。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として8.7~2.7%を含む。
196	51	540020	イノステアロイル加水分解コラーゲン液(2)		イノステアロイル水解コラーゲン液-2、 イノステアロイル加水分解コラーゲン(2)	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イノステアリン酸」との縮合物の3%イノステアリン酸溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として0.15%以上を含む。
197	51	540021	イノステアロイル加水分解コラーゲン液(3)		イノステアロイル水解コラーゲン液-3、 イノステアロイル加水分解コラーゲン(3)	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イノステアリン酸」との縮合物の25%イノステアリン酸ヘキシルデシル溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として1.0%~2.0%含む。
198	51	507011	イノステアロイル乳酸ナトリウム		イノステアロイル乳酸Na	本品は、主として、イノステアロイル乳酸のナトリウム塩からなる。
199	51	503011	イソノナン酸イソデシル			本品は、主としてイソノナン酸とイソデシルアルコールのエステル(C19H38O2:298.50)からなる。
200	51	503012	イソノナン酸イソトリデシル	イソペラルゴン酸イソトリデシル		本品は、主としてイソノナン酸とイソトリデシルアルコールのエステル(C22H44O2:340.58)からなる。
201	51	503013	イソノナン酸イソノニル			本品は、主としてイソノナン酸とイソノニルアルコールのエステル(C18H36O2:284.48)からなる。
202	51	532017	イソノナン酸2-エチルヘキシル	イソペラルゴン酸オクチル	イソノナン酸エチルヘキシル	本品は、主としてイソノナン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C17H34O2:270.45)からなる。
203	51	532235	イソノナン酸セトステアリル			本品は、主としてイソノナン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
204	51	540022	イソパルミチン酸2-エチルヘキシル		イソパルミチン酸エチルヘキシル	本品は、主としてイソパルミチン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C24H48O2:368.64)からなる。
205	51	504046	イソパルミチン酸ジグリセリル			本品は、主としてイソパルミチン酸とジグリセリンとのジエステル及びトリエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
206	99	999999	イソフェルラ酸ナトリウム		イソフェルラ酸 Na	本品は、イソパニリンとマロン酸とを脱炭酸縮合して得られるイソフェルラ酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イソフェルラ酸ナトリウム(C10H9O4Na)96.0%以上を含む。
207	51	504047	イソブタン			本品は、主としてイソブタンからなり、通例プロパン、ブタンを含む。本品は、定量するとき、イソブタン(C4H10:58.12)95.0%以上を含む。
208	51	504048	イソブチレン・マレイン酸ナトリウム共重合体液	マレイン酸／イソブチレン コポリマーナトリウム	イソブチレン・マレイン酸Na共重合体液	本品は、主としてイソブチレンと無水マレイン酸の共重合体のナトリウム塩の水溶液である。本品の平均重合度は、約11である。
209	51	532276	1-イソプレゴール		イソプレゴール	本品は、定量するとき、1-イソプレゴール(C10H18O:154.25)98.0%以上を含む。
210	51	001060	イソプロパノール			本品は、主として、イソプロパノール(C8H8O:60.10)からなる。
211	51	504049	イソプロパノールアミン	モノイソプロパノールアミン	MIPA	本品は、主としてモノイソプロパノールアミンからなり、通例ジイソプロパノールアミン及びトリイソプロパノールアミンを含む。本品は、定量するとき、モノイソプロパノールアミン(C3H9NO:75.11)として95.0～105.0%を含む。
212	51	103132	イソプロピルメチルフェノール		シメン-5-オール	本品は、定量するとき、イソプロピルメチルフェノール(C10H14O:150.22)として95.0%以上を含む。
213	51	523009	イソヘキサペンタコンタヘクタン			本品は、側鎖を有する脂肪族炭化水素(C156H314:2190.16)である。
214	51	504051	イソペンタン			本品は、主としてイソペンタンからなり、通例ペンタン、イソブタンを含む。本品は、定量するとき、イソペンタン(C5H12:72.15)95.0%以上を含む。
215	51	532277	イタドリエキス			本品は、イタドリ Polygonium cuspidatum Sieb. et Zucc. (Polygonaceae)の根茎からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
216	51	520124	イチョウエキス			本品は、イチョウ Ginkgo biloba Linne (Ginkgoaceae)の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
217	51	500035	イノシット			本品を乾燥したものは、定量するとき、イノシット(C6H12O6:180.16)97.0%以上を含む。
218	51	520131	イラクサエキス(1)		イラクサエキス-1	本品は、イラクサ Urticathun thunbergiana Siebold et Zuccarini 又は Urtica dioica Linne (Urticaceae)の葉から、水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
219	51	509018	イラクサエキス(2)		イラクサエキス-2	本品は、イラクサ Urtica thunbergiana Siebold et Zuccarini(Urticaceae) 又は Urtica dioica L. (Urticaceae)の根からプロピレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
220	51	520134	イリス根エキス	オリスエキス		本品は、シロバナイリス Iris florentina Linne (Iridaceae)の根茎から水、エタノール、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
221	51	103095	イリス根末	オリス末		本品は、シロバナイリス Iris florentina Linne (Iridaceae)の根の粉末である。
222	99	999999	イレールエキスE			本品は、イレール Coleus scutellarioides Benth.(シソ科)の茎及び葉を精製水で抽出して製したものである。
223	1	520135	ウイキョウ	茴香		本品はウイキョウ Foeniculum vulgare Miller (Umbelliferae)の果実である。
224	51	520136	ウイキョウエキス			本品は、ウイキョウ Foeniculum vulgare Miller(Umbelliferae)の果実から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
225	1	002035	ウイキョウ油	フェネル油		本品はウイキョウ Foeniculum vulgare Miller(Umbelliferae) 又は Illicium verum Hooker fil.(Illiciaceae) の果実を水蒸気蒸留して得た精油である。
226	51	520137	ウール末			本品は、ヒツジ Ovis aries Linne (Bovidae)の毛を微細化したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0～19.0%を含む。
227	51	532233	ウーロン茶エキス			本品は、チャノキ Thea sinensis Linne (Theaceae)の葉から製したもので、エタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
228	51	508017	ウコンエキス			本品は、ウコン Curcuma longa L. (Zingiberaceae)の根茎を抽出して得られ、その色素の主成分は、クルクミン(C12H20O6:368.39)である。
229	51	532018	ウシ顎下腺抽出液		牛顎下腺抽出液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の顎下腺から水で抽出して得たエキスに「1, 3-ブチレングリコール」を加えたものである。本品は、定量するとき、シアル酸 0.52～0.82%及びたん白質 0.6～1.0%を含む。
230	51	532019	ウシ肝臓抽出液		牛肝臓抽出液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の肝臓から水で抽出し、除たん白して得た液である。
231	51	523010	ウシ血液除たん白液		牛血液除たん白液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の血液の水溶液を除たん白して得たものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.10～0.17%を含む。
232	51	523011	ウシ血漿抽出液		牛血漿抽出液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の血漿をゼラチンをリガンドとして修飾したアガロースカラムにより処理して得た抽出液である。本品は、定量するとき、フィブロンectin 0.30～0.40%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						む。
233	51	523012	ウシ血清アルブミン液		牛血清アルブミン液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清から得たアルブミン抽出液で、定量するとき、窒素 (N:14.01) 1.5~6.0% を含む。
234	51	523013	ウシ血清アルブミン末		牛血清アルブミン末	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清から得たアルブミン抽出液を凍結乾燥したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N:14.01) 13.5~15.5% を含む。
235	51	523014	ウシ血清除たん白液		牛血清除たん白液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清を除蛋白して得た水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.10~0.14w/v% を含む。
236	51	523016	ウシサイタイ抽出液		牛サイタイ抽出液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の臍帯を酵素分解して得た水性抽出液で、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.25~0.48% を含む。
237	51	532022	ウシ糖たん白質液	プロテオグリカン	牛糖たん白質液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の結合組織から抽出された糖たん白質の水溶液である。本品を定量するとき、たん白質 0.35~0.65%、ヘキソサミン 0.13~0.25% 及びウロン酸 0.10~0.20% を含む。
238	51	523022	ウシヘマチン液	塩基性ヘマチン	牛ヘマチン液	本品は、主として、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血液から得たヘマチンを含む水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 90.0~110.0w/v% に対応するヘマチン (C ₃₄ H ₃₃ FeN ₄ O ₅ :633.49) を含む。
239	51	532278	ウマスフィンゴ脂質			本品は、健全なウマ <i>Equus caballus</i> (Equidae) の脊髄より抽出、精製したスフィンゴ脂質で、主としてガラクトシルセラマイドを含む。
240	51	520144	ウメ末		梅末	本品は、ウメ <i>Prunus mume</i> の完熟果肉と「塩化ナトリウム」及びデキストリンの混合物の噴霧乾燥物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ナトリウム (NaCl:58.44) 28~34% を含む。
241	51	500039	γ-ウンデカラクトン			本品は、定量するとき、γ-ウンデカラクトン (C ₁₁ H ₂₀ O ₂ :184.28) 95.0% 以上を含む。
242	51	540023	ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウム液	2-ウンデシル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウム液	ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインNa液、ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウム	本品は、主としてウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
243	51	504057	ウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸二ナトリウム	ウンデシレン酸モノエタノールアミドスルホコハク酸エステル二ナトリウム	ウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸2Na	本品は、主としてウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸二ナトリウム (C ₁₇ H ₂₇ NO ₈ SN ₂ :451.44) からなる。
244	51	540024	ウンデシレノイル加水分解コラーゲンカリウム液	ウンデセノイルコラーゲンペプチドカリウム	ウンデシレノイル加水分解コラーゲンK液、ウンデシレノイル加水分解コラーゲンカリウム	本品は、コラーゲンたん白質の加水分解物とウンデシレン酸との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき窒素 (N:14.01) 2.3~4.6% を含む。
245	51	002037	ウンデシレン酸			本品は、主として 10 位に二重結合を有するウンデシレン酸 (C ₁₁ H ₂₀ O ₂ :184.28) からなる。
246	51	002038	ウンデシレン酸亜鉛			本品は、主としてウンデシレン酸の亜鉛塩 (C ₂₂ H ₃₈ O ₄ Zn:431.94) である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛 (Zn:65.41) 14.0~16.0% を含む。
247	51	500042	ウンデシレン酸モノエタノールアミド		ウンデシレナミドMEA	本品は、主としてウンデシレン酸と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド (C ₁₃ H ₂₅ NO ₂ :227.34) である。
248	51	500043	雲母チタン		雲母Ti	本品は、「マイカ」に「酸化チタン」の薄膜を被覆処理したものである。
249	51	523023	エイコセン・ビニルピロリドン共重合体		エイコセン・VP共重合体	本品は、主として、エイコセンとビニルピロリドンとの共重合体である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 2.8~3.6% を含む。
250	51	520149	エイジツエキス			本品は、ノイバラ <i>Rosa multiflora</i> Thunberg 又はその他近縁植物 (Rosaceae) の果実から水、エタノール、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
251	51	003600	液化石油ガス		LPG	本品は、天然ガス又は石油から分離精製液化したもので、主としてプロパン、ブタン及びイソブタンを含む。本品は、定量するとき、プロパン (C ₃ H ₈ :44.10)、ブタン (C ₄ H ₁₀ :58.12) 及びイソブタン (C ₄ H ₁₀ :58.12) の混合物 95.0% 以上を含む。
252	51	109939	液状ラノリン			本品は、ラノリンから得た液状物質で、主としてエステル類の混合物からなる。
253	51	532247	エゴマ油			本品は、エゴマ <i>Perilla frutescens</i> Britton var. <i>japonica</i> Hara (Labiatae) の種子より得られる油脂である。
254	51	102199	エステルガム			本品は、主として、アビエチン酸とグリセリンのエステルからなる。
255	51	001073	エストラジオール			本品を乾燥したものは、定量するとき、エストラジオール (C ₁₈ H ₂₄ O ₂ :272.38) 97.0~103.0% を含む。
256	51	102213	エストロン			本品を乾燥したものは、定量するとき、エストロン (C ₁₈ H ₂₂ O ₂ :270.37) 96.0~104.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
257	51	532250	エゾウコギエキス			本品は、エゾウコギ <i>Acanthopanax senticosus</i> Harms (Araliaceae) の根茎からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
258	51	001075	エタノール			本品は、15℃でエタノール (C ₂ H ₆ O:46.07) 95.0～95.5vol% を含む (比重による)。
259	51	507013	エタノール (96～96.5度)			本品は、15℃でエタノール (C ₂ H ₆ O:46.07) 96～96.5vol% を含む。
260	51	102223	エタノールアミン	モノエタノールアミン		本品は定量するとき、モノエタノールアミン (C ₂ H ₇ NO:61.08) 98.0% 以上を含む。
261	51	520158	エチナシ葉エキス			本品は、ホソババレンギク <i>Echinacea angustifolia</i> Diocleus Carystius (Compositae) の葉からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
262	1	001081	エチニルエストラジオール			本品を乾燥したものは定量するとき、エチニルエストラジオール (C ₂₀ H ₂₄ O ₂ :296.40) 98.0% 以上を含む。
263	51	001081	エチニルエストラジオール			本品を乾燥したものは定量するとき、エチニルエストラジオール (C ₂₀ H ₂₄ O ₂ :296.40) 98.0% 以上を含む。
264	51	532024	エチルグルコシド液			本品は、主としてエチルD-グルコピラノシドのエタノール溶液からなる。他にエチルイソマルトシド、エチルマルトシド、エチルD-グルコフラノシドなどを含む。
265	51	102258	エチルセルロース			本品は、主として、セルロースのエチルエーテルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、エトキシ基 (OC ₂ H ₅ :45.06) 43.0～50.0% を含む。
266	51	102255	エチルバニリン	エチルワニリン		本品は、主として、エチルバニリン (C ₉ H ₁₀ O ₃ :166.17) からなる。
267	51	523326	エチルヒドロキシメチルオレイルオキサゾリン			本品は、主としてエチルヒドロキシメチルオレイルオキサゾリン (C ₂₃ H ₄₃ NO ₂ :365.58) からなる。本品は、定量するとき窒素 (N:14.01) として 3.8～4.2% を含む。
268	51	532258	2-エチルヘキサン酸アルキル (12, 13)		エチルヘキサン酸アルキル (12, 13)	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と炭素数 12 及び 13 の分岐アルキル基を有するアルコールのエステルである。
269	51	532279	2-エチルヘキサン酸アルキル (12～15)	オクタン酸アルキル (12～15)	エチルヘキサン酸アルキル (12～15)	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と炭素数 12～15 のアルキル基を有するアルコールのエステルからなる。
270	51	509023	2-エチルヘキサン酸アルキル (14, 16, 18)	オクタン酸アルキル (14, 16, 18)	エチルヘキサン酸アルキル (14, 16, 18)	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸と炭素数 14, 16 及び 18 のアルキル基を有するアルコールとのエステルからなる。
271	51	532025	2-エチルヘキサン酸イソステアリル	オクタン酸イソステアリル	エチルヘキサン酸イソステアリル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とイソステアリルアルコールのエステル (C ₂₆ H ₅₂ O ₂ :396.69) からなる。
272	51	532026	2-エチルヘキサン酸ステアリル	オクタン酸ステアリル	エチルヘキサン酸ステアリル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とステアリルアルコールのエステル (C ₂₆ H ₅₂ O ₂ :396.69) からなる。
273	51	520159	2-エチルヘキサン酸セチル	オクタン酸セチル	エチルヘキサン酸セチル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とセタノールのエステル (C ₂₄ H ₄₈ O ₂ :368.64) からなる。
274	51	508018	2-エチルヘキサン酸セトステアリル	オクタン酸セトステアリル	エチルヘキサン酸セトステアリル	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
275	51	532027	2-エチルヘキサン酸セトステアリル (2)	オクタン酸セトステアリル	エチルヘキサン酸セトステアリル-2	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
276	51	540002	2-エチルヘキサン酸2-ヘキシルデシル	オクタン酸イソセチル	エチルヘキサン酸ヘキシルデシル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と「ヘキシルデカノール」のエステル (C ₂₄ H ₄₈ O ₂ :368.64) からなる。
277	51	540003	2-エチルヘキサン酸ポリエチレングリコール (4E. O.)・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル (14E. O.) 混合物		エチルヘキサン酸PEG (4)・POE (14)ノニルフェニルエーテル混合物	本品は、主として2-エチルヘキサン酸ポリエチレングリコール (4E. O.) と「ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル (14E. O.)」の混合物である。
278	51	520160	エチルヘキサンジオール			本品は、定量するとき、2-エチル-1, 3-ヘキサンジオール (C ₈ H ₁₈ O ₂ :146.23) 97.0% 以上を含む。
279	51	540025	エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム液 (1)	ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムエトサルフェート	エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム液-1、エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム (1)	本品は、エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムの2-エチル-1, 3-ヘキサンジオール、「プロピレングリコール」又は「ジプロピレングリコール」の溶液で、定量するとき、エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム (平均分子量:520) として、表示量の 90～110% を含む。
280	51	522018	エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム (2)	ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムエトサルフェート	エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム-2	本品は、エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムと「1, 3-ブチレングリコール」の 2:1 混合物で、定量するとき、エチル硫酸ラノリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム (平均分子量:533) として 62～68% を含む。
281	51	102265	エチレングリコール		グリコール	本品は、主としてエチレングリコール (C ₂ H ₆ O ₂ :62.07) からなる。
282	51	100101	エチレングリコールエチルエーテル		グリコールエチルエーテル、エチルセロソルブ	本品は、主として、エチレングリコールのモノエチルエーテル (C ₄ H ₁₀ O ₂ :90.12) からなる。
283	51	523024	エチレングリコール脂肪酸エステル (1)	エチレングリコール脂肪酸	脂肪酸グリコール-1、グリコール脂肪酸 (18-30) エステル	本品は、主として炭素数 18～30 の脂肪酸のエチレングリコールエステルである。
284	51	523025	エチレングリコール脂肪酸エステル (2)		脂肪酸グリコール-2	本品は、主として炭素数 14～18 の脂肪酸とエチレングリコールのジエステルからなる。
285	51	501020	エチレングリコールメチルエーテル		グリコールメチルエーテル、メチルセ	本品は、主として、エチレングリコールのモノメチルエーテル (C ₃ H ₈ O ₂ :76.09) からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					ロソルブ	
286	51	102266	エチレングリコールモノブチルエーテル		グリコールブチルエーテル、ブチルセロソルブ	本品は、主として、エチレングリコールモノブチルエーテル(C6H14O2:118.17)からなる。
287	51	520162	エチレンジアミンテトラキス(2-ヒドロキシイソプロピル)ジオレイン酸塩		エチレンジアミンテトラキス(ヒドロキシイソプロピル)・ジオレイン酸塩	本品は、主としてエチレンジアミンN, N, N', N' -テトラキス(2-ヒドロキシイソプロピル) 1 当量とオレイン酸 2 当量からなる塩である。
288	51	504059	エチレンジアミンテトラポリオキシエチレンポリオキシプロピレン		エチレンジアミンテトラPOE・POP	本品は、エチレンジアミンに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加したものである。
289	51	504060	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム		HEDTA・3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム(C10H15N2Na3O7・3H2O:398.25)90.0%以上を含む。
290	51	520164	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム液		HEDTA・3Na液	本品は、「エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム」の水溶液で、定量するとき、表示量の 90～110 %のエチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム(C10H15O7N2Na3・3H2O:398.25)を含む。
291	51	522019	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム二水塩		HEDTA・3Na2水塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム二水塩(C10H15N2Na3O7・2H2O:380.24)97.0%以上を含む。
292	51	532028	エチレン・プロピレン共重合体			本品は、エチレンとプロピレンを共重合させたものである。
293	51	511010	エチレン・無水マレイン酸共重合体		エチレン・MA共重合体	本品は、無水マレイン酸にエチレンを付加重合したものである。
294	51	500587	エデト酸		EDTA	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸(C10H16N2O8:292.24)99.0%以上を含む。
295	51	511011	エデト酸二カルウム二水塩		EDTA-2K、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、エデト酸二カルウム二水塩(C10H14K2N2O8・2H2O:484.45)96.0%以上を含む。
296	51	110759	エデト酸二ナトリウム		EDTA-2Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸二ナトリウム(C10H14N2Na2O8・2H2O:372.24)99.0%以上を含む。
297	51	500054	エデト酸三ナトリウム		EDTA-3Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸三ナトリウム(C10H13N2Na3O8・2H2O:394.22)97.0%以上を含む。
298	51	107215	エデト酸四ナトリウム		EDTA-4Na、エデト酸塩	本品は、主としてエデト酸四ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム(C10H12N2Na4O8:380.17)80.0%以上を含む。
299	51	500056	エデト酸四ナトリウム二水塩		EDTA-4Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム二水塩(C10H12N2Na4O8・2H2O:416.20)97.0%以上を含む。
300	51	109055	エデト酸四ナトリウム四水塩		EDTA-4Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム四水塩(C10H12N2Na4O8・4H2O:452.23)97.0%以上を含む。
301	51	520169	エポキシ樹脂イソステアリン酸エステル			本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ化合物と、イソステアリン酸のジエステルからなる。
302	51	507015	エポキシ処理アルミニウム末		エポキシ処理Al末	本品は、アルミニウム箔をエポキシ樹脂で被覆し、裁断したものである。
303	51	532232	エミュー油			本品は、エミューDromaeus novae-hollandiae Latham (Dromicelidae)の皮下組織より得られる脂肪油で、主としてオレイン酸、ステアリン酸、リノレイン酸及びパルミチン酸のトリグリセリドからなる。
304	51	532029	エラブウミヘビ脂			本品は、エラブウミヘビ Laticauda semifasciata Reinward (Hydrophiinae)から得られた油脂である。
305	51	532280	エリスリトール			本品を乾燥したものを定量するとき、エリスリトール(C4H10O4:122.12)98.0%以上を含む。
306	51	102189	エリソルビン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、エリソルビン酸(C6H8O6:176.12)98.0%以上を含む。
307	51	520172	エルカ酸オクチルドデシル	シス-13-ドコセン酸-2-オクチルドデシル		本品は、主としてエルカ酸と2-オクチルドデカノールのエステル(C42H82O2:619.10)からなる。
308	51	532030	エルカ酸オレイル			本品は、主として、エルカ酸とオレイルアルコールのエステル(C40H76O2:589.03)からなる。
309	51	504065	エルカ酸グリセリル	モノエルカ酸グリセリン		本品は、主として、エルカ酸とグリセリンのモノエステルからなる。
310	51	001095	エルゴカルシフェロール	ビタミンD2		本品は、主として、エルゴカルシフェロール(C28H44O:396.65)からなる。
311	99	999999	エルビピン			本品は、ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae)の種子を粉砕し、油成分を除去し、更に水で抽出したエキスである。本品は定量するとき、その総窒素量は、(N:14.01)0.17～0.27w/v%である。
312	51	002045	塩化亜鉛		塩化Zn	本品は、定量するとき、塩化亜鉛(ZnCl2:136.32)95.0%以上を含む。
313	51	540186	塩化アルキルトリメチルアンモニウム液			本品は、[RN(CH3)3]Clで示され、Rは主として炭素数 20～22 のアルキル基からなる。通常、イソプロパノール、エタノール、プロピレングリコール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化アルキルトリメチルアンモニウム(C24H52ClN:390.13)として表示量の 90～110%を含む。
314	51	540185	塩化アルキル(16, 18)トリメチルアンモニ		塩化アルキル(16, 18)トリメチルアン	本品は、主として炭素数 16 及び 18 のアルキル基(モル比 1:1)を有する塩化アルキルトリメチルアンモニウムか

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ウム液		モニウム	らなり、「エタノール」及び水を含む。本品は、定量するとき、塩化アルキルトリメチルアンモニウム(C ₂₀ H ₄₄ ClN:334.02)として表示量の90～110%を含む。
315	51	523027	塩化アルキル(28)トリメチルアンモニウム液			本品は、主として炭素数28のアルキル基を有する塩化アルキルトリメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化アルキルトリメチルアンモニウム(C ₃₁ H ₆₆ NCl:488.32)として、表示量の90.0～110.0%を含む。
316	51	100441	塩化アルミニウム		塩化Al	本品は、定量するとき、塩化アルミニウム(AlCl ₃ ・6H ₂ O:241.43)97.0%以上を含む。
317	51	001097	塩化アンモニウム			本品を乾燥したものは定量するとき、塩化アンモニウム(NH ₄ Cl:53.49)99.0%以上を含む。
318	51	523028	塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウム液			本品は、主として塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はその混液を含む。本品は、定量するとき、塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウム(C ₃₂ H ₆₈ NCl:502.34)として、表示量の90.0～110.0%を含む。
319	31	001098	塩化カリウム		塩化K	本品を乾燥したものは、塩化カリウム(KCl)99.0%以上を含む。
320	51	001098	塩化カリウム		塩化K	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化カリウム(KCl:74.55)99.0%以上を含む。
321	1	001098	塩化カリウム		塩化K	本品を乾燥したものは定量するとき、塩化カリウム(KCl)99.0%以上を含む。
322	1	001099	塩化カルシウム		塩化Ca	本品は定量するとき、塩化カルシウム(CaCl ₂ ・2H ₂ O)96.7～103.3%を含む。
323	51	540184	塩化γ-グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウム液		塩化γ-グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウム	本品は、塩化γ-グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウムの水溶液である。本品は、定量するとき、塩化γ-グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウム(C ₁₃ H ₂₉ ClN ₂ :360.83)として表示量の90～110%を含む。
324	51	508020	塩化ジアルキル(12～15)ジメチルアンモニウム			本品は、主として炭素数12～15のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキルジメチルアンモニウム(C ₃₀ H ₆₄ ClN:474.29)として表示量の90～110%を含む。
325	51	508021	塩化ジアルキル(14～18)ジメチルアンモニウム			本品は、主として炭素数14～18の飽和した直鎖のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなる。「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキル(14～18)ジメチルアンモニウム(C ₃₄ H ₇₂ ClN:530.40)として表示量の90～110%を含む。
326	51	523029	塩化ジアルキル(12～18)ジメチルアンモニウム液			本品は、炭素数12～18のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキル(14)ジメチルアンモニウム(C ₃₀ H ₆₄ NCl:474.29)として表示量の90.0～110.0%を含む。
327	51	501021	塩化ジココイルジメチルアンモニウム			本品は、主として塩化ジココイルジメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、塩化ジココイルジメチルアンモニウム(分子量:422.46)として表示量の90～110%を含む。
328	51	500064	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム		ジステアリルジモニウムクロリド	本品は、主として塩化ジステアリルジメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の90～110%に対応する塩化ジステアリルジメチルアンモニウム(C ₃₈ H ₈₀ ClN:586.50)を含む。
329	51	509020	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム末			本品は、主として塩化ジステアリルジメチルアンモニウムからなり、定量するとき塩化ジステアリルジメチルアンモニウム(C ₃₈ H ₈₀ ClN:586.50)95.0%以上を含む。
330	51	509021	塩化ジセチルジメチルアンモニウム液			本品は、[R ₂ N(CH ₃) ₂]Clで示され、Rは主としてC ₁₆ H ₃₃ からなり、C ₁₂ H ₂₅ ～C ₁₈ H ₃₇ も含む。「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。定量するとき、塩化ジセチルジメチルアンモニウム(C ₃₄ H ₇₂ ClN:530.40)として表示量の90～110%を含む。
331	51	504071	塩化ジ(ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム(2E. O.)		塩化ジPOE(2)オレイルメチルアンモニウム	本品は、主として塩化ジ(ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム(2 E. O.)からなり、「イソプロパノール」を含む。本品を定量するとき、塩化ジ(ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム(2 E. O.) [C ₁₉ H ₃₈ (C ₂ H ₄ OH) ₂ ClN:406.09]として表示量の90～110%を含む。
332	51	523030	塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウム液		塩化ジPOEステアリルメチルアンモニウム液	本品は、主として塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウムからなり、水及び政府所定変性アルコールを含む。本品は、定量するとき、塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウム(C ₂₉ H ₆₂ NO ₅ Cl:540.26)として、表示量の90.0～110.0%を含む。酸化エチレンの付加モル数は5である。
333	51	523031	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリルアミドとの共重合体である。
334	51	511012	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体液			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリルアミドの共重合体の水溶液である。
335	51	532186	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリル酸共重合体			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリル酸の共重合体の水溶液である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ル酸共重合体液			
336	51	523330	塩化ステアarylジヒドロキシエチルベタインナトリウム液		塩化ステアarylジヒドロキシエチルベタインNa液	本品は、主として塩化ステアarylジヒドロキシエチルベタインナトリウムのワセリンよう水溶液である。本品は、定量するとき、塩化ステアarylジヒドロキシエチルベタインナトリウム(C24H49ClNNaO4:474.09)として 22～26%を含む。
337	51	500065	塩化ステアarylジメチルベンジルアンモニウム		ステアラルコニウムクロリド	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ステアarylジメチルベンジルアンモニウム(C27H50ClN:424.15)として 90.0～105.0%を含む。
338	51	500066	塩化ステアarylトリメチルアンモニウム		ステアアルトリモニウムクロリド	本品は、主として塩化ステアarylトリメチルアンモニウムからなり、通常、イソプロパノール、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の 90～110%に対応する塩化ステアarylトリメチルアンモニウム(C21H46ClN:348.05)を含む。
339	51	510008	塩化ステアarylトリメチルアンモニウム液			本品は、塩化ステアarylトリメチルアンモニウムのプロピレングリコール溶液からなり、定量するとき、塩化ステアarylトリメチルアンモニウム(C21H46ClN:348.05)として表示量の 90～110%を含む。
340	51	501023	塩化ステアロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム			本品は、主として塩化ステアロイルコラミノホルミルメチルピリジニウムからなり、本品を定量するとき、塩化ステアロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム(C27H47ClN203:483.13)として 90%以上を含む。
341	51	101326	塩化セチルトリメチルアンモニウム		セトリモニウムクロリド	本品は、主として塩化セチルトリメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化セチルトリメチルアンモニウム(C19H42ClN:320.00)として表示量の 90～110%を含む。
342	51	005602	塩化セチルピリジニウム		セチルピリジニウムクロリド	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化セチルピリジニウム(C21H38ClN:339.99)として 99.0～102.0%を含む。
343	51	002047	塩化第二鉄		塩化Fe	本品は定量するとき、塩化第二鉄(FeCl3・6H2O:270.30)99.0%以上を含む。
344	51	003621	塩化デカリニウム			本品を乾燥したものは定量するとき、塩化デカリニウム(C30H40Cl2N4:527.57)95.0%以上を含む。
345	51	532031	塩化N, N, N', N'-тетраметил-N-ヘキサメチレン-トリメチレン-ジアンモニウム共重合体液		塩化テトラメチルヘキサメチレントリメチレンジアンモニウム共重合体液	本品は、主として N, N, N', N'-тетраметил-N-ヘキサメチレンジアミンと塩化トリメチレンの共重合体の水溶液からなり、その平均分子量は約 10000 である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)5.1～6.3%を含む。
346	51	501022	塩化トリ(ポリオキシエチレン)ステアarylアンモニウム(5E. O.)	塩化ステアarylペンタエオキシアンモニウム	塩化トリPOE(5)ステアarylアンモニウム	本品を定量するとき、塩化トリ(ポリオキシエチレン)ステアarylアンモニウム(5 E. O.)(C28H60ClNO5:526.23)として表示量の 90～110%を含む。
347	51	001105	塩化ナトリウム		塩化Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl:58.44)99.5%以上を含む。
348	1	001105	塩化ナトリウム	食塩	塩化Na	本品を乾燥したものは定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl)99.5%以上を含む。
349	51	520178	塩化バリウム		塩化Ba	本品は、定量するとき、塩化バリウム(BaCl2・2H2O:244.26)98.0%以上を含む。
350	51	532215	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアarylジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白液		塩化ステアarylジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアarylジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～12.0%を含む。
351	51	532214	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアarylジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解大豆たん白液		塩化ステアarylジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解大豆たん白液	本品は、大豆たん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアarylジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～12.0%を含む。
352	51	523032	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアarylジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解ケラチン	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムエーテル液	塩化ステアarylジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン液	本品は、加水分解ケラチンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)2.2～4.0%を含む。
353	51	523033	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアarylジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン		塩化ステアarylジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアarylジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)3.5～5.5%を含む。
354	51	523034	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアarylジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解シルク	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムエーテル	塩化ステアarylジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク、水解シルク・塩化ヒドロキシプロピルステアarylジメチルアンモニウムエーテル	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドにグリシジルステアarylジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0～4.0%を含む。
355	51	532222	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白		塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白	本品は、コムギたん白加水分解物に、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0～15.0%を含む。
356	51	532032	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白	N-(3-トリメチルアンモニオ)プロピル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル	本品は、加水分解コムギたん白に 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ンモノオ)プロピル]加水分解コムギたん白液	ニオ-2-ヒドロキシプロピル)小麦粉加水分解物液	ロピル水解小麦たん白液、トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル小麦水解物液	の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~4.0%を含む。
357	51	523037	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルトリメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0~21.0%を含む。
358	51	523331	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コラーゲン液	カチオン化加水分解コラーゲン液	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解コラーゲン液	本品は、「塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コラーゲン」の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として3.0~5.5%を含む。
359	51	532223	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コンキオリン液	加水分解コンキオリン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル液	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解コンキオリン液	本品は、「加水分解コンキオリン液」に 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものの水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)として、8.0~15.0%を含む。
360	51	532221	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解大豆たん白		塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解大豆たん白	本品は、「大豆たん白加水分解物」に、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
361	51	523332	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]デキストラン		塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピルデキストラン	本品は、デキストランとグリシジルトリメチルアンモニウムクロライドとをエーテル結合を介して結合させたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として2.2~3.4%を含む。
362	51	523040	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]ヒドロキシエチルセルロース	ヒドロキシエチルセルロース・ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドエチル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピルヒドロキシエチルセルロース	本品は、主としてヒドロキシエチルセルロースに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウム又は塩化グリシジルトリメチルアンモニウムを反応させて得られたカチオン性のポリマーである。ただし、水、「イソプロパノール」又はその混液を含むものもある。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.2~2.5%を含む。
363	51	523035	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解カゼイン液	加水分解カゼイン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解カゼイン液	本品は、カゼインを加水分解して得られるポリペプチドに、グリシジルトリメチルアンモニウムクロリドを付加したカチオン性の加水分解カゼインの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~4.5%を含む。
364	51	523036	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解ケラチン液	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解ケラチン液	本品は、ケラチンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.4~4.0%を含む。
365	51	523038	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]加水分解シルク液	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピル水解シルク液	本品は、絹繊維を加水分解して得られるポリペプチドに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させて得られたカチオン化加水分解シルクの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.75~1.00%を含む。
366	51	523039	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモノオ)プロピル]グアーガム	グアーガム・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモノオヒドロキシプロピルグアーガム	本品は、主としてグアーガムに、塩化グリシジルトリメチルアンモニウムを付加させて得られたカチオン性のポリマーである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.0~3.0%を含む。
367	51	532219	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コムギたん白液		塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~12.0%を含む。
368	51	532220	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモノオ)プロピル]加水分解大豆たん白液	加水分解大豆たん白・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解大豆たん白液	本品は、大豆たん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)として、5.0~12.0%を含む。
369	51	523041	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモノオ)プロピル]加水分解ケラチン	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン	本品は、加水分解ケラチンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.7~3.3%を含む。
370	51	523042	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモノオ)プロピル]加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~4.0%を含む。
371	51	523043	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモノオ)プロピル]加水分解シルク	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク液	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドに、塩化(3-クロロ-2-ヒドロキシプロピル)ジメチルヤシ油アルキルアンモニウムを付加させて得たもので、エタノール溶液を含む。本品は、定量するとき、窒素(N:

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			解シルク液	キルジメチルアンモニウムエーテル		14.01)1.4~2.6%を含む。
372	51	523045	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルラウリルジメチルアンモニウムクロリド塩を付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~4.0%を含む。
373	51	532033	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]ヒドロキシエチルセルロース	ヒドロキシエチルセルロース塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピルヒドロキシエチルセルロース	本品は、主としてヒドロキシエチルセルロースに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリド、又はグリシジルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを付加して得られたカチオン性のポリマーである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.2~2.5%を含む。
374	51	523044	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解ケラチン	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン	本品は、加水分解ケラチンに 3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.7~3.3%を含む。
375	51	523046	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解シルク	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドにグリシジルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを付加したカチオン性の加水分解シルクである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.4~2.6%を含む。
376	51	110431	塩化ビニル樹脂		ポリ塩化ビニル	本品は、塩化ビニル(CH ₂ =CHCl)の直鎖重合体で、平均分子量は約 10 万である。
377	51	532034	塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム液	塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム液	塩化ベヘン酸アミドプロピルジメチルジヒドロキシプロピルアンモニウム液	本品は、主として塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム(C30H63ClN2O3:535.29)からなる水溶液である。
378	51	001108	塩化ベンザルコニウム		ベンザルコニウムクロリド、ベンザルコニウム塩化物	本品は、主として炭素数 12~14 のアルキル基を有する 4 級アンモニウム塩である。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化ベンザルコニウム(C22H40ClN:354.01)として 95.0~105.0%を含む。
379	51	500072	塩化ベンザルコニウム液		ベンザルコニウム塩化物液	本品は、「塩化ベンザルコニウム」の水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 90~110%に対応する塩化ベンザルコニウム(C22H40ClN:354.01)を含む。
380	51	001110	塩化ベンゼトニウム		ベンゼトニウムクロリド、ベンゼトニウム塩化物	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ベンゼトニウム(C27H42ClNO2:448.08)97.0%以上を含む。
381	51	500074	塩化ベンゼトニウム液		ベンゼトニウム塩化物液	本品は、「塩化ベンゼトニウム」の水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 90~110%に対応する塩化ベンゼトニウム(C27H42ClNO2:448.08)を含む。
382	51	504076	塩化ポリオキシプロピレンメチルジエチルアンモニウム		塩化POPメチルジエチルアンモニウム	本品は、主として塩化ポリオキシプロピレンメチルジエチルアンモニウムからなる。
383	31	103935	塩化マグネシウム		塩化 Mg	本品は、塩化マグネシウム(MgCl ₂ ・6H ₂ O)95.0%以上を含む。
384	51	103935	塩化マグネシウム		塩化Mg	本品は、塩化マグネシウム(MgCl ₂ ・6H ₂ O:203.30)95.0%以上を含む。
385	51	104373	塩化ミスチルジメチルベンジルアンモニウム			本品は、主として塩化ミスチルジメチルベンジルアンモニウムからなり、通常、「プロピレングリコール」を含む。本品は、定量するとき、表示量の 30~110%に対応する塩化ミスチルジメチルベンジルアンモニウム(C23H42ClN:368.04)を含む。
386	51	104154	塩化メチルベンゼトニウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化メチルベンゼトニウム(C28H44ClNO2:462.11)97.0~103.0%を含む。
387	51	523047	塩化ラウリルジメチル(エチルベンジル)アンモニウム液		塩化ラウリルジメチルエチルベンジルアンモニウム液	本品は、主として塩化ラウリルジメチル(エチルベンジル)アンモニウムの水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の 90.0~110.0%に対応する塩化ラウリルジメチルエチルベンジルアンモニウム(C23H42ClN:368.04)を含む。
388	51	540187	塩化ラウリルトリメチルアンモニウム液			本品は、主として塩化ラウリルトリメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ラウリルトリメチルアンモニウム(C15H34ClN:263.89)として表示量の 90~110%を含む。
389	51	520181	塩化ラウリルピリジニウム			本品は、主として塩化ラウリルピリジニウムからなる。本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化ラウリルピリジニウム(C17H30ClN:283.88)を 90.0~110.0%含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
390	51	500590	塩化ラウリルピリジニウム液			本品は、主として「塩化ラウリルピリジニウム」からなり、通常、「イソプロパノール」、水の混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の90～110%に対応する塩化ラウリルピリジニウム(C17H30ClN:283.88)を含む。
391	51	505033	塩化ラウロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム			本品は、主として塩化ラウロイルコラミノホルミルメチルピリジニウムからなる。本品を定量するとき、塩化ラウロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム(C21H35ClN2O3:398.97)として90.0%以上を含む。
392	51	003625	塩化リゾチーム		塩酸リゾチーム、リゾチーム塩酸塩	本品は、卵白から得られた塩基性ポリペプチドで、ムコ多糖分解作用を有する酵素である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)15～18%を含み、またその1mg中塩化リゾチーム0.8mg(力価)以上を含む。
393	51	523048	塩基性炭酸亜鉛		塩基性炭酸Zn	本品は、主として塩基性炭酸亜鉛からなる。本品は、定量するとき、酸化亜鉛(ZnO:81.41)として70.0%以上を含む。
394	51	001113	塩酸		HCl	本品は、定量するとき、塩化水素(HCl:36.46)35.0～38.0%を含む。
395	51	500078	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン液		アルキル(C12～14)ジアミノエチルグリシンHCl液	本品は、炭素数12～14のアルキル鎖を有する塩化アルキルジアミノエチルグリシンの水溶液である。本品は、定量するとき、塩酸アルキルジアミノエチルグリシン(C19H42ClN3O2:380.01)として27.0～33.0%を含む。
396	51	102519	塩酸グルコサミン	グルコサミン塩酸塩	HClグルコサミン、グルコサミンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸グルコサミン(C6H13O5N·HCl:215.63)98.0%以上を含む。
397	51	003638	塩酸クロルヘキシジン		クロルヘキシジン2HCl、クロルヘキシジン塩酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸クロルヘキシジン(C22H30Cl2N10·2HCl:578.37)97.5%以上を含む。
398	51	540188	塩酸ジオクチルアミノエチルグリシン液		HClジオクチルアミノエチルグリシン液、ジオクチルアミノエチルグリシンHCl液	本品は、(RNHCH2CH2)2NCH2COOH·HClで示される化合物の水溶液で、Rは主としてC8H17である。本品は、定量するとき、塩酸ジオクチルアミノエチルグリシン(C22H48ClN3O2:422.09)として50～60%を含む。
399	51	001137	塩酸ジフェンヒドラミン		ジフェンヒドラミンHCl、ジフェンヒドラミン塩酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸ジフェンヒドラミン(C17H21NO·HCl:291.82)98.0%以上を含む。
400	51	520187	塩酸L-ヒスチジン	L-ヒスチジン塩酸塩	HClヒスチジン、ヒスチジンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸L-ヒスチジン(C6H9N3O2·HCl·H2O:209.63)98.5%以上を含む。
401	51	001155	塩酸ピリドキシン	ビタミンB6	HClピリドキシン、ピリドキシンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸ピリドキシン(C8H11NO3·HCl:205.64)98.0%以上を含む。
402	51	540189	塩酸モノエタノールアミン液		HCl·MEA液、塩酸MEA液	本品は、「エタノールアミン」の塩酸塩の水溶液である。本品を定量するとき、塩酸モノエタノールアミン(C2H7NO·HCl:97.54)として58.0～62.0%を含む。
403	51	001177	塩酸リジン		HClリジン、リジンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸リジン(C6H14N2O2·HCl:182.65)98.0%以上を含む。
404	51	540190	塩素化パラフィン		塩化パラフィン	本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物を塩素化したものである。
405	51	532281	エンドウエキス			本品は、エンドウ <i>Pisum sativum</i> Linne (Leguminosae)の種子を脱脂した後、水にて抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5～3.8%を含む。
406	51	102290	オイゲノール			本品は、定量するとき、オイゲノール(C10H12O2:164.20)98.0vol%以上を含む。
407	51	104803	オウゴンエキス			本品は、コガネバナ <i>Scutellaria baicalensis</i> Georgi (Labiateae)の周皮を除いた根から水、「エタノール」、「無水エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」、又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
408	51	107704	黄酸化鉄		黄酸化Fe	本品は、主としてオキシン水酸化鉄[FeO(OH)]及び水酸化第二鉄[Fe2(OH)6]からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄(Fe2O3:159.69)として80.0%以上を含む。
409	51	523050	黄酸化鉄・カルミン被覆雲母チタン	黄酸化鉄・カルミン処理雲母チタン	黄酸化鉄・カルミン被覆雲母Ti、黄酸化Fe・カルミン被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」と「カルミン」で被覆したものである。
410	51	523051	黄酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	黄酸化鉄・コンジョウ処理雲母チタン	黄酸化鉄・紺青被覆雲母Ti、黄酸化Fe・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」と「コンジョウ」で被覆したものである。
411	51	523052	黄酸化鉄被覆雲母チタン	黄酸化鉄処理雲母チタン	黄酸化鉄被覆雲母Ti、黄酸化Fe被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」で被覆したものである。
412	1	120075	オウバク	黄柏		本品はキハダ <i>Phellodendron amurense</i> Ruprecht 又は <i>Phellodendron chinense</i> Schneider (Rutaceae)の周皮を除いた樹皮である。本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、バルベリン〔塩化バルベリン(C20H18ClNO4:371.81)として〕1.2%以上を含む。
413	51	002057	オウバクエキス			本品は、キハダ <i>Phellodendron amurense</i> Ruprecht 又はその他同属植物(Rutaceae)の周皮を除いた樹皮から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
414	1	001182	オウバク末	黄柏		本品は「オウバク」を粉末としたものである。本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、バルベリン〔塩化バルベリン(C20H18ClNO4:371.81)として〕1.2%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
415	51	104869	オウレンエキス			本品は、オウレン <i>Coptis japonica</i> Makino 又はその他同属植物 (<i>Ranunculaceae</i>) の根茎から水、「1, 3-ブチレングリコール」又はエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
416	51	504080	オートミール末			本品は、カラスミギ <i>Avena sativa</i> L. (<i>Gramineae</i>) の種子を乾燥し、粉碎したものである。
417	51	532244	オオバナサルスベリエキス			本品は、オオバナサルスベリ <i>Lagerstroemia speciosa</i> Persoon (<i>Lythraceae</i>) の葉から、エタノール溶液で抽出して得られたエキスである。
418	51	520221	オオムギエキス		大麦エキス	本品は、オオムギ <i>Hordeum vulgare</i> Linne' (<i>Gramineae</i>) の種子から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液中で抽出して得られるエキスである。
419	51	532035	オオムギ発酵エキス		大麦発酵エキス	本品は、オオムギ <i>Hordeum vulgare</i> Linne' (<i>Gramineae</i>) の種子を酵母 <i>Saccharomyces cerevisiae</i> で発酵して得た培養液にエタノールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.02~0.12% を含む。
420	51	100936	オキシ塩化ビスマス		オキシ塩化Bi	本品を乾燥したものは、定量するとき、ビスマス (Bi:208.98) 78.0~81.0% を含む。
421	51	520222	オキシ塩化ビスマス被覆雲母	オキシ塩化ビスマス被覆マイカ	オキシ塩化Bi被覆雲母、オキシ塩化Bi被覆マイカ	本品は、「マイカ」を「オキシ塩化ビスマス」で被覆したものである。
422	51	511072	オキシステアリン酸グリセリル(2)	オキシステアリン酸グリセリン(2)	オキシステアリン酸グリセリル-2、オキシステアリン酸グリセリン-2	本品は、主としてオキシステアリン酸とグリセリンのモノエステル (C ₂₁ H ₄₂ O ₅ :374.56) からなる。
423	51	510011	L-オキシプロリン	L-ヒドロキシプロリン	オキシプロリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-オキシプロリン (C ₅ H ₉ NO ₃ :131.13) 98.5% 以上を含む。
424	51	108980	オキシベンゾン		オキシベンゾン-3	本品を乾燥したものは、定量するとき、オキシベンゾン (C ₁₄ H ₁₂ O ₃ :228.24) 90.0% 以上を含む。
425	99	999999	(2S,3R)-2-オクタデカノイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール		オクタデカノイルアミノオクタデカンジオール	本品は、(2S,3R)-ジヒドロスフィンゴシン ((2S,3R)-2-アミノオクタデカン-1,3-ジオール) とステアリン酸 (オクタデカン酸) がアミド結合した化合物からなる。
426	51	520229	オクタメチルシクロテトラシロキサン		シクロテトラシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした環状の重合体で、主としてオクタメチルシクロテトラシロキサン (C ₈ H ₂₄ O ₄ Si ₄ :296.62) からなる。
427	51	520230	オクタメチルトリシロキサン		トリシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、主としてオクタメチルトリシロキサン (C ₈ H ₂₄ O ₂ Si ₃ :236.53) からなる。
428	99	999999	1,2-オクタジオール			本品は定量するとき、1,2-オクタジオール (C ₈ H ₁₈ O ₂ :146.20) 98.0% 以上を含む。
429	51	540004	2-オクチルデカノール		オクチルデカノール	本品は、主として2分子のデシルアルコールの縮合物 (C ₂₀ H ₄₂ O:298.55) からなる。
430	51	532282	オクチルトリメキシラン被覆酸化チタン	オクチルシリル化酸化チタン	オクチルトリメキシラン被覆酸化Ti、オクチルシリル化酸化Ti	本品は、「酸化チタン」をオクチルトリメキシランで被覆処理して得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン (TiO ₂ :79.87) として 88.0% 以上を含む。
431	51	540026	オクチルフェノキシジエチルスルホン酸ナトリウム液		オクチルフェノキシジエチルスルホン酸Na液、オクチルフェノキシジエチルスルホン酸ナトリウム	本品は、主としてオクチルフェノキシジエチルスルホン酸ナトリウム (C ₂₀ H ₃₃ NaO ₆ S:424.53) の水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 90~110% に対応するオクチルフェノキシジエチルスルホン酸ナトリウムを含む。
432	51	532165	オクテニルコハク酸デキストリンエステルトリエタノールアミン液		オクテニルコハク酸デキストリンTEA液	本品は、デキストリンと無水オクテニルコハク酸のエステルのトリエタノールアミン塩の水溶液である。
433	51	509024	オクテニルコハク酸トウモロコシデンブンエステルアルミニウム		オクテニルコハク酸トウモロコシデンブンAl、オクテニルコハク酸コーンスターチAl、オクテニルコハク酸コーンデンブンAl	本品は、「トウモロコシデンブン」とオクテニルコハク酸のエステルのアルミニウム塩である。
434	51	532036	オクテニルコハク酸トウモロコシデンブンエステルナトリウム		オクテニルコハク酸トウモロコシデンブンNa、オクテニルコハク酸コーンスターチNa、オクテニルコハク酸コーンデンブンNa	本品は、主としてトウモロコシデンブンとオクテニルコハク酸のエステルの部分ナトリウム塩からなる。
435	51	523054	オクラエキス			本品は、オクラ <i>Abelmoschus esculentus</i> Moench (<i>Malvaceae</i>) の果実(生)から、水で抽出して得られるエキスである。
436	51	501027	オゾケライト			本品は、天然に産する鉱物ろうで、主として炭化水素類の混合物からなる。
437	51	520236	オトギリソウエキス			本品は、セイヨウオトギリソウ <i>Hypericum perforatum</i> Linne' 又はオトギリソウ <i>Hypericum erectum</i> Thunberg (<i>Guttiferae</i>) の地上部から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
438	51	520238	オドリコソウエキス			本品は、 <i>Lamium album</i> Linne' (<i>Labiatae</i>) の花、茎、葉から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコー

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ル」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
439	51	520241	オノニスエキス			本品は、オノニス <i>Ononis spinosa</i> Linne' (Leguminosae)の根から1, 3-ブチレングリコール溶液、若しくは1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
440	51	520243	オランダカラシエキス			本品は、オランダカラシ <i>Nasturtium officinalis</i> R.Brown (Cruciferae)の葉茎又は全草から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又は、これらの混液で抽出して得られるエキスである。
441	99	999999	オリーブ葉エキス			本品はオリーブ <i>Olea europaea</i> Linne' (Oleaceae)の葉を50vol%エタノール溶液にて抽出して得られた成分を50vol%1,3-ブチレングリコール溶液に溶かしたものである。
442	51	502022	オリーブ油アルコール	オリーブアルコール	オリブ油アルコール	本品は、オリーブ油脂肪酸を還元して得たアルコールで、主としてオレイルアルコール(C18H36O:268.48)からなる。
443	51	523055	オリゴブドウ糖デカノール配糖体液	デシルポリグルコシド液		本品は、主としてオリゴブドウ糖デカノール配糖体の水溶液である。
444	51	004005	γ-オリザノール			本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne' (Gramineae)の種皮から得られ、主としてトリテルペンアルコールのフェルラ酸エステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、フェルラ酸シクロアルテニル(C40H58O4:602.89)として95.0%以上を含む。
445	51	001191	オリブ油			本品は、 <i>Olea europaea</i> Linne' (Oleaceae)の果実を圧搾して得た脂肪油である。
446	51	500091	オルトフェニルフェノール		フェニルフェノール	本品は、定量するとき、オルトフェニルフェノール(C12H10O:170.21)96.0~104.0%を含む。
447	51	520248	オルトフェニルフェノールナトリウム		オルトフェニルフェノールNa	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、オルトフェニルフェノールナトリウム(C12H9NaO:192.19)97.0%以上を含む。
448	51	104831	オレイルアルコール			本品は、主としてオレイルアルコール(C18H36O:268.48)からなる。
449	51	540027	オレイルジメチルアミンオキシド液		オレイルジメチルアミンオキシド	本品は、定量するとき、オレイルジメチルアミンオキシド(C20H41NO:311.55)として表示量の90~110%を含む。通常、水、「エタノール」又はこれらの混液を含む。
450	51	532037	オレイルベタイン液	オレイルジメチルアミノ酢酸液		本品は、主としてオレイルベタインからなり、通常、水を含む。
451	51	504087	オレイル硫酸トリエタノールアミン		オレイル硫酸TEA	本品は、定量するとき、オレイル硫酸トリエタノールアミン(C24H51NO7S:497.73)として表示量の90~110%を含む。
452	51	504088	オレイル硫酸ナトリウム		オレイル硫酸Na	本品は、定量するとき、オレイル硫酸ナトリウム(C18H33O5SNa:384.51)として表示量の90~110%を含む。
453	51	002062	オレイン酸			本品は、主としてオレイン酸(C18H34O2:282.46)からなる。
454	51	532268	オレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル二ナトリウム		オレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル2Na	本品は、主としてオレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル二ナトリウムからなる。
455	51	503028	オレイン酸イソデシル			本品は、主としてオレイン酸とイソデシルアルコールのエステル(C28H54O2:422.73)からなる。
456	51	102246	オレイン酸エチル			本品は、主としてオレイン酸とエタノールのエステル(C20H38O2:310.51)からなる。
457	51	540029	オレイン酸2-オクチルドデシル		オレイン酸オクチルドデシル	本品は、主として「オレイン酸」と「2-オクチルドデカノール」のエステル(C38H74O2:562.99)からなる。
458	51	104830	オレイン酸オレイル			本品は、主としてオレイン酸とオレイルアルコールのエステル(C36H68O2:532.92)からなる。
459	51	508027	オレイン酸カリウム		オレイン酸K	本品は、主としてオレイン酸のカリウム塩である。
460	51	540030	オレイン酸グリセリル(1)		オレイン酸グリセリル-1	本品は、主として「オレイン酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
461	51	540031	オレイン酸グリセリル(2)		オレイン酸グリセリル-2	本品は、モノオレイン酸グリセリル、ジオレイン酸グリセリル及びプロピレングリコールの混合物である。
462	51	523056	オレイン酸コレステリル			本品は、主としてオレイン酸とコレステロールのエステル(C45H78O2:651.01)からなる。
463	51	504092	オレイン酸ジエタノールアミド			本品は、主としてオレイン酸と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C22H43NO3:369.58)である。
464	51	520250	オレイン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「オレイン酸」と「ジヒドロコレステロール」のエステル(C45H80O2:653.12)からなる。
465	51	101696	オレイン酸デシル			本品は、主として「オレイン酸」とデシルアルコールのエステル(C28H54O2:422.73)からなる。
466	51	509027	オレイン酸(トリエチレングリコール・プロピレングリコール)		オレイン酸(トリエチレングリコール・PG)	本品は、オリーブ油とトリエチレングリコール及びプロピレングリコールとのエステル交換反応によって得られるものであり、本品は、主としてトリエチレングリコールのオレイン酸モノエステル及びジエステル並びにプロピレングリコールのオレイン酸モノエステル及びジエステルからなる。
467	51	106709	オレイン酸ナトリウム		オレイン酸Na	本品は、主として「オレイン酸」のナトリウム塩からなる。
468	51	523057	オレイン酸フィステリル			本品は、主として「オレイン酸」と「フィステロール」のエステルからなる。
469	51	501032	オレイン酸プロピレングリコール	モノオレイン酸プロピレングリコール	オレイン酸PG	本品は、主として、「オレイン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
470	51	507022	オレイン酸ポリオキシエチレンソルビット(4OE. O.)		オレイン酸POE(40)ソルビット	本品は、主としてポリオキシエチレン・ソルビットのオレイン酸エステルであり、酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
471	51	540028	オレイン酸・リノール酸・リノレン酸混合物			本品は、植物油より得られた液状の脂肪酸で、主としてオレイン酸、リノール酸、リノレン酸よりなる。
472	51	503030	オレオイル加水分解コラーゲン		オレオイル水解コラーゲン	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「オレイン酸」との縮合物である。
473	51	503031	オレオイルザルコシン			本品は、主として「オレイン酸」とN-メチルグリシンを縮合したものである。
474	99	999999	N-オレオイルフィトスフィンゴシン		オレオイルフィトスフィンゴシン	本品は酵母(Saccharomyces)の一種である Pichia 種の代謝産物を加熱熟過することにより無菌処理して得たフィトスフィンゴシンをオレイン酸でアシル化し、主としてN-オレイルフィトスフィンゴシン(C36H71NO4:分子量582.0)からなる。構造式を別紙に示す。(略)
475	51	502028	オレオイルメチルタウリンナトリウム		オレオイルメチルタウリンNa	本品は、主としてオレオイルメチルタウリンナトリウムからなる。本品を定量するとき、オレオイルメチルタウリンナトリウム(C21H40NNaO4S:425.60)として90~110%含む。
476	51	502029	α-オレフィンオリゴマー			本品は、炭素数4~12の直鎖脂肪族α-オレフィンを重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素で、その重合度は3~6である。
477	51	104858	オレンジエキス			本品は、オレンジ Citrus aurantium Linne' var. dulcis Linne' (Rutaceae)の果実(生)から「プロピレングリコール」で抽出して得られるエキスである。
478	51	520254	オレンジ果汁			本品は、オレンジ Citrus aurantium Linne' var. dulcis (Rutaceae)の果実(生)から圧搾して得られる果汁である。
479	51	520255	オレンジフラワー水		オレンジ花水	本品は、オレンジ Citrus sinensis Osbeck (Rutaceae)の花から水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
480	1	002063	オレンジ油			本品は Citrus 属諸種植物(Rutaceae)の食用に供する種類の果皮を圧搾して得た精油である。
481	51	520256	オレンジラフィー油			本品は、ヒウチダイ科の魚類 Hoplostetbus atlanticus (通称オレンジラフィー)から得た油で、総炭素数34~42の不飽和高級アルコールと不飽和高級脂肪酸とのろうエステルの混合物からなる。
482	51	110808	オロツト酸	オロチン酸		本品を乾燥したものは、定量するとき、オロツト酸(C5H4N2O4・H2O:174.11)98.0%以上を含む。
483	99	999999	温泉水M			本品は、温泉水をろ過して製したものである。
484	51	101233	カーボンブラック			本品は、天然ガス又は液状炭化水素の不完全燃焼又は熱分解によって得られる炭素である。
485	99	999999	海水			本品は、富山県沖2000~3000mの海域において、深度300~350mで取水した海水で、定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl:58.44)29,000~33,000mg/L、硝酸性窒素(NQ ⁻ -N)0.20~0.38mg/Lを含む。
486	51	512007	海水乾燥物			本品は、海水より得た無機塩の混合物である。本品は、主として塩化ナトリウム、塩化マグネシウム及び塩化カリウムからなる。
487	51	532038	海水乾燥物(2)		海水乾燥物-2	本品は、海水を濃縮して得られる無機物で、主として塩化ナトリウムを含み、他に塩化カルシウム、硫酸マグネシウム等を含む。
488	51	522022	海藻エキス(1)	褐藻エキス(2)	海藻エキス-1、褐藻エキス-2	本品は、褐藻類(Phaeophyta)の全藻又はめかぶ(孢子葉又は成実葉をいう。)から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「グリセリン」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアミノ酸を含む。
489	51	522023	海藻エキス(2)	褐藻エキス	海藻エキス-2	本品は、褐藻類(Phaeophyta)の全藻から塩化ナトリウム溶液で抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアルギン酸からなる。
490	51	522024	海藻エキス(3)		海藻エキス-3	本品は、褐藻類に属するコンブ属(Laminaria)及び紅藻類に属するイギス属(Ceramium)の全藻から水にて抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアルギン酸及びカラギーナンよりなる。
491	51	522025	海藻エキス(4)		海藻エキス-4	本品は、褐藻類(Phaeophyta)、紅藻類(Rhodophyta)及び緑藻類(Chlorophyta)の全藻から1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
492	51	532283	海藻エキス(5)	紅藻エキス	海藻エキス-5	本品は、紅藻類(Rhodophyta)の全藻から水又はジプロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
493	99	999999	カイソウ抽出液			本品は褐藻類(Phaeophyta)に属するヒバマタ科(Fucaceae)ヒバマタ属(Fucus)の植物の1,3-ブチレングリコール水溶液による抽出液である。
494	51	522026	海藻末(1)	褐藻末	海藻末-1	本品は、褐藻類(Phaeophyta)の全藻の粉末である。
495	51	522027	海藻末(2)	紅藻末	海藻末-2	本品は、紅藻類(Rhodophyta)の全藻の粉末である。
496	99	999999	ガイヨウエキス			本品はガイヨウ(艾葉):ヨモギ Artemisia princeps Pampanini (Compositae)の茎:を精製水にて抽出して得られた軟エキスである。
497	51	001193	カオリン			本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムである。
498	51	001194	カカオ脂			本品は、カカオ Theobroma cacao Linne' (Sterculiaceae)の種子から得た脂肪である。
499	51	505044	カキエキス			本品は、マガキ Ostrea gigas Thunberg (Ostreidae)の身から水にて抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
500	51	523058	カキタンニン		柿タンニン	本品は、カキノキ <i>Diospyros kaki</i> Thunberg (Ebenaceae) の果実より得られる柿渋液から得たタンニンである。
501	51	523063	カキ葉末		柿葉末	本品は、カキノキ <i>Diospyros kaki</i> Thunberg (Ebenaceae) の葉の粉末である。
502	51	523059	架橋型シリコーン末			本品は、 α 、 ω -ジビニルジメチルポリシロキサン、メチルシロキサン・ジメチルシロキサン・メチルハイドロジェンシロキサン・トリメチルシロキサン共重合体及び「メチルポリシロキサン」からなるシロキサン結合を骨格とした重合体である。
503	51	532039	架橋型シリコーン末(2)		架橋型シリコーン末-2	本品は、 α 、 ω -ジビニルジメチルポリシロキサン、メチルシロキサン・ジメチルシロキサン・メチルハイドロジェンシロキサン・トリメチルシロキサン共重合体からなるシロキサン結合を骨格とした重合体である。
504	51	532040	架橋型ゼラチン	硬化ゼラチン		本品は、「ゼラチン」をグルタルアルデヒドにより架橋したものである。
505	51	510013	架橋型ポリアクリル酸ナトリウム		架橋型ポリアクリル酸Na	本品は、アクリル酸及びアクリル酸ナトリウムを重合させて得られる部分架橋型の共重合体である。
506	51	532041	架橋型ポリアクリル酸ナトリウム(2)	アクリル酸重合体ナトリウム塩	架橋型ポリアクリル酸Na-2、アクリル酸重合体Na塩	本品は、主としてアクリル酸ナトリウムをエチレングリコールジグリシジルエーテルで架橋させて得られる非水溶性の架橋型の共重合体である。
507	51	532042	架橋型メチルフェニルポリシロキサン(2)		架橋型メチルフェニルポリシロキサン-2	本品は、メチルハイドロジェンポリシロキサンとビニルメチルフェニルポリシロキサンから得られた架橋型メチルフェニルポリシロキサンである。
508	51	523061	架橋型メチルポリシロキサン		架橋型ジメチコン	本品は、メチルハイドロジェンポリシロキサンとメチルビニルポリシロキサンを付加重合して得たシロキサン結合を骨格として架橋した構造を有するメチルポリシロキサンである。
509	51	523062	架橋ポリスチレン	スチレン・ジビニルベンゼン共重合体	スチレン・DVB共重合体	本品は、スチレンをジビニルベンゼンで架橋したポリスチレンからなる。
510	51	523064	加水分解イカスミエキス		水解イカスミエキス	本品は、コウイカ目 Sepioidea 及びツツイカ目 Teuthoidea のスミから水で抽出して得られたエキスを酵素で加水分解したもので、「エタノール」及び「1, 3-ブチレングリコール」を含む。
511	51	523065	加水分解ウシ血清液	牛血清分解液	水解牛血清液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の血清を酸及び酵素で加水分解して得られたものをグリセリンで抽出したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.25~0.55%を含む。
512	51	523066	加水分解ウシ赤血球除たん白液		水解牛赤血球除たん白液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の赤血球を加水分解し、除たん白して得たものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.35~0.65%を含む。
513	51	520270	加水分解エラスチン		水解エラスチン	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の項韌帯を加水分解して得られるペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)12.5~17.0%を含む。
514	51	522028	加水分解エラスチン液		水解エラスチン液	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の項韌帯を加水分解して得られるペプチドで、通常、水、「エタノール」又はこれらの混液を含む。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)を表示量の90.0~110.0%含む。
515	51	522029	加水分解カゼイン		水解カゼイン	本品は、カゼインを加水分解して得られるポリペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として11.0~14.0%を含む。
516	51	520275	加水分解カゼインナトリウム		水解カゼインNa	本品は、カゼインを加水分解して得られるペプチドのナトリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し窒素(N:14.01)11.7~16.0%を含む。
517	51	532284	加水分解カロペプチド		水解カロペプチド	本品は、オットセイ <i>Callorhinus ursinus</i> (Otariidae) の骨格筋をたん白分解酵素で分解した後、「エタノール」で抽出し、更に濃縮した後、「ブドウ糖」を添加したものである。本品は、定量するとき、ペプチドとして90.0%以上を含む。
518	51	503033	加水分解ケラチン液		水解ケラチン液	本品は、ケラチンたん白質の加水分解物の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.35~3.6%を含む。
519	51	523068	加水分解ケラチンエチル液		水解ケラチンエチル液	本品は、ケラチンを加水分解したもののエチルエステルの「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)3.5~11.0%を含む。
520	51	522030	加水分解ケラチン末		水解ケラチン末	本品は、ケラチンたん白質の加水分解物の粉末である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として7%以上を含む。
521	51	532043	加水分解酵母	加水分解酵母たん白	水解酵母、水解酵母たん白	本品は、酵母 <i>Candida utilis</i> を酸、アルカリ、酵素をそれぞれ単独或いは組合せて加水分解して得られるもの又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対して、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
522	51	532044	加水分解コムギたん白液		水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を酵素で加水分解して得られたものの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.8~3.8%を含む。
523	51	523069	加水分解コムギ末		水解小麦末	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne' (Gramineae) の種子を加水分解して得られる水溶性成分の乾燥粉末である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)8.0~18.0%を含む。
524	51	540191	加水分解コラーゲン・N-ミスチルアラニ		水解コラーゲン・ミスチルアラニン縮	本品は、主として、加水分解コラーゲンとN-ミスチルアラニンとの縮合物からなる。本品を乾燥したものは、定

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ン縮合物		合物	量するとき、窒素(N:14.01)9.7~11.9%を含む。
525	51	522031	加水分解コラーゲン液		水解コラーゲン液	本品は、主としてウシ <i>Bos taurus</i> Linne ^{var.domesticus} Gmelin (Bovidae) 又は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne ^{var.domesticus} Gray (Suidae) の骨、皮を酸、アルカリ、酵素それぞれ単独あるいは組合せの存在下で加水分解して得られるコラーゲンたん白質加水分解物又はその塩の水溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、有機性固形分に対し窒素(N:14.01)9.5~21.0%を含む。
526	51	532180	加水分解コラーゲン液(2)		水解コラーゲン液-2	本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne ^{var. Domesticus} Gmelin (Bovidae) の皮膚を酵素加水分解したものに「濃グリセリン」を加えたものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.35~0.50%を含む。
527	51	540192	加水分解コラーゲン液(3)	たん白加水分解液	水解コラーゲン液-3	本品は、主として牛又は豚の骨、皮を酸、アルカリ、酵素をそれぞれ単独あるいは組み合わせて用いて加水分解して得られるコラーゲントたん白加水分解物又はその塩を「エタノール」、「精製水」又はこれらの混液に溶かしたものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 3.5 ~ 8.0%を含む。
528	51	512008	加水分解コラーゲンエチル		水解コラーゲンエチル	本品は、主としてコラーゲントたん白質加水分解物のエチルエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として 12.0~18.0%含む。
529	51	503035	加水分解コラーゲンエチル液	ポリペプチドエチルエステル	水解コラーゲンエチル液	本品は、コラーゲンを加水分解したもののエチルエステルの 25%エタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として 2.3~4.0%を含む。
530	51	507023	加水分解コラーゲン・樹脂酸縮合物		水解コラーゲン・樹脂酸縮合物	本品は、コラーゲンを加水分解したものとアビエチン酸との縮合物のエタノール溶液である。本品を定量するとき窒素(N:14.01)として 1.2%以上を含む。
531	51	509029	加水分解コラーゲン・樹脂酸縮合物・アミノメチルプロパンジオール液		水解コラーゲン・樹脂酸縮合物AMPD液	本品は、コラーゲンを加水分解したものと樹脂酸との縮合物の「2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール」の塩のアルコールと水の混液(2:1)溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 1.5~2.5%を含む。
532	51	540193	加水分解コラーゲンヘキサデシル液		水解コラーゲンヘキサデシル、加水分解コラーゲンヘキサデシル	本品は、コラーゲンを加水分解したものとヘキサデシルアルコールとのエステルのエタノール溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として 1.5~2.3%を含む。
533	51	503034	加水分解コラーゲン末	加水分解コラーゲン塩酸塩、加水分解蛋白質、加水分解プロテイン、コラーゲン加水分解物、ポリペプチド	水解コラーゲン末、コラーゲン水解末	本品は、主として牛又は豚の骨、皮を酸、アルカリ、酵素それぞれ単独あるいは組合せの存在下で加水分解して得られるコラーゲントたん白質加水分解物又はその塩である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 12.0~22.0%を含む。
534	51	507083	加水分解コンキオリン液		水解コンキオリン液、パールカルクエキス	本品は、真珠母貝(アコヤガイ) <i>Pinctada fucata</i> の真珠層に含まれる硬たん白質であるコンキオリンを加水分解したものの水溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として 7.0~18.0%を含む。
535	51	520284	加水分解シルク液		水解シルク液	本品は、絹繊維を酸又はアルカリ存在下で加水分解して得られるペプチドからなり、通常、水又は希エタノールの溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 0.015~2.5%を含む。
536	51	523071	加水分解シルクエチル液		水解シルクエチル液	本品は、「加水分解シルク末」をエチルエステルとしたものの「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)7.0~16.0%を含む。
537	51	520286	加水分解シルク末		水解シルク末	本品は、絹繊維たん白質を加水分解して得られるものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.0~18.0%を含む。
538	51	523344	加水分解ゼラチン液		水解ゼラチン液	本品は、「ゼラチン」を加水分解して得られるポリペプチドの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 3.6~4.2%を含む。
539	51	520287	加水分解ゼラチン末		水解ゼラチン末	本品は、ゼラチンを加水分解して得たものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0~18.0%を含む。
540	51	532226	加水分解トウモロコシたん白		水解コーンたん白	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^(Gramineae) の種子のたん白を、酸、アルカリ、酵素、それぞれ単独あるいは組合せの存在下で、加水分解して得られるもの、又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
541	51	523072	加水分解トサカ液		水解トサカ液	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) のトサカをたん白分解酵素で加水分解して得た液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.25~0.40%を含む。
542	51	532225	加水分解バレイショたん白		水解バレイショたん白、水解ジャガイモたん白	本品は、バレイショ <i>Solanum tuberosum</i> Linne ^(Solanaceae) の根茎のたん白を、酸、アルカリ、酵素、それぞれ単独あるいは組合せの存在下で、加水分解して得られるもの、又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
543	51	532045	加水分解ブタフィブロネクチン	ブタフィブロネクチン分解物	水解ブタフィブロネクチン	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne ^{var. domesticus} Gray (Suidae) の血漿より得られたフィブロネクチンを酵素により加水分解したものである。分子量分布は、10000~440000 である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~5.0%及びたん白質 20~27%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
544	51	523073	加水分解卵殻膜		水解卵殻膜	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)の卵殻膜をアルカリ又は酵素により加水分解して得たものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)7.0%以上を含む。
545	51	520289	加水分解卵白	卵白ペプチド	水解卵白	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)の卵白を酵素で加水分解して得たものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)9.0~15.0%以上を含む。
546	51	101267	カゼイン			本品は、主として牛乳から得られるたん白である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)14.7~16.0%を含む。
547	51	106628	カゼインナトリウム		カゼインNa	本品は、「カゼイン」に「水酸化ナトリウム」を加えて得られる可溶性たん白質である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として14.5~16.0%を含む。
548	51	103285	カッコンエキス			本品は、クズ Pueraria lobata Ohwi (Leguminosae)の周皮を除いた根を「無水エタノール」で抽出して得られるエキスである。
549	51	520291	活性白土			本品は、天然ケイ酸アルミニウムに硫酸を加えて加熱した後、水洗、乾燥したものである。
550	51	103338	カノコソウエキス			本品は、カノコソウ Valeriana fauriei Briquet 又はその他の近縁植物 (Valerianaceae)の根及び根茎から水にて抽出したエキスである。
551	51	520297	カバノキ末			本品は、ヨーロッパシラカバ Betula pendula Linne (Betulaceae)の樹皮を除いた幹を粉砕したものである。
552	51	532285	(カプリル・カプリン酸)ヤシ油アルキル			本品は、主としてカプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸と「ヤシ油アルコール」とのエステルである。
553	51	532286	(カプリル酸・カプリン酸・ヤシ油脂肪酸)グリセリル			本品は、主として、カプリル酸、カプリン酸及びヤシ油脂肪酸からなる混合脂肪酸のモノ、ジ、及びトリグリセリドからなる。
554	51	504100	カプリル酸セチル			本品は、主としてカプリル酸と「セタノール」とのエステル(C23H46O2:368.64)からなる。
555	99	999999	N-カプリロイルアシルグリシン			本品は、主として「グリシン」をカプリル酸でアシル化したものからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)5.5~7.5%を含む。
556	51	511014	カプリン酸			本品は、主としてカプリン酸(C10H20O2:172.26)からなる。
557	51	508030	カプリン酸ジエタノールアミド			本品は、主として「カプリン酸」と当量の「ジエタノールアミン」からなる酸アミド(C14H29NO3:259.38)である。
558	51	520301	ガマエキス			本品は、ヒメガマ Typha angustifolia Linne 又はその他同属植物 (Typhaceae)の花穂から水、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
559	99	999999	紙			本品はパルプ及びポリエステルを主原料とし、湿式抄紙法にて抄紙され、物理的にしわづけ加工された紙を2枚にあわせ、表面をメッシュ状のエンボス加工して出来たシートである。
560	99	999999	カミツレエキス			本品はカミツレ: Matricaria chamomilla L. (Compositae)の花::の流エキスにデキストリンを加えて乾燥し粉末化したものである。
561	99	999999	カミツレエキス散			本品はカミツレ: Matricaria chamomilla の花:を30v/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
562	99	999999	カミツレエキス散			本品は別添規格((2)-1)カミツレ (Matricaria Chamomilla Linne) (Compositae)の頭花の水抽出液にデキストリンを添加して、乾燥粉末としたもので、カミツレエキス60.0~73.3%を含む。
563	99	999999	カミツレ抽出液			本品は、カミツレ Matricaria chamomilla Linne ()。 (Compositae)の花の30w/v%エタノール溶液による抽出液である。
564	99	999999	カミツレ抽出液		カミツレエキス	本品はカミツレ Matricaria Chamomilla L. (Compositae)の花を30v/v%エタノールにて抽出したものである。
565	99	999999	カミツレ抽出液 LP			本品はカミツレ: Matricaria chamomilla L. (Compositae)の花:の30v/v%エタノール抽出物を流動パラフィンにて溶かしたものである。
566	51	103309	カミツレ末			本品は、カミツレ Matricaria chamomilla L. (Compositae)の頭状花を乾燥し粉末にしたものである。
567	51	103310	カミツレ油			本品は、カミツレ Matricaria chamomille L. (Compositae)の花及び茎を水蒸気蒸留して得られる精油である。
568	51	532046	カミツレ油(2)		カミツレ油-2	本品は、カミツレ Matricaria chamomilla Linne (Compositae)の花を水蒸気蒸留して得られる精油を更に分子蒸留して得られるものである。
569	51	520304	カモミラエキス(1)		カモミラエキス-1	本品は、カミツレ Matricaria chamomilla Linne (Compositae)の花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、若しくは1%尿素含有エタノール溶液又は1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
570	51	503038	カモミラエキス(2)		カモミラエキス-2	本品は、カミツレ Matricaria chamomilla L. (Compositae)の花よりメタノール溶液にて抽出した後、メタノールを減圧蒸留して除去しプロピレングリコール溶液に溶解して得られるエキスである。
571	99	999999	カモミラエキス末			本品は、粧配規カモミラエキス(1)を減圧濃縮したものに粧原規白糖を加え、粉末にしたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
572	51	510016	カモミラ水			本品は、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)の花を、水蒸気蒸留によって得られた水層である。
573	51	109190	カラギーナン			本品は、紅藻類(Rhodophyceae)から抽出し、精製した炭水化物で、主としてガラクトース及びその硫酸エステルのナトリウム塩、カルシウム塩からなる。
574	51	523074	ガラス末			本品は、ガラス組成成分を融解し、冷後、微細粉末としたものである。本品は、主として二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)からなる。
575	51	520306	カラスムギエキス			本品は、カラスムギ <i>Avena sativa</i> Linne [^] (Gramineae)の種子から1、3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
576	51	002085	カラミン			本品は、少量の酸化第二鉄を含む酸化亜鉛である。本品を強熱したものは、定量するとき、酸化亜鉛(ZnO:81.41)98.0%以上を含む。
577	51	101214	カラメル			本品は、ブドウ糖、白糖、転化糖、水アメ、デンプン加水分解物、糖みつ又はその他の糖類などの炭水化物を熱処理するか、あるいは少量の酸、アルカリ等を加え熱処理して得られる物質である。
578	51	504102	カラヤガム			本品は、 <i>Sterculia urens</i> の木の樹脂より採取したガム質である。
579	51	507027	カリウム含有石けん用素地		K含有石けん用素地、K含有石けん素地	本品は、主として脂肪酸のナトリウム塩及びカリウム塩からなる。
580	51	532287	カリウム石けん用素地		K石けん用素地、K石けん素地	本品は、主として脂肪酸のカリウム塩からなる。
581	51	532288	カリウム石けん用素地(2)		K石けん用素地-2、K石けん素地-2	本品は、主として「ヤシ油」のけん化物と「ミスチン酸」の混合物のカリウム塩である。
582	51	532246	カリンエキス			本品は、カリン <i>Chaenomeles sinensis</i> Koehne (Rosaceae)の果実からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
583	51	507028	軽石粉末			本品は、天然に産する軽石を精製して粉末にしたものであり、主としてケイ酸アルミニウム、ケイ酸マグネシウム、ケイ酸ナトリウム及びケイ酸カルシウムよりなる。
584	51	002087	カルナウバロウ			本品は、カルナウバヤシ <i>Copernicia cerifera</i> Mart (Palmae)の葉及び葉柄から得たロウを精製したものである。
585	51	503039	カルベノキノロン二ナトリウム	3-サクシニルオキシグリチルレチン酸二ナトリウム	カルベノキノロン2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、カルベノキノロン二ナトリウム(C ₃₄ H ₄₈ Na ₂ O ₇ :614.72)95%以上を含む。
586	51	101243	カルボキシビニルポリマー			本品は、酸性高分子化合物で、主としてアクリル酸の重合したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、カルボキシル基(COOH:45.02)57.7~63.4%を含む。
587	51	508032	カルボキシビニルポリマーカルシウム・カリウム塩		カルボキシビニルポリマーCa・K塩	本品は、「カルボキシビニルポリマー」のカルシウム及びカリウムの塩で、水を含むゲル状物質である。
588	51	511015	カルボキシメチルキチン液			本品は、カニ目(Brachyura)の甲殻を形成する多糖体キチンをカルボキシメチル化したものの水溶液である。
589	51	001202	カルボキシメチルセルロースナトリウム		カルボキシメチルセルロースNa、CMC・Na	本品は、セルロースの多価カルボキシメチルエーテルのナトリウム塩である。
590	51	511016	カルボキシメチルデキストランナトリウム		カルボキシメチルデキストランNa	本品は、デキストランの多価カルボキシメチルエーテルのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、ナトリウム(Na:22.99)6.5~9.5%を含む。
591	51	101254	カルミン			本品は、エンジムシ <i>Coccus cacti</i> Linne [^] (Coccidae)の雌体から得たカルミン酸を主とする赤色色素のアルミニウム又はアルミニウム・カルシウムのレーキである。
592	51	520314	カルミン・コンジョウ被覆雲母チタン		カルミン・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「カルミン」と「コンジョウ」で被覆したものである。
593	51	520316	カルミン被覆雲母チタン		カルミン被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」の表面を「カルミン」で被覆したものである。
594	51	100836	β-カロチン			本品を乾燥したものは、定量するとき、β-カロチン(C ₄₀ H ₅₆ :536.87)98.0%以上を含む。
595	51	523075	カロチン植物油懸濁液			本品は、「パーム油」より分離したカロチンを植物油に懸濁したものである。本品は、定量するとき、カロチンを30~34%含む。
596	51	520317	カロット液汁			本品は、ニンジン <i>Daucus carota</i> Linne [^] (Umbelliferae)の根(生)を圧搾して得られる液汁である。
597	51	520318	カロットエキス			本品は、ニンジン <i>Daucus carota</i> Linne [^] (Umbelliferae)の根(生)からプロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
598	51	520320	カワラヨモギエキス			本品は、カワラヨモギ <i>Artemisia capillaris</i> Thunb. (Compositae)の頭花から、水、エタノール溶液又は1、3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
599	51	507030	還元ハチミツ液		水添ハチミツ液	本品は、「ハチミツ」を水素添加して得たものの約36%エタノール溶液である。
600	51	109974	還元ラノリン		水添ラノリン	本品は、ラノリンを直接水素添加して得られたものである。
601	51	509030	環状シリコン樹脂			本品は、主としてデカメチルシクロペンタシロキサン及びオクタメチルシクロテトラシロキサンの混合物に微粉状

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						の二酸化ケイ素を配合したものである。
602	51	109975	含水ケイ酸			本品を強熱したものは、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)96%以上を含む。
603	51	507031	含水無晶形酸化ケイ素			本品を強熱したものは定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)90.0~96.8%を含む。
604	51	500112	カンゾウエキス		甘草エキス	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne [´] var. <i>Glandulifera</i> Regel et Herder, <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher (Leguminosae) 又はその他同属植物の根及び根茎から浸出、濃縮して得たエキスである。
605	51	523348	乾燥カルボキシメチルセルロースナトリウム		乾燥カルボキシメチルセルロースNa	本品は、食添カルボキシメチルセルロースナトリウムを約 105℃で 4~8 時間乾燥したものである。
606	51	504106	乾燥クロレラ			本品は、球状単細胞緑藻であるクロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae)を凍結乾燥したものである。
607	51	500108	感光素101号		感光素101	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 101 号(C38H61I2N3S3:909.91)97.0%以上を含む。
608	51	110452	感光素201号		感光素201	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 201 号(C23H39IN2S2:534.60)97.0%以上を含む。
609	51	500110	感光素301号		感光素301	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 301 号(C15H17BrIN3:446.12)97.0%以上を含む。
610	51	500111	感光素401号		感光素401	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 401 号(C13H15IN20:342.18)97.0%以上を含む。
611	1	002253	乾燥炭酸ナトリウム		乾燥炭酸Na	本品を乾燥したものは定量するとき、炭酸ナトリウム(Na ₂ CO ₃)99.0%以上を含む。
612	51	532047	カンゾウ抽出液		甘草抽出液	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher, <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne [´] 又はその他同属植物(Leguminosae)の根を水及びエタノールの混液で抽出したものであり、主としてフラボノイドを含む。
613	51	520321	カンゾウ抽出末		甘草抽出末	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne [´] 又は <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher (Leguminosae)の根及び根茎から水で抽出して得られるエキスである。本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸(C42H62O16:822.93)として 12.0~50.0%を含む。
614	51	523349	乾燥トウモロコシデンプン		乾燥コーンデンプン、乾燥コーンスターチ	本品は、日局トウモロコシデンプンを約 105℃で 4~8 時間乾燥したものである。
615	51	523076	カンゾウフラボノイド	油溶性甘草エキス	甘草フラボノイド	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne [´] 及び <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 又はその他同属植物(Leguminosae)の根及び根茎から「無水エタノール」にて抽出後、濃縮し、更に「酢酸エチル」にて抽出後、減圧乾燥して得られるエキスである。
616	51	001678	乾燥硫酸アルミニウムカリウム	焼ミョウバン	乾燥硫酸Al・K	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸アルミニウムカリウム[AlK(SO ₄) ₂ :258.21]96.5%以上を含む。
617	51	001694	乾燥硫酸ナトリウム		乾燥硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)99.0%以上を含む。
618	51	002092	カンタリスチンキ		マメハンミョウエキス	本品は、マメハンミョウ <i>Epicauta gorhami</i> Marseul (Meloidae)を乾燥したものをエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品 1000mL は、マメハンミョウを乾燥し、粗末にしたもの 100g に「エタノール」約 600mL を加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅうぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を「エタノール」少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2 日間放置した後、ろ過し、更に「エタノール」を加えて全量を 1000mL として製する。
619	51	002095	カンテン末			本品は、テングサ(マクサ) <i>Gelidium amansii</i> Lamouroux, その他同属植物(Gelidiaceae)又は諸種紅そう類(Rhodophyta)から得た粘液を凍結脱水したものを粉末としたものである。
620	51	001207	含糖ペプシン			本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne [´] var. <i>domestica</i> Gray (Suidae) 又はウシ <i>Bos taurus</i> Linne [´] var. <i>domestica</i> Gmelin (Bovidae)の胃粘膜から得たペプシンに乳糖を混和したものである。
621	51	001208	d-カンフル			本品は、クスノキ <i>Cinnamomum camphora</i> Linne [´] (Lauraceae)より得られるテルペンケンテンである。本品は、定量するとき、D-カンフル(C10H16O:152.23)95.0%以上を含む。
622	51	001209	dl-カンフル			本品は、定量するとき、dL-カンフル(C10H16O:152.23)95.0%以上を含む。
623	51	523077	含硫ケイ酸アルミニウム		含硫ケイ酸Al	本品は、主としてイオウを含んだ含水ケイ酸アルミニウムからなる。
624	51	505049	キイチゴエキス			本品は、キイチゴ <i>Rubus idaeus</i> L. の果実から「1, 3-ブチレングリコール」にて抽出し、ろ過して得られるエキスである。
625	51	520327	キイチゴ果汁			本品は、キイチゴ <i>Rubus idaeus</i> Linne [´] (Rosaceae)の果実(生)を圧搾して得られる果汁である。
626	51	520328	キウイエキス			本品は、キウイ <i>Actinidia chinensis</i> Planch (Actinidiaceae)の果実(生)から水で抽出して得られるエキスである。
627	51	109058	キサントタンガム			本品は、炭水化物をキサントモナス属菌(<i>Xanthomonas campestris</i>)を用いて発酵させて得られた多糖類である。本品は、主としてD-グルコース、D-マンノース及びD-グルクロン酸のナトリウム、カリウム及びカルシウム塩からなる。
628	51	110856	キシリット		キシリトール	本品を乾燥したものは、定量するとき、キシリット(C5H12O5:152.15)98.0%以上を含む。
629	51	520330	キシロビオース混合物			本品は、主としてキシロースがβ-1, 4 結合で 2 個重合した二糖類であるキシロビオースからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
630	51	520333	キチン末			本品は、ズワイガニ <i>Chionectes opilio</i> O.Fabricus 又はベニズワイガニ <i>Chionectes japonicus</i> Rathbun (Majidae)の甲殻から得られたキチンの粉末である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として6.5~8.5%を含む。
631	51	523078	キトサン			本品は、カニ類 <i>Brachyura</i> 又はエビ類 <i>Macrura</i> の甲殻に含まれるキチンを脱アセチル化することにより得られるアミノ酸多糖体である。
632	51	523079	キトサン・dl-ピロリドンカルボン酸塩	ピロリドンカルボン酸キトソニウム	キトサン・dl-PCA塩、PCAキトソニウム	本品は、キトサンと「dl-ピロリドンカルボン酸」との塩である。通常、「イソプロパノール」を含む。本品を乾燥したものは定量するとき、窒素(N:14.01)6.5~8.5%を含む。
633	51	520334	キナエキス			本品は、キナノキ <i>Cinchona succirubra</i> Pavon et Klotzch 又はその他同属植物(Rubiaceae)の樹皮から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
634	51	523080	揮発性イソパラフィン			本品は、イソブテンとn-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は、2~5 である。
635	51	500120	キャンデリラロウ			本品は、 <i>Euphorbia cerifera</i> Alcocer, <i>Euphorbia antisyphilitica</i> Zuccarini, <i>Pedilanthus pavonis</i> Boissier (Euphorbiaceae) 等の茎から得たロウを精製したものである。
636	51	523081	キューカンバーエキス(1)		キュウリエキス-1、胡瓜エキス-1、キューカンバーエキス-1	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae)の果実(生)から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
637	51	523082	キューカンバーエキス(2)		キュウリエキス-2、胡瓜エキス-2、キューカンバーエキス-2	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae)の果実(生)から水にて抽出して得られるエキスである。
638	51	520336	キューカンバー液汁		キュウリ液汁、胡瓜液汁	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae)の果実(生)を圧搾して得た液汁である。
639	51	520338	キューカンバー油		キュウリ油、胡瓜油	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae)の種子から得た脂肪油である。
640	51	002107	牛脂			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)から得た脂肪である。
641	51	520339	牛脂脂肪酸			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の脂肪から得られる脂肪酸である。
642	51	507033	牛脂脂肪酸モノエタノールアミド		牛脂脂肪酸エタノールアミド	本品は、牛脂脂肪酸と当量のモノエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
643	51	110457	吸着精製ラノリン			本品は、活性白土を用いて「ラノリン」より極性不純物を除去して得られる非極性のラノリンワックスである。
644	51	520347	牛乳			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)の乳汁を加熱殺菌処理したものである。
645	51	511019	牛乳糖たん白			本品は、牛乳より得られたカゼインKをレンニンで加水分解して得られる糖たん白を精製して得られるものである。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として3.0~6.0%を含む。
646	51	500121	強アンモニア水			本品は、定量するとき、アンモニア(NH ₃ :17.03)28.0~30.0%を含む。
647	51	520348	キョウニンエキス			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne', アンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' var. ansu Maximowicz 又はその近縁植物(Rosaceae)の種子から30%エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
648	51	100610	キョウニン油			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne', アンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' var. ansu Maximowicz 又はその近縁植物(Rosaceae)の種子から得られる脂肪油である。
649	51	507034	魚鱗箔(1)		魚鱗箔-1	本品は、グアニンを主成分とする天然の魚鱗箔を「ニトロセルロース」及び「酢酸ブチル」、「イソプロパノール」、酢酸アミル、「酢酸エチル」、「酢酸イソアミル」、乳酸ブチルあるいはそれらの混液に分散させたものである。
650	51	507035	魚鱗箔(2)		魚鱗箔-2	本品は、グアニンを主成分とする天然の魚鱗箔を「イソプロパノール」、「エタノール」、水、又はそれらの混液に分散したもの及び(又は)「メチルセルロース」、更に酢酸ポリオキシエチレンラノリンアルコール(10E. O.)、「モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)」又は「モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(6E. O.)」、「(20E. O.)」を含む。
651	99	999999	キラヤエキス			本品はキラヤ <i>Quillaja saponaria</i> Molina (Rosaceae)の樹皮の水抽出物を精製し、濃縮した後、30%1,3-ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
652	99	999999	桐葉エキス			本品は別添規格(1)桐葉を熱水にて抽出して得られた成分を蒸発残留物が2.5%になるように50v/v%エタノールに溶かしたものである。本品を定量するとき、100ml中にクエルシトリンを14~26mgを含む。
653	51	520350	金雲母			本品は、天然に産する含水ケイ酸マグネシウムカリウムである。
654	99	999999	キンギンカエキス			本品は、スイカズラ <i>Lonicera japonica</i> thunberg (Caprifoliaceae)の花(キンギンカ)を50vol%エタノール溶液にて抽出して得られた成分を乾燥し、粉末としたものである。
655	51	103521	金コロイド液			本品は、塩化金水溶液を還元して得られるもので、「エタノール」を含む場合がある。本品を定量するとき、金(Au:196.97)を表示量の98.0~105.0%含む。
656	51	523083	金・シルク末混合物			本品は、金と「シルク末」を混合処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						13.0～20.0%及び金(Au:196.97)0.3～3.0%を含む。
657	51	103518	金箔			本品は、定量するとき、金(Au:196.97)94.4%以上を含む。
658	51	520357	グァーガム			本品は、グァーCyamopsis tetragonolobus (Leguminosae)の種子の胚乳から得られる多糖類である。
659	51	108770	グアイアズレン			本品は、Guaiacum officinale Linne´又は、Guaiacum sanctum Linne´ (Zygophyllaceae)の精油から得たグアイオールを脱水素して製したもので、主としてグアイアズレン(C15H18:198.30)を含む。
660	51	500591	グアイアズレンスルホン酸エチル			本品は、定量するとき、グアイアズレンスルホン酸エチル(C17H22O3S:306.42)99.0～102.0%を含む。
661	51	110183	グアイアズレンスルホン酸ナトリウム		グアイアズレンスルホン酸Na、グアイアズレンスルホン酸塩	本品は、主としてグアイアズレン-3-スルホン酸ナトリウムからなる。
662	51	504116	グアニン			本品は、主として2-アミノ-6-ヒドロキシプリンからなる。
663	51	523084	グァノシン懸濁液			本品は、グァノシン(C10H13N5O5:283.26)を0.1%カルボキシビニルポリマー溶液に分散させたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として、7.0～12.0%を含む。
664	51	520355	クインスシード			本品は、マルメロ Cydonia vulgaris Pers (Rosaceae)の種子である。
665	51	520356	クインスシードエキス			本品は、マルメロ Cydonia vulgaris Pers (Rosaceae)の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
666	51	001215	クエン酸			本品は、定量するとき、クエン酸(C6H8O7・H2O:210.14)99.5%以上を含む。
667	51	502039	クエン酸アセチルトリブチル		アセチルクエン酸トリブチル	本品は、アセチル化したクエン酸とブタノールとのトリエステルである。
668	31	121513	クエン酸三カリウム		クエン酸3K	本品を乾燥物換算したものは、クエン酸三カリウム(C6H5K3O7=306.40)99.0～101.0%を含む。
669	51	532049	クエン酸トリ2-エチルヘキシル	クエン酸トリオクチル	クエン酸トリエチルヘキシル	本品は、主としてクエン酸と2-エチルヘキシルアルコールのトリエステル(C30H56O7:528.76)からなる。
670	51	532050	クエン酸トリ2-オクチルドデシル		クエン酸トリオクチルドデシル	本品は、クエン酸と2-オクチルドデカノールのトリエステル(C66H128O7:1033.72)からなる。
671	51	532251	クエン酸トリアルキル(12, 13)			本品は、主としてクエン酸と炭素数12及び13の分岐アルキル基を有するアルコールのトリエステルである。
672	51	532256	クエン酸トリアルキル(14, 15)			本品は主としてクエン酸と炭素数14及び15のアルキル基を有するアルコールのトリエステルである。
673	51	532048	クエン酸トリスセチル			本品は、主としてクエン酸とイソセチルアルコールのトリエステル(C54H104O7:865.40)からなる。
674	51	108905	クエン酸トリエチル			本品は、クエン酸とエタノールのトリエステルであり、定量するとき、クエン酸トリエチル(C12H20O7:276.29)98.0～102.0%を含む。
675	51	001219	クエン酸ナトリウム		クエン酸Na	本品は、「クエン酸」のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、クエン酸ナトリウム(C6H5Na3O7:258.07)99.0%以上を含む。
676	1	001219	クエン酸ナトリウム		クエン酸 Na	本品を乾燥したものは定量するとき、クエン酸ナトリウム(C6H5Na3O7:258.07)99.0%以上を含む。
677	51	520363	クイナッツ油			本品は、クイナキ Aleurites moluccana Willd. (Euphorbiaceae)の種子から得た脂肪油である。
678	99	999999	クジン抽出液		クジンエキス	本品は、日局クジン:クララ Sophora flavescens Aiton (Leguminosae)の根:から得られ成分を粧原基1,3-ブチレングリコールに溶かしたもので総アルカロイド(オキシマトリン C15H24O2N2:264.37)として0.1～0.5w/v%を含む。
679	51	540032	クチナシ青液		クチナシ青	本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実をエタノール溶液で抽出し、β-グルコシダーゼを作用させて得られる溶液である。
680	51	520365	クチナシエキス			本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実を、水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
681	51	508037	クチナシ黄			本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実から得られる黄色色素である。
682	51	509037	クチナシ色素処理シルクパウダー		クチナシ色素処理シルク末	本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の種子2kgを水80Lに一昼夜浸漬した後、1時間煮沸し、次いで、ろ過する。得られた溶液にシルクパウダー1kgを加えて煮沸した後、食添DL-リンゴ酸でpH4に調整してろ過し、得られた残留物を乾燥したものである。
683	51	520366	クマザサエキス			本品は、クマザサ Sasa veitchii (Carr.) Rehd. (Gramineae)の葉からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
684	51	500125	クマリン			本品は、主としてクマリン(C9H6O2:146.14)からなる。
685	51	532051	クミンエキス			本品は、クミン Cuminum cyminum Linne´ (Umbelliferae)の種子から、水にて抽出して得られるエキスである。
686	51	522032	クララエキス(1)		クララエキス-1	本品は、クララ Sophora flavescens Aiton (Laguminosae)の根をそのまま又は周皮の大部分を除いたものから、水、「エタノール」、「無水エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
687	51	522033	クララエキス(2)		クララエキス-2	本品は、クララ Sophora flavescens Aiton (Laguminosae)の根をそのまま又は周皮の大部分を除いたものから、「酢酸エチル」にて抽出した後、「酢酸エチル」を留去して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
688	51	504117	グリコール酸			本品は、定量するとき、グリコール酸(C2H4O3:76.05)98.0%以上を含む。
689	99	999999	グリコシルトレハロース・水添デンプン分解物混合溶液			本品は主としてマルトシルトレハロース、マルトデトライトール及びマルトトリトールからなる水溶液である。本品は定量するとき、換算した乾燥物に対しマルトシルトレハロース(C24H42O21:666.58)50.0~56.0%を含む。
690	99	999999	クリサンテルムインディカム抽出液			本品は Chrysanthellum indicum DC subsp.afroamericanum BL Turner,Compositae の茎、葉、花及び瘦果から、水、「エタノール」、「無水エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスを乾燥し、1,3-ブチレングリコールと水の混液に溶解し2%溶液としたものである。
691	51	502041	グリシルグリシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリシルグリシン(C4H8N2O3:132.12)98.5%以上を含む。
692	51	102546	グリシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリシン(C2H5NO2:75.07)98.0%以上を含む。
693	51	523086	グリセリル- α -モノアリアルエーテル		グリセリル- α -アリアルエーテル	本品は、主としてグリセリル- α -モノアリアルエーテル(C6H12O3:132.16)からなる。
694	51	001223	グリセリン			本品は、グリセリン(C3H8O3:92.09)84~87%を含む(比重による)。
695	31	004409	グリセリン脂肪酸エステル			本品は、脂肪酸とグリセリン又はポリグリセリンのエステル及びその誘導体である。本品には、グリセリン脂肪酸エステル、グリセリン酢酸脂肪酸エステル、グリセリン乳酸脂肪酸エステル、グリセリンクエン酸脂肪酸エステル、グリセリンコハク酸脂肪酸エステル、グリセリンジアセチル酒石酸脂肪酸エステル、グリセリン酢酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル及びポリグリセリン縮合リシノール酸エステルがある。
696	51	540033	グリセリンモノ2-エチルヘキシルエーテル		グリセリンエチルヘキシルエーテル、グリセリルエチルヘキシルエーテル	本品は、主としてグリセリンの2-エチルヘキシルエーテル(C11H24O3:204.31)である。
697	51	520371	グリセリンモノセチルエーテル	キミルアルコール	グリセリンセチルエーテル、グリセリルセチルエーテル	本品は、主としてグリセリンの α -モノセチルエーテルからなる。
698	51	102556	グリチルリチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸(C42H62O16:822.93)96.0~102.0%を含む。
699	51	500129	グリチルリチン酸ジカリウム		グリチルリチン酸2K	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸ジカリウム(C42H60K2O16:899.11)96.0~102.0%を含む。
700	51	109718	グリチルリチン酸モノアンモニウム		グリチルリチン酸アンモニウム	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸モノアンモニウム(C42H65NO16:839.96)96.0~102.0%を含む。
701	51	520372	α -グリチルリチン酸モノアンモニウム		α -グリチルリチン酸アンモニウム	本品は、 β -グリチルリチン酸モノアンモニウムをアルカリ処理によって α 化したものである。本品は、定量するとき、脱水した換算物につき、グリチルリチン酸モノアンモニウム(C42H65NO16:839.96)として96.0~102.0%を含み、 α 化率65%以上である。
702	51	107478	グリチルリチン酸三ナトリウム		グリチルリチン酸3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸三ナトリウム(C42H59Na3O16:888.88)95.0%以上を含む。
703	51	110102	β -グリチルレチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、 β -グリチルレチン酸(C30H46O4:470.68)97.0%以上を含む。
704	51	540034	グリチルレチン酸グリセリル		グリチルレチン酸グリセリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸グリセリン(C33H52O6:544.76)95.0~105.0%を含む。
705	51	500133	グリチルレチン酸ステアリル			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸ステアリル(C48H82O4:723.16)95.0~102.0%を含む。
706	51	504119	グリチルレチン酸ピリドキシン		ビタミンB6グリチルレチン酸エステル、ビタミンB6グリチルレチネート	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸(C30H46O4:470.68)として72.0~74.0%、ピリドキシン(C8H11NO3:169.18)として25.0~26.0%を含む。
707	51	501044	グルコサミン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコサミン(C6H13O5N:179.17)98.0%以上を含む。
708	99	999999	グルコシルヘスペリジン			本品はヘスペリジンに α -グルコシル転移酵素等を用いてグルコースを付加して得られたものである。本品は定量する時、グルコシルヘスペリジン(C34H44O20:772.71)95~115%を含む。
709	51	101374	グルコン酸クロルヘキシジン液		クロルヘキシジングルコン酸塩液	本品は、「クロルヘキシジン」の二グルコン酸塩の水溶液である。本品は定量するとき、グルコン酸クロルヘキシジン(C22H30Cl2N10·2C6H12O7:897.76)19.0~21.0w/v%以上を含む。
710	31	523088	グルコン酸銅		グルコン酸Cu	本品は、グルコン酸銅(C12H22CuO14)98.0~102.0%を含む。
711	51	106667	グルコン酸ナトリウム		グルコン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコン酸ナトリウム(C6H11NaO7:218.14)98.0%以上を含む。
712	99	999999	グルコン酸ナトリウム		グルコン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコン酸ナトリウム(C6H11O7·Na:218.2)98%以上を含む。
713	51	111602	グルタチオン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グルタチオン(C10H17N3O6S:307.32)98.0~102.0%を含む。
714	51	532184	L-グルタミン-L-リジン	γ -L-グルタミン-L- ϵ -L-リジン	グルタミンリジン	本品は、主としてL-グルタミン酸とL-リジンよりなるジペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、グルタミンリジン(C11H21N3O5:275.30)95.0%以上を含む。
715	51	540008	L-グルタミン酸・DL-アラニン液		グルタミン酸・DL-アラニン縮合物液	本品は、L-グルタミン酸とDL-アラニンの縮合物の70%水溶液である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
716	51	540035	グルタミン酸グルコース液		グルタミン酸グルコース	本品は、グルタミン酸グルコースの60%水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として1.0～3.0%を含む。
717	99	999999	γ-グルタミン酸ポリペプチド			本品は、納豆菌 <i>Bacillus natto</i> Sawamura を用いる発酵法により得られるもので、主として γ-グルタミン酸ポリペプチドからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)6.0～9.0%を含む。
718	51	523089	クルミ殻エキス	クルミ殻粒エキス		本品は、テウチグルミ <i>Juglans regia</i> Linne' var. <i>sinensis</i> De Candolle 又はその近縁植物(Juglandaceae)の種子殻からプロピレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
719	51	507037	クルミ殻粒(1)		クルミ殻粒-1	本品は、マンシュウグルミ <i>Juglans mandshurica</i> Maximowicz, オニグルミ <i>Juglans mandshurica</i> Maximowicz var. <i>sieboldiana</i> Makino 又はその他近縁植物(Juglandaceae)の核(内果皮)を乾燥、破砕し、整粒したものである。
720	51	507038	クルミ殻粒(2)		クルミ殻粒-2	本品は、テウチグルミ <i>Juglans regia</i> Linne' var. <i>sinensis</i> D. C., オニグルミ <i>Juglans sieboldiana</i> Maximowicz 又はその他近縁植物(Juglandaceae)の種子殻を荒粉砕してから更に微粉砕した後、ふるい選別して得られたものである。
721	51	532208	クレアチニン	メチルグリコシアミジン		本品を乾燥したものは、定量するとき、クレアチニン(C4H7N3O:113.12)99.0%以上を含む。
722	51	520376	グレープフルーツエキス			本品は、グレープフルーツ <i>Citrus paradisi</i> Macfadyen(Rutaceae)の果実(生)から「プロピレングリコール」又は「1,3-ブチレングリコール」、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
723	51	001229	クレゾール			本品は、クレゾール異性体の混合物である。
724	51	520377	クレマチスエキス	コボタンゾルエキス		本品は、 <i>Clematis vitalba</i> Linne' (Ranunculaceae)の葉からプロピレングリコール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
725	99	999999	黒米胚芽油			本品は、種皮に黒色色素を有する系統のイネ <i>Oryza sativa</i> Linne' (Gramineae)の種子から生ずる米ヌカを原料として得た油脂であり、
726	51	103712	黒砂糖			本品は、主としてショ糖からなる。
727	51	520381	黒砂糖エキス			本品は、サトウキビ <i>Saccharum officinarum</i> Linne' から得られる、黒砂糖(粗製糖)の着色成分を分離、濃縮して得られるエキスである。
728	51	532052	黒砂糖エキス(2)		黒砂糖エキス-2	本品は、サトウキビ <i>Saccharum officinarum</i> Linne' (Gramineae)から得られる黒砂糖(粗製糖)又は糖蜜からエタノール抽出したものを、濃縮した後、水に溶かし、吸着剤で、脱色したものである。
729	51	520413	黒酸化チタン		黒酸化Ti	本品は、「酸化チタン」をアンモニアガス中約800℃で加熱還元したもので、酸化チタン、酸化チタンと窒化チタンの固溶体の混合物からなる。
730	51	109024	黒酸化鉄		黒酸化Fe	本品は、主として四三酸化鉄(Fe3O4)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、四三酸化鉄(Fe3O4:231.53)90.0%以上を含む。
731	51	520414	黒酸化鉄・カルミン被覆雲母チタン	黒酸化鉄・カルミン被覆マイカチタン	黒酸化鉄・カルミン被覆雲母Ti、黒酸化Fe・カルミン被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」と「カルミン」で被覆したものである。
732	51	520415	黒酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	黒酸化鉄・コンジョウ被覆マイカチタン	黒酸化鉄・紺青被覆雲母Ti、黒酸化Fe・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」と「コンジョウ」で被覆したものである。
733	51	520416	黒酸化鉄被覆雲母チタン	黒酸化鉄被覆マイカチタン	黒酸化鉄被覆雲母Ti、黒酸化Fe被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」で被覆したものである。
734	51	523097	黒酸化鉄被覆合成金雲母	黒酸化鉄被覆合成フッ素金雲母	黒酸化Fe被覆合成金雲母	本品は、「合成金雲母」を「黒酸化鉄」で被覆したものである。
735	51	532053	クロトン酸・酢酸ビニル・p-tert-ブチル安息香酸ビニル共重合体		クロトン酸・VA・p-tert-ブチル安息香酸ビニル共重合体	本品は、主としてクロトン酸、酢酸ビニル及びp-tert-ブチル安息香酸ビニルの共重合体からなる。
736	51	520483	クロトン酸・酢酸ビニル・ネオデカン酸ビニル共重合体		クロトン酸・VA・ネオデカン酸ビニル共重合体	本品は、主としてクロトン酸、酢酸ビニル及びネオデカン酸ビニルの共重合体からなる。
737	51	101361	クロラミンT			本品は、定量するとき、クロラミンT(C7H7ClNNaO2S·3H2O:281.69)96.0～102.0%を含む。
738	51	500138	クロルキシレノール			本品を乾燥したものは、定量するとき、パラクロルメタキシレノール(C8H9ClO:156.61)95.0%以上を含む。
739	51	500139	クロルクレゾール			本品は、定量するとき、パラクロルメタクレゾール(C7H7ClO:142.58)98.0%以上を含む。
740	51	500140	クロルヒドロキシアルミニウム		クロルヒドロキシAl	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化アルミニウム(Al2O3:101.96)49.0～57.0%及び塩素(Cl:35.45)15.0～19.0%を含む。
741	51	500141	クロルフェネシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、クロルフェネシン(C9H11ClO3:202.63)99.0%以上を含む。
742	51	101371	クロルヘキシジン			本品を乾燥したものは、定量するとき、クロルヘキシジン(C22H30Cl2N10:505.45)98.0%以上を含む。
743	99	999999	黒霊芝エキスCS			本品は、マンネンタケの1種である黒芝 <i>Ganoderma japonicum</i> (Fr.) Lloyd.(Polyporaceae)の子実体から、水

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						より抽出して得られるエキスである。
744	51	520385	クロレラエキス			本品は、クロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae) から水にて抽出して得られるエキスである。
745	51	532265	クロレラエキス(2)		クロレラエキス-2	本品は、クロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae) から水で抽出して得られた液に、1, 3-ブチレングリコールを加えてトリブシン処理した後、加熱処理を行ったものである。
746	51	001236	クロブタノール			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、クロブタノール(C ₄ H ₇ Cl ₃ O:177.46)98.0%以上を含む。
747	51	520386	クワエキス	ソウハクヒエキス	桑エキス	本品は、マグワ <i>Morus alba</i> Linne' 又はその他同属植物(Moraceae)の根皮から、水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
748	51	532197	クワ葉エキス		桑葉エキス	本品は、マグワ <i>Morus alba</i> Linne' (Moraceae)の葉からプロピレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
749	51	500143	グンジョウ		群青	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウム、カーボンブラック等を原料として製した顔料である。
750	51	501048	グンジョウバイオレット	ウルトラマリンバイオレット	群青バイオレット	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウムなどから製した顔料である。
751	51	520388	グンジョウピンク		群青ピンク	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウム、カーボンブラック等から製した顔料である。
752	51	532249	ケイケツウエキス			本品は、 <i>Mucuna birdwoodiana</i> Tutchter (Leguminosae)の茎からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
753	51	108904	ケイ酸アルミニウムマグネシウム		ケイ酸Al・Mg	本品は、コロイド性含水ケイ酸アルミニウムマグネシウムである。
754	51	004600	ケイ酸カルシウム	合成ケイ酸カルシウム	ケイ酸Ca	本品は、主としてケイ酸カルシウムからなる。
755	51	509041	ケイ酸吸着ラノリン			本品は、「無水ケイ酸」に等量の「ラノリン」を吸着させた物質である。
756	51	540037	ケイ酸・ケイ酸アルミニウム焼成物		ケイ酸・ケイ酸Al焼成物	本品は、主として二酸化ケイ素、酸化アルミニウム及び酸化第二鉄からなる粉末である。
757	51	106750	ケイ酸ナトリウム		ケイ酸Na	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)として28.0~38.0%、酸化ナトリウム(Na ₂ O:61.98)として9.0~19.0%を含む。
758	99	999999	ケイ酸ナトリウム(粉末)		ケイ酸Na粉末	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)として50~55%、酸化ナトリウム(Na ₂ O:61.98)として23~27%を含む。
759	51	001240	ケイ酸マグネシウム		ケイ酸Mg	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)45.0%以上及び酸化マグネシウム(MgO:40.30)20.0%以上を含み、二酸化ケイ素と酸化マグネシウムとの質量百分率(%)の比は2.2~2.5である。
760	51	509042	軽質イソパラフィン			本品は、主としてイソパラフィンからなる炭化水素の混合物である。
761	51	500147	軽質炭酸カルシウム	沈降炭酸カルシウム	軽質炭酸Ca、沈降炭酸Ca	本品は、化学的方法により製した炭酸カルシウムである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム(CaCO ₃ :100.09)96.0%以上を含む。
762	51	500148	軽質炭酸マグネシウム		軽質炭酸Mg	本品は、含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムからなる。本品は、定量するとき、酸化マグネシウム(MgO:40.30)として40.0~44.0%を含む。
763	51	500149	軽質流動イソパラフィン			本品は、イソブテンと n-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は4~6である。
764	51	500150	ケイ皮アルコール		シナナムアルコール、桂皮アルコール	本品は、定量するとき、ケイ皮アルコール(C ₉ H ₁₀ :134.18)98.0%以上を含む。
765	51	500151	ケイ皮アルデヒド		シナナムアルデヒド、桂皮アルデヒド	本品は、定量するとき、ケイ皮アルデヒド(C ₉ H ₈ O:132.16)97.0%以上を含む。
766	51	540036	ケイ皮エキス		桂皮エキス、ケイヒエキス	本品は、 <i>Cinnamomum cassia</i> Blume 又はその他同属植物(Lauraceae)の樹皮から水で抽出して得られるエキスである。
767	99	999999	ケイヒエキス末		桂皮エキス末	本品はケイ <i>Cinnamomum cassia</i> Blume またはその他同属植物(Lauraceae)の乾燥樹皮:ケイヒ <i>Cinnamoni Cortex</i> を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
768	51	500152	ケイ皮酸エチル		桂皮酸エチル	本品は、定量するとき、ケイ皮酸エチル(C ₁₁ H ₁₂ O ₂ :176.21)98.0%以上を含む。
769	51	511023	鶏卵末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson の卵から殻を除いたものを乾燥して得た粉末である。
770	51	106901	鯨ロウ			本品は、マッコウクジラ <i>Physeter macrocephalus</i> Linne' (Physeteridae)の頭部のロウ質を精製したものである。
771	51	002235	結晶セルロース			本品は、α-セルロースを鉱酸で部分的に解重合し、精製したものである。
772	25	120002	結晶セルロース・カルメロースナトリウム		結晶セルロース・カルメロースNa	本品は容易に微分散するように結晶セルロース(日局)とカルメロースナトリウム(日局)を混合したものである。
773	99	999999	ゲツウ葉エキス			本品は月桃 <i>Alpinia speciosa</i> (Wendl.) K.Schum. (Zingiberaceae)の葉を80vol%エタノール溶液にて抽出して得られた成分を50vol%1,3-ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
774	51	102490	ゲラニオール			本品は、主としてゲラニオールからなり、その他のテルペンアルコール類を含む。本品は、定量するとき、ゲラニオール(C ₁₀ H ₁₈ O:154.25)として85.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
775		000000	ゲラニオール変性アルコール			本品は、「エタノール」にゲラニオールを加え、変性させたものである。
776	51	102486	ゲンチアナエキス			本品は、ゲンチアナ <i>Gentiana lutea</i> Linne' (Gentianaceae) の根及び根茎から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
777	51	102479	ゲンノショウコエキス			本品は、ゲンノショウコ <i>Geranium thunbergii</i> Siebold et Zuccarini (Geraniaceae) の地上部からエタノール溶液又は1, 3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
778	51	532054	ケンボナシエキス			本品は、ケンボナシ <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (Rhamnaceae) の果実を、エタノールで抽出して得られるエキスである。
779	51	502045	N-硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		硬化牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸Na、水添牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸Na	本品は、硬化牛脂脂肪酸とL-グルタミン酸からなる酸アミドのナトリウム塩である。
780	51	504130	硬化牛脂脂肪酸ジエタノールアミド		水添牛脂脂肪酸ジエタノールアミド	本品は、主として硬化牛脂脂肪酸と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
781	51	523092	硬化ナタネ油アルコール		水添ナタネ油アルコール	本品は、日局ナタネ油を還元して得たアルコールであり、主として、ステアリルアルコール、アラキルアルコール及びベヘニルアルコールからなる。
782	51	102969	硬化ヒマシ油		水添ヒマシ油	本品は、「ヒマシ油」に水素添加して得たものである。
783	51	504131	硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸ナトリウム		硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸Na、水添ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸Na	本品は、硬化ヤシ油脂肪酸のモノグリセリドを硫酸エステル化したものである。本品を定量するとき、硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸ナトリウム 70.0%以上含む。
784	51	002130	硬化油			本品は、魚油、鯨油又は他の動物性若しくは植物性油脂を水素添加して得たものである。
785	99	999999	黄杞エキス(2)		黄杞エキス-2、コウキエキス-2	本品は、コウキ(黄杞): <i>Engelhardtia chrysolepis</i> Hance (Juglandaceae クルミ科) の葉: を80vol%エタノールにて抽出したものである。
786	51	510018	高酸価ミツロウ			本品は、主として「ミツロウ」を部分けん化して得られる高酸価のミツロウである。
787	51	500158	硬質ラノリン		ラノリンロウ	本品は、「ラノリン」から得たもので、主としてエステル混合物からなる。
788	51	500159	硬質ラノリン脂肪酸			本品は、「ラノリン」をけん化して得た脂肪酸である。
789	51	506014	硬質ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主として硬質ラノリン脂肪酸とコレステロールのモノエステルである。
790	99	999999	高重合ジメチルシロキサン・メチル(アミノプロピル)シロキサン共重合体		高重合ジメチコン・メチルアミノプロピルシロキサン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をアミノプロピル基で置換したものの重合体である。本品の平均分子量は、約60万～85万である。
791	51	520395	高重合炭化水素			本品は、主としてイソブレン及び1, 3-ペンタジエンの共重合体である。
792	51	510019	高重合ポリエチレングリコール		高重合PEG	本品は、酸化エチレンの重合体で、HOCH ₂ (CH ₂ OCH ₂) _n CH ₂ OH で表わされる。平均分子量は、20000 以上である。
793	51	520396	高重合メチルポリシロキサン(1)		高重合ジメチコン-1	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、(CH ₃) ₃ SiO[(CH ₃) ₂ SiO] _n Si(CH ₃) ₃ で表わされる。その平均重合度は、650 以上である。
794	51	511024	高重合メチルポリシロキサン(2)		高重合ジメチコン-2	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、(CH ₃) ₃ SiO[(CH ₃) ₂ SiO] _n Si(CH ₃) ₃ で表わされる。平均重合度は、約7000 である。
795	51	523093	合成金雲母	合成フッ素金雲母		本品は、「無水ケイ酸」、「酸化アルミニウム」、「酸化マグネシウム」及びケイフッ化カリウムを混合又は、これらに炭酸カリウムを混合、熔融後、結晶を晶出させたものである。
796	51	532055	合成金雲母(2)		合成金雲母-2	本品は、「無水ケイ酸」、「酸化アルミニウム」、「酸化マグネシウム」、ケイフッ化カリウム及び酸化鉄を混合し、熔融後、結晶を晶出させたものである。
797	51	001238	合成ケイ酸アルミニウム		合成ケイ酸Al	本品は、合成法で得た含水ケイ酸アルミニウムである。
798	51	110929	合成ケイ酸ナトリウム・マグネシウム		合成ケイ酸Na・Mg	本品は、モンモリロナイト系合成粘土鉱物である。
799	51	109106	合成スクワラン			本品は、イソブレンより合成して得られる飽和炭化水素で、主成分はスクワランである。本品は、定量するとき、スクワラン(C ₃₀ H ₆₂ :422.81)98.0%以上を含む。
800	51	520398	合成炭化水素ワックス			本品は、合成飽和直鎖炭化水素である。その平均分子量は、650～700 である。
801	51	532056	鉱泉塩			本品は、鉱泉から得られる塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)90.0%以上を含む。
802	51	523094	紅茶エキス			本品は、アッサムチャ <i>Thea sinensis</i> L. var. <i>assamica</i> Pierre (Theaceae) の葉より製した紅茶からエタノール、水又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
803	51	532057	高濃度塩酸アルキルジアミノエチルグリシン液	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	高濃度アルキルジアミノエチルグリシンHCl液、アルキルジアミノエチルグリシンHCl、高濃度HClアルキルジアミノエチルグリシン液、HClアルキルジアミノエチルグリシン	本品は、炭素数 12~14 のアルキルジアミノエチルグリシンの塩酸塩の水溶液であり、本品は、定量するとき、塩酸アルキルジアミノエチルグリシン (C19H42ClN3O2:380.01) として、36.0~44.0%を含む。
804	99	999999	酵母エキス			本品は、Saccharomyces に属する酵母により糖原基白糖を発酵した後、得られた液をろ過したものである。
805	51	520400	酵母エキス(1)		酵母エキス-1	本品は、Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液をろ過した後、濃縮又は乾燥したものである。
806	51	520401	酵母エキス(2)		酵母エキス-2	本品は、Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液を濃縮又は乾燥したものである。
807	51	520402	酵母エキス(3)		酵母エキス-3	本品は、Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液を乾燥したのから、水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
808	51	520403	酵母エキス(4)		酵母エキス-4	本品は、Saccharomyces に属する酵母の乾燥粉体から、水及び「濃グリセリン」の混液にて抽出して得たエキスである。
809	51	520404	酵母エキス(5)		酵母エキス-5	本品は、酵母 Saccharomyces cerevisiae を培地に入れ、紫外線照射により得られた水溶性エキスである。本品は、定量するとき、総窒素 (N: 14.01) 8.0~9.0% を、アミノ態窒素 4.0~6.0% を含む。
810	51	520407	酵母多糖体末			本品は、酵母 Saccharomyces cerevisiae Meyer 及びその他近縁菌類 (Saccharomycetaceae) の細胞壁由来の多糖体である。
811	51	520409	コウホネエキス			本品は、コウホネ Nuphar japonicum De Candolle (Nymphaeaceae) の根茎から「1, 3-ブチレングリコール」にて抽出して得られるエキスである。
812	51	520410	酵母培養上澄液			本品は、酵母の一種である Endomyces magnusii の培養上澄液を無菌的にろ過したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) として 0.003~0.010% を含む。
813	51	532058	高融点パラフィン(1)		高融点パラフィン-1	本品は、石油から得た炭化水素ワックスである。
814	51	532059	高融点パラフィン(2)		高融点パラフィン-2	本品は、石油から得た炭化水素ワックスである。
815	51	523096	高融点ポリエチレン末			本品は、エチレンの重合体である。
816	51	508039	高融点マイクロクリスタリンワックス			本品は、石油から得た、主として炭素数 40~54 に分布の中心がある炭化水素類の混合物で、主としてイソパラフィンからなる。
817	51	532241	コーヒーエキス		珈琲エキス	本品は、コーヒーノキ Coffea arabica Linne ^ˆ 又はその他同属植物 (Rubiaceae) の種子からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、クロロゲン酸 (1/2 水和物) (C16H1809・1/2H2O:363.32) 11.0~17.0% を含む。
818	51	501051	コチニール	カルミン酸		本品は、エンジムシ Coccus cacti L. から得た赤色素で、主成分はカルミン酸である。
819	51	106962	コハク酸			本品は、定量するとき、コハク酸 (C4H604:118.09) 99.0% 以上を含む。
820	51	523098	コハク酸ジ2-エチルヘキシル	コハク酸ジオクチル	コハク酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてコハク酸の2-エチルヘキサノールのジエステル (C20H3804:342.51) からなる。
821	51	502050	コハク酸ジエトキシエチル			本品は、主として「コハク酸」と「エチレングリコールモノエチルエーテル」のジエステルからなる。本品は、定量するとき、コハク酸ジエトキシエチル (C12H2206:262.30) 95.0% 以上を含む。
822	51	510100	コハク酸ジ(カプリル/カプリン酸)グリセリル			本品は、カプリル/カプリン酸のモノ又はジグリセリド2モルとコハク酸 1 モルのエステルである。
823	51	532060	コハク酸ポリプロピレングリコールオリゴエステル		コハク酸PPGオリゴエステル	本品は、主としてコハク酸とポリプロピレングリコールからなるオリゴエステルである。ポリプロピレングリコールの平均重合度は7、コハク酸とポリプロピレングリコールのモル比は、4:5 である。
824	51	101951	コハク酸二ナトリウム		コハク酸2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、コハク酸二ナトリウム (C4H4Na2O4:162.05) 98.0~102.0% を含む。
825	51	520423	ゴボウエキス			本品は、ゴボウ Arctium lappa Linne ^ˆ (Compositae) の根から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
826	51	520425	ゴボウ種子油			本品は、ゴボウ Arctium lappa Linne ^ˆ (Compositae) の種子から得た脂肪油である。
827	51	001249	ゴマ油			本品は、ゴマ Sesamum indicum Linne ^ˆ (Pedaliaceae) の種子から得た脂肪油である。
828	51	107646	小麦粉			本品は、コムギ Triticum sativum Lamarck の種子を粉砕し、外皮、胚芽などをできるだけ取り除き、胚乳部を粉末にしたものである。
829	51	540198	小麦粉酵素分解粉末		酵素分解小麦粉	本品は、コムギ Triticum aestivum Linne ^ˆ (Gramineae) を粉砕したものを酵素分解し、得られた水溶性成分の乾燥粉末である。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) として 12.0~18.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
830	51	002140	コムギデンプン		小麦デンプン	本品は、コムギ <i>Triticum sativum</i> Lamarck (Gramineae) の種子から得たデンプンである。
831	51	520427	コムギ胚芽エキス		小麦胚芽エキス	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の胚芽から、水、「プロビレングリコール」、「濃グリセリン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
832	51	520429	コムギ胚芽末		小麦胚芽末	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の胚芽を 110~120℃で 15 分間炒った後、ふるい分けして得られる粉末である。
833	51	522034	コムギ胚芽油		小麦胚芽油	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae), <i>Triticum sativum</i> Lamarck 又は <i>Triticum vulgare</i> Lamarck の胚芽から得た脂肪油である。
834	51	540038	コムギ胚芽油脂肪酸グリセリル		小麦胚芽油脂肪酸グリセリル	本品は、「コムギ胚芽油」とグリセリンとのエステル交換により得られるもので、主としてモノグリセリドからなり、ジグリセリド、トリグリセリドを含む。
835	51	520430	コムギフスマ		小麦フスマ	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の種子の種皮、外胚乳、胚芽等の粉末である。
836	99	999999	米抽出物加水分解液		コム抽出物加水分解液、米抽出物水分解液	本品は、コム <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得られる精白米を水性抽出した後、蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
837	99	999999	米抽出物加水分解液 (3)		米抽出物水分解液-3、コム抽出物加水分解液-3	本品は、コム <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種から得られる精白米を水性抽出した後、蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
838	51	002141	コムデンプン		米デンプン	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得たデンプンである。
839	51	103600	コムヌカ		米ヌカ	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> L. (Gramineae) の種子から得た玄米を精米するときに得られる果皮、種皮、胚及び糊粉層の混合物である。
840	51	103601	コムヌカエキス		米ヌカエキス	本品は、「コムヌカ」から、水、「1, 3-ブチレングリコール」又はその混液にて抽出して得られるエキスである。
841	51	532290	コムヌカスフィンゴ糖脂質		米ヌカスフィンゴ糖脂質	本品は、「コムヌカ油」より得たスフィンゴ糖脂質である。
842	51	532291	コムヌカ・大豆ペプチド納豆菌発酵液		米ヌカ・大豆ペプチド納豆菌発酵液	本品は、「コムヌカ」と大豆タンパクを加水分解して得られるペプチドをナットウ菌 <i>Bacillus natto</i> Sawamura で発酵させたものである。
843	99	999999	米糠抽出物加水分解液		米糠抽出物水分解液、コムヌカ抽出物加水分解液	本品は、コムヌカからの水性抽出物を蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
844	99	999999	米糠抽出物加水分解液 A		米糠抽出物水分解液A、コムヌカ抽出物加水分解液A	本品は、コム <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種から得られる「コムヌカ」を酸性下で水抽出した後、蛋白分解酵素により加水分解処理して得られる液である。
845	51	523099	コムヌカ発酵エキス		米ヌカ発酵エキス	本品は、「コムヌカ」に α -アミラーゼ及び β -アミラーゼを加えて得たコムヌカ糖化液に酵母を加えて発酵させた後、「塩化ナトリウム」を加え、圧搾ろ過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.1~0.4%及び塩化ナトリウム 2.0~4.0%を含む。
846	51	520433	コムヌカ油		米ヌカ油	本品は、「コムヌカ」から得た脂肪油である。
847	51	505060	コムヌカロウ		米ヌカロウ	本品は、「コムヌカ」から得たワックスである。
848	51	520434	コム胚芽末		米胚芽末	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得られるコム胚芽を粉末としたものである。
849	51	520436	コム胚芽油		米胚芽油	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の胚芽より得た脂肪油である。
850	99	999999	コム胚芽油			本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から生ずる米ヌカを原料として得た油脂であり、本品は、定量するとき、オリザノール(C40H58O4:602.90)1.0~1.5%を含む。
851	51	532061	コム発酵液		米発酵液	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得られるコムをアルコール発酵させて得た液である。本品は、定量するとき、全糖として 2.6~4.8%、アルコール分として 11~22vol%を含む。
852	51	523100	コラーゲンシート			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne var. domesticus Gmelin (Bovidae) 又はブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. domesticus Gray (Suidae) より得られたコラーゲンを乾燥したもので、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)を 10.5~19.0%、ヒドロキシプロリン(C5H9NO3:131.13)を 8.0~16.0%含む。
853	99	999999	コラーゲン・トリペプチド F			本品は、サメの皮を酵素で加水分解して得られるコラーゲンたん白質加水分解物であり、窒素として定量した時 12.0~22.0%を含む。
854	51	001255	コレステロール			本品は、主としてコレステロール(C27H46O:386.65)からなる。
855	99	999999	コレステロールプルラン			本品は、コレステロール基を有するプルランの誘導体である。
856	51	509046	コンキオリンパウダー		コンキオリン末	本品は、真珠母貝(アコヤガイ) <i>Pinctada fucata</i> の真珠層に含まれる硬たん白質であるコンキオリンである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として 13.0~18.0%を含む。
857	51	508040	混合異性化糖			本品は、「ブドウ糖」の希アルカリ処理物と「乳糖」の希アルカリ処理物を 19:1 の割合で混合した糖類の混合物で、主としてブドウ糖及び果糖よりなる。本品を定量するとき、その総糖量はブドウ糖として 45~55%である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
858	51	508041	混合果実白糖浸出液			本品は、レモン <i>Citrus medica</i> Limon (Rutaceae), リンゴ <i>Malus pumila</i> Mill (Rosaceae), キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae), パイナップル <i>Ananas comosus</i> Merr (Bromeliaceae), バナナ <i>Musa paradisiaca</i> Linne' に白糖を加えて、浸出させて得た液汁である。
859	51	540039	混合脂肪酸2-エチルヘキシル		混合脂肪酸エチルヘキシル	本品は、主としてアジピン酸、「ステアリン酸」及び「パルミチン酸」の混合物と2-エチルヘキシルアルコールのエステルである。
860	51	532211	N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミン液		混合脂肪酸(12, 14)アシルアスパラギン酸TEA液、脂肪酸(12, 14)アシルアスパラギン酸TEA液	本品は、アシル基がラウロイル及びミリスチル(7:3)からなる N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミンの水溶液である。本品は、定量するとき、N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミン(C _n +6H ₂ n+9NO ₅ ・1.3C ₆ H ₁₅ NO ₃)として27.0~33.0%を含む。
861	51	532212	N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム液		混合脂肪酸(12, 14)アシルアスパラギン酸Na液、脂肪酸(12, 14)アシルアスパラギン酸Na液	本品は、アシル基がラウロイル及びミリスチル(7:3)からなり、水酸化ナトリウムで部分中和(Na:H=4:1)した、N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム水溶液である。本品は、定量するとき、N-混合脂肪酸(C12, C14)アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム(C _n +6H ₂ n+7NO ₅ ・1.6Na _{0.4} H:718.00)として22.0~28.0%を含む。
862	51	508042	混合脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、「大豆油」、「コメヌカ油」又は「トウモロコシ油」と「ヤシ油」をほぼ等量混合して得られる混合脂肪酸とジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
863	51	540195	混合脂肪酸トリグリセリド			本品は、「牛脂」、「ミンク油」、タラ肝油等を加水分解して得られる脂肪酸を蒸留精製したものと、グリセリンとのエステルで、主としてトリグリセリドからなる。
864	51	508043	混合脂肪酸モノエタノールアミド		混合脂肪酸エタノールアミド	本品は、主としてパルミチン酸、ステアリン酸及びベヘニン酸からなる混合脂肪酸と、当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミドである。
865	51	520450	混合植物抽出液(7)		混合植物抽出液-7	本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae)の雌花穂、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> L. (Umbelliferae)の果実各30g、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)の花30g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae)の花30g、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> L. (Labiatae)の葉5g、ヤドリギ <i>Viscum album</i> L. (Mistletoe (Loranthaceae))の果実5gを機械的に細切し、1%尿素を含む水及びエタノールの混液(65:35)中に浸し、常温下に攪拌を続けながら浸出し、圧搾ろ過して固形分を去り、ろ液に水を加えて1000mLとしたものである。
866	51	520452	混合植物抽出液(9)		混合植物抽出液-9	本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae)の雌花穂25g、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller. (Umbelliferae)の果実25g、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)の花25g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae)の花25g、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> L. (Labiatae)の葉10g及び、セイヨウヤドリギ <i>Viscum album</i> L. (Loranthaceae)の枝葉梢10gを機械的に細切し、マツキルベイン緩衝液(注)500mlとエタノール400mLの混液に浸し、70~80℃で還流しながら8時間抽出した後、圧搾ろ過し、ろ液に水を加えて1000mLとし、限外ろ過したものである。
867	51	520453	混合植物抽出液(10)		混合植物抽出液-10	本品は、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae)の果実3g、マロニエ <i>Aesculus hippocastanum</i> L. (Hippocastanaceae)の樹皮5g、及びニンジン <i>Daucus carota</i> L. var. <i>sativa</i> DC. (Umbelliferae)の根30gを機械的に細切し、「モノオレイン酸ポリエチレングリコール(10E. O.)」0.5%を含むエタノール溶液(3→10)に浸し、常温下でかき混ぜながら1週間浸出した後圧搾ろ過し、ろ液に水を加えて、100 mLとし、限外ろ過したものである。
868	51	520455	混合植物抽出液(12)		混合植物抽出液-12	本品は、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> (Compositae)の花30g、セイヨウトドリ <i>Hypericum perforatum</i> L. (Guttiferae)30g、サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae)の葉30g、フキタンポポ(ファルファラ葉) <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae)30g、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)30g、ピロウドアオイ(アルティア根) <i>Althaea officinalis</i> L. (Malvaceae)30gを機械的に細切し1%の尿素を含む35%エタノール溶液(又は1%の尿素を含む35%1,3-ブチレングリコール溶液)中に浸し、常温下に攪拌を続けながら1週間浸出し、圧搾ろ過後、ろ液に水を加え1000mLとしたものである。
869	51	520456	混合植物抽出液(13)		混合植物抽出液-13	本品はイラクサ <i>Urtica dioica</i> L. (Urticaceae)の葉50g、フキタンポポ <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae)の葉50g、スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae)の茎70g、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae)の葉50g、サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae)の葉50g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae)の花30g、ミツガシワ <i>Menyanthes trifoliate</i> L. (Gentianaceae)の葉50g、シラカバ <i>Betula alba</i> L. (Betulaceae)の葉50gを機械的に細片化し、水400mL、「エタノール」又は「1, 3-ブチレングリコール」200mL、「プロピレングリコール」400gの混液に浸し、常温でかき混ぜながら一週間浸出してろ過し、固形分を除去した後、ろ液に水を加えて1000mLとしたものである。
870	51	520458	混合植物抽出液(15)		混合植物抽出液-15	本品は、アルニカ <i>Arnica montana</i> L. (Compositae)20%、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)60%、

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae) 20%の割合に秤量したものを 1kg に対し、同容量の「1, 3-ブチレングリコール」の溶液(3→10) 1L を加えた後、80℃、24 時間抽出した後、ろ過する。室温まで冷却した後「パントテン酸カルシウム」0.6%、「イノシット」0.2%、「ニコチン酸アミド」0.2%となるように添加し 1kg としたものである。
871	51	520459	混合植物抽出液(16)		混合植物抽出液-16	本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉 35g, タチジャコウソウ <i>Thymus vulgaris</i> L. (Labiatae) 35g, トルメンチラ <i>Potentilla tormentilla</i> Schrank (Rosaceae) の根 35g, サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 35g, マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) 35g を機械的に細切し、1%尿素を含む水及び「エタノール」の混液(65:35) 又は 1%尿素を含む水及び「1, 3-ブチレングリコール」の混液(65:35) 中に浸し、常温でかき混ぜながら 1 週間浸出し、圧搾ろ過して固形分を去り、ろ液に水を加えて 1000mL としたものである。
872	51	520460	混合植物抽出液(17)		混合植物抽出液-17	本品は、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae), マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae), タチジャコウソウ <i>Thymus vulgaris</i> L. (Labiatae), 及びサルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の全草約 30g ずつに「プロピレングリコール」約 200g, 「1, 3-ブチレングリコール」約 180g, 「ジエチレングリコールモノエチルエーテル」約 70g, 「ポリオキシエチレンラウリルエーテル(23E. O.)」5g, リノール酸ジエタノールアミド 5g に、水を加えて約 1000mL として得られたエキスである。
873	51	520462	混合植物抽出液(19)		混合植物抽出液-19	本品は、スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae) の葉及び茎、フキタンポポ <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae) の花、ゼニアオイ <i>Malva sylvestris</i> L. (Malvaceae) の葉及び花、セイヨウヤドリギ <i>Viscum album</i> L. (Loranthaceae) の葉、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉、コムギ <i>Triticum vulgare</i> Lamarck の胚芽、各々 30g を乾燥させ機械的に細片し、「プロピレングリコール」300g, 「1, 3-ブチレングリコール」180g の混液に浸し、時々かき混ぜながら 7 日間混和抽出した後ろ過し、水を加えて 1000mL としたものである。
874	51	520463	混合植物抽出液(20)		混合植物抽出液-20	本品は、日局クジン、日局オウゴン、日局シコン、日局コウカ、日局チョウジ及びカミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の小頭花のそれぞれの等量混合物 6 部に水 94 部を加え、30 分間沸騰させ、温時布ごしし、水を加えて 100 部としたものである。
875	51	520467	混合植物抽出液(26)		混合植物抽出液-26	本品は、精選したサルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 150g 及びカミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花 150g を機械的に細切し、「プロピレングリコール」600g, 水 600g 及び「エタノール」50g の混液に浸し、ゆっくりした一定の速度でかき混ぜながら 15 日程、室温で混和、抽出した後、ろ過する。得たる液を更にマイクロフィルターでろ過し、約 1400g の抽出液を得る。
876	51	522035	混合植物抽出液(27)		混合植物抽出液-27	本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> Linne' (Hamamelidaceae) の葉 150g 及びセイヨウオトギリソウ <i>Hypericum perforatum</i> Linne' (Guttiferae) の花 150g を機械的に細切し、「プロピレングリコール」350g, 水 350g の混液に浸し、ゆっくりとした一定の速度でかき混ぜながら 15 日程、室温で混和、抽出した後、ろ過し、ろ液を更にマイクロフィルターでろ過して得た約 600g の抽出液である。
877	51	532213	混合植物抽出液(34)		混合植物抽出液-34	本品は、 <i>Vaccinium myrtillus</i> Linne' (Ericaceae) の果実 57g, オレンジ <i>Citrus sinensis</i> (Rutaceae) の果実 3g, レモン <i>Citrus limonum</i> (Rutaceae) の果実 8g 及びサトウキビ <i>Saccharum officinarum</i> Linne' (Gramineae) の茎 24g を機械的に潰したものに、サトウカエデ <i>Acer saccharum</i> Marshall (Aceraceae) の樹液 3g 及び精製水 400g を加え、70° C まで加熱し、3~4 時間抽出した後、ろ過し、濃縮したものである。当原料 1kg から、本品約 60g を得る。
878	51	532163	混合植物抽出液(35)		混合植物抽出液-35	本品は、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> Linne' (Compositae) の花 50g, イラクサ <i>Urtica thunbergiana</i> Siebold et Zuccarini 又は <i>Urtica dioica</i> Linne' (Urticaceae) の葉 50g, アルニカ <i>Arnica montana</i> Linne' (Compositae) の花及び根 50g, キナ <i>Cinchona succirubra</i> Pavon et Klotzch 又はその他同属植物 (Rubiaceae) の樹皮 30g, ヨーロッパシラカバ <i>Betula alba</i> Linne' (Betulaceae) の樹皮 30g を機械的に細片化し、水 700g に浸し、常温でかき混ぜながら 1 週間浸出してろ過し、ろ液に「プロピレングリコール」, 「1, 3-ブチレングリコール」, 「ジエチレングリコールエチルエーテル」の等量混合液を加えて 1000mL としたものである。
879	51	508047	混合ワックス(1)		混合ワックス-1	本品は、「カルナウバロウ」, 「キャンデリラロウ」, 水素添加大豆油脂脂肪酸モノグリセリド, 「ステアリン酸」, 「パラフィン」, 「ミツロウ」の混合物である。
880	51	509055	混合ワックス(2)		混合ワックス-2	本品は、ニシン類の魚 (Menhaden) 及びタラ類の魚 (Hake) の油から得られるグリセリド, 牛脂から得られるグリセリド, オレオステアリン及び「マイクロクリスタリンワックス」の混合物である。
881	51	523101	混合ワックス(3)		混合ワックス-3	本品は、高級脂肪酸(ステアリン酸, パルミチン酸)のモノグリセリドエステル化合物, 高級脂肪酸(モンタン酸)の多価アルコール(1, 3-ブチレングリコール, エチレングリコール)エステル及び高級脂肪酸(セロチン酸, カルナバ酸)の高級アルコール(ステアリアルアルコール)エステルの混合物である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
882	51	500167	コンジョウ		紺青	本品は、主としてフェリックアンモニウムフェロシアナイド(Fe(NH ₄)[Fe(CN) ₆]:285.83)若しくはフェリックフェロシアナイド(Fe ₄ [Fe(CN) ₆]:3:859.23)又はこれらの混合物からなる。
883	51	520473	コンジョウ・酸化クロム被覆雲母チタン	コンジョウ・酸化クロム被覆マイカチタン	紺青・酸化Cr被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「コンジョウ」と「酸化クロム」で被覆したものである。
884	51	520475	コンジョウ被覆雲母チタン	コンジョウ被覆マイカチタン	紺青被覆雲母Ti、紺青被覆マイカTi	本品は、「雲母チタン」を「コンジョウ」で被覆したものである。
885	51	004805	コンドロイチン硫酸ナトリウム		コンドロイチン硫酸Na	本品は、哺乳動物又は魚類の軟骨から抽出、精製して得られるコンドロイチン硫酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~3.8%及びイオウ(S:32.06)5.5~7.0%を含む。
886	51	520476	コンフリーエキス	ヒレハリソウエキス		本品は、ヒレハリソウ <i>Symphytum officinale</i> Linne' (Boraginaceae) の葉から、エタノール溶液、プロピレングリコール溶液又は1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
887	51	520478	コンフリー葉末	ヒレハリソウ葉末		本品は、淡緑色の粉末で、わずかに特異なおいがある。
888	99	999999	サーファクチンナトリウム			本品は、枯草菌 <i>Bacillus subtilis</i> を用いる発酵法により得られる環状アニオン性リポペプチド(サーファクチン)のナトリウム塩である。
889	51	106097	サイシンエキス			本品は、ウスバサイシン <i>Asiasarum sieboldii</i> F. Maekawa 又はケイリンサイシン <i>Asiasarum heterotropoides</i> F. Maekawa var. <i>mandshuricum</i> F. Maekawa (Aristolochiaceae) の根及び根茎から水にて抽出して得られるエキスである。
890	51	508049	サイタイ抽出液			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> var. <i>domesticus</i> の臍帯から得られた水抽出液である。本品を定量するとき、ムコ多糖類として0.9~1.1w/v%を含有する。
891	51	504137	酢酸液状ラノリン			本品は、「液状ラノリン」のアセチル化物である。
892	51	101135	酢酸カルシウム		酢酸Ca	本品は、定量するとき、酢酸カルシウム(C ₄ H ₆ CaO ₄ ・H ₂ O:176.18)98.0~105.0%を含む。
893	51	532062	酢酸硬化ヒマシ油		酢酸水添ヒマシ油	本品は、硬化ヒマシ油のアセチル化物である。
894	51	522036	酢酸硬質ラノリン(2)		酢酸硬化ラノリン-2	本品は、「硬質ラノリン」をアセチル化したものである。
895	51	532292	酢酸・コハク酸ヒドロキシプロピルメチルセルロース	ヒドロキシプロピルメチルセルロースアセテートサクシネート		本品は、酢酸及びコハク酸とヒドロキシプロピルメチルセルロースのエステルである。
896	51	510035	酢酸セチル			本品は、「セタノール」をアセチル化したものである。
897	51	508050	酢酸(セチル・ラノリン)エステル		酢酸(セチル・ラノリン)	本品は、セタノール及びラノリンアルコールをアセチル化して得られる混合エステルである。
898	51	520481	酢酸セルロース末			本品は、セルロースをアセチル化したものである。
899	1	001263	酢酸トコフェロール	酢酸dl- α -トコフェロール		本品は定量するとき、酢酸dl- α -トコフェロール(C ₃₁ H ₅₂ O ₃)96.0~102.0%を含む。
900	51	110650	酢酸d- α -トコフェロール		ビタミンE酢酸エステル	本品を定量するとき、酢酸D- α -トコフェロール(C ₃₁ H ₅₂ O ₃ :472.74)96.0~102.0%以上を含む。
901	51	540201	酢酸DL- α -トコフェロール		酢酸トコフェロール、酢酸dl- α -トコフェロール、トコフェロール酢酸エステル、ビタミンE酢酸エステル	本品は、定量するとき、酢酸DL- α -トコフェロール(C ₃₁ H ₅₂ O ₃ :472.74)96.0%以上を含む。
902	51	502056	酢酸ビニル・クロトン酸共重合体		VA・クロトン酸共重合体	本品は、酢酸ビニルとクロトン酸の共重合体である。
903	51	504140	酢酸ビニル・スチレン共重合体エマルジョン		VA・スチレン共重合体エマルジョン	本品は、酢酸ビニルとスチレンからなる共重合体の20%エマルジョンである。
904	51	523102	酢酸ビニル・ビニルピロリドン共重合体		VA・VP共重合体	本品は、ビニルピロリドンと酢酸ビニルとの共重合体である。
905	51	504141	酢酸ヒマシ油	アセチル化ヒマシ油		本品は、「ヒマシ油」のアセチル化物である。
906	51	500177	酢酸フェニルエチル			本品は、定量するとき、酢酸フェニルエチル(C ₁₀ H ₁₂ O ₂ :164.20)98.0%以上を含む。
907	51	500178	酢酸ブチル			本品は、定量するとき、酢酸ブチル(C ₆ H ₁₂ O ₂ :116.16)95.0%以上を含む。
908	51	532193	酢酸プロピレングリコールミスチルエーテル		酢酸PGミスチルエーテル	本品は、主としてプロピレングリコールミスチルエーテルの酢酸エステル(C ₂₁ H ₄₂ O ₃ :342.56)からなる。
909		000000	酢酸ベンジル変性アルコール			本品は、「エタノール」に酢酸ベンジルを加え、変性させたものである。
910	51	532188	酢酸ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンイソセチルエーテル	酢酸ポリオキシエチレン(20)ポリオキシプロピレン(2)イソセチルエーテル	酢酸POE・POPイソセチルエーテル	本品は、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンイソセチルエーテルのアセチル化物からなる。酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ20及び2である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
911	51	532063	酢酸ポリオキシエチレンモノオキシプロピレンセチルエーテル		酢酸POE・POPセチルエーテル	本品は、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルのアセチル化物からなる。酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ3及び1である。
912	51	532064	酢酸ポリオキシエチレンモノオキシプロピレン2-ヘキシルデシルエーテル	酢酸ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンイソセチルエーテル	酢酸POEオキシプロピレンヘキシルデシルエーテル、酢酸POE・POPイソセチルエーテル	本品は、主としてポリオキシエチレンモノオキシプロピレン2-ヘキシルデシルエーテルのアセチル化物からなる。ただし、酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ3及び1である。
913	51	502057	酢酸ポリオキシエチレンラノリンアルコール		酢酸ラネス-9、酢酸ラネス-10	本品は、主として「ラノリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるポリオキシエチレンラノリンアルコールのアセチル化物からなる。
914	51	500181	酢酸ラノリン			本品は、「ラノリン」のアセチル化物である。
915	51	501056	酢酸ラノリンアルコール		酢酸ラノリン	本品は、主としてラノリンアルコールのアセチル化物である。
916	51	502058	酢酸リシノレイン酸グリセリル	酢酸モノリシノレイン酸グリセリン		本品は、主として「リシノレイン酸グリセリル」のアセチル化物からなる。
917	51	500182	酢酸リナリル			本品は、「酢酸」と「リナロール」のエステルからなる。本品は、定量するとき、酢酸リナリル(C12H20O2:196.29)90.0%以上を含む。
918	51	532167	酢酸リナリル変性アルコール			本品は、「エタノール」に酢酸リナリルを加え、変性させたものである。
919	51	001270	酢酸レチノール	ビタミンA酢酸エステル	ビタミンAアセテート	本品は、酢酸レチノール(C22H32O2:328.49)又は酢酸レチノールに植物油を加えたものである。本品は定量するとき、表示ビタミンA単位の95~105%を含む。
920	51	523103	サクシニルアテロコラーゲン液			本品は、コラーゲンのテロペプチドを酵素により取り除いて得た水溶性コラーゲンを、サクシニル化した、サクシニルアテロコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~1.0%を含む。
921	51	523104	サクシニル化ウシ血清アルブミン処理シコンエキス	サクシニル化ウシ血清アルブミン処理シコン色素液	サクシニル化牛血清アルブミン処理シコンエキス	本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根から微アルカリ性エタノールと「プロピレングリコール」の混液で抽出して得られたエキスにサクシニル化ウシ血清アルブミンを反応させて得られた沈殿を1,3-ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
922	51	532065	サクシニルカルボキシメチルキトサン液			本品は、「キトサン」をカルボキシメチル化し、更にN-サクシニル化したものの水溶液である。
923	51	532066	サクシニルキトサン			本品は、「キトサン」をサクシニル化したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)4.5~7.5%を含む。
924	51	532067	サクシニルキトサン液			本品は、「サクシニルキトサン」の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~0.12%を含む。
925	51	520486	サザンカ油			本品は、サザンカ Camellia sasanqua Thunb. (Theaceae)の種子から得た脂肪油である。
926	51	106066	サッカリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、サッカリン(C7H5NO3S:183.18)98.0%以上を含む。
927	51	001272	サッカリンナトリウム		サッカリンNa	本品は、「サッカリン」のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、サッカリンナトリウム(C7H4NNaO3S:205.17)98.0%以上を含む。
928	1	001272	サッカリンナトリウム		サッカリン Na	本品を乾燥したものは定量するとき、サッカリンナトリウム(C7H4NNaO3S:205.17)98.0%以上を含む。
929	51	500186	サフラワー油		ベニバナ油、紅花油	本品は、ベニバナ Carthamus tinctorius Linne' (Compositae)の種子から得た脂肪油である。
930	51	523105	サフラワー油(2)		ベニバナ油-2、紅花油-2	本品は、ベニバナ Carthamus tinctorius Linne' (Compositae)の種子から得た脂肪油で、主としてオレイン酸からなるトリグリセライドである。
931	51	509056	サフラワー油脂肪酸		ベニバナ油脂肪酸、紅花油脂肪酸	本品は、「サフラワー油」を加水分解して得られる脂肪酸を精製したものであり、主としてリノール酸(C18H32O2:280.45)からなる。
932	51	520489	サフランエキス			本品は、サフラン Crocus sativus Linne' (Iridaceae)の柱頭から水にて抽出して得られるエキスである。
933	51	520490	サボンソウエキス			本品は、サボンソウ Saponaria officinalis Linne' (Caryophyllaceae)の葉から「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの水溶液にて抽出して得られるエキスである。
934	51	523106	サメ肝油			本品は、アイザメ Centrophorus atromarginatus Garman (Centrophoridae)及びその近縁サメの肝臓から得られる脂肪油である。
935	51	001617	サラシミツロウ			本品は、「ミツロウ」を漂白精製したものである。
936	51	501139	サラシモンタンロウ	モンタンワックス		本品は、褐炭を高温で蒸留又は溶剤で抽出して得られるものである。
937	51	001274	サリチル酸			本品は、定量するとき、サリチル酸(C7H6O3:138.12)99.5%以上を含む。
938	51	540040	サリチル酸2-エチルヘキシル	サリチル酸オクチル	サリチル酸エチルヘキシル	本品は、主としてサリチル酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C15H22O3:250.33)からなる。
939	51	102270	サリチル酸エチレングリコール		サリチル酸グリコール	本品は、定量するとき、サリチル酸エチレングリコール(C9H10O4:182.17)97.0%以上を含む。
940	51	502061	サリチル酸ジプロピレングリコール	ジプロピレングリコールサリシレート	サリチル酸DPG、DPGサリシレート	本品は、主としてサリチル酸とジプロピレングリコールからなるエステル(C13H18O5:254.28)である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
941	51	520492	サリチル酸チタン		サリチル酸塩	本品は、チタンのサリチル酸錯塩であり、定量するとき、サリチル酸チタン[Ti(C ₇ H ₄ O ₃)] ₂ :320.08]98.0%以上を含む。
942	51	001275	サリチル酸ナトリウム		サリチル酸Na、サリチル酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、サリチル酸ナトリウム(C ₇ H ₅ NaO ₃ :160.10)99.5%以上を含む。
943	51	001280	サリチル酸フェニル			本品を乾燥したものは、定量するとき、サリチル酸フェニル(C ₁₃ H ₁₁ O ₃ :214.22)99.0%以上を含む。
944	51	504146	サリチル酸ホモメンチル	ホモメンチルサリチレート		本品は、定量するとき、サリチル酸ホモメンチル(C ₁₆ H ₂₂ O ₃ :262.34)を98.0%以上含む。
945	51	002165	サリチル酸メチル			本品は、定量するとき、サリチル酸メチル(C ₈ H ₉ O ₃ :152.15)98.0%以上を含む。
946	51	001281	酸化亜鉛		酸化Zn	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化亜鉛(ZnO:81.41)99.5%以上を含む。
947	51	100457	酸化アルミニウム		酸化Al	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃ :101.96)96.0%以上を含む。
948	51	504147	酸化アルミニウム・コバルト		酸化Al・Co	本品は、酸化コバルトと酸化アルミニウムとの混合物を強熱したもので、主としてスピネル構造を有する酸化アルミニウムコバルトからなる。
949	51	520497	酸化アルミニウム水和物・ケイ酸処理酸化チタン		酸化Al水和物・ケイ酸処理酸化Ti	本品は、「酸化チタン」を湿式法により酸化アルミニウムの水和物及びケイ酸で表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO ₂ :79.87)として80.0%以上を含む。
950	51	002169	酸化カルシウム	生石灰	酸化Ca	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化カルシウム(CaO:56.08)98.0%以上を含む。
951	51	101454	酸化クロム		酸化Cr	本品は、主として三酸化クロム(Cr ₂ O ₃)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化クロム(Cr ₂ O ₃ :151.99)95.0%以上を含む。
952	51	520498	酸化クロム被覆雲母チタン		酸化Cr被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「酸化クロム」で被覆したものである。
953	51	500195	酸化ジルコニウム		酸化Zr	本品は、水酸化ジルコニウムを焼成して得た酸化ジルコニウムである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化ジルコニウム(ZrO ₂ :123.22)98.0%以上を含む。
954	51	523107	酸化セリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化セリウム(CeO ₂ :172.11)98.0%以上を含む。
955	51	002170	酸化チタン		酸化Ti	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO ₂ :79.87)90.0%以上を含む。
956	51	510038	酸化チタンゾル		酸化Tiゾル	本品は、無水ケイ酸被覆酸化チタンの水分散液である。本品は、定量するとき、酸化チタン(TiO ₂ :79.87)9.0~30.0%を含む。
957	51	532068	酸化チタン被覆還元雲母チタン(1)		酸化Ti被覆還元雲母Ti-1	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに、酸化チタンの薄膜を被覆処理したもので、その組成は、マイカ40~55%、酸化チタン45~60%及び黒酸化チタン1~5%である。
958	51	532069	酸化チタン被覆還元雲母チタン(2)		酸化Ti被覆還元雲母Ti-2	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに酸化チタンの薄膜を被覆処理したものである。その組成は、マイカ30~40%、酸化チタン60~70%及び黒酸化チタン1~5%である。
959	51	532070	酸化チタン被覆還元雲母チタン(3)		酸化Ti被覆還元雲母Ti-3	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに酸化チタンの薄膜を被覆処理したものである。その組成は、マイカ45~65%、酸化チタン30~55%及び黒酸化チタン1~5%である。
960	51	532169	酸化チタン被覆還元雲母チタン(4)		酸化Ti被覆還元雲母Ti-4	本品は、「雲母チタン」にチタン末を加え、加熱還元し、酸化チタンの一部を低次酸化チタンとしたもので、その組成は、マイカ65~75%、酸化チタン25~35%及び微量の低次酸化チタンである。
961	51	523108	酸化チタン被覆セリサイト		酸化Ti被覆セリサイト	本品は、「セリサイト」に「酸化チタン」の薄膜を被覆処理したものである。
962	51	523109	酸化チタン・無水ケイ酸複合物		酸化Ti・無水ケイ酸複合物	本品は、「酸化チタン」を「無水ケイ酸」で被覆したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO ₂ :79.87)77.0~87.0%及び二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)13.0~23.0%を含む。
963	51	507062	酸化鉄・酸化チタン焼結物		酸化Fe・酸化Ti焼結物	本品は、「酸化チタン」と酸化鉄の混合物(199:1~7:3)であり、大気中で約660~1050℃で0.5~4時間加熱焼結して得たものである。
964	51	001282	酸化マグネシウム		酸化Mg	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化マグネシウム(MgO:40.30)96.0%以上を含む。
965	51	106195	サンザシエキス			本品は、サンザシ <i>Crataegus cuneata</i> Siebold et Zuccarini (Rosaceae)の果実から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
966	1	120104	サンシシ	山梔子		本品はクチナシ <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (Rubiaceae)の果実である。
967	99	999999	サンシチニンジンエキス			本品は、サンシチニンジン <i>Panax notoginseng</i> (Burk.) F.H.Chen [<i>Panax pseudoginseng</i> Wall.var. <i>notoginseng</i> (Burk.) Hoo et Tseng] (Araliaceae)の根からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
968	51	520510	サンショウエキス		山椒エキス	本品は、サンショウ <i>Zanthoxylum piperitum</i> D.C.又はその他同属植物(Rutaceae)の成熟した果皮から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
969	51	523110	シア脂			本品は、シア <i>Butyrospermum parkii</i> Kotschy (Sapotaceae)のうちマンギフオリア品種 <i>Mangifolia</i> の種子から得た脂肪である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
970	51	520514	N, N' -ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル		ジアセチルシスチンジメチル	本品は、N, N' -ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル(C12H20N2 O6S2:352.43)からなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)7.5～8.5%を含む。
971	51	523366	ジアルキルジメチルアンモニウムクロリド尿素付加物		塩化ジアルキルジメチルアンモニウム尿素付加物	本品は、ジアルキルジメチルアンモニウムクロリドと尿素とを反応させて得られる付加物である。本品は、定量するとき、ジアルキルジメチルアンモニウムクロリドとして31～37%含有する。
972	51	504151	ジイソステアリン酸グリセリル	ジ(2-ヘプチルウンデカン酸)グリセリル		本品は、主としてイソステアリン酸とグリセリンのジエステル(C39H76O5:625.02)からなる。
973	51	504153	ジイソステアリン酸プロピレングリコール		ジイソステアリン酸PG	本品は、主としてイソステアリン酸とプロピレングリコールとのジエステル(C39H76O4:609.02)からなる。
974	51	520521	ジイソステアリン酸ポリエチレングリコール		ジイソステアリン酸PEG	本品は、主としてイソステアリン酸とポリエチレングリコールのジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は400～600である。
975	51	520522	ジイソステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主としてイソステアリン酸とポリグリセリンのジエステルからなる。グリセリンの平均重合度は2～10である。
976	51	101860	ジイソプロパノールアミン		DIPA	本品は、主としてジイソプロパノールアミンからなる。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、ジイソプロパノールアミン(C6H15NO2:133.19)として94.0～105.0%を含む。
977	51	502066	ジイソプロピルケイ皮酸メチル		ジイソプロピル桂皮酸メチル	本品は、定量するとき、2, 5-ジイソプロピルケイ皮酸メチル(C16H22O2:246.34)97.0%以上を含む。
978	51	520523	シイタケエキス		椎茸エキス	本品は、シイタケ <i>Lentinus edobes</i> Singer (Tricholomataceae)の子実体から、水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
979	51	522111	シイタケエキス末(1)		椎茸エキス末-1	本品は、シイタケ <i>Cortnellus shiitake</i> p. Henn. (Agaricaceae)を、温湯で浸出したエキスを乾燥し粉末にしたもので、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.6～1.2%を含む。
980	51	510040	シイタケエキス末(2)		椎茸エキス末-2	本品は、シイタケ <i>Cortnellus shiitake</i> p. Henn. (Agaricaceae)の菌糸体の加水分解により得たエキスを乾燥し、粉末にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.6～1.2%を含む。
981	51	101808	ジエタノールアミン		DEA	本品は、主としてジエタノールアミンからなり、通例モノエタノールアミン及びトリエタノールアミンを含む。本品は、定量するとき、ジエタノールアミン(C4H11NO2:105.14)として98.0～102.0%を含む。
982	51	540041	ジ2-エチルヘキサン酸エチレングリコール	ジオクタン酸エチレングリコール	ジエチルヘキサン酸グリコール、ジオクタン酸グリコール	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とエチレングリコールのエステル(C18H34O4:314.46)からなる。
983	51	540042	ジ2-エチルヘキサン酸ネオペンチルグリコール	ジオクタン酸ネオペンチルグリコール	ジエチルヘキサン酸ネオペンチルグリコール	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とネオペンチルグリコールのジエステル(C21H40O4:356.54)からなる。
984	51	540043	ジ2-エチルヘキシルアミン	ジオクチルアミン	ジエチルヘキシルアミン	本品は、主としてジ-2-エチルヘキシルアミン(C16H35N:241.46)からなる。
985	51	101825	ジエチレングリコール		ジグリコール	本品は、主としてジエチレングリコール(C4H10O3:106.12)からなる。
986	51	523111	ジエチレングリコールモノエチルエーテル		ジグリコールエチルエーテル、エチルカルピトール、エトキシジグリコール	本品は、主としてジエチレングリコールのモノエチルエーテル(C6H14O3:134.17)からなる。
987	51	101830	ジエチレントリアミン五酢酸		ジエチレントリアミン五酢酸	本品を乾燥したものは、定量するときジエチレントリアミン五酢酸(C14H23N3O10:393.35)97.0%以上を含む。
988	51	520528	ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム		ジエチレントリアミン五酢酸5Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム(C14H18N3O10Na5:503.26)87.0%以上を含む。
989	51	500593	ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム液		ジエチレントリアミン五酢酸5Na液	本品は、ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90～105%に対応するジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム(C14H18N3Na5O10:503.26)を含む。
990	51	103201	ジオウエキス			本品は、アカヤジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> Liboschitz var. <i>purpurea</i> Makino 又はその他同属植物(Scrophulariaceae)の根から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
991	51	532234	ジオクチルシクロヘキサン			本品は、主としてジオクチルシクロヘキサン(C22H44:308.58)からなる。
992	51	501060	ジオレイン酸エチレングリコール		ジオレイン酸グリコール	本品は、主として「オレイン酸」とエチレングリコールのジエステルからなる。
993	51	500199	ジオレイン酸プロピレングリコール		ジオレイン酸PG	本品は、主として「オレイン酸」と「プロピレングリコール」のジエステルからなる。
994	51	540045	ジオレイン酸ヘキサグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とヘキサグリセリンのジエステルからなる。グリセリンの平均重合度は6である。
995	51	502069	ジオレイン酸ポリエチレングリコール		ジオレイン酸PEG	本品は、主として「オレイン酸」とポリエチレングリコール(或いはジエチレングリコール又はトリエチレングリコール)のジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は、200～3000である。
996	51	532187	ジ(カプリル・カプリン酸)ネオペンチルグリコール			本品は、主としてカプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸とネオペンチルグリコールのジエステルからなる。
997	51	507063	ジ(カプリル・カプリン酸)プロピレングリコール		ジ(カプリル・カプリン酸)PG	本品は、カプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸と、プロピレングリコールとのエステルで、主としてジ(カプリル・カプリン酸)プロピレングリコールからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
998	51	105742	ジカプリル酸ピリドキシン	ビタミンB6ジカプリル酸エステル	ビタミンB6ジカプリレート	本品は、カプリル酸と「ピリドキシン」のエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジカプリル酸ピリドキシン(C24H39NO5:421.57)97.0%以上を含む。
999	51	504161	ジカプリル酸プロピレングリコール		ジカプリル酸PG	本品は、主としてカプリル酸と「プロピレングリコール」のジエステルからなる。
1000	51	502070	ジカプリル酸ネオペンチルグリコール			本品は、主としてカプリル酸とネオペンチルグリコールのジエステル(C25H48O4:412.65)からなる。
1001	51	502071	ジカプリル酸プロピレングリコール		ジカプリル酸PG	本品は、主としてカプリル酸とプロピレングリコールのエステル(C23H44O4:384.59)からなる。
1002	51	501061	ジカルボエトキシパントテン酸エチル			本品は、主としてジカルボエトキシパントテン酸エチル(C17H29NO9:391.41)からなる。乾燥したものは定量するとき、窒素(N:14.01)3.4~3.7%を含む。
1003	51	500201	ジグリセリン			本品は、主としてグリセリンの二量体であり、ジグリセリン(C6H14O5:116.17)からなる。
1004	51	504163	ジグリセリンオレイルエーテル	ジグリセリンモノオレイルエーテル		本品は、主としてオレイルアルコールとジグリセリンからなるエーテル(C24H48O5:416.63)である。
1005	51	108572	β -シクロデキストリン			本品は、デンプンを酵素シクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状デキストリンである。
1006	51	110559	α -シクロデキストリン			本品はデンプンを酵素シクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状のデキストリンである。
1007	51	520531	γ -シクロデキストリン			本品は、デンプンをシクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状デキストリンである。
1008	51	523367	シクロデキストリン・糖アルコール混合物			本品は、デンプンを酵素分解した後、還元して得られる6~8個のグルコースが α -1,4-グルコシド結合により環状に結合したシクロデキストリンと糖アルコールの混合物である。
1009	51	532253	自己乳化型酒石酸ジアルキル(14,15)		SE酒石酸ジアルキル(14,15)	本品は、主として「酒石酸ジアルキル(14,15)」と、「ポリオキシエチレンポリオキシプロピレナウリルエーテル」、ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル(3E.O.),ポリオキシエチレンアルキル(14,15)エーテル(7E.O.)及びポリオキシエチレンアルキル(14,15)エーテル(12E.O.)との混合物である。
1010	51	109237	自己乳化型ステアリン酸プロピレングリコール		SEステアリン酸PG	本品はステアリン酸プロピレングリコールとステアリン酸のナトリウム又はカリウム塩の混合物である。
1011	51	523113	自己乳化型モノステアリン酸エチレングリコール		SEステアリン酸グリコール	本品は、主としてステアリン酸とエチレングリコールとのモノエステルからなり、遊離ステアリン酸及びステアリン酸カリウムを含む。
1012	51	540196	自己乳化型モノステアリン酸グリセリル		SEステアリン酸グリセリル	本品は、「ステアリン酸」とグリセリンのモノエステルと、その他の界面活性剤との混合物である。
1013	51	523114	自己乳化型モノステアリン酸プロピレングリコール		SEステアリン酸PG	本品は、主としてモノステアリン酸プロピレングリコールとジエチルアミノエチル(パルミチン酸・ステアリン酸)エステルとの混合物である。
1014	51	510041	自己乳化型モノステアリン酸ポリエチレングリコール(2E.O.)		SEステアリン酸PEG(2)	本品は、主としてポリエチレングリコールのステアリン酸エステルからなり、少量のポリエチレングリコールのジステアリン酸エステル、ステアリン酸カリウム及び硬化油を含み、酸化エチレンの平均付加モル数は2である。
1015	51	502074	シコン			本品を乾燥したものは、定量するとき、シコン(C16H16O5:288.30)85.0%以上を含む。
1016	51	103874	シコンエキス			本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini(Boraginaceae)の根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液又はこれらの微アルカリ性溶液にて抽出して得られるエキスである。
1017	51	509060	シコン色素処理シルクパウダー(1)		シコン色素処理シルク末-1	本品は、「シルク末」を、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini(Boraginaceae)の根の水抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1018	51	509061	シコン色素処理シルクパウダー(2)	シコン処理シルクパウダー	シコン色素処理シルク末-2、シコン処理シルク末	本品は、「シルク末」を、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini(Boraginaceae)の根のエタノール抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1019	51	520536	シコン末			本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini(Boraginaceae)の根を粉末にしたものである。
1020	51	532073	ジ酢酸モノステアリン酸グリセリル	ジ酢酸ステアリン酸グリセリル	ジ酢酸ステアリン酸グリセリル	本品は、主として酢酸2モル、ステアリン酸1モル及びグリセリンからなるトリエステル(C25H46O6:442.00)からなる。
1021	99	999999	ジ水添ロジンダイマージリノレイル			本品は、主としてリノール酸を2~3分子重合して得られたダイマー酸を水素還元し、更に蒸留精製することによって得られたダイマージオールと水素添加ロジンを結合させたジエステルである。
1022	51	103758	L-シスチン		シスチン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-シスチン(C6H12N2O4S2:240.30)97.0~102.0%を含む。
1023	51	501064	ジステアリン酸エチレングリコール		ジステアリン酸グリコール	本品は、ステアリン酸とエチレングリコールのジエステル(C38H74O4:595.01)からなる。
1024	51	503060	ジステアリン酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのジエステルである。
1025	51	502075	ジステアリン酸ジエチレングリコール		ジステアリン酸ジグリコール	本品は、主として「ステアリン酸」とジエチレングリコールのジエステル(C40H78O5:639.04)からなる。
1026	51	501065	ジステアリン酸ソルビタン			本品は、主として「ステアリン酸」とソルビタンのジエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1027	51	523115	ジステアリン酸プロピレングリコール		ジステアリン酸PG	本品は、主としてステアリン酸とプロピレングリコールのジエステル(C39H76O4:609.02)からなる。
1028	99	999999	ジステアリン酸ポリエチレングリコール			本品は、主としてポリエチレングリコールのステアリン酸ジエステルからなる。(3E.O.)
1029	51	523116	ジステアリン酸ポリエチレングリコール(1)		ジステアリン酸PEG-1	本品は、主としてステアリン酸とポリエチレングリコールのジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は、134~7000である。
1030	51	523117	ジステアリン酸ポリエチレングリコール(2)		ジステアリン酸PEG-2	本品は、主としてステアリン酸とポリエチレングリコールとのジエステルからなる、ポリエチレングリコールの平均分子量は11,000である。
1031	51	520543	ジステアリン酸ポリオキシエチレントリメチロールプロパン		ジステアリン酸POE・TMP	本品は、主としてステアリン酸とポリオキシエチレントリメチロールプロパンとのジエステルからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
1032	51	520544	ジステアリン酸ポリオキシエチレンメチルグルコシド		ジステアリン酸POEメチルグルコシド	本品は、主として、ステアリン酸とメチルグルコシドとのジエステルに酸化エチレンを付加重合したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は20である。
1033	51	520545	ジステアリン酸ポリオキシプロピレンメチルグルコシド		ジステアリン酸POPメチルグルコシド	本品は、主として、ステアリン酸とメチルグルコシドのジエステルに酸化プロピレンを付加重合したものであり、酸化プロピレンの平均付加モル数は20である。
1034	51	520546	ジステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主としてステアリン酸とポリグリセリンのジエステルからなる。グリセリンの平均重合度は6~10である。
1035	51	003614	L-システイン		システイン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-システイン(C3H7NO2S:121.16)97.0~102.0%を含む。
1036	51	511032	ジセトステアリルリン酸モノエタノールアミン		ジセトステアリルリン酸MEA	本品は、主としてリン酸とセトステアリルアルコールのジエステルのモノエタノールアミン塩である。
1037	51	523118	シソエキス(1)		シソエキス-1、紫蘇エキス-1	本品は、シソ <i>Perilla frutescens</i> Britton var. <i>acuta</i> Kudo 又はその他近縁植物(Labiatae)の葉及び枝先から「1,3-ブチレングリコール」、エタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1038	51	523119	シソエキス(2)	ソヨウエキス(2)	シソエキス-2、紫蘇エキス-2、ソヨウエキス-2	本品は、シソ <i>Perilla frutescens</i> Britton var. <i>acuta</i> Kudo 又はその他近縁植物(Labiatae)の葉から水で抽出して得られるエキスで、通常「エタノール」を含む。
1039	51	523370	ジチオジグリコール酸			本品は、定量するとき、ジチオジグリコール酸(C4H6O4S2:182.22)90.0%以上を含む。
1040	51	523120	ジチオジグリコール酸ジアンモニウム液			本品は、ジチオジグリコール酸ジアンモニウムの水溶液で、定量するとき、ジチオジグリコール酸(C4H6O4S2:182.22)として表示量の95.0~105.0%を含む。
1041	51	101637	シトステロール			本品は、主としてβ-シトステロール(C29H50O:414.71)からなる。
1042	31	520549	シトラール			本品は、シトラール(C10H16O)96.0%以上を含む。
1043	51	500207	シトロネラール			本品は、定量するとき、シトロネラール(C10H18O:154.25)85.0%以上を含む。
1044	51	500208	シトロネロール			本品は、主としてシトロネロールからなり、その他のテルペンアルコール類を含む。本品は、定量するとき、シトロネロール(C10H20O:156.27)として94.0%以上を含む。
1045	51	520550	シナノキエキス			本品は、 <i>Tilia cordata</i> Mill.、 <i>Tilia platylos</i> Scop.又は <i>Tilia europaea</i> Linne'(Tiliaceae)の花又は葉から、水、「エタノール」、「グリセリン」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1046	31	999999	1,8シネオール	ユーカリプトル		本品は、1,8-シネオール(C10H18O)85.0%以上を含む。
1047	51	500209	シノキサート			本品は、定量するとき、シノキサート(C14H18O4:250.29)95.0~105.0%を含む。
1048	51	502079	ジノナン酸プロピレングリコール	ジペラルゴン酸プロピレングリコール	ジノナン酸PG、ジペラルゴン酸PG	本品は、ノナン酸とプロピレングリコールのジエステルである。
1049	51	540046	ジバラメキシケイ皮酸モノ2-エチルヘキサ酸グリセリル		ジバラメキシケイ皮酸エチルヘキサ酸グリセリル、ジバラメキシケイ皮酸エチルヘキサ酸グリセリル	本品は、グリセリン1分子、バラメキシケイ皮酸2分子及び2-エチルヘキサ酸1分子から構成されるトリグリセリドである。本品は、定量するとき、ジバラメキシケイ皮酸モノ2-エチルヘキサ酸グリセリル(C31H38O8:538.63)93.0%以上を含む。
1050	51	500210	ジパルミチン酸アスコルビル	ビタミンCジパルミチン酸エステル	ビタミンCジパルミテート	本品は、「パルミチン酸」と「アスコルビン酸」のジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジパルミチン酸-L-アスコルビル(C38H68O8:652.94)97.0%以上を含む。
1051	51	105744	ジパルミチン酸ピリドキシン	ビタミンB6ジパルミチン酸エステル	ビタミンB6ジパルミテート	本品は、「パルミチン酸」と「ピリドキシン」のジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジパルミチン酸ピリドキシン(C40H71NO5:646.00)97.0%以上を含む。
1052	51	508054	ジパルミチン酸ポリエチレングリコール150	ジパルミチン酸トリエチレングリコール	ジパルミチン酸PEG150、ジパルミチン酸PEG(3)、ジパルミチン酸トリグリコール	本品は、主としてパルミチン酸とポリエチレングリコール150のジエステルからなる。
1053	51	504172	ジヒドロキシエチルラウリルアミノキシド液			本品は、主としてジヒドロキシエチルラウリルアミノキシドの水溶液である。
1054	51	501066	ジヒドロキシジメチルベンゾフェノン			本品を乾燥したものは、定量するとき、2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメチルベンゾフェノン(C15H14O5:274.27)95.0~105.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1055	51	501067	ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノンジスルホン酸ナトリウム	2, 2'-ジヒドロキシ-4, 4'-ジメトキシベンゾフェノン-5, 5'-ジスルホン酸ナトリウム	ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノンジスルホン酸Na	本品は、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノンをスルホン化したもののナトリウム塩である。
1056	51	501068	ジヒドロキシベンゾフェノン			本品は、主として2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン(C13H10O3:214.22)である。
1057	51	500212	ジヒドロコレステロール			本品を乾燥したものは、定量するとき、ジヒドロコレステロール(C27H48O:388.68)として95.0%以上を含む。
1058	51	532074	ジヒドロラノステロール			本品は、「ラノステロール」を選元して得られるトリテルペンアルコールである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジヒドロラノステロール(C30H52O:428.73)95.0%以上を含む。
1059	51	540044	ジ-dL-ピロリドンカルボン酸アルミニウム液		ジ-dL-PCA・Al液	本品は、ジ-dL-ピロリドンカルボン酸アルミニウムの40%水溶液であり、定量するとき、ジ-dL-ピロリドンカルボン酸アルミニウム(C10H13AlN2O7:300.20)として38~42%を含む。
1060	51	532293	ジフェニルポリシロキサン・ジメチルポリシロキサン共重合体		ジフェニルポリシロキサン・ジメチル共重合体	本品は、10~20モルのジフェニルシロキサンと250~350モルのジメチルシロキサンからなる共重合体である。
1061	51	005217	ジブチルヒドロキシトルエン		BHT	本品は、主としてジブチルヒドロキシトルエン(C15H24O:220.35)からなる。
1062	51	101938	ジブロピレングリコール		DPG	本品は、主としてジブロピレングリコール(C6H14O3:134.17)からなる。
1063	51	523121	ジヘプタデシルケトン	ステアロン		本品は、主としてジヘプタデシルケトン(C35H70O:506.93)からなる。
1064	51	532075	ジペンタエリトリット(2-エチルヘキサ酸・ベヘン酸)エステル		(エチルヘキサ酸・ベヘン酸)ジペンタエリトリット、(エチルヘキサ酸・ベヘン酸)ジペンタエリスリチル	本品は、2-エチルヘキサ酸及びベヘン酸からなる混合脂肪酸とジペンタエリトリットとのエステルである。
1065	51	504174	ジペンタエリトリット脂肪酸エステル(1)		脂肪酸ジペンタエリスリチル-1	本品は、主として12-ヒドロキシステアリン酸、ステアリン酸、ロジン酸からなる混合酸とジペンタエリトリットのエステルからなる。
1066	51	508055	ジペンタエリトリット脂肪酸エステル(2)		脂肪酸ジペンタエリスリチル-2	本品は、主としてイソステアリン酸と12-ヒドロキシステアリン酸からなる混合脂肪酸とジペンタエリトリットのエステルからなる。
1067	99	999999	ジポリヒドロキシステアリン酸ポリエチレングリコール		ジポリヒドロキシステアリン酸PEG	本品は、主としてポリエチレングリコールとポリヒドロキシステアリン酸のジエステルで、平均分子量は4500である。
1068	51	509063	ジミリスチン酸アルミニウム		ジミリスチン酸Al	本品は、主としてジミリスチン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム(Al:25.98)4.5~7.0%を含む。
1069	51	523371	ジミリスチン酸プロピレングリコール		ジミリスチン酸PG	本品は、主として「ミリスチン酸」と「プロピレングリコール」のジエステル(C39H76O4:496.81)からなる。
1070	51	508056	ジメチルアミノエチルメタクリレート処理シルクパウダー		メタクリル酸ジメチルアミノエチル処理シルク末、ジメチルアミノエチルメタクリレート処理シルク末	本品は、カイコガ Bombyx mori (Bombycidae)のまゆから得られる絹を精練し、微細化した後、ジメチルアミノエチルメタクリレートで表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0~16.0%を含む。
1071	51	005219	ジメチルエーテル		DME	本品は、主として、ジメチルエーテル(C2H6O)からなる。
1072	51	504268	ジメチルオクタノ酸オクチルドデシル	ネオデカン酸オクチルドデシル		本品は、定量するとき、ジメチルオクタノ酸オクチルドデシル(C30H60O2:452.80)を90.0%以上含む。
1073	51	500215	ジメチルオクタノ酸ヘキシルデシル		ネオデカン酸ヘキシルデシル	本品は、主として2,2-ジメチルオクタノ酸と2-ヘキシルデカノールのエステル(C26H52O2:396.69)からなる。
1074	51	520553	ジメチルジステアリルアンモニウムヘクトライト	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム処理ヘクトライト	ジステアリルジメチルアンモニウムヘクトライト	本品は、ヘクトライト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをジステアリルジメチルアンモニウムでイオン交換して得られるものである。
1075	51	520554	ジメチルジステアリルアンモニウムベントナイト	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム処理ベントナイト	ジステアリルジメチルアンモニウムベントナイト	本品は、ベントナイト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをジステアリルジメチルアンモニウムでイオン交換して得られるものである。
1076	51	532260	ジメチルシラノール・ヒアルロン酸縮合液			本品は、主としてジメチルシラノールのヒアルロン酸ジエステルの水溶液で、ムコ多糖を含むものもある。
1077	99	999999	ジメチルシロキサン・メチル(ウンデシルグリセリルエーテル)シロキサン共重合体		ジメチルシロキサン・メチルウンデシルグリセリルエーテルシロキサン共重合体	本品は、ジメチルシロキサンとメチル(ウンデシルグリセリルエーテル)シロキサンの共重合体である。
1078	51	532294	ジメチルシロキサン・メチル[3-[3-{N-カルボキシラトメチル-N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルアンモニオ}-2-ヒドロキシプロポキシ]プロピル]シロキサン共重	酢酸ベタイングラフト化ポリシロキサン液	ジメチルシロキサン・メチルカルボキシラトメチルヒドロキシエチルメチルアンモニオヒドロキシプロポキシプロピルシロキサン共重合体液	本品は、主としてジメチルシロキサンとメチル[3-[3-{N-カルボキシラトメチル-N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルアンモニオ}-2-ヒドロキシプロポキシ]プロピル]シロキサンとの共重合体からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			合体液			
1079	51	508057	ジメチルシロキサン・メチルステアロキシシロキサン共重合体	ジメチル／ステアロキシシリシロキサン		本品は、ジメチルシロキサンとメチルステアロキシシロキサンの共重合体である。
1080	51	508058	ジメチルシロキサン・メチルセチルオキシシロキサン共重合体			本品は、ジメチルシロキサンとメチルセチルオキシシロキサンの共重合体である。
1081	51	508059	ジメチルステアリアルアミン		ステアリアルジメチルアミン	本品は、主としてジメチルステアリアルアミン(C200H43N:297.56)からなる。
1082	51	520561	N, N-ジメチル-N-ラウロイル-DL-リジン		ジメチルラウロイル-DL-リジン	本品は、主としてN, N-ジメチル-N-ラウロイル-DL-リジンからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)7.1~8.0%を含む。
1083	51	523122	ジメチルシベンジリデンジオキソイミダゾリジプロピオン酸2-エチルヘキシル	(Z)-4-(3, 4-ジメチルシベンジリデン)-2, 5-ジオキソ-1-イミダゾリジプロピオン酸エチルヘキシル	ジメチルシベンジリデンジオキソイミダゾリジプロピオン酸エチルヘキシル	本品は、定量するとき、(Z)-4-(3, 4-ジメチルシベンジリデン)-2, 5-ジオキソ-1-イミダゾリジプロピオン酸2-エチルヘキシル(C23H32N2O6:432.51)98.0%以上を含む。
1084	51	520562	シモツケソウエキス	シモツケエキス		本品は、セイヨウナツユキソウ <i>Filipendula ulmaria</i> Maximowicz (Rosaceae) の花序から「プロピレングリコール」, 「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの水溶液で抽出して得られるエキスである。
1085	51	520563	ジモンタン酸エチレングリコール・ジモンタン酸ブタンジオール混合物		ジモンタン酸グリコール・ジモンタン酸BG混合物	本品は、主としてモンタン酸と「1,3-ブタンジオール」及びエチレングリコールからなるジエステルの混合物である。
1086	51	105085	シャクヤクエキス	シャクヤク浸出液		本品は、シャクヤク <i>Paeonia lactiflora</i> Pallas (<i>Paeonia albiflora</i> Pallas var. <i>trichocarpa</i> Bunge) 又はその他近縁植物(Paeoniaceae)の根から、水、「エタノール」, 「1, 3-ブチレングリコール」, 又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1087	51	500216	臭化アルキルイソキノリウム液			本品は、主として臭化ラウリルイソキノリウムからなる臭化アルキルイソキノリウムを「イソプロパノール」, エタノール, 水又はこれらの混液に溶かしたものである。本品は、定量するとき、表示量の 90~120%に対応する臭化アルキルイソキノリウム〔臭化ラウリルイソキノリウム(C21H32BrN:378.39)として〕を含む。
1088	1	001317	臭化カリウム		臭化K	本品を乾燥したものは定量するとき、臭化カリウム(KBr)99.0%以上を含む。
1089	51	504180	臭化ステアリルトリメチルアンモニウム			本品は、主として臭化ステアリルトリメチルアンモニウムからなり、通常「イソプロパノール」, 「エタノール」, 水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、臭化ステアリルトリメチルアンモニウム(C21H46BrN:392.50)として、表示量の 90~110%を含む。
1090	51	540197	臭化セチルトリメチルアンモニウム液			本品は、主として臭化セチルトリメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」, エタノール, 水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、臭化セチルトリメチルアンモニウム(C19H42BrN:364.45)として表示量の 90~110%を含む。
1091	51	510043	臭化セチルトリメチルアンモニウム末			本品は、主として臭化セチルトリメチルアンモニウムからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、臭化セチルトリメチルアンモニウム(C19H42BrN:364.45)96.0%以上を含む。
1092	51	102022	臭化ドミフェン			本品は、主として臭化ドミフェンからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、臭化ドミフェン(C22H40BrNO:414.46)として 95.0~105.0%を含む。
1093	51	504181	臭化ラウリルトリメチルアンモニウム	ラウリルトリメチルアンモニウムブロマイド		本品は、定量するとき、臭化ラウリルトリメチルアンモニウム(C15H34NBr:308.34)として表示量の 90~110%を含む。
1094	51	500219	シュウ酸ナトリウム		シュウ酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、シュウ酸ナトリウム(C2Na2O4:134.00)99.0%以上を含む。
1095	51	102774	重質炭酸カルシウム		重質炭酸Ca	本品は、炭酸カルシウムの原石を粉砕して製したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム(CaCO3:100.09)97.0%以上を含む。
1096	51	001398	重質炭酸マグネシウム		重質炭酸Mg	本品は、含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムからなる。本品は、定量するとき、酸化マグネシウム(MgO:40.30)として 40.0~43.5%を含む。
1097	51	502171	重質流動イソパラフィン	水素添加ポリブテン	水添ポリブテン	本品は、インブテンとn-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物である。
1098	51	500223	臭素酸ナトリウム		臭素酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、臭素酸ナトリウム(NaBrO3:150.89)98.5%以上を含む。
1099	51	523123	縮合リシノレイン酸ポリグリセリル			本品は、主としてリシノレイン酸の 5 量体とポリグリセリンのエステルからなる。グリセリンの平均重合度は 6 である。
1100	51	510044	ジュズダマエキス			本品は、ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>susutama</i> Honda (Gramineae) からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスを蒸発乾燥したものの 50%エタノール溶液である。
1101	51	520567	ジュズダマ油			本品は、ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne (Gramineae) の種子から得た脂肪油である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1102		001325	酒石酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、酒石酸(C4H6O6:150.09)99.7%以上を含む。
1103	51	532255	酒石酸ジアルキル(12, 13)			本品は、主として酒石酸と炭素数 12, 13 の分岐アルキル基を有するアルコールのジエステルである。
1104	51	532254	酒石酸ジアルキル(14, 15)			本品は、主として酒石酸と炭素数 14, 15 のアルキル基を有するアルコールのジエステルである。
1105	1	120115	ショウキョウ	生姜	乾生姜	本品はショウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎である。
1106	51	510045	ショウキョウエキス		ショウキョウエキス	本品は、ショウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎から水、「エタノール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1107	51	106536	ショウキョウチンキ		ショウキョウエキス	本品は、ショウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎をエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品 1000mL は、日本薬局方ショウキョウを粗末にしたもの 200g に薄めた「エタノール」(37→50) 約 600mL を加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅうぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を薄めた「エタノール」(37→50) 少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2 日間放置した後、ろ過し、更に薄めた「エタノール」(37→50) を加えて全量を 1000mL として製する。
1108	99	999999	硝酸カリウム		硝酸K	本品を乾燥したものは、定量するとき、硝酸カリウム(KNO ₃ :101.10)を99.0%を以上含む。
1109	51	520568	焼成セリサイト	焼成絹雲母		本品は、「セリサイト」を 1000℃で 2 時間焼成したものである。
1110	51	002231	焼セッコウ			本品は、主として CaSO ₄ ・1/2H ₂ O からなる。
1111	99	999999	ショウブエキス末			本品はショウブ <i>Acorus calamus</i> L.var.angustatus Besser の乾燥根茎を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
1112	99	999999	ショウブ抽出液		ショウブエキス	ショウブ: <i>Acorus Calamus</i> Linne var.angustatus Besser の根茎(菖蒲根)を30v/v%エタノールにて抽出したものである。
1113	51	520569	ショウブ根エキス			本品は、ショウブ <i>Acorus calamus</i> Linne var. angustatus Besser (Araceae) の根茎から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1114	51	121053	ショウブ根末			本品は、ショウブ <i>Acorus calamus</i> Linne var. angustatus Besser 又はその他同属植物 (Araceae) の根茎を粉末にしたものである。
1115	51	507066	蒸留ハッカ水			本品はセイヨウハッカ <i>Mentha piperita</i> L. (Labiatae) を水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
1116	51	520576	植物性スクワラン			本品は、「オリブ油」、「コメヌカ油」、「コムギ胚芽油」、「ゴマ油」などの植物油から抽出されたスクワランを水素添加したものである。本品は定量するとき、スクワラン(C ₃₀ H ₆₂ :422.81)75.0%以上を含有する。
1117	99	999999	植物抽出液 HS			本品は下記に示す各生薬をそれぞれ別個に90v/v%エタノールで抽出し、得られた成分を50v/v%エタノールに溶かし規定量としたのち、各抽出液を等量ずつ混合したものである。
1118	99	999999	植物抽出液<ノナコンプレックス>			本品は下記に示す各植物をそれぞれ50%1,3-ブチレングリコールで抽出し、得られた抽出液を等量ずつ混合したものである。
1119	51	523126	植物油脂肪酸グリセリル・植物油脂肪酸ポリエチレングリコール混合物	植物油・ポリエチレングリコールエステル混合物	植物油脂肪酸グリセリル・植物油脂肪酸PEG混合物、植物油・PEGエステル混合物	本品は、植物油と分子量 300~400 のポリエチレングリコールとのエステル交換により得られるもので、主として、不飽和脂肪酸のグリセリドと、不飽和脂肪酸とポリエチレングリコールのモノ、ジエステルからなる。
1120	51	502082	ショ糖酢酸イソ酪酸エステル			本品は、酢酸及びイソ酪酸の混合物とショ糖のエステルである。
1121	51	005227	ショ糖脂肪酸エステル			本品は、脂肪酸とショ糖のエステルからなる。
1122	51	523127	ジラウリン酸グリセリル			本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのジエステル (C ₂₇ H ₅₂ O ₅ :456.70) からなる。
1123	51	501072	ジラウリン酸ジエチレングリコール		ジラウリン酸ジグリコール	本品は、主として「ラウリン酸」と「ジエチレングリコール」のジエステルからなる。
1124	51	502083	ジラウリン酸ポリエチレングリコール	ポリオキシエチレンジラウリン酸	ジラウリン酸PEG、POEジラウリン酸	本品は、主として「ラウリン酸」とポリエチレングリコールのジエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 4~70 である。
1125	51	520581	シラカバエキス	バーチエキス		本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula pendula</i> Roth. 又はその他同属植物 (Betulaceae) の葉、樹皮又は木部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
1126	51	532076	シラカバエキス(2)	バーチエキス	シラカバエキス-2	本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula alba</i> Linne (Betulaceae) の葉及び樹液から水と「1, 3-ブチレングリコール」の混液で抽出して得られるエキスである。
1127	51	520582	シラカバ樹液			本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula pendula</i> Linne (Betulaceae) の幹より採取した樹液である。
1128	99	999999	紫蘭根エキス			本品は、シラン(紫蘭) <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Reichb. fil. の球根を乾燥したのち、水にて抽出して得られるエキスである。
1129	51	500227	シリコーン樹脂			本品は、主としてメチルポリシロキサンに微粉状の二酸化ケイ素を配合し、熱処理等を施したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1130	51	509064	ジリシノレイン酸ポリエチレングリコール		ジリシノレイン酸PEG	本品は、主としてリシノレイン酸と「ポリエチレングリコール 1000」のジエステルからなり、「プロピレングリコール」及び水を含む
1131	51	509065	ジリノール酸・エチレンジアミン縮合物			本品は、「リノール酸」を主とする不飽和脂肪酸の2量体とエチレンジアミンの等モル縮合物である。
1132	51	532267	シリル化処理無水ケイ酸			本品は、「無水ケイ酸」の表面をシリル化剤により処理して得られるものである。
1133	51	507067	シルク抽出液			本品は、カイコガ Bombyx mori Linnaeus (Bombycidae) から得られる絹繊維を希硫酸溶液で抽出して得られたペプタイド溶液であり、窒素(N:14.01)として、0.3~0.7w/v%含む。
1134	51	520585	シルク末	絹粉、シルクパウダー		本品は、カイコガ Bombyx mori Linnaeus (Bombycidae) のまゆから得られる絹繊維より得たフィブロインの粉体である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.0~20.0%を含む。
1135	99	999999	ジンギバルプルプレウム根エキス			本品は、Zingiber purpureum Roxb. (Zingiberaceae) の根茎を90vol%エタノール溶液にて抽出し、得られた成分を1,3-ブチレングリコールに溶かしたものである。
1136	99	999999	親水性乳酸菌発酵米			本品は、コム(Oriza sativa Linne. (Gramineae))の種子から得られる精白米を乳酸菌で発酵させたのち、水洗、乾燥、粉碎して得られた乳酸菌発酵米に粧原基「L-アラギニン」及び粧配規「マルチトール液」を配合した粉体である。
1137	51	540199	親油型モノオレイン酸グリセリル		親油型オレイン酸グリセリル	本品は、主として「オレイン酸」とグリセリンのモノエステルからなり、ジエステル、トリエステル等も含む。
1138	51	540200	親油型モノステアリン酸グリセリル		親油型ステアリン酸グリセリル	本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのモノエステルからなり、ジエステル、トリエステル等も含む。
1139	51	520587	スイカズラエキス			本品は、スイカズラ Lonicera japonica Thunberg 又はその他同属植物(Caprifoliaceae)の花、葉又は茎から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
1140	51	100446	水酸化アルミニウム		水酸化Al	本品を乾燥したものは、定量するとき、水酸化アルミニウム[Al(OH)3:78.00]98.0%以上を含む。
1141	51	001346	水酸化カリウム		水酸化K	本品は、定量するとき、総アルカリ(KOHとして)85.0%以上を含み、このうち炭酸カリウム(K2CO3:138.21)は、3.5%以下である。
1142	51	002217	水酸化カルシウム	消石灰	水酸化Ca	本品は、定量するとき、水酸化カルシウム[Ca(OH)2:74.09]90.0%以上を含む。
1143	51	500232	水酸化クロム		水酸化Cr	本品は、主としてオキシ水酸化クロム[Cr2O(OH)4]からなる。本品は、定量するとき、三酸化クロム(Cr2O3:151.99)として65.0%以上を含む。
1144	51	532077	水酸化大豆リン脂質			本品は、「大豆リン脂質」に水酸基を導入したものである。
1145	51	001347	水酸化ナトリウム		水酸化Na	本品は、定量するとき、総アルカリ(NaOHとして)95.0%以上を含み、このうち炭酸ナトリウム(Na2CO3:105.99)は3.0%以下である。
1146	1	001347	水酸化ナトリウム		水酸化Na	本品は定量するとき、水酸化ナトリウム(NaOH)95.0%以上を含む。
1147	51	103940	水酸化マグネシウム		水酸化Mg	本品を乾燥したものは、定量するとき、水酸化マグネシウム(Mg(OH)2:58.32)95.0%以上を含む。
1148	51	523129	水素添加エステルガム		水添エステルガム	本品は、主として不均化デヒドロアピエチン酸及びテトラヒドロアピエチン酸からなる混合物のグリセリンエステルを水素添加したものである。
1149	51	505076	水素添加ジテルペン		水添ジテルペン	本品は、ジペンテンの重合により得られるジテルペンの混合物を水素添加して得られる飽和炭化水素である。
1150	51	509066	水素添加スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体		水添スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体	本品は、スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体を水素添加したものである。
1151	51	504185	水素添加大豆油脂肪酸グリセリル	モノ水添大豆油脂肪酸グリセリル	水添大豆油脂肪酸グリセリル	本品は、主として、水素添加した大豆油脂肪酸のモノグリセライドよりなる。
1152	51	520589	水素添加大豆リン脂質	水素添加酵素処理大豆リン脂質	水添大豆リン脂質、水添酵素処理大豆リン脂質	本品は、「大豆リン脂質」を酵素処理して得たリン脂質を水素添加したものである。
1153	51	506017	水素添加大豆リン脂質		水添大豆リン脂質	本品は、「大豆リン脂質」を水素添加したものである。
1154	99	999999	水素添加大豆リン脂質 M			本品は、「大豆リン脂質」を水素添加したもので、主としてリン脂質からなる。
1155	51	509067	水素添加トリテルペン混合物		水添トリテルペン混合物	本品は、リモネンの重合により得られるトリテルペンの混合物に水素添加して得られる飽和炭化水素である。
1156	51	520591	水素添加ホホバ油		水添ホホバ油	本品は、「ホホバ油」を水素添加して得られるものである。
1157	51	505093	水素添加ヤシ油		水添ヤシ油	本品は、「ヤシ油」を水素添加して得たものである。
1158	51	520592	水素添加ヤシ油脂肪酸		水添ヤシ油脂肪酸	本品は、「ヤシ油脂肪酸」を水素添加して得られる飽和脂肪酸である。
1159	51	110019	水素添加ラノリンアルコール		水添ラノリンアルコール	本品は、「ラノリンアルコール」を水素添加して得られるものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、コレステロール(C27H46O:386.65)30.0%以上を含む。
1160	51	540202	水素添加卵黄油		水添卵黄油	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson の卵黄から得た油を水素添加したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1161	51	523130	水素添加卵黄レシチン	水素添加卵黄リン脂質	水添卵黄レシチン、水添卵黄リン脂質	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)の卵黄から得たリン脂質を水素添加したものである。本品は、定量するとき、リン脂質として、表示量の90.0%以上を含む。
1162	51	523131	水素添加ロジン		水添ロジン	本品は、「ロジン」を水素添加したものである。
1163	51	510046	水溶性エラスチン			本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin の頸部の腱より抽出したエラスチンを、可溶化したものである。本品は、定量するとき、エラスチン 3.5～5.5mg/mL を含む。
1164	51	503070	水溶性コラーゲン			本品は、ウシ Bos Taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) 又はブタ Susscrofa Linne' var. domesticus (Suidae) の皮膚、骨髄組織から抽出したコラーゲンを乾燥したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N:14.01) 14.0～19.0% を含む。
1165	99	999999	水溶性コラーゲン液			本品は、キンメダイ目キンメダイ科 (Bericidae) の魚の皮から酢酸溶液で抽出して得られるコラーゲンの水溶液である。
1166	51	522038	水溶性コラーゲン液(1)		水溶性コラーゲン液-1	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) 又はブタ Susscrofa Linne' var. domesticus (Suidae) の皮膚、骨髄組織から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出したコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.02～4.2% を含む。
1167	51	532295	水溶性コラーゲン液(3)		水溶性コラーゲン液-3	本品は、カレイ目ウシノシタ科 (Cynoglossidae) の魚の皮から酢酸溶液で抽出して得られるコラーゲンの水溶液である。本品を定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.02～1.0% を含む。
1168	99	999999	水溶性コラーゲン液(4)		水溶性コラーゲン液-4	本品は、キハダ Thunnus albacares (Bonnaterre) の魚皮から水で抽出したコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.02%～1.0% を含む。
1169	99	999999	水溶性プロテオグリカン			本品は、フカヒレの軟骨から抽出されたプロテオグリカンの水溶液である。
1170	51	106971	スギナエキス			本品は、スギナ Equisetum arvense Linne' (Equisetaceae) の全草より水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、もしくは 1% 尿素含有エタノール溶液、1% 尿素含有 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1171	51	111033	スキムミルク		脱脂粉乳	本品は、脱脂牛乳を乾燥したものである。
1172	31	999999	スクラロース			本品を無水物換算したものは、スクラロース (C12H19Cl3O8) 98.0～102.0% を含む。
1173	51	106906	スクワラン			本品は、アイザメ (Centrophorus) その他の主として深海に生息するサメ類の肝油から得たスクワレンを水素添加して得られる飽和炭化水素で、主成分は、スクワラン (C30H62:422.81) からなる。
1174	51	508064	スクワレン			本品は、サメ類の肝油をけん化し、不けん化物を減圧蒸留して得られた不飽和炭化水素 (C30H50:410.72) である。
1175	51	503072	スコルジニン			本品は、ニンニク Allium scorodiplasum Linne', Allium sativum Linne' (Liliaceae) の鱗茎を脱皮、破碎し、30～50℃で 1～2 昼夜熟成した後、約 130℃の高圧蒸気にて水蒸気蒸留を行い、揮発性物質を除去し、水蒸気蒸留残留物を圧搾、ろ過した抽出液に活性炭を加え、活性炭に吸着したものを 50～60%メタノール液で溶出し、この操作を 2～3 回繰り返して精製した液を低温で減圧濃縮した液をメタノール中に低温でかき混ぜながら加えるとき、生じた結晶性析出物を低温減圧乾燥した後、粉碎して粉末としたものである。
1176	51	523376	スズ酸ナトリウム		スズ酸Na	本品は、定量するとき、スズ酸ナトリウム (Na2SNO3・3H2O:266.73) 95.0%以上を含む。
1177	51	507068	スチレン重合体エマルジョン		ポリスチレンエマルジョン	本品は、スチレン重合体のエマルジョンである。
1178	51	523132	スチレン・ビニルピロリドン共重合体		スチレン・VP共重合体	本品はビニルピロリドンとスチレンの共重合体である。
1179	51	540047	スチレン・ブタジエン共重合体エマルジョン			本品は、スチレンとブタジエンの共重合体のエマルジョンである。
1180	51	505095	スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体	ポリスチレンビニルトルエン樹脂		本品は、スチレン、ビニルトルエン、メチルスチレン及びインデンの共重合体であり、本品の平均分子量は約 1400 である。
1181	51	002219	ステアリアルアルコール			本品は、主としてステアリアルアルコール (C18H38O:270.49) からなる。
1182	51	532078	ステアリルジヒドロキシエチルベタイン液	ステアリルジヒドロキシエチルアミノ酢酸液		本品は、主としてステアリルジヒドロキシエチルアミノ酢酸の水溶液からなる。
1183	51	520607	ステアリルジメチルアミン			本品は、主としてステアリルジメチルアミン (C20H43N:297.56) からなる。
1184	51	503074	ステアリルジメチルアミノオキシド			本品は、主としてステアリルジメチルアミノオキシドの水溶液で、本品を定量するとき、ステアリルジメチルアミノオキシド (C20H43NO:313.56) として表示量の 90～110% を含む。
1185	51	504195	ステアリルジメチルベタインナトリウム液		ステアリルジメチルベタインNa液	本品は、主としてステアリルジメチルアミノ酢酸ナトリウムの水溶液からなる。
1186	51	540048	ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリン液	ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリネート液	ステアリルアンモニウムサッカリン液	本品は、主としてステアリルトリメチルアンモニウムサッカリンからなり、通常「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリン (C28H50N2O3S:494.77) として表示量の 90～110 % を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1187	51	532079	ステアリルベタイン液	ステアリルジメチルアミノ酢酸液		本品は、主としてステアリルジメチルアミノ酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の 90.0～110.0%に対応するステアリルジメチルアミノ酢酸を含む。
1188	51	501075	ステアリル硫酸ナトリウム		ステアリル硫酸Na	本品は、主としてステアリル硫酸ナトリウム(C18H37NaO4S:372.54)からなる。
1189	51	002220	ステアリン酸			本品は、主としてステアリン酸(C18H36O2:284.48)からなる。
1190	51	107765	ステアリン酸亜鉛		ステアリン酸Zn	本品は、主として「ステアリン酸」の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn:65.41)10.0～12.5%を含む。
1191	51	500239	ステアリン酸アスコルビル		ビタミンCステアレート	本品を乾燥したものは、定量するとき、ステアリン酸-L-アスコルビル(C24H42O7:442.59)93.0%以上を含む。
1192	51	501076	ステアリン酸アミド	ステアリン酸アマイド		本品は、主としてステアリン酸よりなる脂肪酸の酸アミドである。
1193	51	100462	ステアリン酸アルミニウム		ステアリン酸Al	本品は、主としてジステアリン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム(Al:26.98)3.5～6.0%を含む。
1194	51	501079	ステアリン酸エチル			本品は、主としてステアリン酸とエタノールのエステル(C20H40O2:312.53)からなる。
1195	51	540049	ステアリン酸2-エチルヘキシル		ステアリン酸エチルヘキシル	本品は、主としてステアリン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C26H52O2:396.69)からなる。
1196	51	105523	ステアリン酸カリウム		ステアリン酸K	本品は、主としてステアリン酸のカリウム塩(C18H35KO2:322.57)からなる。
1197	51	002221	ステアリン酸カルシウム		ステアリン酸Ca	本品は、主として「ステアリン酸」のカルシウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、カルシウム(Ca:40.08)6.4～7.1%を含む。
1198	51	504199	ステアリン酸グリコール酸アミドエステル	ステアリン酸グリコール酸アミド		本品は、「ステアリン酸」と「グリコール酸」のエステルをアミド化したものである。本品を乾燥したものは、定量するときステアリン酸グリコール酸アミドエステル(C20H39NO3:341.53)95.0%以上を含む。
1199	51	500242	ステアリン酸グリチルレチニル	3-ステアロイルオキシグリチルレチン酸	ステアロイルオキシグリチルレチン酸	本品を乾燥したものは、定量するとき、ステアリン酸グリチルレチニル(C48H80O5:737.15)95.0%以上を含む。
1200	51	504201	ステアリン酸硬化ヒマシ油	モノステアリン酸硬化ヒマシ油	ステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、「硬化ヒマシ油」と「ステアリン酸」のモノエステルからなる。
1201	51	500243	ステアリン酸コレステリル			本品は、主として「ステアリン酸」と「コレステロール」のエステル(C45H80O2:653.12)からなる。
1202	51	500244	ステアリン酸ジエタノールアミド			本品は、主として「ステアリン酸」と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
1203	51	532080	ステアリン酸ジエタノールアミド(1:2型)			本品は、主として1モルのステアリン酸と2モルのジエタノールアミンとを縮合して得られる1:2型アルキロールアミドである。
1204	51	504202	ステアリン酸ジエチルアミノエチルアミド			本品は、主としてステアリン酸ジエチルアミノエチルアミド(C24H50N2O:382.67)からなる。
1205	51	501082	ステアリン酸ジエチレングリコール		ステアリン酸ジグリコール	本品は、主として「ステアリン酸」と「ジエチレングリコール」のモノエステル(C22H44O4:372.58)からなる。
1206	51	532081	ステアリン酸ジメチルアミノプロピルアミド			本品は、主としてステアリン酸ジメチルアミノプロピルアミド(C23H48N2O:368.64)からなる。
1207	51	520609	ステアリン酸ステアリル			本品は、主として「ステアリン酸」と「ステアリルアルコール」のエステル(C36H72O2:536.96)からなる。
1208	51	504204	ステアリン酸ステアロイルエタノールアミド			本品は、主としてステアリン酸とステアリン酸モノエタノールアミドのエステルからなる。
1209	51	504205	ステアリン酸トリエタノールアミン		ステアリン酸TEA	本品は、主として「ステアリン酸」のトリエタノールアミン塩からなる。
1210	51	106754	ステアリン酸ナトリウム		ステアリン酸Na	本品は、主として「ステアリン酸」のナトリウム塩からなる。
1211	51	523133	ステアリン酸バクモンドウエキスエステル		ステアリン酸バクモンドウエキス	本品は、「ステアリン酸」と「バクモンドウエキス」のエステルである。本品は定量するとき、ショ糖として15～25%を含む。
1212	51	111038	ステアリン酸パチル			本品は、主として「ステアリン酸」と「パチルアルコール」のモノエステルからなる。
1213	51	101100	ステアリン酸ブチル			本品は、主として「ステアリン酸」と「ブタノール」のエステル(C22H44O2:340.58)からなる。
1214	51	540050	ステアリン酸2-ヘキシルデシル	ステアリン酸イソセチル	ステアリン酸ヘキシルデシル	本品は、主としてステアリン酸とイソセチルアルコールのエステル(C34H68O2:508.90)からなる。
1215	51	504344	ステアリン酸ポリオキシエチレンステアリルエーテル		ステアリン酸POEステアリルエーテル	本品は、主としてステアリン酸とポリオキシエチレンステアリルエーテルとのエステルであり、酸化エチレンの平均付加モル数は4～9である。
1216	51	504206	ステアリン酸ポリオキシエチレンセチルエーテル		ステアリン酸POEセチルエーテル	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンセチルエーテルのエステルである。
1217	51	002223	ステアリン酸マグネシウム		ステアリン酸Mg	本品は、主として「ステアリン酸」のマグネシウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、マグネシウム(Mg:24.31)4.0～5.0%を含む。
1218	51	523134	ステアリン酸マグネシウム被覆酸化ジルコニウム・酸化セリウム	ステアリン酸マグネシウム被覆ジルコニア・セリア	ステアリン酸Mg被覆酸化Zr・酸化セリウム、ステアリン酸Mg被覆ジルコニア・セリア	本品は、酸化ジルコニウム及び酸化セリウムを混合、焼結し、粉砕したものに、ステアリン酸マグネシウムを被覆処理したものである。本品を強熱したものは、定量するとき、酸化ジルコニウム(ZrO2:123.22)35.0～49.0%及び酸化セリウム(CeO2:172.11)51.0～65.0%を含む。
1219	51	500247	ステアリン酸モノエタノールアミド		ステアリン酸エタノールアミド	本品は、主として「ステアリン酸」と当量の「エタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1220	51	503079	ステアリン酸リンゴ酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とリンゴ酸の混合物とグリセリンからなるエステルである。
1221	51	520620	N-ステアロイル-N-メチルタウリンナトリウム		ステアロイルメチルタウリンNa	本品は、定量するとき、N-ステアロイル-N-メチルタウリンナトリウム(C ₂₁ H ₄₂ NNaO ₄ S:427.62)として、表示量の90.0~110.0%を含む。
1222	99	999999	ステアロイルオキシヘプタコサノイルフィトスフィンゴシン			本品は酵母(Saccharomyces)の一種である Pichia 種の代謝産物を加熱過することにより無菌処理して得たフィトスフィンゴシンをステアロイルヘプタコサンでアシル化し、主として N-ステアロイルオキシヘプタコサノイルフィトスフィンゴシン(C ₆₃ H ₁₂₅ NO ₆ :分子量992.7)からなる。
1223	51	523135	ステアロイル加水分解コラーゲンカリウム液		ステアロイル水解コラーゲンK液	本品は、「ステアリン酸」と「加水分解コラーゲン末」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.2~2.7%を含む。
1224	51	523136	ステアロイル加水分解コラーゲンナトリウム		ステアロイル水解コラーゲンNa	本品は、「ステアリン酸」と「加水分解コラーゲン末」との縮合物のナトリウム塩である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.0~12.0%を含む。
1225	51	520616	N-ステアロイル-L-グルタミン酸		ステアロイルグルタミン酸	本品は、主として N-ステアロイル-L-グルタミン酸からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.1~3.4%を含む。
1226	51	532082	N-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウム被覆セリサイト		ステアロイルグルタミン酸A1被覆セリサイト	本品は、「セリサイト」をN-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウムで被覆処理したものである。
1227	51	532083	N-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウム被覆タルク		ステアロイルグルタミン酸A1被覆タルク	本品は「タルク」をN-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウムで被覆処理したものである。
1228	51	523137	N-ステアロイル-L-グルタミン酸カリウム		ステアロイルグルタミン酸K	本品は、主として N-ステアロイル-L-グルタミン酸カリウムからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~3.5%を含む。
1229	51	511035	ステアロイルグルタミン酸ジオクチルドデシル			本品は、主として「N-ステアロイル-L-グルタミン酸」と「オクチルドデカノール」のジエステルからなる。
1230	51	500248	N-ステアロイル-L-グルタミン酸ナトリウム		ステアロイルグルタミン酸Na	本品は、主として N-ステアロイル-L-グルタミン酸ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~3.2%を含む。
1231	51	520617	N-ステアロイル-L-グルタミン酸二ナトリウム		ステアロイルグルタミン酸2Na	本品は、主として「N-ステアロイル-L-グルタミン酸」のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~3.1%を含む。
1232	51	511036	ステアロイルジヒドロキシイソブチルアミドステアリン酸モノエステル	ステアリン酸ジオキシイソブチルアミドステアリン酸モノエステル		本品は、主としてステアリン酸ジヒドロキシイソブチルアミドのモノエステルからなる。
1233	51	540001	12-ステアロイルステアリン酸2-ヘキシルデシル	12-ステアロイルオキシステアリン酸イノセチル	ステアロイルステアリン酸ヘキシルデシル	本品は、主として 12-ステアロイルオキシステアリン酸と「ヘキシルデカノール」のエステル(C ₅₂ H ₁₀₂ O ₄ :791.36)からなる。
1234	51	532084	12-ステアロイルステアリン酸イソステアリル	12-ステアロイルオキシステアリン酸イソステアリル	ステアロイルステアリン酸イソステアリル	本品は、主として 12-ステアロイルオキシステアリン酸と「イソステアリルアルコール」のエステル(C ₅₄ H ₁₀₆ O ₄ :819.42)からなる。
1235	51	508066	12-ステアロイルステアリン酸オクチルドデシル		ステアロイルステアリン酸オクチルドデシル	本品は、主として 12-ステアロイルステアリン酸と「オクチルドデカノール」のエステル(C ₅₆ H ₁₁₀ O ₄ :847.47)からなる。
1236	51	532086	12-ステアロイルステアリン酸ステアリル	12-ステアロイルオキシステアリン酸ステアリル	ステアロイルステアリン酸ステアリル	本品は、主として 12-ステアロイルオキシステアリン酸と「ステアリルアルコール」のエステル(C ₅₄ H ₁₀₆ O ₄ :819.42)からなる。
1237	51	520619	ステアロイル乳酸ナトリウム		ステアロイル乳酸Na	本品は、主として「ステアリン酸」と乳酸ナトリウムのエステルからなる。
1238	51	532203	N-ステアロイルフィトスフィンゴシン		ステアロイルフィトスフィンゴシン	本品は、酵母 Saccharomyces の代謝産物を加熱過して得たフィトスフィンゴシンをステアリン酸でアシル化したもので、主として N-ステアロイルフィトスフィンゴシン(C ₃₆ H ₇₃ NO ₄ :583.97)からなる。
1239	51	504208	ステアロイルロイシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、N-ステアロイル-L-ロイシン(C ₂₄ H ₄₇ NO ₃ :397.63)90.0%以上を含む。
1240	51	523139	ステアロキシトリメチルシラン			本品は、「ステアリルアルコール」とヘキサメチルジシラザンの縮合物(C ₂₁ H ₄₆ OSi:342.67)である。
1241	51	520621	ステアロキシメチルポリシロキサン		ステアロキシジメチコン	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をステアロキシ基で置換したものである。
1242	51	111653	ステビアエキス			本品は、ステビア Stevia rebaudiana Bertoni (Compositae) の地上部から水にて抽出して得られるエキスである。
1243	99	999999	ステビアエキス			本品は、ステビア (Stevia rebaudiana Bertoni) の地上部を水にて抽出し、乾燥したものであり、ステビオサイド (Stevioside)、レバウディオサイド A (Rebaudioside A) 等数種の甘味成分を含むステビア抽出物である。
1244	51	520624	ストロベリー果汁	イチゴ果汁		本品は、オランダイチゴ Fragaria chiloensis Duch. var. ananassa Bailey (Rosaceae) の果実(生)から圧搾して得られる果汁である。
1245	51	110234	スペアミント油			本品は、ミドリハッカ Mentha spicata Linne´ 又は Mentha gentilis Forsk (Labiatae) の全草を水蒸気蒸留して得た精油である。本品は定量するときカルボン(C ₁₀ H ₁₄ O:150.22)55vol%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1246	51	540051	スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム	スルホコハク酸ジエチルヘキシルNa a、ジオクチルスルホコハク酸Na	本品は、主としてジ(2-エチルヘキシル)スルホコハク酸のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものを定量するときジ(2-エチルヘキシル)スルホコハク酸ナトリウム(C20H37NaO7S:444.56)96.0%以上を含む。
1247	51	540052	スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム液	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム液	スルホコハク酸ジエチルヘキシルNa液、ジオクチルスルホコハク酸Na液	本品は、「スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム」の溶液で、「イソプロパノール」、「エタノール」、「プロピレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、スルホコハク酸ジ(2-エチル)ヘキシルナトリウム(C20H37NaO7S:444.56)として表示量の90%~110%を含む。
1248	51	511037	スルホコハク酸ポリオキシエチレンモノオレイルアミドジナトリウム(2E. O.)液		スルホコハク酸POE(2)オレイルアミド2Na液	本品は、主としてスルホコハク酸ポリオキシエチレンモノオレイルアミドジナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。
1249	51	540053	スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウム(5E. O.)液		スルホコハク酸POE(5)ラウロイルエタノールアミド2Na液	本品は、スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、5である。定量するとき、スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウム(5E. O.)(C28H51NNa2O13S:687.75)として表示量の90~110%を含む。
1250	51	504210	スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム		スルホコハク酸ラウリル2Na	本品は、主としてスルホコハク酸ラウリル二ナトリウムからなり、水を含むものもある。本品を定量するとき、スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム(C16H28Na2O7S:410.43)として表示量の90~110%を含む。
1251	51	500249	L-スレオニン	L-トレオニン	スレオニン、トレオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-スレオニン(C4H9NO3:119.12)98.0%以上を含む。
1252	51	001370	精製水			本品は、日本薬局方常水を蒸留、イオン交換、超ろ過又はそれらの組み合わせにより精製して得たものである。
1253	1	001480	精製白糖			本品は精製された白糖である。
1254	51	520656	セイヨウキズタエキス	アイビーエキス		本品は、セイヨウキズタ <i>Hedera helix</i> Linne (Araliaceae)の葉、茎から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1255	51	106281	セイヨウサンザシエキス			本品は、セイヨウサンザシ <i>Crataegus oxyacantha</i> Linne (Rosaceae)の花、葉、又は果実から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1256	51	503084	セイヨウニワトコエキス			本品は、セイヨウニワトコ <i>Sambucus nigra</i> L.の花又は果実から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、「ヘキシレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスである。
1257	51	503085	セイヨウネズエキス			本品は、セイヨウネズ <i>Juniperus communis</i> L.の果実から水又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1258	51	520657	セイヨウノコギリソウエキス			本品は、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> Linne (Compositae)の頭花又は全草から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1259	51	106266	セイヨウハッカエキス			本品は、セイヨウハッカ <i>Mentha piperita</i> Linne (Labiatae)の葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1260	51	520658	セージエキス	サルビアエキス		本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae)の花、葉又は全草から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1261	51	520660	セージ水			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae)の葉から水で抽出して得られたエキスを、水蒸気蒸留して得られる液である。
1262	51	520661	セージ末			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae)の葉を粉末としたものである。
1263	51	523140	セージ油			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae)の葉から水蒸気蒸留して得た精油である。
1264	51	540194	合成ゼオライト	ゼオライト		本品は、主として含水ケイ酸アルミニウムナトリウムからなる合成ゼオライトである。
1265	51	504212	セスキイノステアリン酸ソルビタン			本品は、主としてイノステアリン酸とソルビタンのモノ及びジエステルの混合物である。
1266	51	504213	セスキオレイン酸グリセリル	セスキオレイン酸グリセリン		本品は、主として「オレイン酸」とグリセリンのモノ及びジエステルの混合物である。
1267	51	502089	セスキオレイン酸ジグリセリル			本品は、「オレイン酸」と「ジグリセリン」のモノ、ジエステルの混合物である。
1268	51	002228	セスキオレイン酸ソルビタン			本品は、主として「オレイン酸」とソルビタン及びソルバイドのジエステル及びモノエステルからなる。
1269	51	106820	セスキシステアリン酸ソルビタン			本品は、主として「ステアリン酸」とソルビタン及びソルバイドのジエステル及びモノエステルからなる。
1270	51	503088	セスキシステアリン酸メチルグルコシド			本品は、主としてステアリン酸とメチルグルコシドのモノエステル及びジエステルからなる。
1271	51	106749	セスキ炭酸ナトリウム		セスキ炭酸 Na	本品は、定量するとき、セスキ炭酸ナトリウム(Na2CO3・NaHCO3・2H2O:226.03)97.0%以上を含む。
1272	51	002229	セタノール			本品は、主としてセチルアルコール(C16H34O:242.44)からなる。
1273	51	500597	セチルトリメチルアンモニウムサッカリン液			本品は、主としてセチルトリメチルアンモニウムサッカリンからなり、通常「イソプロパノール」、「エタノール」、「精製水」又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、セチルトリメチルアンモニウムサッカリン(C26H47N2O3S:466.72)として表示量の90~110%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1274	51	106629	セチル硫酸ナトリウム		セチル硫酸Na、セチル硫酸塩	本品は、主としてセチル硫酸ナトリウム(C16H33NaO4S:344.49)からなるアルキル硫酸ナトリウムである。
1275	51	512017	セチルリン酸カリウム		セチルリン酸K	本品は、主としてモノセチルリン酸カリウム(C16H34KO4P:360.51)からなる。
1276	51	504217	セチルリン酸ジエタノールアミン	モノセチルリン酸ジエタノールアミン	セチルリン酸DEA	本品は、主としてセチルリン酸のジエタノールアミン塩(C20H46NO6P:427.56)からなる。
1277	99	999999	石けん液			本品は、主としてラウリン酸及びミリスチン酸のカリウム塩の等量混合物からなる石けんの水溶液である。
1278	51	500255	石けん用素地			本品は、主として脂肪酸のナトリウム塩からなる。
1279	51	520716	セトキシメチルポリシロキサン	セチルオキシメチルポリシロキサン	セトキシジメチコン	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をセトキシ基で置換したものである。
1280	51	101316	セトステアリルアルコール		セテアリルアルコール	本品は、主として「セタノール」及び「ステアリルアルコール」からなる。
1281	51	523141	セトステアリルグルコシド・セトステアリルアルコール		セテアリルグルコシド・セテアリルアルコール	本品は、セトステアリルグルコシドとセトステアリルアルコールの混合物である。
1282	51	504218	セトステアリル硫酸ナトリウム		セトステアリル硫酸Na、セテアリル硫酸Na	本品は、主として「セトステアリルアルコール」のスルホン化物のナトリウム塩からなる。
1283	51	520718	ゼニアオイエキス	ウスベニアオイエキス		本品は、ウスベニアオイ <i>Malva sylvestris</i> Linne [´] (Malvaceae)の花又は花及び葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1284	51	520720	ゼニアオイ末	ウスベニアオイ末		本品は、ウスベニアオイ <i>Malva sylvestris</i> Linne [´] (Malvaceae)の葉を粉末にしたものである。
1285	51	110240	セバシン酸ジイソプロピル			本品は、主としてセバシン酸とイソプロパノールのジエステル(C16H3004:286.41)である。
1286	51	110241	セバシン酸ジエチル			本品は、主としてセバシン酸と「エタノール」のジエステル(C14H2604:258.35)からなる。
1287	51	540054	セバシン酸ジ2-エチルヘキシル	セバシン酸ジオクチル	セバシン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてセバシン酸と2-エチルヘキサノールのジエステル(C26H5004:426.67)からなる。
1288	99	999999	セファランチン			本品は防己科植物タマサキツヅラフジ (<i>Stephania cepharantha</i> Hayata)の塊根を粗切りしたのち乾燥し、これをメタノール、エーテル等で抽出精製したもので、ビスコクラウリン型アルカロイド(主としてセファランチン〔注1〕)を含む粉末である。本品を乾燥したものは定量するときビスコクラウリン型アルカロイド95.0%以上を含む。
1289	51	001382	ゼラチン			本品は、動物の骨、皮膚、じん帯又はけんを酸又はアルカリで処理して得られた粗コラーゲンを水で加熱抽出して製したものである。
1290	51	106230	セラック			本品は、ラックカイガラムシ <i>Laccifer lacca</i> Kerr (Coccidae)の分泌物を精製したものである。
1291	99	999999	セラミド2			本品は、(2S,3R)-ジヒドロスフィンゴシン((2S,3R)-2-アミノオクタデカン-1,3-ジオール)とステアリン酸(オクタデカン酸)がアミド結合した化合物からなる。本品は定量するとき、(2S,3R)-2-オクタデカノイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール(C36H73NO3:567.98)として90.0%以上を含む。
1292	51	520721	セリサイト			本品は、天然に産する微結晶含水ケイ酸アルミニウム・カリウムである。
1293	51	500260	DL-セリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-セリン(C3H7NO3:105.09)98.0~102.0%を含む。
1294	51	003615	L-セリン		セリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-セリン(C3H7NO3:105.09)98.0~102.0%を含む。
1295	51	520723	セルロース末			本品は、酢酸セルロースをアルカリで加水分解して得られるものである。
1296	51	101307	セレシン			本品は、地ロウから得た固形の炭化水素類の混合物である。
1297	51	504220	セロチン酸			本品は、主としてセロチン酸(C26H52O2:396.69)からなる。
1298	51	523142	セロリエキス	オランダミツバエキス		本品は、オランダミツバ <i>Aplum graveolens</i> Linne [´] (Umbelliferae)の茎から、1%尿素含有エタノール溶液又は1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1299	1	002236	センキュウ	川?		本品はセンキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae)の根茎を、通例、湯通したものである。
1300	51	520724	センキュウエキス			本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae)の根茎から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1301	99	999999	センキュウエキス散			本品は日局センキュウ: <i>Cnidium officinale</i> の根茎:を30w/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
1302	51	520725	センキュウ水			本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae)の根茎から水にて抽出して得られたエキスを水蒸気蒸留して得られる液である。
1303	99	999999	センキュウ抽出液		センキュウエキス	本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae)の根茎の30w/v%エタノール溶液による抽出液である。
1304	51	520727	センブリエキス			本品は、センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae)の全草から水、「エタノール」、「無水エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1305	99	999999	センブリエキス			本品は日局・センブリ末〔センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae)の開花期の全草を粉末としたもの〕を無水エタノールで抽出して得られた成分を日局・マクロゴール1500に10%含有させたペーストである。
1306	99	999999	センブリエキス M			本品は、日局「センブリ」〔センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae)の開花期の全草を粉末としたもの〕を無水エタノールで抽出して得られた成分を日局「マクロゴール1500」に10%含有させたペーストである。
1307	99	999999	センブリ抽出液		センブリエキス	本品はセンブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae)の開花期の全草を乾燥し、粗末としたものから無水エタノールにて抽出して得られた成分を70vol%エタノール溶液(無水エタノール:精製水=7:3)に溶かしたものである。
1308	99	999999	センブリ抽出リキッド			本品はセンブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae)開花期の全草を乾燥し、粗末としたものから無水エタノール抽出して得られたエキスを粧原基1,3-ブチレングリコールに溶解し、液状(リキッドタイプ)としたものである。本品1gは原生薬約3.3gに相当する。
1309	99	999999	桑白皮エキス			本品は日局「桑白皮」の含有成分を70%エタノールで抽出し、さらに得られる抽出液を酢酸エチルで抽出したエキスで、サンゲニンCを0.16~0.50mg/ml含み、n-ヘキササンエキス含量は12~36%である。
1310	51	509071	側鎖高級アルコール(C32~C36)混合物		側鎖高級アルコール(32~36)、側鎖アルコール(32~36)	本品は、「セタノール」及び「ステアリアルアルコール」を縮合して得た側鎖高級アルコールの混合物で、主として2分子のセタノールの縮合物(C32H66O)、1分子のセタノールと1分子のステアリアルアルコールの縮合物(C34H70O)及び2分子のステアリアルアルコールの縮合物(C36H74O)からなる。
1311	51	500262	ソルビット	ソルビトール		本品を乾燥したものは、定量するとき、ソルビット(C6H14O6:182.17)97.0%以上を含む。
1312	51	500263	ソルビット液		ソルビトール液	本品は、「ソルビット」の水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の97~103%に対応するソルビット(C6H14O6:182.17)を含む。
1313	1	500263	D-ソルビトール液	D-ソルビット液		本品は定量するとき、表示量の97~103%に対応するD-ソルビトール(C6H14O6:182.17)を含む。
1314	51	532191	ソルビトール発酵多糖液			本品は、ソルビトールをクレブシエラ属(<i>Klebsiella</i>)の菌で発酵して得られる多糖類の溶液である。
1315	51	005803	ソルビン酸			本品は、定量するとき、ソルビン酸(C6H8O2:112.13)98.5%以上を含む。
1316	51	105522	ソルビン酸カリウム		ソルビン酸K、ソルビン酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、ソルビン酸カリウム(C6H7KO2:150.22)98.0%以上含む。
1317	51	501089	タートル油			本品は、アオウミガメ <i>Chelonia atreae</i> (Soborigidae)の皮下脂肪組織などから得た脂肪油である。
1318	51	523143	タートル油脂肪酸エチルエステル		タートル油脂肪酸エチル	本品は、アオウミガメ <i>Chelonia japonica</i> Thunberg (Cheloniidae)の筋肉並びに生殖器から得たタートル油の脂肪酸のエチルエステルである。
1319	99	999999	ダイウイキョウ			本品はダイウイキョウ: <i>Illicium verum</i> Hook. fil. (Illiciaceae)の果実を乾燥したものである。
1320	51	504221	第三ブタノール		第三ブタノール	本品は、主として第三ブタノールである。
1321	51	520734	ダイズエキス		大豆エキス	本品は、ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae)の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
1322	51	540203	大豆たん白加水分解物		大豆たん白水解物、大豆蛋白加水分解物	本品は、食品用脱脂大豆を水に分散させ「水酸化ナトリウム」でpHを調整してからたん白分解酵素トリプシンを加えて、そのたん白質を加水分解する。分解後、加熱して酵素活性を失わせる。これを、ろ過し、ろ液を減圧下で濃縮する。pH4.0~4.5に調整する。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として2.4~3.4%を含む。
1323	51	532087	大豆たん白加水分解物(2)		大豆たん白水解物-2	本品は、脱脂大豆のたん白をたん白分解酵素により、部分的に加水分解したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0~16.0%を含む。
1324	99	999999	大豆蛋白加水分解物(末)		大豆たん白水解物末	本品は、食品用脱脂大豆から得られるたん白質を水に分散させ、枯草菌たん白質分解酵素を加えて加水分解する。加水分解後、100℃以上に加熱することにより酵素活性を失わせる。これをろ過し、噴霧乾燥する。
1325	51	001390	大豆油			本品は、ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae)の種子から得た脂肪油である。
1326	51	520737	大豆リゾリン脂質液			本品は、「大豆リゾリン脂質」を酵素処理して得たリゾリン脂質のグリセリン溶液である。本品は、定量するとき、リン(P:30.97)として0.7~1.3%を含む。
1327	51	110654	大豆リゾリン脂質			本品は、ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae)から得られるものであり、主としてリゾリン脂質からなる。
1328	51	111089	タイソウエキス	ナツメエキス		本品は、ナツメ <i>Zizyphus jujuba</i> Miller var. <i>inermis</i> Rehder 又はその他の近縁植物(Rhamnaceae)の果実から水、エタノール、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1329	51	508067	ダイマー酸ジイソプロピル			本品は、主として「リノール酸」を2~3分子重合して得られたダイマー酸に、イソプロパノールを結合させたジエステルである。
1330	99	999999	ダイマーグリノール酸ジ(イソステアリアル・フィステリル)			本品は、主としてリノール酸を2~3分子重合して得られたダイマー酸に、フィステロール、イソステアリアルアルコールを結合させたジエステルである。
1331	99	999999	ダイマーグリノール酸(フィステリル/イソステアリアル/セチル/ステアリアル/ベヘニ			本品は、主としてリノール酸を2~3分子重合して得られたダイマー酸とフィステロール、イソステアリアルアルコール、セタノール、ステアリアルアルコール及びベヘニルアルコールからなる混合アルコールとのエステルである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ル)			
1332	51	520755	タイムエキス(1)	ワイルドザイムエキス	タイムエキス-1	本品は、Thymus serpyllum Linne ^ˆ (Labiatae)の地上部から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1333	51	520756	タイムエキス(2)	タチジャコウソウエキス	タイムエキス-2	本品は、タチジャコウソウ Thymus vulgaris Linne ^ˆ (Labiatae)の地上部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは、1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
1334	99	999999	タイムエキス末			本品は別添規格(3)-1「タイム」(Thymus vulgaris Linne ^ˆ (Labiatae))の全草の水抽出液を乾燥粉末としたものである。
1335	51	510051	タイム油			本品は、イブキジャコウソウ Thyme serpyllum Linne ^ˆ 又は、タチジャコウソウ Thyme vulgaris Linne ^ˆ (Labiatae)の全草を水蒸気蒸留して得た精油である。本品は、定量するとき、チモール及びカルパクロール総量 20vol%以上を含む。
1336	51	107154	タウリン	アミノエチルスルホン酸		本品を乾燥したものは、定量するとき、2-アミノエタンスルホン酸(C ₂ H ₇ NO ₃ S:125.15)98.5%以上を含む。
1337	51	511038	脱脂コメヌカ		脱脂米ヌカ	本品は、「コメヌカ」を脱脂して得られたものである。
1338	51	006003	脱脂粉乳			本品は、牛乳を脱脂し、乾燥したものである。
1339	51	522040	脱樹脂キャンデリラロウ			本品は、「キャンデリラロウ」中の樹脂部分を取り除いたものである。
1340	99	999999	タマサキツヅラフジアルカロイド			本品は、ツヅラフジ科植物(Stephania cepharantha Hayata)の塊根をメタノールにて抽出精製したものである。本品を乾燥したものは定量するとき、ビスコクラウリン型アルカロイド(セファランチン C ₃₇ H ₃₈ O ₆ N ₂ :606.72として)95%以上含む。
1341	51	001393	タルク			本品は、天然の含水ケイ酸マグネシウムであり、少量のケイ酸アルミニウムを含むことがある。
1342	51	532209	タルク・ケイフッ化カリウム焼成物		タルク・ケイフッ化K焼成物	本品は、「タルク」とケイフッ化カリウムの焼成物である。
1343	51	504223	炭酸エチレン			本品は、主として炭酸エチレン(C ₃ H ₄ O ₈ :88.06)である。
1344	1	002251	炭酸カリウム		炭酸K	本品を乾燥したものは定量するとき、炭酸カリウム(K ₂ CO ₃)99.0%以上を含む。
1345	31	101144	炭酸カルシウム		炭酸Ca	本品を乾燥したものは、炭酸カルシウム(CaCO ₃)98.0~102.0%を含む。
1346	51	520757	炭酸グアニジン	グアニジン炭酸塩		本品は、主として炭酸グアニジン(C ₂ H ₁₀ N ₆ ·H ₂ CO ₃ :180.17)からなる。
1347	51	532195	炭酸ジアルキル(14, 15)			本品は、主として炭酸と炭素数 14, 15 のアルキル基を有するアルコールのジエステルからなる。
1348	1	001395	炭酸水素ナトリウム	重炭酸ナトリウム、重曹	炭酸水素Na、重炭酸Na	本品は定量するとき、炭酸水素ナトリウム(NaHCO ₃)99.0%以上を含む。
1349	31	001395	炭酸水素ナトリウム	重炭酸ナトリウム、重炭酸ソーダ	炭酸水素Na、重炭酸Na	本品を乾燥したものは、炭酸水素ナトリウム(NaHCO ₃)99.0%以上を含む。
1350	51	001395	炭酸水素ナトリウム		炭酸水素Na	本品は、定量するとき、炭酸水素ナトリウム(NaHCO ₃ :84.01)99.0%以上を含む。
1351	31	002252	炭酸ナトリウム	結晶物:炭酸ソーダ、無水物:ソーダ灰	炭酸ソーダ、ソーダ灰、炭酸Na	本品には、結晶物(1水塩)及び無水物があり、それぞれを炭酸ナトリウム(結晶)及び炭酸ナトリウム(無水)と称する。
1352	51	002252	炭酸ナトリウム		炭酸Na	本品は、定量するとき、炭酸ナトリウム(Na ₂ CO ₃ ·10H ₂ O:286.14)99.0~103.0%を含む。
1353	1	002252	炭酸ナトリウム		炭酸Na	本品は定量するとき、炭酸ナトリウム(Na ₂ CO ₃)99.0~103.0%以上を含む。
1354	51	105631	炭酸プロピレン			本品は、「プロピレングリコール」と炭酸との環状エステルである。
1355	1	001397	炭酸マグネシウム		炭酸Mg	本品は含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムである。本品は定量するとき、酸化マグネシウム(MgO:40.30)40.0~44.0%を含む。
1356	51	002255	チアントール			本品は、ジメチルチアントレン及びジトルエンジスルフィドからなる。本品は、定量するとき、イオウ(S:32.07)23.5~26.5%を含む。
1357	51	107291	チオキシロン			本品を乾燥したものは、定量するとき、6-ヒドロキシ-1,3-ベンゾキサチオール-2-オン(C ₇ H ₄ O ₃ S:168.17)98.0%以上を含む。
1358	51	504227	チオジプロピオン酸ジラウリル			本品は、主として 3, 3'-チオジプロピオン酸と「ラウリアルアルコール」とのジエステル(C ₃₀ H ₅₈ O ₄ S:514.84)からなる。
1359	51	107266	チオ尿素			本品は、主としてチオ尿素からなる。
1360	51	001407	チオ硫酸ナトリウム		チオ硫酸Na	本品は、チオ硫酸ナトリウムの 5 水和物(Na ₂ S ₂ O ₃ ·5H ₂ O:248.18)である。本品を乾燥したものを定量するとき、チオ硫酸ナトリウム(Na ₂ S ₂ O ₃ :158.11)99.0%以上を含む。
1361	51	509073	チタン・酸化チタン焼結物		Ti・酸化Ti焼結物	本品は、チタン末と「酸化チタン」の混合物(1:5)を減圧下で3~5時間、900~1000℃で焼結したものである。
1362	51	504228	チタン酸コバルト		チタン酸Co	本品は、「酸化チタン」と炭酸コバルトの混合物(12:13)を大気中約900~1000℃で1~3時間加熱して焼結

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						したもので、主としてチタン酸コバルト(CoTiO ₃ :154.80)からなる。
1363	51	523145	チタン酸リチウムコバルト		チタン酸Li・Co	本品は、「酸化チタン」、炭酸コバルト及び炭酸リチウムの混合物を加熱焼成し、粉砕して得られるもので、主としてチタン酸リチウムコバルト(Li ₂ CoTi ₃ O ₈ :344.41)からなる。
1364	51	523146	窒化ホウ素			本品を乾燥したものは、定量するとき、窒化ホウ素(BN:24.82)95.0%以上を含む。
1365	51	001409	窒素			本品は、定量するとき、窒素(N ₂ :28.01)99.5v/v%以上を含む。
1366	51	001411	チモール			本品は、定量するとき、チモール(C ₁₀ H ₁₄ O:150.22)98.0%以上を含む。
1367	51	523147	チャエキス(1)		茶エキス-1	本品は、チャノキ <i>Thea sinensis</i> Linne ^ˆ (Theaceae)の葉から製したものの(緑茶)から水、エタノール溶液、プロピレングリコール溶液又はグリセリン溶液にて抽出して得られるエキスである。
1368	51	523148	チャエキス(2)		茶エキス-2	本品は、チャノキ <i>Thea sinensis</i> O. Kuntze (Theaceae)の葉から製したものの(緑茶)からエタノールで抽出して得られるエキスである。
1369	51	520764	チャ乾留液		茶乾留液	本品は、チャノキ <i>Thea sinensis</i> Linne ^ˆ (Theaceae)の葉(生)を減圧下、乾留によって得られる液で、エタノール又はプロピレングリコールを含むものもある。
1370	51	520765	チャ実エキス		茶実エキス	本品は、チャノキ <i>Thea sinensis</i> Linne ^ˆ (Theaceae)の種子の脱脂物から水で抽出して得られるエキスである。
1371	51	522041	チャ実油	茶油	茶実油	本品は、チャノキ <i>Thea sinensis</i> Linne ^ˆ (Theaceae)の種子から得た脂肪油である。
1372	99	999999	茶抽出エキス末			本品は、茶(<i>Camellia sinensis</i>)の葉を熱水にて抽出・精製処理した後、乾燥粉末した茶抽出乾燥品である。
1373	51	532088	長鎖α-ヒドロキシ脂肪酸(14~25)		α-ヒドロキシ脂肪酸(14~25)	本品は、ラリンをけん化して得られる脂肪酸から、ヒドロキシ脂肪酸を分画したもので主として、炭素数 14~25のα-ヒドロキシ直鎖脂肪酸、α-ヒドロキシイソ脂肪酸及びα-ヒドロキシアンチイソ脂肪酸の混合物からなる。
1374	51	532089	長鎖α-ヒドロキシ脂肪酸(14~25)コレステリル		α-ヒドロキシ脂肪酸(14~25)コレステリル	本品は、「長鎖α-ヒドロキシ脂肪酸(14~25)」と「コレステロール」のエステルからなる
1375	51	532090	長鎖分岐脂肪酸(12~31)		分岐脂肪酸(12~31)	本品は、ラリンをけん化して得られる脂肪酸から、ヒドロキシ脂肪酸以外の分岐脂肪酸を分画したもので、主として、炭素数 12~31のイソ脂肪酸及びアンチイソ脂肪酸の混合物からなる。
1376	51	532091	長鎖分岐脂肪酸(12~31)2-エチルヘキシル	ラリノ分岐脂肪酸(12~31)オクチル	分岐脂肪酸(12~31)エチルヘキシル	本品は、主として「長鎖分岐脂肪酸(12~31)」と2-エチルヘキサノールのエステルからなる。
1377	51	532092	長鎖分岐脂肪酸(12~31)コレステリル	長鎖分岐脂肪酸コレステリル	分岐脂肪酸(12~31)コレステリル	本品は、主として「長鎖分岐脂肪酸(12~31)」と「コレステロール」のエステルからなる。
1378	51	505104	チョウジエキス			本品は、チョウジ <i>Syzygium aromaticum</i> Merrill et Perry (<i>Eugenia caryophyllata</i> Thunberg) (Myrtaceae)のつぼみを乾燥したものをエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1379	51	001412	チョウジ油			本品は、 <i>Syzygium aromaticum</i> Merrill et Perry [<i>Eugenia caryophyllata</i> Thunberg (Myrtaceae)]のつぼみ又は葉を水蒸気蒸留して得られる精油である。本品を定量するとき、総オイゲノール 80.0vol%以上を含む。
1380	51	532181	チョレイエキス			本品は、チョレイマイタケ <i>Polyporus umbellatus</i> Fries (Polyporaceae)の菌核をエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
1381	51	520771	L-チロシン		チロシン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-チロシン(C ₉ H ₁₁ NO ₃ :181.19)98.5%以上を含む。
1382	1	001394	沈降炭酸カルシウム		沈降炭酸 Ca	本品は定量するとき、炭酸水素ナトリウム(NaHCO ₃)99.0%以上を含む。
1383	1	120130	チンピ	陳皮		本品はウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich 又は <i>Citrus reticulata</i> Blanco (Rutaceae)の成熟した果皮である。
1384	51	101346	チンピエキス			本品は、ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich 又はその他近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1385	99	999999	チンピエキス			本品は、[日局]チンピ:ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich (<i>Citrus aurantium</i> Linné Subsp.nobilis Makino) 又は、その近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮の30v/v%エタノール抽出物を1,3-ブチレングリコールにて溶かしたものである。
1386	99	999999	チンピエキス散			本品は日局チンピ(<i>Citrus unshiu</i> Markovich)の水抽出液にデキストリンを添加して乾燥粉末としたもので、チンピエキス45~55%を含む。
1387	99	999999	チンピエキス散			本品は日局チンピ:ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich (<i>Citrus aurantium</i> Linne subsp.nobilis Makino) 又は近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮:を30v/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
1388	99	999999	チンピ抽出液		チンピエキス	本品は日局チンピ:ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich (<i>Citrus aurantium</i> Linne subsp.nobilis Makino) 又はその近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮:を30v/v%エタノールにて抽出したものである。
1389	51	101347	チンピ末			本品は、ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i> Markovich 又はその他近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮を粉末とし

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						たものである。
1390	99	999999	チンピ流エキス			本品は、ウンシュウミカン Citrus unshiu Marcov. (Citrus aurantium Linne subsp.nobilis marcov.) 又はその他近縁植物 (Rutaceae) の成熟した果皮の流エキスである。本品1ml中に原生薬1gの可溶性成分を含む。
1391	51	520772	月見草油			本品は、ツキミソウ Oenothera tetraptera Cav., Oenothera hookeri Torr. & Gray 又はその他同属植物 (Onagraceae) の種子から得た脂肪油である。
1392	51	520773	ツバキエキス		椿エキス	本品は、ツバキ Camellia japonica Linne (Theaceae) の種子の脱脂物から水にて抽出して得られるエキスである。
1393	51	002265	ツバキ油		椿油	本品は、ツバキ Camellia japonica Linne (Theaceae) の種皮を除いた種子から得た脂肪油である。
1394	51	520774	ツボクサエキス	センテラエキス		本品は、ツボクサ Centella asiatica Linne (Umbelliferae) の葉及び茎からエタノール又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1395	53	108688	ディート			本品は定量するとき、ディート (C ₁₂ H ₁₇ NO) 97.0%以上を含む。
1396	51	509075	低温焼成酸化亜鉛		低温焼成酸化Zn	本品は、湿式法で得られた塩基性炭酸亜鉛を 300～400° C で強熱したものである。本品は、定量するとき、酸化亜鉛 (ZnO:81.41) として 96.0%以上を含む。
1397	51	532227	低酸価キャンデリラロウ			本品は、「キャンデリラロウ」から樹脂分を除去したもので、主としてヘントリアコンタンなどの炭化水素からなり、ロウも含む。
1398	51	532206	低酸価ミツロウ			本品は、「ミツロウ」にグリシドールを加えた後、熱処理して得たもので、主として低酸価ミツロウからなる。
1399	51	532093	低窒素ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアルキルアンモニウムクロリド	塩化ジメチルジアルキルアンモニウム・ヒドロキシエチルセルロース共重合体	塩化低窒素ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアルキルアンモニウム	本品は、ヒドロキシエチルセルロースに塩化ジメチルジアルキルアンモニウムを重合して得られるカチオン性のポリマーであり、平均分子量は約 100000～140000 である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.5～1.5%を含む。
1400	51	532094	低比重流動パラフィン(1)		低比重流動パラフィン-1	本品は、石油から得た揮発性の炭化水素の混合物である。
1401	51	532095	低比重流動パラフィン(2)		低比重流動パラフィン-2	本品は、石油から得た液状の炭化水素類の混合物である。
1402	51	520775	低融点パラフィン	パラフィンワックス115° F		本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物である。
1403	51	504229	デオキシリボ核酸		DNA	本品は、魚類の精巢から抽出して得られるポリヌクレオチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N:14.01) 14.5%以上、リン (P:30.97) 9.0%以上を含む。
1404	51	540056	デオキシリボ核酸カリウム		DNA・K	本品は、サケ科 Salmonidae などの魚類の精巢から得られるポリヌクレオチドのカリウム塩である。本品は窒素 (N:14.01) 13.5～14.9%、リン (P:30.97) 8.0～9.0%を含む。
1405	51	509076	デオキシリボ核酸ナトリウム		DNA・Na	本品は、サケ科 Salmonidae などの魚類の精巢から得られるポリヌクレオチドのナトリウム塩である。本品は定量するとき、窒素 (N:14.01) 13.5～16.0%、リン (P:30.97) 8.4～9.3%を含む。
1406	51	540057	デカイソステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」とポリグリセリンのデカエステルからなり、そのグリセリンの平均重合度は 10 である。
1407	51	520777	デカオレイン酸ポリグリセリル	デカオレイン酸デカグリセリル		本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのデカエステルからなり、そのグリセリンの平均重合度は 10 である。
1408	51	511043	デカステアリン酸デカグリセリル			本品は、「ステアリン酸」とデカグリセリンのデカエステルからなる。
1409	51	520778	デカメチルシクロペンタシロキサン		シクロペンタシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした環状の重合体で、主としてデカメチルシクロペンタシロキサン (C ₁₀ H ₃₀ O ₅ Si ₅ :370.77) からなる。
1410	51	520779	デカメチルテトラシロキサン		テトラシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、主としてデカメチルテトラシロキサン (C ₁₀ H ₃₀ O ₃ Si ₄ :310.69) からなる。
1411	51	101750	デキストラン			本品は、Leuconostoc mesenteroides Van Tiegham によるショ糖の発酵によって生産された多糖類を部分加水分解したものである。
1412	51	520780	デキストラン塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	カチオン化デキストラン		本品は、主として「デキストラン」とグリシジルトリメチルアンモニウムクロライドのポリエーテルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N:14.01) 2.2～2.8%を含む。
1413	51	006601	デキストラン硫酸ナトリウム		デキストラン硫酸Na	本品は、「デキストラン」のスルホン化物のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イオウ (S:32.07) として 15.0～20.0%を含む。
1414	51	540005	2-デシルテトラデカノール		デシルテトラデカノール	本品は、2-デシルテトラデカノール (C ₂₄ H ₅₀ :354.65) からなる。
1415	51	540059	テトライソステアリン酸ジグリセリル			テトライソステアリン酸ジグリセリル
1416	51	540060	テトライソステアリン酸ペンタエリトリット	イソステアリン酸ペンタエリトリット		本品は、主として「イソステアリン酸」とペンタエリトリットのテトラエステル (C ₇₇ H ₁₄₈ O ₈ :1201.99) からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1417	51	505106	テトラ2-エチルヘキサン酸ジグリセロールソルピタン	テトラオクタン酸ジグリセロールソルピタン	テトラエチルヘキサン酸ジグリセロールソルピタン、テトラエチルヘキサン酸ジグリセリルソルピタン	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と及びソルピタンと「ジグリセリン」からなるのエーテル化合物とのテトラエステルからなる。
1418	51	540058	テトラ2-エチルヘキサン酸ペンタエリトリット	テトラオクタン酸ペンタエリトリット	テトラエチルヘキサン酸ペンタエリトリット、テトラエチルヘキサン酸ペンタエリトリチル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とペンタエリトリールのテトラエステル(C37H68O8:640.93)からなる。
1419	51	500278	テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルピット		テトラオレイン酸POEソルピット	本品は、主として「オレイン酸」とポリオキシエチレンソルピットのテトラエステルである。
1420	51	532210	テトラキス(2-ヒドロキシプロピル)エチレンジアミン		テトラキスヒドロキシプロピルエチレンジアミン、テトラキスPGエチレンジアミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、テトラキス(2-ヒドロキシプロピル)エチレンジアミン(C14H32N2O4:292.41)99.0%以上を含む。
1421	51	532097	テトラステアリン酸ポリオキシエチレンソルピット	ポリオキシエチレンソルピットテトラステアリン酸エステル	テトラステアリン酸POEソルピット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルピットのテトラエステルである。酸化エチレンの付加モル数は60である。
1422	51	540061	テトラステアリン酸ポリオキシエチレンペンタエリトリット		テトラステアリン酸POEペンタエリトリット、テトラステアリン酸POEペンタエリトリチル	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンペンタエリトリットのテトラエステルで、酸化エチレンの平均付加モル数は、150である。
1423	51	523150	N-(テトラデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルデカナミド		テトラデシロキシPGヒドロキシエチルデカナミド	本品は、主として N-(3-テトラデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキシエチルデカナミド(C29H59NO4:485.78)からなる。
1424	51	523151	テトラデセン			本品は、主として1-テトラデセン(C14H28:196.37)からなる。
1425	51	500279	テトラデセンスルホン酸ナトリウム	α-オレフィンスルホン酸ナトリウム	テトラデセンスルホン酸Na	本品は、主としてテトラデセンスルホン酸ナトリウム(C14H27NaO3S:298.42)及びヒドロキシテトラデカンスルホン酸ナトリウム(C14H29NaO4S:316.43)からなり、乾燥したものを定量するとき、テトラデセンスルホン酸ナトリウムとして90.0%以上を含む。
1426	51	508068	テトラデセンスルホン酸ナトリウム液		テトラデセンスルホン酸Na液	本品は、主として炭素数14からなるα-オレフィンに無水硫酸でスルホン化した後、水酸化ナトリウムで中和し加水分解したものである。本品を定量するとき、テトラデセンスルホン酸ナトリウム(C14H27NaO3S:298.42)として表示量の90~110%を含む。
1427	51	501094	テトラヒドロキシベンゾフェノン			本品を乾燥したものは、定量するとき、テトラヒドロキシベンゾフェノン(C13H10O5:246.22)95.0~105.0%を含む。
1428	51	523152	テトラヒドロテトラメチルシクロテトラシロキサン			本品は、シロキサン骨格を持った環状化合物で、テトラヒドロテトラメチルシクロテトラシロキサン(C4H16O4Si4:252.21)からなる。
1429	51	532297	テトラ2-ヘキシルデカン酸アスコルビル	テトライソバルミチン酸アスコルビル	テトラヘキシルデカン酸アスコルビル、ビタミンCテトラヘキシルデカン酸、ビタミンCテトライソバルミチン酸	本品は、主として2-ヘキシルデカン酸と「アスコルビン酸」のテトラエステル(C70H128O10:1129.76)からなる。
1430	51	540062	テトラミスチン酸ペンタエリトリット		テトラミスチン酸ペンタエリトリチル	本品は、主として「ミスチン酸」とペンタエリトリットのテトラエステルからなる。
1431	51	504236	テトラメチルトリヒドロキシヘキサデカン			本品は、定量するとき、テトラメチルトリヒドロキシヘキサデカン(C20H42O3:330.55)98.0%以上を含む。
1432	51	523153	7-デヒドロコレステロール	プロビタミンD3	デヒドロコレステロール	本品は、主として7-デヒドロコレステロール(C27H44O:384.64)からなる。
1433	51	101702	デヒドロ酢酸			本品は、定量するとき、デヒドロ酢酸(C8H8O4:168.15)98.5%以上を含む。
1434	51	006604	デヒドロ酢酸ナトリウム		デヒドロ酢酸Na、デヒドロ酢酸塩	本品は、定量するとき、デヒドロ酢酸ナトリウム(C8H7NaO4·H2O:208.14)98.0~102.0%を含む。
1435	51	520787	デュークエキス			本品は、Ransium domesticum Jack var. duku (Meliaceae)果皮から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1436	51	532200	テルミナリアエキス			本品は、コバテイシ Terminalia sericea Brunch (Combretaceae)の樹皮及び根からメタノールで抽出して得られるエキスを、乾燥して得られた粉末である。
1437	51	002267	テレピン油			本品は、Pinus 族の植物(Pinaceae)の材又はパルサムを水蒸気蒸留して得た精油である。
1438	51	532298	テンチャエキス			本品は、Rubus suavissimus Shugan Lee. (Rosaceae)の葉を熱湯に浸漬した後、葉を乾燥し、更に加熱したものを熱湯にて抽出して得られるエキスである。「1,3-ブチレングリコール」を含むものもある。
1439	51	001239	天然ケイ酸アルミニウム		天然ケイ酸Al	本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムである。
1440	51	104455	天然ゴムラテックス		ゴムラテックス	本品は、ゴムノキ Hevea brasiliensis (Mue11-Arg)の幹より滲出した乳状の液を濃縮し、アンモニア水を加えたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1441	51	104457	天然ビタミンE			本品は、 <i>ダイズ Glycine max . Merril</i> その他の植物から得られる混合トコフェロールである。本品を定量するとき、総トコフェロールとして68.0%以上を含む。
1442	51	520791	デンブン・アクリル酸ナトリウムグラフト重合体		デンブン・アクリル酸Naグラフト重合体	本品は、デンブンにアクリル酸及び微量のメチレンビスアクリルアミドをグラフト重合した後、水酸化ナトリウムで部分中和したものである。
1443	51	504240	デンブン牛脂脂肪酸エステル			本品は、デンブンと「牛脂脂肪酸」からなるエステルである。
1444	51	532098	トウガシエキス	ハクガシエキス		本品は、トウガ <i>Benincasa cerifera Savi</i> の種子又は <i>Benincasa cerifera Savi forma emarginata K.Kimura et Sugiyama (Cucurbitaceae)</i> の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
1445	1	120133	トウガラシ	蕃椒		本品はトウガラシ <i>Capsicum annuum Linne (Solanaceae)</i> の果実である。本品は換算した生薬の乾燥物に対し、総カプサイシン(カプサイシン及びジヒドロカプサイシン)0.10%以上を含む。
1446	51	002270	トウガラシチンキ		トウガラシエキス	本品は、トウガラシ <i>Capsicum annuum Linne (Solanaceae)</i> 又はその変種の果実をエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品は、日本薬局方トウガラシを中切にしたもの100gに「エタノール」約600mLを加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅうぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を「エタノール」少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2日間放置した後ろ過し、更に「エタノール」を加えて全量を1000mLとして製する。
1447	1	520794	トウキ	当帰		本品はトウキ <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> 又はホッカイトウキ <i>Angelica acutiloba Kitagawa var.sugiyamae Hikino (Umbelliferae)</i> の根を、通例、湯通ししたものである。
1448	51	520795	トウキエキス(1)		トウキエキス-1	本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> 又はその他近縁植物(<i>Umbelliferae</i>)の根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、又は「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1449	51	520796	トウキエキス(2)		トウキエキス-2	本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> 又はその他近縁植物(<i>Umbelliferae</i>)の根からn-ヘキサン及びn-ブタノール可溶部を除いた後、水、「エタノール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1450	99	999999	トウキエキス散			本日は日局トウキ: <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> の根:を30v/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
1451	51	520797	トウキ水			本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba Kitagawa (Umbelliferae)</i> の根茎から水にて抽出して得られたエキスより、水蒸気蒸留して得られる液である。
1452	99	999999	トウキ抽出液		トウキエキス	本品は日局トウキ:当帰 <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> 又はその他近縁植物(<i>Umbelliferae</i>)の根(通例湯通ししたもの):を30w/v%エタノール溶液にて抽出したものである。
1453	99	999999	トウキ抽出液LP			本品はトウキ:当帰 <i>Angelica acutiloba Kitagawa</i> 又はその他近縁植物(<i>Umbelliferae</i>)の根(通例、湯通ししたもの):の30v/v%エタノール抽出物を流動パラフィンにて溶かしたものである。
1454	99	999999	トウキ流エキス			本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba KITAGAWA</i> 又はその他近縁植物(<i>Umbelliferae</i>)の乾燥根の流エキスである。本品1mL中に原生薬1gの可溶性成分を含む。
1455	51	520798	トウキンセンカエキス			本品は、トウキンセンカ <i>Calendula officinalis Linne (Compositae)</i> の頭花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1456	51	511044	トウキンセンカ末			本品は、トウキンセンカ <i>Calendula officinalis L. (Compositae)</i> の花を乾燥し、粉末にしたものである。
1457	51	006800	銅クロロフィリンナトリウム		銅クロロフィリンNa	本品は、クロロフィルより得たクロロフィリンを銅に置換し、ナトリウム塩にしたものである。
1458	51	532099	銅クロロフィリンナトリウム・亜硫酸水素ナトリウム複合物		銅クロロフィリンNa・亜硫酸水素Na複合物	本品は、「銅クロロフィリンナトリウム」を「亜硫酸水素ナトリウム」で処理して得たものである。
1459	51	532100	冬虫夏草エキス			本品は、トウチュウカソウ <i>Cordyceps sinensis (Berk.) Sacc. (Clavicipitaceae)</i> の子実体と、その宿主であるコウモリガ科 <i>Hepialidae</i> の昆虫、 <i>Hepialus armoricanus Oberthur</i> などの幼虫の複合体をエタノール溶液で抽出したエキスからなる。本品は、定量するとき、マンニトール(C ₆ H ₁₄ O ₆ :182.17)0.06~0.21%を含む。
1460	99	999999	糖転移ステビア			本品は、粧配規「ステビアエキス」にグルコースを付加して製したものである。
1461	51	532101	豆乳発酵液			本品は、 <i>ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae)</i> の種子から得た豆乳を乳酸菌 <i>Lactobacillus delbrueckii</i> で発酵して得た培養液にエタノールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.01~0.04%を含む。
1462	99	999999	豆乳ビフィズス菌発酵液			本品は、大豆 <i>Glycine max Merrill (Leguminosae)</i> の種子から得た豆乳を、ビフィズス菌 <i>Bifidobacterium breve</i> で発酵して得た培養液に、1,3-ブチレングリコールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は定量するとき、ショ糖(C ₁₂ H ₂₂ O ₁₁ :342.30)0.15~0.35%を含む。
1463	51	520802	豆乳末			本品は、 <i>ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae)</i> の種子を水浸後、磨砕し、水を加えて加熱し、不溶性残渣を除いて製した乳液を乾燥した粉末である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として7.0~8.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1464	51	107376	トウニンエキス			本品は、モモ <i>Prunus persica</i> Batsch 又は <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i>davidiana</i> Maximowicz (Rosaceae) の種子から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1465	51	520803	トウヒエキス			本品は、 <i>Citrus aurantium</i> Linne ^ˆ 又はダイダイ <i>Citrus aurantium</i> Linne ^ˆ var. <i>daidai</i> Makino (Rutaceae) の成熟した果皮から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1466	51	104861	トウヒ油			本品は、ダイダイ <i>Citrus aurantium</i> L. var. <i>daidai</i> Makino (<i>Citrus aurantium</i> L. subsp. <i>amara</i> Engler) (Rutaceae) の成熟した果皮を水蒸気蒸留して得た精油である。本品を定量するとき、D-リモネン (C10H16:136.23) 90.0%以上を含む。
1467	51	532194	トウモロコシエキス		コーンエキス	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^ˆ (Gramineae) の種子から水で抽出して得られるエキスである。
1468	51	001438	トウモロコシデンプン		コーンデンプン、コーンスターチ	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^ˆ (Gramineae) の種子から得たデンプンである。
1469	51	507076	トウモロコシ穂軸粒		コーン穂軸粒	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^ˆ (Gramineae) の穂軸を破碎し、整粒したものである。
1470	51	107373	トウモロコシ末		コーン末	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^ˆ (Gramineae) の種子の粉末である。
1471	51	002275	トウモロコシ油		コーン油	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne ^ˆ (Gramineae) の種子から得た脂肪油である。
1472	26	120217	ドクカツ			本品はウド <i>Aralia cordata</i> Thunberg (Araliaceae) の、通例、根茎である。
1473	51	520811	ドクダミエキス			本品は、ドクダミ <i>Houttuynia cordata</i> Thunberg (Saururaceae) の開花期の地上部から水、エタノール溶液、1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1474	51	532102	ドクダミ末	ジュウヤク末		本品は、ドクダミ <i>Houttuynia cordata</i> Thunberg (Saururaceae) の花期の地上部を粉末にしたものである。
1475	99	999999	dI- α -トコフェリルリン酸ナトリウム		ビタミン E リン酸 Na、ビタミン E リン酸ナトリウム、dI- α -トコフェリルリン酸 Na	本品は、dI- α -トコフェリルリン酸ナトリウム (C29H50O5PNa: 532.67) と、dI- α -トコフェリルリン酸ジナトリウム (C29H49O5PNa2: 554.66) からなる。
1476	51	109575	d- δ -トコフェロール		ビタミンE	本品は、大豆油、ナタネ油又は綿実油の脱臭留油から抽出して得られるD- δ -トコフェロール (C27H46O7: 402.65) からなる。本品は、定量するとき、総トコフェロール (D- δ -トコフェロールとして) 96.0%以上を含み、総トコフェロール量の 90.0%以上のD- δ -トコフェロールを含む。
1477	51	109577	dI- α -トコフェロール		トコフェロール、ビタミンE	本品は、定量するとき、dI- α -トコフェロール (C29H50O2: 430.71) 96.0%以上を含む。
1478	51	508069	トサカ抽出液			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson のトサカをたん白分解酵素で分解して得た溶液である。
1479	51	510054	トサカ抽出末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson のトサカから得たムコ多糖類である。本品は、ムコ多糖類として 35~55%を含む。
1480	99	999999	菟絲子抽出物 M			本品は、マメダオシ <i>Cuscuta australis</i> R. Brown の種子から抽出して得た脂肪を精製したものである。
1481	51	520813	トショウ油			本品は、 <i>Juniperus oxycedrus</i> Linne ^ˆ (Cupressaceae) の木部から得られる揮発性油である。
1482	99	999999	ドッカツエキス末			本品はウド <i>Aralia cordata</i> Thunberg (Araliaceae) の乾燥根茎: 独活 <i>Araliae cordatae</i> Rhizoma を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
1483	51	520814	ドデカメチルシクロヘキサシロキサン		シクロヘキサシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした環状の重合体で、主としてドデカメチルシクロヘキサシロキサン (C12H36O6Si6: 444.92) からなる。
1484	51	109803	ドデシルベンゼンスルホン酸			本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、ドデシルベンゼンスルホン酸 (C18H30O3S: 326.49) 96.0%以上を含む。
1485	51	540063	ドデシルベンゼンスルホン酸トリエタノールアミン液		ドデシルベンゼンスルホン酸TEA液	本品は、主として「ドデシルベンゼンスルホン酸」のトリエタノールアミン塩からなる水溶液である。本品は、定量するとき、ドデシルベンゼンスルホン酸トリエタノールアミン (C24H45NO6S: 475.68) として表示量の 90~110%を含む。
1486	51	106656	ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム		ドデシルベンゼンスルホン酸Na、ラウリルベンゼンスルホン酸ナトリウム、ラウリルベンゼンスルホン酸Na	本品は、主として「ドデシルベンゼンスルホン酸」のナトリウム塩 (C18H29NaO3S: 348.48) からなる。
1487	51	540064	ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム液		ドデシルベンゼンスルホン酸Na液、ラウリルベンゼンスルホン酸ナトリウム液、ラウリルベンゼンスルホン酸Na液	本品は、「ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム」の水溶液である。本品は定量するときドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム (C18H29NaO3S: 348.48) として表示量の 90~110%を含む。
1488	51	520815	トマトエキス			本品は、トマト <i>Lycopersicon esculentum</i> Miller (<i>Solanum lycopersicum</i> Linne ^ˆ) (Solanaceae) の果実(生)から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1489	51	520816	トマト果汁			本品は、トマト <i>Lycopersicon esculentum</i> Miller (<i>Solanum lycopersicum</i> Linne ^ˆ) (Solanaceae) の果実(生)から压榨、ろ過して得られる果汁である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1490	51	002277	トラガント			本品は、トラガント <i>Astragalus gummifer</i> Labillardie`re (Leguminosae) 又は同属植物の幹から得た分泌物である。
1491	51	504244	トリアセチルグリセリル		トリ酢酸グリセリル	本品は、主として「酢酸」とグリセリンのトリエステル (C9H1406:218.20) からなる。
1492	51	504245	トリアセチルリシノレイン酸グリセリル		トリ酢酸リシノレイン酸グリセリル	本品は、主としてリシノール酸をアセチル化したもののトリグリセライド (C63H110O12:1059.54) である。
1493	51	505112	トリンステアリン酸グリセリル			本品は、主として「イステアリン酸」とグリセリンからなるトリエステル (C57H110O6:891.48) である。
1494	51	508071	トリンステアリン酸硬化ヒマシ油		トリンステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として「イステアリン酸」と「硬化ヒマシ油」からなるトリエステルである。
1495	51	532104	トリンステアリン酸ジグリセリル			本品は、主として「イステアリン酸」と「ジグリセリン」のトリエステルからなる。
1496	51	503098	トリンステアリン酸トリメチロールプロパン		トリンステアリン酸TMP	本品は、主として「イステアリン酸」とトリメチロールプロパンのトリエステル (C60H11606:933.56) からなる。
1497	51	502095	トリンステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		トリンステアリン酸POEグリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンのトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~60 である。
1498	51	504246	トリンステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		トリンステアリン酸POE硬化ヒマシ油、トリンステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主として「イステアリン酸」と「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」のトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、15~60 である。
1499	51	532103	トリンステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン		トリンステアリン酸POEソルビタン	本品は、主として「イステアリン酸」とソルビタンのトリエステルに酸化エチレンを付加したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 160 である。
1500	51	520817	トリンパルミチン酸グリセリル			本品は、主としてイソパルミチン酸とグリセリンのトリエステル (C51H9806:807.32) からなる。
1501	51	107458	トリンプロパノールアミン		TIPA	本品は、主としてトリンプロパノールアミンからなり、通例、ジソプロパノールアミン及びモノソプロパノールアミンを含む。本品は、定量するとき、トリンプロパノールアミン (C9H21NO3:191.27) として 95.0~105.0% を含む。
1502	51	540069	トリンデカン酸グリセリル			本品は、主としてウンデカン酸とグリセリンのトリエステル (C36H68O6:596.93) からなる。
1503	51	001446	トリエタノールアミン		TEA	本品は、主としてトリエタノールアミンからなり、通例、ジエタノールアミン及びモノエタノールアミンを含む。本品は、定量するとき、トリエタノールアミン (C6H15NO3:149.19) として 99.0~105.0% を含む。
1504	51	520818	トリ2-エチルヘキサン酸グリセリル	トリオクタン酸グリセリル	トリエチルヘキサン酸グリセリル	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸とグリセリンのトリエステル (C27H5006:470.68) からなる。
1505	51	503099	トリ2-エチルヘキサン酸トリメチロールプロパン	トリオクタン酸トリメチロールプロパン	トリエチルヘキサン酸TMP、トリオクタン酸TMP	本品は、2-エチルヘキサン酸とトリメチロールプロパンのトリエステル (C30H5606:512.76) からなる。
1506	51	107446	トリエチレングリコール		トリグリコール	本品は、主としてトリエチレングリコール (C6H14O4:150.17) からなる。
1507	51	504247	トリオキシステアリン酸グリセリル			本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」とグリセリンのトリエステル (C57H1109:939.48) からなる。
1508	51	106822	トリオレイン酸ソルビタン			本品は、主として「オレイン酸」とソルビタンからなるトリエステルである。
1509	51	108413	トリオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン (20E. O.)		トリオレイン酸POE (20) ソルビタン	本品は、主として「トリオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、20 である。
1510	51	520820	トリオレイン酸ポリグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのトリエステルからなる。グリセリンの平均重合度は 10 である。
1511	51	540066	トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル			本品は、主として、カプリル酸と「カプリン酸」の混合脂肪酸とグリセリンのトリエステルで、主としてトリ(カプリル・カプリン酸)グリセリンからなる。
1512	51	540067	トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル・トリンステアリン酸グリセリル混合物			本品は、主としてトリ(カプリル・カプリン酸)グリセリルとトリンステアリン酸グリセリルの混合物である。
1513	51	540065	トリ(カプリル・カプリン・ミスチン・ステアリン酸)グリセリル			本品は、カプリル酸約 25%、「カプリン酸」約 15%、「ミスチン酸」約 20%及び「ステアリン酸」約 40%の混合脂肪酸と、グリセリンからなるトリグリセリドである。
1514	51	505117	トリカプリル酸グリセリル			本品は、主としてカプリル酸とグリセリンのトリエステル (C27H5006:470.68) からなる。
1515	51	505119	トリ牛脂脂肪酸グリセリル			本品は、主として「牛脂脂肪酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1516	51	107430	トリクロロカルバニリド		トリクロカルバン	本品を乾燥したものは、定量するとき、トリクロロカルバニリド (C13H9Cl3N2O:315.58) 95.0%以上を含む。
1517	51	540070	トリクロロヒドロキシジフェニルエーテル		トリクロサン	本品を乾燥したものは、定量するとき、トリクロサン (C12H7Cl3O2:289.54) 98.0~104.0%を含む。
1518	51	532201	2, 4, 6-トリス[4-(2-エチルヘキシルオキシカルボニル)アニリノ]-1, 3, 5-トリアジン		トリスエチルヘキシルオキシカルボニルアニリノトリアジン	本品は、定量するとき 2,4,6-トリス[4-(2-エチルヘキシルオキシカルボニル)アニリノ]-1,3,5-トリアジン (C48H66N6O6:823.07) として 95.0%以上を含む。
1519	51	503100	トリンステアリン酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのトリエステル (C57H110O6:891.48) からなる。
1520	51	106823	トリンステアリン酸ソルビタン			本品は、主として「ステアリン酸」とソルビタンのトリエステルからなる。
1521	51	540071	トリンステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とデカグリセリンのトリエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1522	51	503101	トリステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		トリステアリン酸POEグリセリル	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンからなるトリエステルである。
1523	51	502100	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルピタン		トリステアリン酸POEソルピタン	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルピタンからなるトリエステルである。
1524	51	500298	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルピタン(20E. O.)		トリステアリン酸POE(20)ソルピタン	本品は、主として「トリステアリン酸ソルピタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
1525	51	523155	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルピタン(160E. O.)		トリステアリン酸POE(160)ソルピタン	本品は、主としてソルピタンのステアリン酸トリエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は160である。
1526	51	520823	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルピット		トリステアリン酸POEソルピット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルピットのトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。
1527	51	503102	トリパルミチン酸グリセリル			本品は、主として「パルミチン酸」とグリセリンのトリエステル(C51H99O6:807.33)からなる。
1528	51	520825	トリパルミチン酸ピリドキシン	ピリドキシントリパルミテート	ビタミンB6トリパルミテート	本品は、「パルミチン酸」とピリドキシンのトリエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、トリパルミチン酸ピリドキシン(C56H101NO6:884.40)95.0%以上を含む。
1529	51	002280	L-トリプトファン		トリプトファン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-トリプトファン(C11H12N2O2:204.23)98.5%以上を含む。
1530	51	505124	トリベヘン酸グリセリル			本品は、主として「ベヘニン酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1531	51	509080	トリポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(8E. O.)		トリPOE(8)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸トリエステルからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は8である。
1532	51	508072	トリ(ポリオキシエチレンイソステアリン酸)トリメチロールプロパン(3E. O.)		トリPOE(3)イソステアリン酸TMP	本品は、主としてポリオキシエチレントリメチロールプロパンと「イソステアリン酸」のトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、3である。
1533	51	540072	トリミスチン酸グリセリル			本品は、主として「ミスチン酸」とグリセリンのトリエステル(C45H86O6:723.17)からなる。
1534	51	511049	トリミスチン酸ポリオキシエチレントリメチロールプロパン(5E. O.)		トリミスチン酸POE(5)TMP	本品は、主として「ミスチン酸」とポリオキシエチレントリメチロールプロパンとのトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は5である。
1535	51	509081	トリ(ミンク油脂脂肪酸・パルミチン酸)グリセリル		トリミンク油脂脂肪酸・パルミチン酸グリセリル	本品は、主としてミンク油脂脂肪酸と「パルミチン酸」の混合物とグリセリンのトリエステルである。
1536	51	523156	トリメチルグリシン	ベタイン		本品を乾燥したものは、定量するとき、トリメチルグリシン(C5H11NO2:117.15)98.0%以上を含む。
1537	51	520827	トリメチルシロキシケイ酸		トリシロキサン	本品は、シロキサン構造を主骨格とした架橋構造をもつ化合物で[(CH3)3SiO1/2]x・[SiO2]yであらわされ、Xは1~3、Yは0.5~8である。
1538	51	532105	トリメリト酸トリデシル			本品は、主としてトリメリト酸とトリデシルアルコールのトリエステル(C48H84O6:757.18)からなる。
1539	51	505127	トリヤシ油脂脂肪酸グリセリル			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1540	51	504256	トリラウリルアミン			本品は、主としてトリラウリルアミン(C36H75N:521.99)からなる。
1541	51	504257	トリラウリン酸グリセリル			本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1542	51	540068	トリ(リシノレン・カブロン・カプリル・カプリン酸)グリセリル			本品は、主としてリシノレン酸、カブロン酸、カプリル酸及び「カプリン酸」からなる混合脂肪酸とグリセリンとのトリエステルである。
1543	51	107368	トルエン			本品は、トルエン(C7H8:92.14)である。
1544	51	520833	トルメンチラエキス			本品は、トルメンチラ Potentilla tormentilla Schrk(Rosaceae)の根から、水にて抽出して得られるエキスである。
1545	51	532239	トレハロース			本品は、主として、トレハロース(C12H22O11・2H2O:378.33)からなる。
1546	51	532106	トレハロース液			本品は、「トレハロース」の水溶液である。
1547	51	532183	トレハロース硫酸ナトリウム		トレハロース硫酸Na	本品は、「トレハロース」の硫酸エステルのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イオウ(S:32.07)18.0~22.5%を含む。
1548	99	999999	トレメラエキス-II			本品は、シロキクラゲ Tremella fuciformis Berk.(シロキクラゲ目 Tremellales,シロキクラゲ科 Tremellaceae)の子実体に含まれる多糖体の抽出液である。
1549	51	520835	ナイロン末			本品は、ポリアミド系の重合体である。
1550	51	002281	ナタネ油			本品は、セイヨウアブラナ Brassica napus Linne'又は Brassica campestris Linne'(Cruciferae)の種子から得られた脂肪油である。
1551	51	520836	納豆エキス			本品は、ダイズ Glycine max Merrill(Legminosae)の種子をナットウ菌 Bacillus natto Sawamuraで発酵して得た納豆の20%エタノール溶液エキスに「無水エタノール」を加えて析出する塊状粘質物を10%エタノール溶液に分散させて得られる液である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1552	51	500301	軟質ラノリン脂肪酸			本品は、ラノリンをけん化して得た軟質の脂肪のような物質を精製したものである。
1553	51	506019	軟質ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主として「軟質ラノリン脂肪酸」と「コレステロール」のモノエステルからなる。
1554	51	001461	ニコチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸(C ₆ H ₅ NO ₂ :123.11)99.5%以上を含む。
1555	51	001463	ニコチン酸アミド			本品を乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸アミド(C ₆ H ₆ N ₂ O:122.13)98.0%以上を含む。
1556	51	110588	ニコチン酸dL- α -トコフェロール	ビタミンEニコチネート	ビタミンEニコチン酸エステル	本品は、定量するとき、ニコチン酸 dL- α -トコフェロール(C ₃₅ H ₅₃ NO ₃ :535.80)95.0%以上を含む。
1557	51	007206	ニコチン酸ベンジル			本品は、定量するとき、ニコチン酸ベンジル(C ₁₃ H ₁₁ NO ₂ :213.23)96.0%以上を含む。
1558	51	504263	ニコチン酸メチル			本品は、乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸メチル(C ₇ H ₇ NO ₂ :137.14)97.5%以上を含む。
1559	51	532185	二酸化ケイ素被覆炭化ケイ素			本品は、 β 型炭化ケイ素に二酸化ケイ素を9:1の割合で被覆したものである。
1560	51	540204	二炭酸一水素三ナトリウム	セスキ炭酸ナトリウム	セスキ炭酸Na、二炭酸一水素三Na	本品は、定量するとき、セスキ炭酸ナトリウム(Na ₂ CO ₃ ·NaHCO ₃ ·2H ₂ O:226.03)97.0%以上を含む。
1561	51	104611	ニトロセルロース			本品は、セルロースの硝酸エステルで、通例、「イソプロパノール」又はその他の溶剤で潤したものである。
1562	99	999999	乳酵母エキス			本品は、酵母 <i>Kluyveromyces lactis</i> 及び <i>Kluyveromyces fragilis</i> の菌体を乾燥して粉末にしたものから[精製水]にて抽出し、[エタノール]を加えたものである。
1563	51	001468	乳酸			本品は、乳酸及び無水乳酸の混合物で、定量するとき、乳酸(C ₃ H ₆ O ₃ :90.08)85.0~92.0%を含む。
1564	51	532257	乳酸アルキル(12, 13)			本品は、主として、「乳酸」と炭素数 12,13 の分岐アルキル基を有するアルコールのエステルである。
1565	51	100452	乳酸アルミニウム		乳酸Al	本品は、乳酸アルミニウム(C ₉ H ₁₅ AlO ₉ :294.19)からなる。本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、アルミニウム(Al:26.98)8.9~9.4%及び乳酸(C ₃ H ₆ O ₃ :90.08)89.0~93.7%を含む。
1566	51	504266	乳酸オクチルドデシル			本品は、主として「乳酸」と「2-オクチルドデカノール」のエステル(C ₂₃ H ₄₆ O ₃ :370.61)からなる。
1567	99	999999	乳酸球菌発酵液 D2			本品は、乳酸球菌の発酵液である。
1568	51	101322	乳酸セチル			本品は、主として「乳酸」と「セタノール」のエステル(C ₁₉ H ₃₈ O ₃ :314.50)からなる。
1569	51	106682	乳酸ナトリウム液		乳酸Na液	本品は、定量するとき、表示量の 97.0~103.0%に対応する乳酸ナトリウム(C ₃ H ₅ NaO ₃ :112.06)を含む。
1570	51	500308	乳酸ミスチル			本品は、主として「乳酸」と「ミスチルアルコール」のエステル(C ₁₇ H ₃₄ O ₃ :286.45)からなる。
1571	51	503104	乳酸ラウリル			本品は、主として乳酸と「ラウリルアルコール」のエステル(C ₁₅ H ₃₀ O ₃ :258.40)からなる。
1572	51	510057	乳脂			本品は、牛乳から得られる脂を精製したものである。
1573	51	520842	乳脂肪エマルジョン			本品は、牛乳から乳脂肪分以外の成分を除去したものである。本品は、定量するとき、乳脂肪分として、18.0%以上を含む。
1574	51	523157	乳たん白			本品は、脱脂した牛乳から得たたん白質を、噴霧乾燥したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.0~15.0%を含む。
1575	51	001472	乳糖			本品は、主として乳糖(C ₁₂ H ₂₂ O ₁₁ ·H ₂ O:360.31)からなる。
1576	51	002286	尿素			本品は、定量するとき、尿素(CH ₄ N ₂ O:60.06)99.0%以上を含む。
1577	99	999999	ニンジンエキス		人参エキス	本品はオタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer (<i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の根の含有成分を50 vol%エタノール溶液にて低温抽出して得られた成分を20vol%エタノール溶液に溶かしたものである。本品は定量するとき、ギンセノシド Rg1(C ₄₂ H ₇₂ O ₁₄ :801.03)として0.05~0.12w/v%を含む。
1578	51	104577	ニンジンエキス		人参エキス	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer (<i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の根又は根(生)を蒸して乾燥したものから水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液又は「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1579	99	999999	ニンジン抽出液		ニンジンエキス	本品はオタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A. Meyer (<i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の含有成分を50 v/v%エタノールにて低温抽出して得られた成分を10v/v%エタノールに溶かしたものであり、ジンセノサイド Rg 1(C ₄₂ H ₇₂ O ₁₄ :801.03)として0.05~0.12w/v%含む。
1580	51	104583	ニンジン末		人参末	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer (<i>Panax schines</i> Nees (Araliaceae)) の根を粉砕したものである。
1581	99	999999	ニンニク B1エキス末			本品は別添規格((1)-1)「ニンニク」(<i>Allium sativum</i> Linne (')) (Liliaceae) の鱗茎抽出液に塩酸チアミンを添加して乾燥粉末としたもので、塩酸チアミン4.05~4.95%を含む。
1582	51	104591	ニンニクエキス			本品は、ニンニク <i>Allium scorodoplasum</i> L. 又は <i>Allium sativum</i> L. (Liliaceae) の鱗茎から水、「無水エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
1583	51	001224	濃グリセリン			本品は、グリセリン(C ₃ H ₈ O ₃ :92.09)95.0%以上を含む(比重による)。
1584	51	500312	γ -ノナラクトン	アルデヒドC-18		本品は、定量するとき、 γ -ノナラクトン(C ₉ H ₁₆ O ₂ :156.22)97.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1585	51	520849	ノナン酸コレステリル			本品は、主としてノナン酸と「コレステロール」のエステル(C36H62O2:526.88)からなる。
1586	51	532107	ノナン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主としてノナン酸と「ジヒドロコレステロール」のエステル(C36H64O2:528.89)からなる。
1587	51	502108	ノナン酸パニルアミド		ヒドロキシメキシベンジルノナミド、ノニル酸パニルアミド	本品を乾燥したものは、定量するとき、ノニル酸パニルアミド(C17H27NO3:293.40)95.0%以上を含む。
1588	51	520850	ノバラエキス			本品は、Rosa canina Linne [´] (Rosaceae)の果実から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、もしくは「エチレングリコール」及び「エタノール」の混液(7:3)にて抽出して得られるエキスである。
1589	51	532231	ノバラ油			本品は、Rosa canina Linne [´] (Rosaceae)の果実を水蒸気蒸留して得た精油である。
1590	51	500314	パーシク油			本品は、ホンアンズ Prunus armeniaca Linne [´] , モモ Prunus persica Batch 及びその変種(Rosaceae)の核仁から得た脂肪油である。
1591	51	532190	パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレンリン酸		パーフルオロアルキルエーテルPOEリン酸	本品は、モノ(パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレン)リン酸とジ(パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレン)リン酸の混合物である。
1592	51	532108	パーフルオロアルキルシラン被覆セリサイト			本品は、「セリサイト」をパーフルオロアルキルシランで被覆処理したものである。
1593	99	999999	パーフルオロアルキルシランポリシロキサン被覆セリサイト			本品は、粧配規「セリサイト」をパーフルオロアルキルシランポリシロキサンで被覆処理したものである。
1594	51	523158	パーフルオロアルキルリン酸エステルジエタノールアミン塩		パーフルオロアルキルリン酸DEA	本品は、モノパーフルオロアルキルエチルリン酸エステルのジエタノールアミン塩とジパーフルオロアルキルエチルリン酸エステルのジエタノールアミン塩との混合物からなり、通常、水を含む。
1595	51	523159	パーフルオロポリエーテル			本品は、主として酸化ヘキサフルオロプロピレンと酸化ジフルオロメチレンの共重合体からなる。酸化ジフルオロメチレン1モルに対する酸化ヘキサフルオロプロピレンの重合度比は、20~40である。
1596	51	508078	パーム核油			本品は、アブラヤシ Elaeis guineensis Jacq. (Palmae)の果実の核を圧搾して得た脂肪油である。
1597	51	504270	パーム核油脂肪酸			本品は、「パーム核油」から得られる高級脂肪酸の混合物で、主としてラウリン酸(C12H24O2:200.32)からなる。
1598	51	523160	パーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム液	パーム核油アルキルN-カルボキシエチルN-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム液	パーム核油脂肪酸アシルカルボキシエチルヒドロキシエチルエチレンジアミンNa液	本品は、主としてパーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウムの水溶液からなる。本品は定量するとき、パーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウムとして、表示量の90.0~110.0%を含む。
1599	51	523161	パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタイン液			本品は、パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタインの水溶液である。本品を定量するとき、パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタインを27~33%含む。
1600	51	523162	パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド(1)		パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド-1	本品は、「パーム核油脂肪酸」と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
1601	51	523163	パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド(2)		パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド-2	本品は、主としてパーム核油脂肪酸とジエタノールアミンとを縮合して得られる1:2型アルキロールアミドである。
1602	51	523164	パーム脂肪酸			本品は、主として「パーム核油」と「パーム油」から得られる脂肪酸の混合物である。
1603	51	504271	パーム油			本品は、アブラヤシ Elaeis guineensis Jacq.の果実の果肉から得られる脂肪油である。
1604	51	520855	パール末		真珠末	本品は、アコヤガイ Pinctada martensii Dunker, カワシンジュガイ Margaritifera margaritifera Linne [´] (Unionidae), クロチョウガイ Pinctada margaritifera Linne [´] (Pteriidae) 及び シナカラスガイ Crystaria plicata Leach (Unionidae)の真珠層又は真珠を粉碎したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム(CaCO3:100.09)85.0%以上を含む。
1605	51	540073	パイロフェライト質クレイ			本品は、主として天然に産する含水ケイ酸アルミニウムからなる。
1606	99	999999	ハクガイシ加水分解エキス		ハクガイシ水解エキス	本品は、アブラナ科(Cruciferae)に属するアブラナ属(Brassica)のハクガイシ Sinapis alba L. (Brassica hirta MOENCH,B.alba BOISS)の種子を水抽出し、加水分解処理して得られた液である。
1607	51	520861	バクガ液汁		麦芽液汁	本品は、オオムギ Hordeum vulgare Linne [´] (Gramineae)の芽(生)を圧搾して得られる液汁である。
1608	51	508076	バクガエキス		麦芽エキス	本品は、オオムギ Hordeum vulgare Linne [´] (Gramineae)の芽を「エタノール」にて約70℃で抽出して得られるエキスである。
1609	51	523165	バクガ根エキス		麦芽根エキス	本品は、オオムギ Hordeum vulgare Linne [´] (Gramineae)の根から水で抽出して得たエキスである。
1610	51	500313	白糖			本品は、主としてショ糖(C12H22O11:342.30)からなる。
1611	51	523392	白糖発酵液			本品は、「白糖」を水で溶解し、酵母 Saccharomyces により発酵した後、得られた液をろ過したものである。
1612	51	111921	バクモンドウエキス			本品は、ジャノヒゲ Ophiopogon japonicus Ker-Gawler 又はその他同属植物(Liliaceae)の根の膨大部から水で

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、糖類(ショ糖として)85.0～105.0%を含む。
1613	51	520864	馬脂			本品は、ウマ <i>Equus caballus</i> Linne (Equidae) の脂肉から得られる脂肪を精製したものである。
1614	51	520866	パセリエキス(1)	オランダゼリエキス(1)	パセリエキス-1、オランダゼリエキス-1	本品は、オランダゼリ(パセリ) <i>Petroselinum sativum</i> Hoffmann (Umbelliferae) の葉から水、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1615	51	520867	パセリエキス(2)	オランダゼリエキス(2)	パセリエキス-2、オランダゼリエキス-2	本品は、オランダゼリ(パセリ) <i>Petroselinum sativum</i> Hoffmann (Umbelliferae) の根から水、「プロピレングリコール」及び「モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)」の混液(81:15:4)にて抽出して得られるエキスである。
1616	51	520868	ハダカムギ葉汁濃縮物			本品は、ハダカムギ <i>Hordeum vulgare</i> Linne var. nudum Hooker f. (Gramineae) の葉を圧搾して得られる液を噴霧乾燥したもの又はこれを更に水に溶解した後、ろ過し、得られたろ液を濃縮又は噴霧乾燥したものである。
1617		000000	ハアセチル化ショ糖変性アルコール			本品は、「エタノール」にハアセチル化ショ糖を加え、変性させたものである。
1618	51	500315	ハチミツ			本品は、ヨーロッパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne 又はトウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae) がその巣に集めた甘味物を採集したものである。
1619	51	500316	パチルアルコール	グリセリンモノステアリルエーテル		本品は、主としてグリセリンの α -モノステアリルエーテル(C21H44O3:344.57)からなる。
1620	1	120141	ハッカ	薄荷		本品はハッカ <i>Mentha arvensis</i> Linné var. <i>piperascens</i> Malinvaud (Labiatae) の地上部である。
1621	51	105562	ハッカ末			本品は、ハッカ <i>Mentha arvensis</i> Linne var. <i>piperascens</i> Malinvaud 又はその仲間雑種(Labiatae)の地上部を粉末にしたものである。
1622	51	001488	ハッカ油			本品は、 <i>Mentha arvensis</i> Linne 及び <i>Mentha piperita</i> を水蒸気蒸留して得られる精油である。本品は定量するとき、総メントール(メントール(C10H20O:156.27)として)50.0%以上を含む。
1623	51	510060	ハトムギ油			本品は、ハトムギ <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne var. <i>ma-yuen</i> Stapf (Gramineae) の種子から得られる脂肪油である。
1624	51	107548	バニリン	ワニリン		本品は、主としてバニリン(C8H8O3:152.15)からなる。
1625	51	507080	パパイヤ末			本品は、パパイヤ <i>Carica papaya</i> L. (Caricaceae) の果肉及び果皮を乾燥させ、粉末としたものである。本品を定量するとき、粗たん白として60.0～70.0%を含む。
1626	51	105015	パパイン			本品は、主としてパパイヤ <i>Carica papaya</i> L. (Caricaceae) の果汁から得られるたん白質分解酵素からなる。本品は定量するとき、40000Pa.U.N./g以上の活性を有する。
1627	51	508077	パブリカ色素			本品はトウガラシ <i>Capsicum frutescens</i> Linne (Solanaceae) の果実をヘキサンで抽出した後、ヘキサンを留去して得られるカロチノイド系色素を「大豆油」に溶解したものである。
1628	51	532248	ハマナスエキス	マイカイカエキス		本品は、ハマナス <i>Rosa rugosa</i> Thunberg (Rosaceae) の花からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
1629	51	507082	ハマメリスエキス			本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉又は葉及び樹皮から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、「エタノール」又はこれらの混液で抽出したものである。
1630	51	502109	ハマメリス水	ウイッチハーゼル水		本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉、樹皮、根及び枝等を水蒸気蒸留して得た液 又は、これに「エタノール」を加えたものである。
1631	51	520877	ハマメリス末			本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の樹皮を粉末としたものである。
1632	51	522114	歯磨用塩化ナトリウム		歯磨用塩化Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl:58.44)98.0%以上を含む。
1633	51	500318	歯磨用リン酸水素カルシウム		歯磨用リン酸水素Ca	本品は、リン酸水素カルシウムに、リン酸、ピロリン酸若しくはポリリン酸のアルカリ塩、カルシウム塩又はマグネシウム塩を添加して製したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO4:136.06)として93.0%以上を含む。
1634	51	520880	馬油			本品は、ウマ <i>Equus caballus</i> (Equoidae) のたてがみ及び尾の基部、あるいは皮下脂肪層から得た脂肪油である。
1635	51	104960	パラアミノ安息香酸		PABA	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミノ安息香酸(C7H7NO2:137.14)98.5%以上を含む。
1636	51	500319	パラアミノ安息香酸エチル		エチルPABA	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミノ安息香酸エチル(C9H11NO2:165.19)99.0%以上を含む。
1637	51	520881	パラアミノ安息香酸グリセリル		グリセリルPABA	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミノ安息香酸グリセリル(C10H13NO4:211.22)90.0%以上を含む。
1638	51	520882	バラエキス			本品は、セイヨウバラ <i>Rosa centifolia</i> Linne (Rosaceae) の花から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1639	51	103117	パラオキシ安息香酸イソブチル		イソブチルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸イソブチル(C11H14O3:194.23)99.0%以上を含む。
1640	51	103134	パラオキシ安息香酸イソプロピル		イソプロピルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸イソプロピル(C10H12O3:180.20)99.0%以上を含む。
1641	51	002292	パラオキシ安息香酸エチル		エチルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸エチル(C9H10O3:166.17)99.0%以上を含む。
1642	51	002293	パラオキシ安息香酸ブチル		ブチルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸ブチル(C11H14O3:194.23)99.0%以上を含む。
1643	1	002294	パラオキシ安息香酸プロピル		プロピルパラベン、パラベン	本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸プロピル(C10H12O3)99.0%以上を含む。
1644	51	002294	パラオキシ安息香酸プロピル		プロピルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸プロピル(C10H12O3:180.20)99.0%以上を含む。
1645	51	111233	パラオキシ安息香酸ベンジル		ベンジルパラベン、パラベン	本品は、定量するとき、パラオキシ安息香酸ベンジル(C14H12O3:228.24)99.0%以上を含む。
1646	1	002295	パラオキシ安息香酸メチル		メチルパラベン、パラベン	本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸メチル(C8H8O3)99.0%以上を含む。
1647	51	002295	パラオキシ安息香酸メチル		メチルパラベン、パラベン	本品は、パラオキシ安息香酸メチル(C8H8O3:152.15)99.0%以上を含む。
1648	51	504277	パラオキシ安息香酸メチルナトリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、パラオキシ安息香酸メチルナトリウム(C8H7NaO3:174.13)99.0%以上を含む。
1649	51	002296	パラクロルフェノール		クロロフェノール	本品は、定量するとき、パラクロルフェノール(C6H5ClO:128.56)99.0%以上を含む。
1650	51	500595	パラジメチルアミノ安息香酸2-エチルヘキシル	パラジメチルアミノ安息香酸オクチル	ジメチルPABAエチルヘキシル	本品は、定量するとき、パラジメチルアミノ安息香酸2-エチルヘキシル(C17H27NO2:277.40)95.0%以上を含む。
1651	51	501105	パラジメチルアミノ安息香酸アミル		ジメチルPABAアミル	本品は、定量するとき、パラジメチルアミノ安息香酸アミル(C14H21NO2:235.32)70.0%を含む。
1652	51	504279	パラヒドロキシアニソール			本品は、主としてパラヒドロキシアニソールからなる。
1653	51	001495	パラフィン			本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物である。
1654	51	500328	パラフェノールスルホン酸亜鉛		フェノールスルホン酸亜鉛	本品は、定量するとき、パラフェノールスルホン酸亜鉛(C12H10O8S2Zn・8H2O:555.86)98.0%以上を含む。
1655	51	504280	パラフェノールスルホン酸ナトリウム(二水和物)		パラフェノールスルホン酸Na・2水和物	本品は、主としてパラフェノールスルホン酸のナトリウム塩(C6H5NaO4S・2H2O:232.19)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、パラフェノールスルホン酸ナトリウム(C6H5NaO4S:196.16)として98.0~102.0%を含む。
1656	51	500329	パラメチルアセトフェノン			本品は、定量するとき、パラメチルアセトフェノン(C9H10O:134.18)98.0%以上を含む。
1657	51	509084	パラメキシケイ皮酸イソプロピル・ジイソプロピルケイ皮酸エステル混合物		パラメキシケイ皮酸イソプロピル・ケイ皮酸ジイソプロピル混合物、パラメキシ桂皮酸イソプロピル・桂皮酸ジイソプロピル混合物	本品は、定量するとき、パラメキシケイ皮酸イソプロピル72.0~79.0%、2,4-ジイソプロピルケイ皮酸エチル15.0~21.0%、2,4-ジイソプロピルケイ皮酸メチル3.0~9.0%を含む。
1658	51	500607	パラメキシケイ皮酸2-エチルヘキシル	パラメキシケイ皮酸オクチル	パラメキシケイ皮酸エチルヘキシル、パラメキシ桂皮酸エチルヘキシル	本品は、定量するとき、パラメキシケイ皮酸2-エチルヘキシル(C18H26O3:290.40)98.0%以上を含む。
1659	51	520132	パリエタリアエキス			本品は、パリエタリア <i>Parietaria officinalis</i> Linne ^o (Urticaceae)の葉から、プロピレングリコール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
1660	51	104981	パルミチン酸			本品は、主としてパルミチン酸(C16H32O2:256.42)からなる。
1661	51	500331	パルミチン酸亜鉛		パルミチン酸Zn	本品は、主としてパルミチン酸(C16H32O2:256.42)の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn:65.41)10.5~13.0%を含む。
1662	51	100653	パルミチン酸アスコルビル		ビタミンCパルミテート	本品を乾燥したものは、定量するとき、パルミチン酸-L-アスコルビル(C22H38O7:414.53)93.0%以上を含む。
1663	51	502110	パルミチン酸アミド			本品は、主としてパルミチン酸アミド(C16H33NO:255.44)からなる。
1664	51	503110	パルミチン酸イソステアリル			本品は、主として「パルミチン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C34H68O2:508.90)からなる。
1665	51	103133	パルミチン酸イソプロピル			本品は、主として「パルミチン酸」と「イソプロパノール」のエステル(C19H38O2:298.50)からなる。
1666	51	540074	パルミチン酸2-エチルヘキシル	パルミチン酸オクチル	パルミチン酸エチルヘキシル	本品は、主として「パルミチン酸」と2-エチルヘキサノールのエステル(C24H48O2:368.64)からなる。
1667	51	510063	パルミチン酸カリウム		パルミチン酸K	本品は、主として「パルミチン酸」のカリウム塩(C16H31KO2:294.51)からなる。
1668	51	101323	パルミチン酸セチル			本品は、主として「パルミチン酸」と「セタノール」のエステル(C32H64O2:480.85)からなる。
1669	51	109836	パルミチン酸デキストリン			本品は、主として「パルミチン酸」と「デキストリン」のエステルからなる。
1670	51	502112	パルミチン酸ナトリウム		パルミチン酸Na	本品は、主として「パルミチン酸」のナトリウム塩(C16H31NaO2:278.41)からなる。
1671	51	532109	パルミチン酸2-ヘキシルデシル	パルミチン酸イソセチル	パルミチン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「パルミチン酸」と2-ヘキシルデカノールのエステル(C32H64O2:480.85)からなる。
1672	51	502113	パルミチン酸ポリエチレングリコール		パルミチン酸PEG	本品は、主として「パルミチン酸」とポリエチレングリコールとのモノエステルからなる。
1673	51	532110	パルミチン酸モノエタノールアミド	パルミチン酸エタノールアミド		本品は、主として「パルミチン酸」と当量の「モノエタノールアミン」を縮合して得られるアルキロールアミド(C18H37NO2:299.49)である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1674	51	001501	パルミチン酸レチノール		ビタミンAパルミチン酸エステル、ビタミンAパルミテート	本品は、パルミチン酸レチノール又はパルミチン酸レチノールに植物油を加えたものである。本品は、定量するとき、表示ビタミン A 単位の 95～105%を含む。
1675	51	520891	N-パルミトイル-L-アスパラギン酸ジエチル		パルミトイルアスパラギン酸ジエチル	本品は主として、N-パルミトイル-L-アスパラギン酸ジエチル (C34H45NO5:427.62)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.11～3.31%を含む。
1676	51	504291	N-パルミトイルアスパラギン酸ジトリエタノールアミン液		パルミトイルアスパラギン酸2TEA液	本品は、N-パルミトイルアスパラギン酸ジトリエタノールアミンの水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の90～110%のN-パルミトイルアスパラギン酸ジトリエタノールアミン(C32H67N3O11:669.89)を含む。
1677	51	511053	パルミトイルメチルタウリンナトリウム		パルミトイルメチルタウリンNa	本品を乾燥したものは、定量するとき、パルミトイルメチルタウリンナトリウム(C19H38NNaO4S:399.56)92.5%以上を含む。
1678	51	001502	バレイショデンプン		ジャガイモデンプン、バレイショスターチ	本品は、バレイショ <i>Solanum tuberosum</i> Linne ^ˆ (Solanaceae)の塊茎から得たデンプンである。
1679	51	100156	ハロカルバン		クロフルカルバン	本品を乾燥したものは、定量するとき、ハロカルバン(C14H9C12F3N2O:349.14)98.0～104.0%を含む。
1680	51	001503	パンクレアチン			本品は、主としてブタ <i>Sus scrofa</i> Linne ^ˆ var. <i>domestica</i> Gray (Suidae)のすい臓から製したもので、でんぷん消化力、たん白消化力及び脂肪消化力がある酵素剤である。通例、適当な賦形剤で薄めてある。
1681	51	508079	パン酵母処理ヒマシ油			本品は、「ヒマシ油」一部と日局生理食塩液一部を混合し、パン酵母 0.2 部を加え、加温処理した後、分離精製して得た油である。
1682	99	999999	バンジロウ葉エキス			本品は別添規格(1)バンジロウ葉を70v/v%エタノールにて抽出して得られたものであり、本品は定量するとき、100ml中に総ポリフェノール700～1100mgを含む。
1683	51	105007	パンテチン液			本品は、主としてパンテチンの水溶液で、本品を定量するとき、表示量の 90～110%に対応するパンテチン(C22H42N4O8S2:554.72)を含む。
1684	51	523166	D-パンテテイン-S-スルホン酸カルシウム液		D-パンテテインスルホン酸Ca液	本品は、主としてD-パンテテイン-S-スルホン酸カルシウム(C22H42CaN4O14S4:754.93)を 70%含む水溶液からなる。本品の換算した脱水物は、定量するとき、窒素(N:14.01)7.1～8.0%及びカルシウム(Ca:40.08)4.3～6.0%を含む。
1685	51	532111	パンテテイン-S-スルホン酸ナトリウム液		パンテテインスルホン酸Na液	本品は、主としてD-パンテテイン-S-スルホン酸ナトリウム(C11H21N2NaO7S2:380.41)を 70%含む水溶液からなる。本品の換算した脱水物は、定量するとき、窒素(N:14.01)7.1～8.0%を含む。
1686	51	500338	D-パントテニルアルコール			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、D-パントテニルアルコール(C4H19NO4:205.25)97.0%以上を含む。
1687	51	500599	DL-パントテニルアルコール			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-パントテニルアルコール(C9H19NO4:205.25)97.0%以上を含む。
1688	51	501110	パントテニルエチルエーテル			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、パントテニルエチルエーテル(C11H23NO4:233.30)97.0%以上を含む。
1689	99	999999	パントテニルエチルエーテル			本品は、定量するとき換算した脱水物に対しパントテニルエチルエーテル(C11H23NO4)97.0%以上を含む。
1690	51	001505	パントテン酸カルシウム		パントテン酸Ca	本品は、パントテン酸カルシウム(C18H32CaN2O10:476.53)である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)5.7～6.0%及びカルシウム(Ca:40.08)8.2～8.6%を含む。
1691	51	520893	ヒアルロン酸ナトリウム(1)		ヒアルロン酸Na-1	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae)のトサカより得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8～4.0%及びグルクロン酸(C6H10O7:194.14)43.0～51.0%を含む。
1692	51	520894	ヒアルロン酸ナトリウム(2)		ヒアルロン酸Na-2	本品は、乳酸球菌 <i>Streptococcus zooepidemicus</i> 又は <i>Streptococcus equi</i> を用いる発酵法により得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0～4.0%及びグルクロン酸(C6H10O7:194.14)40.0～50.0%を含む。
1693	51	522042	ヒアルロン酸ナトリウム(3)		ヒアルロン酸Na-3	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae)のトサカより得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8～4.0%及びグルクロン酸(C6H10O7:194.14)37.0～43.0%を含む。
1694	51	520895	ヒアルロン酸ナトリウム液		ヒアルロン酸Na液	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson のトサカより得られるヒアルロン酸ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、ヒアルロン酸ナトリウムとして1.0～1.5%を含む。
1695	99	999999	ビオ GL エキス			本品は、アマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino (Cucurbitaceae)の茎とヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M.Roemen (Cucurbitaceae)の子葉との融合細胞より抽出して得られるエキスに、「1,3-β-ブチレングリコール」を加えたものである。
1696	99	999999	ビオ GL エキス(2)		ビオGLエキス-2	本品は、アマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino (Cucurbitaceae)の茎とヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M..Roemen (Cucurbitaceae)の子葉との融合細胞より精製水(粧原基)で抽出して得られるエキスに、1,3-β-ブチ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						レングリコール(粧原基)を加えたものである。
1697	51	008200	ビオチン		ビタミンH	本品を乾燥したものは、定量するとき、ビオチン(C10H16N2O3S:244.31)98.0%以上を含む。
1698	51	522043	ヒキオコシエキス(1)	延命草エキス(1)	ヒキオコシエキス-1、延命草エキス-1	本品は、ヒキオコシ Isodon japonicus Hara (Amethystantus japonicus Nakai, Plectranthus japonicus (Burm.) Koidz), 又はクロバナヒキオコシ Isodon trichocarpus Kudo (Plectranthus trichocarpus Maxim.) (Labiatae) の地上部から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1699	51	522044	ヒキオコシエキス(2)	延命草エキス(2)	ヒキオコシエキス-2、延命草エキス-2	本品は、ヒキオコシ Isodon japonicus Hara 又はクロバナヒキオコシ Isodon trichocarpus Kudo (Labiatae) の地上部から「酢酸エチル」にて抽出した後、「酢酸エチル」を留去し、「エタノール」及び水を加えたものである。
1700	51	505139	ビスボロール			本品は、主としてビスボロール(C15H26O:222.37)からなり、本品を定量するとき、78.0%以上を含む。
1701	51	523167	非晶型酸化チタン		非晶型酸化Ti	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO2:79.87)88.0%以上を含む。
1702	51	504293	ビスコースレーヨン			本品は、セルロースをビスコース法により再生した繊維である。
1703	51	003617	L-ヒスチジン		ヒスチジン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-ヒスチジン(C6H9N3O2:155.15)98.5%以上を含む。
1704	51	505026	ビスフェノールA型エポキシ樹脂オレイン酸エステル			本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ化合物と、「オレイン酸」のエステルである。
1705	51	505029	ビスフェノールA型エポキシ樹脂ステアリン酸エステル(1)		ビスフェノールA型エポキシ樹脂ステアリン酸エステル-1	本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ化合物と、ステアリン酸のエステルである。
1706	51	505030	ビスフェノールA型エポキシ樹脂リシノレイン酸エステル			本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ樹脂と、リシノレイン酸のエステルである。
1707	51	001509	ビタミンA油			本品は、水産動物の新鮮な肝臓及び幽門垂から得た脂肪油か、あるいはその脂肪油、その濃縮物又はビタミンAの脂肪酸エステルに肝油類又は植物油を加えたものである。本品は、定量するとき、表示ビタミンA単位の90~120%を含む。
1708	51	532112	ヒドロアビエチルアルコール	ハイドロアビエチルアルコール		本品は、「ロジン」の還元により得られるヒドロアビエチルアルコールの混合物で、主としてテトラヒドロアビエチルアルコール、ジヒドロアビエチルアルコールからなり、デヒドロアビエチルアルコールも含む。
1709	51	532113	N-[2-ヒドロキシ-3-[3-(ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル]加水分解カゼイン		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル水解カゼイン、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG水解カゼイン	本品は、「加水分解カゼイン」に 3-グリシドキシプロピルメチルジヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.0~15.0%を含む。
1710	51	532114	N-[2-ヒドロキシ-3-[3-(ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル]加水分解コラーゲン		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル水解コラーゲン、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG水解コラーゲン	本品は、「加水分解コラーゲン末」に 3-グリシドキシプロピルメチルジヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.0~15.0%を含む。
1711	51	532299	N-[2-ヒドロキシ-3-[3-(ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル]加水分解シルク		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル水解シルク、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG水解シルク	本品は、「加水分解シルク」に 3-グリシドキシプロピルメチルヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.0~15.0%を含む。
1712	51	520911	ヒドロキシアパタイト	ハイドロオキシアパタイト		本品は、主としてヒドロキシアパタイト(3Ca3(PO4)2・Ca(OH)2:1004.62)からなる。
1713	51	540075	ヒドロキシエタンジホスホン酸液			本品は、1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジホスホン酸の水溶液で、本品を定量するとき、表示量の 90~110 % に対応する 1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジホスホン酸(C2H8O7P2:206.03)を含む。
1714	51	540076	ヒドロキシエタンジホスホン酸四ナトリウム液	1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジホスホン酸四ナトリウム液	ヒドロキシエタンジホスホン酸4Na液	本品は、「ヒドロキシエタンジホスホン酸」のテトラナトリウム塩の水溶液で、定量するとき、表示量の 90~110 % に対応する 1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジホスホン酸四ナトリウム(C2H4Na4O7P2:293.96)を含む。
1715	51	500600	ヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸三ナトリウム液		HEDTA・3Na液	本品は、定量するとき、表示量の 90~110% に対応するヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸三ナトリウム三水塩(C10H15N2Na3O7・3H2O:398.25)を含む。
1716	51	532240	ヒドロキシエチルキトサン液			本品は、「キトサン」の酸化エチレン付加物の水溶液又は、これに「エタノール」を加えたものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~0.09%を含む。
1717	51	504297	ヒドロキシエチルジフェニルイミダゾリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、1-ヒドロキシエチル-4, 5-ジフェニルイミダゾール(C17H16N2O:264.32)98.0%以上を含む。
1718	51	102993	ヒドロキシエチルセルロース			本品は、セルロースのヒドロキシエチルエーテルである。
1719	51	509085	ヒドロキシエチルセルロースエチルエーテ			本品は、「ヒドロキシエチルセルロース」のエチルエーテルである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ル			
1720	51	500601	ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアル ルアンモニウムクロリド		塩化ヒドロキシエチルセルロースジメ チルジアルアンモニウム	本品は、ヒドロキシエチルセルロースに塩化ジメチルジアルアンモニウムをグラフト重合して得られるカチオン 性の重合体であり、平均分子量は約 100000～140000 である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N: 14.01)1.4～2.2%を含む。
1721	51	500343	ヒドロキシシトロネラール			本品は、定量するとき、ヒドロキシシトロネラール(C10H20O2:172.26)90.0%以上を含む。
1722	99	999999	ヒドロキステアシルフィトスフィンゴシン			本品は酵母(Saccharomyces)の一種である Pichia 種1の代謝産物を加熱ろ過することにより無菌処理して得られ たフィトスフィンゴシンを2-ヒドロキステアリン酸でアシル化し、主として N-ヒドロキステアシルフィトスフィン ゴシン(C36H73NO5:分子量600.0)からなる。構造式を別紙に示す。(略)
1723	51	520918	ヒドロキステアリン酸	オキシステアリン酸		本品は、主として 12-ヒドロキステアリン酸(C18H36O3:300.48)からなる。
1724	51	523168	ヒドロキステアリン酸2-エチルヘキシル	オキシステアリン酸オクチ ル	ヒドロキステアリン酸エチルヘキシル	本品は、主として「ヒドロキステアリン酸」と2-エチルヘキサノールのエステル(C26H52O3:412.69)からなる。
1725	51	504298	ヒドロキステアリン酸コレステリル	オキシステアリン酸コレス テリル		本品は、主として「ヒドロキステアリン酸」と「コレステロール」のエステル(C45H80O3:669.13)からなる。
1726	51	520921	2-(2-ヒドロキシデシルメチルアミノ)エ チルリン酸ナトリウム液		ヒドロキシデシルメチルアミノエチル リン酸Na液	本品は、主として 2-(2-ヒドロキシデシルメチルアミノ)エチルリン酸ナトリウムの水溶液からなる。
1727	51	523169	ヒドロキシプロピルキトサン液			本品は、「キトサン」の酸化プロピレン付加物の水溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)0.1～0.3% を含む。
1728	51	002303	ヒドロキシプロピルセルロース			本品は、セルロースのヒドロキシプロピルエーテルである。
1729	51	504299	ヒドロキシプロピルデンブ			本品は、「トウモロコシデンブ」のヒドロキシプロピルエーテルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒ ドロキシプロピル基(C3H7O:59.09)として 2.0～7.0%を含む。
1730	51	008206	ヒドロキシプロピルメチルセルロース			本品は、セルロースのメチル及びヒドロキシプロピルの混合エーテルである。
1731	51	500345	2-(2-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)ベン ゾトリアゾール		ドロトリアゾール、ヒドロキシメチルフェ ニルベンゾトリアゾール	本品を乾燥したものは、定量するとき、2-(2-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)ベンゾトリアゾール(C13H11N3O: 225.25)95.0～104.0%を含む。
1732	51	523170	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸	オキシベンゾンスルホン酸		本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸(C14H12O6S:308.31)を90.0 ～110.0%以上を含有する。
1733	51	523171	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 (三水塩)		ヒドロキシメキシベンゾフェノンスル ホン酸3水塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸(C14H18O9S:362.35)95.0% 以上を含む。
1734	51	500602	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 ナトリウム	オキシベンゾンスルホン酸 ナトリウム	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスル ホン酸Na、オキシベンゾンスルホン 酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸ナトリウム(C14H11NaO6S: 330.29)90%以上を含む。
1735	51	504303	ヒドロキシラノリン			本品は、「ラノリン」をヒドロキシ化したものである。
1736	51	532115	ビニルアルコール・ビニルアミン共重合体 塩酸塩		ビニルアルコール・ビニルアミン共重 合体HCl	本品は、酢酸ビニルと N-ビニルホルムアミドの共重合体のけん化、加水分解物の塩酸塩からなる。本品は、そ の平均分子量は 60000～150000 である。
1737	51	520526	ビニルピロリドン・N,N-ジメチルアミノエ チルメタクリル酸共重合体ジエチル硫酸塩 液		VP・メタクリル酸ジメチルアミノエチル 共重合体ジエチル硫酸液	本品は主として、ビニルピロリドンとN,N-ジメチルアミノエチルメタクリル酸の共重合体のジエチル硫酸塩から なり、水又は「エタノール」を含む。本品は定量するとき、換算した乾燥物につき、窒素(14.01)8.8～12.0%を含 む。
1738	51	502117	ビニルピロリドン・スチレン共重合体エマル ション		VP・スチレン共重合体エマルジョン	本品は、ビニルピロリドンとスチレンの共重合体のエマルジョンである。
1739	51	523172	ビニルピロリドン・ヘキサデセン共重合体		VP・ヘキサデセン共重合体	本品は、主として、ビニルピロリドンとヘキサデセンとの共重合体である。本品は、定量するとき、窒素(N: 14.01)2.0～3.0%を含む。
1740	51	504304	ビニルメチルエーテル・マレイン酸エチル 共重合体液		メキシエチレン・MA共重合体エチ ルエステル液	本品は、ビニルメチルエーテルとマレイン酸モノエチルからなる共重合体のエタノール溶液である。
1741	51	504305	ビニルメチルエーテル・マレイン酸ブチル 共重合体液	メキシエチレン無水マレ イン酸共重合体ブチルエ ステル液	メキシエチレン・MA共重合体ブチ ルエステル液	本品は、ビニルメチルエーテルと無水マレイン酸の共重合体をブタノールでモノエステル化したもののエタノール 溶液である。
1742	51	102832	ヒノキチオール			本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒノキチオール(C10H12O2:164.20)98.0～105.0%を含む。
1743	51	523173	ヒノキ末			本品は、ヒノキ Chamaecyparis obtusa Siebold et Zucca 又はその同属植物(Cupressaceae)の幹及び枝を乾燥 し、粉末としたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1744	51	532236	ヒノキ水			本品は、ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i> Siebold et Zuccarini (Cupressaceae) の幹及び枝から水で抽出して得られたエキスを、水蒸気蒸留して得られる液で、「1, 3-ブチレングリコール」を含むものもある。
1745	51	504306	ピバリン酸イソステアリル	ネオペンタン酸イソステアリル		本品は、主としてピバリン酸と「イソステアリアルアルコール」のエステル (C23H46O2:354.61) からなる。
1746	51	504307	ピバリン酸イソデシル			本品は、主としてピバリン酸とイソデシルアルコールのエステル (C15H30O2:242.40) からなる。
1747	51	532116	ピバリン酸2-オクチルドデシル	ネオペンタン酸2-オクチルドデシル	ピバリン酸オクチルドデシル	本品は、主としてピバリン酸と2-オクチルドデカノールのエステル (C25H50O2:382.66) からなる。
1748	51	509088	ビフィズス菌エキス			本品は、ビフィズス菌 <i>Bifidobacterium bifidum</i> から得られたエキスの水溶液である。本品を定量するとき、窒素 (N:14.01) として 0.04~0.08% を含む。
1749	51	001515	ヒマシ油			本品は、トウゴマ <i>Ricinus communis</i> Linne' (Euphorbiaeae) の種子を圧搾して得た脂肪油である。
1750	51	540077	ヒマシ油・オリブ油エステル交換物			本品は、主として「ヒマシ油」と「オリブ油」をエステル交換して得られるものである。
1751	51	540078	ヒマシ油脂肪酸ナトリウム液		ヒマシ油脂肪酸Na液	本品は、主としてヒマシ油脂肪酸のナトリウム塩の水溶液で、定量するとき、ヒマシ油脂肪酸ナトリウム 27~33% を含む。
1752	51	509090	ヒマシ油脂肪酸ポリプロピレングリコール (5.5P.O.)		ヒマシ油脂肪酸PPG (5.5)	本品は、ヒマシ油脂肪酸に酸化プロピレンを付加重合して得られる。酸化プロピレンの平均付加モル数は、5.5 である。
1753	51	501113	ヒマシ油脂肪酸メチル			本品は、ヒマシ油脂肪酸のメチルエステルで、主としてリシノレイン酸メチルからなる。
1754	51	532117	ヒマラヤヒラタケ培養液			本品は、ウスヒラタケ <i>Pleurotus pulmonarius</i> (Fr.) Que' i Pleurotaceae を豆乳および「ブドウ糖」の水溶液中で培養し、除菌ろ過して得られる培養液である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) 0.01~0.06% を含む。
1755	51	507086	ヒマワリ油粕			本品は、ヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子を圧搾して脱油した後、乾燥、粉末としたものである。
1756	51	520923	ヒマワリ油 (1)	サンフラワー油	ヒマワリ油-1	本品は、ヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子から得た脂肪油である。
1757	51	520924	ヒマワリ油 (2)		ヒマワリ油-2	本品は、オレイン酸を多く含むヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子から得た脂肪油である。
1758	99	999999	ヒマワリ油脂肪酸			本品は、オレイン酸を多く含むヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子から得た脂肪油を、加水分解し精製して得られた脂肪酸である。
1759	51	532118	ビャクダンエキス	白檀抽出液		本品は、ビャクダン <i>Santalum album</i> Linne' (Santalaceae) の心材から水で抽出して得られたエキスで、通常グリセリンを含む。
1760	51	001259	氷酢酸			本品は、定量するとき、酢酸 (C2H4O2:60.05) 99.0% 以上を含む。
1761	51	107764	ポリチオン亜鉛		ポリチオンZn	本品を乾燥したものは、定量するとき、ポリチオン亜鉛 (C10H8N2O2S2Zn:317.72) 95.0% 以上を含む。
1762	51	500603	ポリチオン亜鉛水性懸濁液	ジンクポリチオン液	ポリチオンZn水性懸濁液、Znポリチオン液	本品は、定量するとき、ビス(2-ピリジルチオ-1-オキシド)亜鉛 (C10H8N2O2S2Zn:317.72) として表示量の 93.0~102.0% を含む。
1763	51	105740	ピリドキシン		ビタミンB6	本品を乾燥したものは、定量するとき、ピリドキシン (C8H11NO3:169.18) 98.0% 以上を含む。
1764	51	520925	微粒子酸化チタン		微粒子酸化Ti	本品は、「酸化チタン」を更に微粉状にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン (TiO2:79.87) 90.0% 以上を含む。
1765	51	532119	微粒子ベンガラ			本品は、「ベンガラ」を微粉状にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄 (Fe2O3:159.69) 90.0% 以上を含む。
1766	51	002310	ピロ亜硫酸ナトリウム		ピロ亜硫酸Na	本品は、定量するとき、ピロ亜硫酸ナトリウム (Na2S2O5:190.11) 95.0% 以上を含む。
1767	99	999999	ピロクトン オラミン		ピロクトンオラミン	本品を乾燥したものは定量するとき、ピロクトン オラミン (C14H23NO2·C2H7NO:298.42) 98.0% 以上を含む。
1768	51	503114	ピログルタミン酸イソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		PCAイソステアリン酸POEグリセリル	本品は、主としてピログルタミン酸及び「イソステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、窒素 (N:14.01) 0.84% 以上を含む。
1769	51	502118	ピログルタミン酸イソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		PCAイソステアリン酸POE硬化ヒマシ油、PCAイソステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主としてピログルタミン酸及び「イソステアリン酸」と「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」のジエステルからなる。
1770	51	504309	ピログルタミン酸オレイン酸グリセリル	オレイン酸ピロリドンカルボン酸グリセリル	PCAオレイン酸グリセリル	本品は、主として「ピロリドンカルボン酸」と「モノオレイン酸グリセリル」のエステル (C26H45O6N:467.64) からなる。
1771	51	540006	DL-ピロリドンカルボン酸		DL-PCA	本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-ピロリドンカルボン酸 (C5H7NO3:129.11) として 97.0~103.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1772	51	532164	L-ピロリドンカルボン酸		PCA	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-ピロリドンカルボン酸(C5H7NO3:129.11)として97.0%以上を含む。
1773	51	504310	dL-ピロリドンカルボン酸エチル		dL-PCAエチル	本品を乾燥したものは、定量するとき、dL-ピロリドンカルボン酸エチル(C7H11NO3:157.17)98.0%以上を含む。
1774	51	520926	dL-ピロリドンカルボン酸カリウム		dL-PCA・K	本品を乾燥したものは、定量するとき、dL-ピロリドンカルボン酸カリウム(C5H6KNO3:167.20)97.0~103.0%を含む。
1775	51	503115	DL-ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミン		DL-PCA・TEA	本品は、主としてDL-ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、DL-ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミン(C11H22N2O6:278.30)として表示量の90~110%を含む。
1776	51	505144	DL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム・アラントイン		DL-PCA・Naアラントイン	本品は、アラントイン(C4H6N4O3)とDL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム(C5H6NNaO3)の分子化合物である。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、DL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム・アラントイン(C9H12N5NaO6:309.21)として97.0~103.0%を含む。
1777	51	540007	DL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム液		DL-PCA・Na液	本品は、「DL-ピロリドンカルボン酸」のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、DL-ピロリドンカルボン酸ナトリウム(C5H6NNaO3:151.10)として48.0~52.0%を含む。
1778	51	532300	L-ピロリドンカルボン酸ラウリル	ラウリルピロリドンカルボン酸	PCAラウリル	本品は、主として「L-ピロリドンカルボン酸」と「ラウリルアルコール」のエステル(C17H31NO3:297.43)からなる。
1779	51	502120	ピロリン酸カルシウム		ピロリン酸Ca	本品は、ピロリン酸のカルシウム塩である。本品を乾燥したものは、下記の定量法で定量するとき、2法ともにピロリン酸カルシウム(Ca2P207:254.10)95%以上を含む。
1780	51	106742	ピロリン酸ナトリウム		ピロリン酸Na	本品は、ピロリン酸ナトリウムの10水和物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、ピロリン酸ナトリウム(Na4P207:265.90)として98.0%以上を含む。
1781	51	520929	ビワ葉エキス			本品は、ビワ <i>Eriobotrya japonica</i> Lindley (Rosaceae) の葉から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1782	99	999999	ファレノプシスエキストラクト(2)		ファレノプシスエキストラクト-2	本品は、コショウラン (<i>Phalaenopsis amabilis</i> Blume, またはその近縁植物 (<i>Phalaenopsis schilleriana</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis lueddemanniana</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis equestris</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis intermedia</i> Veitch.) 及びこれらの交配植物) の全草から1,3-ブチレングリコール溶液で抽出したエキスである。
1783	51	502121	フィチン酸			本品は、「コメヌカ」等から得られたイノシトールのヘキサリン酸エステルである。本品は、定量するとき表示量の90~110%のフィチン酸(C6H18O24P6:660.04)を含む。
1784	51	105179	フィトステロール			本品は、植物油から抽出して得たステロールで、主としてβ-シトステロール(C29H500:414.71)、スチグマステロール(C29H480:412.70)及びカンペステロール(C28H480:400.68)からなる。
1785	99	999999	フィトステロール配糖体			本品は、コメヌカ油より抽出精製して得られる物質で、主として、フィトステロール配糖体、スフィンゴ糖脂質などの脂質を含む。
1786	1	001521	フェナセチン			本品を乾燥したものは定量するとき、フェナセチン(C10H13NO2)98.0%以上を含む。
1787	51	105151	フェニルエチルアルコール			本品は、定量するとき、フェニルエチルアルコール(C8H10O:122.16)98.0%以上を含む。
1788		000000	フェニルエチルアルコール変性アルコール			本品は、「エタノール」にフェニルエチルアルコールを加え、変性させたものである。
1789	51	001534	フェノール		石炭酸	本品は、定量するとき、フェノール(C6H6O:94.11)98.0%以上を含む。
1790	51	520933	フェノキシイソプロパノール			本品は、定量するとき、1-フェノキシ-2-プロパノール(C9H12O2:152.19)99.0%以上を含む。
1791	51	100125	フェノキシエタノール			本品は、定量するとき、2-フェノキシエタノール(C8H10O2:138.16)96.0%以上を含む。
1792	51	522113	フキタンポポエキス			本品は、フキタンポポ <i>Tussilago farfara</i> Linne (Compositae) の花又は花及び葉から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」若しくはこれらの混液又は1%尿素含有エタノール溶液により抽出したエキスである。
1793	51	101064	ブクリオウエキス			本品は、マツホド <i>Poria cocos</i> Wolf (Polyporaceae) の菌核で、通例、外層をほとんど除いたものから水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1794	99	999999	フサザキスイセン根エキス			フサザキスイセン <i>Narcissus tazetta</i> の根(鱗茎)を水で抽出して得られるエキスである。
1795	99	999999	不織布			本品は、パルプをビスコース化し、接着剤を使用せず、短繊維スパンボンド方式により、セルロース系繊維を素材とし、布状に形成したシートである。
1796	51	507087	ブタジエン・アクリロニトリル共重合体			本品は、ブタジエンとアクリロニトリルの共重合体である。
1797	51	101088	ブタノール			本品は、主としてn-ブタノール(C4H10O:74.12)からなる。
1798		000000	t-ブタノール変性アルコール			本品は、「エタノール」にt-ブタノールを加え、変性させたものである。
1799	99	999999	ブタブラセンタエキス-1			本品は、健全なブタ(注) <i>Sus scrofa</i> Linne var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae) の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に「精製水」で、抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1800	51	101815	フタル酸ジエチル			本品は、定量するとき、フタル酸ジエチル(C12H14O4:222.24)99.0%以上を含む。
1801		000000	フタル酸ジエチル変性アルコール			本品は、「エタノール」にフタル酸ジエチルを加え、変性させたものである。
1802	51	002326	フタル酸ジブチル			本品の乾燥したものは、定量するとき、フタル酸ジブチル(C16H22O4:278.34)99.0%以上を含む。
1803	51	101884	フタル酸ジメチル			本品は、定量するとき、フタル酸ジメチル(C10H10O4:194.18)99.0%以上を含む。
1804	51	101097	ブチルヒドロキシアニソール		BHA	本品は、主としてブチルヒドロキシアニソール(C11H16O2:180.24)からなる。
1805	51	500605	4-tert-ブチル-4'-メキシジベンゾイルメタン		t-ブチルメキシジベンゾイルメタン	本品を乾燥したものは、定量するとき、4-tert-ブチル-4'-メキシジベンゾイルメタン(C20H22O3:310.39)として97.0~104.0%を含む。
1806	51	100040	1,3-ブチレングリコール		BG	本品は、主として1,3-ブチレングリコール(C4H10O2:90.12)からなる。
1807	51	520936	ブッチャーブルームエキス			本品は、ナギイカダ <i>Ruscus aculeatus</i> Linne ^ˆ (Liliaceae)の根茎から水、エタノール溶液又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1808	51	532199	ブッチャーブルームエキス(2)		ブッチャーブルームエキス-2	本品は、ナギイカダ <i>Ruscus aculeatus</i> Linne ^ˆ (Liliaceae)の根茎からメタノールで抽出して得られるエキスを、乾燥して得られた粉末である。
1809	51	523177	ブドウエキス			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne ^ˆ (Vitaceae)の果実(生)を細切し、50%プロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
1810	51	520938	ブドウ種子油	グレープシードオイル		本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne ^ˆ (Vitaceae)の種子から得た脂肪油である。
1811	51	523178	ブドウ水			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne ^ˆ (Vitaceae)の果実(生)から、水蒸気蒸留して得られる留液である。
1812	51	001540	ブドウ糖			本品は、主としてブドウ糖(C6H12O6:180.16)からなる。
1813	51	520941	ブドウ葉エキス			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne ^ˆ (Vitaceae)の葉から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
1814	51	532230	ブナエキス			本品は、ブナ <i>Fagus sylvatica</i> Linne ^ˆ (Fagaceae)の幼芽から水で抽出して得られたエキスを濃縮した後、有機酸を除去して得られたものである。本品は、窒素(N:14.01)として、0.02%以上を含有する。
1815	51	523396	フノリ粉			本品は、フクロノリ <i>Gloiopeltis furcata</i> その他粘性を有する諸種紅藻類植物の全草から得た粉末である。
1816	51	523179	部分加水分解キチン	部分脱アセチル化キチン	部分水解キチン	本品は、キチンを加水分解して部分的に脱アセチル化して得られるものである。本品を乾燥したものの脱アセチル化率は、30.0~60.0%である。
1817	51	523180	部分水素添加アビエチン酸メチル	水素添加アビエチン酸メチル	部分水添アビエチン酸メチル	本品は、主として、アビエチン酸メチルエステル(C21H32O2:316.48)の部分水素添加物からなる。
1818	51	532120	部分水素添加エゴマ油		部分水添エゴマ油	本品は、「エゴマ油」を、部分水素添加したものである。
1819	51	523181	部分水素添加牛脂脂肪酸		部分水添牛脂脂肪酸	本品は、「牛脂脂肪酸」を部分水素添加して得られるものである。
1820	51	509091	部分水素添加スクワレン		部分水添スクワレン	本品は、「スクワレン」を部分的に水素添加したものである。
1821	51	523182	部分水素添加パーム油脂肪酸	硬化パーム油脂肪酸	部分水添パーム油脂肪酸	本品は、「パーム油脂肪酸」を部分水素添加したものである。
1822	51	523183	部分水素添加馬油		部分水添馬油	本品は、「馬油」を部分水素添加したものである。
1823	51	523184	部分水素添加ホホバ油		部分水添ホホバ油	本品は、「ホホバ油」を部分水素添加して得られるエステルである。
1824	51	523185	部分中和型ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム		部分中和型POEオレイルエーテルリン酸Na	本品は、主としてオレイルアルコールに酸化エチレンを付加して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は7である。
1825	51	523186	部分中和型ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸ナトリウム		部分中和型POEラウリルエーテルリン酸Na	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加して得られる誘導体のリン酸エステルのナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
1826	51	102419	フマル酸			本品は、定量するとき、フマル酸(C4H4O4:116.07)99.0%以上を含む。
1827	51	532196	フマル酸ジアルキル(12~15)			本品は、主として「フマル酸」と炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールのジエステルからなる。
1828	51	523187	ブラセンタエキス(1)	胎盤抽出液(1)	ブラセンタエキス-1、胎盤抽出液-1	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne ^ˆ var.domesticus Gray (Suidae)の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に水で、抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)0.01~0.40%を含む。
1829	51	523188	ブラセンタエキス(2)	胎盤抽出液(2)	ブラセンタエキス-2、胎盤抽出液-2	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne ^ˆ var.domesticus Gray (Suidae)の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に水で、抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~0.15%及びアルカリフォスファターゼ1000キングアームストロング単位以上を含む。
1830	51	504321	フラビンアデニンジヌクレオチド二ナトリウム二水塩		フラビンアデニンジヌクレオチド2Na2水塩	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、フラビンアデニンジヌクレオチド二ナトリウム(C27H31N9 Na2O15P2:829.51)90%以上を含む。
1831	51	501117	プリスタン			本品は、主としてウバザメ <i>Cetorhinus maximus</i> Gunner 等深海に棲息するサメ類の肝油から得られる飽和炭化水素で、主成分は2,6,10,14-テトラメチルペンタデカン(C19H40)である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1832	51	520945	ブルーンエキス	セイヨウスモモエキス		本品は、セイヨウスモモ <i>Prunus domestica</i> Lindl. (Rosaceae) の果実を水で抽出して得られるエキスである。
1833	51	520946	ブルーン酵素分解物			本品は、セイヨウスモモ <i>Prunus domestica</i> Lindl. (Rosaceae) の果肉を繊維素分解酵素で分解して得られるものである。
1834		000000	ブルシン変性アルコール			本品は、「エタノール」にブルシンを加え、変性させたものである。
1835	51	108494	ブルラン	トリグルコ多糖		本品は、 <i>Aureobasidium pullulans</i> 又は <i>Pullularia pullulans</i> を培養するとき、菌体外に生産される中性単純多糖で、その構造は、 α -1,4 結合による3個のグルコースからなるマルトトリオースが α -1,6 結合で繰り返し鎖状に結合したものである。
1836		000000	フレーバーH-No. 14変性アルコール			本品は、「エタノール」にフレーバーH-No. 14を加え、変性させたものである。
1837	99	999999	フレッシュE			本品は、茶 (<i>The sisensis</i> L.) の枝葉を減圧下にて、乾留を行い、留分1部にエチルアルコール24部を加え混合したものである。
1838	51	523191	プロテアーゼ(1)		プロテアーゼ-1	本品は、枯草菌 <i>Bacillus subtilis</i> の産生する酵素をろ過精製したもので、通例、賦形剤を含む。本品は、定量するとき、プロテアーゼとして、表示単位の90.0~110.0%を含む。
1839	51	523192	プロテアーゼ(2)		プロテアーゼ-2	本品は、放線菌 <i>Streptomyces griseolus</i> の産生する酵素をろ過精製したもので、通例、賦形剤を含む。本品は、定量するとき、プロテアーゼとして、表示単位の90.0~110.0%を含む。
1840	51	504322	プロパノール	n-プロピルアルコール		
1841		000000	プロパノール変性アルコール			本品は、「エタノール」にプロパノールを加え、変性させたものである。
1842	51	510066	プロパン			本品を定量するとき、プロパン (C ₃ H ₈ :44.10) 95.0%以上を含む。
1843	51	532122	プロピオン酸アラキル	プロピオン酸エイコサニル		本品は、主としてプロピオン酸とエイコサノールのエステル (C ₂₃ H ₄₆ O ₂ :354.61) からなる。
1844	51	510067	プロピオン酸ポリオキシプロピレンミリスチルエーテル(2P. O.)		プロピオン酸POP(2)ミリスチルエーテル	本品は、「ミリスチルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合して得られるエーテルのプロピオン酸エステルである。酸化プロピレンの平均付加モル数は2である。
1845	51	002328	プロピレングリコール		PG	本品は、主としてプロピレングリコール (C ₃ H ₈ O ₂ :76.09) からなる。
1846	51	003618	L-プロリン		プロリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-プロリン (C ₅ H ₉ NO ₂ :115.13) 98.5%以上を含む。
1847	51	523194	ハイフラワーエキス			本品は、イネ科 (Gramineae) の牧草で、ハルガヤ属 (<i>Anthoxanthum</i>)、カモガヤ属 (<i>Dactylis</i>)、スズメテッポウ属 (<i>Alopecurus</i>)、スズメチャヒキ属 (<i>Bromus</i>) 及びカモジグサ属 (<i>Agropyron</i>) に属する植物の地上部を水で抽出したエキスに「プロピレングリコール」及び「白糖」を加えたものである。
1848	51	520951	ヘーゼルナッツ油			本品は、ヘーゼルナッツ <i>Guevina avellana</i> Mol (Proteaceae) の種子から得られる脂肪油である。
1849	51	510068	ヘキサオキシステアリン酸ジペンタエリトリット		ヘキサオキシステアリン酸ジペンタエリトリチル	本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」とジペンタエリトリートのヘキサエステル (C ₁₁₈ H ₂₂₆ O ₁₉ :1949.05) からなる。
1850	51	001561	ヘキサクロロフェン			本品を乾燥したものは、定量するとき、ヘキサクロロフェン (C ₁₃ H ₆ Cl ₆ O ₂ :406.90) 98.0%以上を含む。
1851	51	500365	ヘキサステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット		ヘキサステアリン酸POEソルビット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのヘキサエステルである。
1852	51	523195	N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキエチルデカナミド		ヘキサデシロキシPGヒドロキシエチルデカナミド	本品は、主として N-(3-ヘキサデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキエチルデカナミド (C ₃₁ H ₆₃ N ₃ O ₄ :513.84) からなる。
1853	51	523196	N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキエチルヘキサデカナミド		ヘキサデシロキシPGヒドロキシエチルヘキサデカナミド	本品は、主として N-(3-ヘキサデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキエチルヘキサデカナミド (C ₃₇ H ₇₅ N ₃ O ₄ :598.00) からなる。
1854	51	100105	ヘキシルデカノール			本品は、主として 2-ヘキシルデカノール (C ₁₆ H ₃₄ O:242.44) からなる
1855	51	532171	(2-ヘキシルデカン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	(イソパルミチン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	(ヘキシルデカン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	本品は、主として、2-ヘキシルデカン酸及びセバシン酸と「ジグリセリン」からなるオリゴエステルである。
1856	51	523197	2-ヘキシルデシルリン酸アルギニン		ヘキシルデシルリン酸アルギニン	本品は、主として、2-ヘキシルデシルリン酸のアルギニン塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルギニン (C ₆ H ₁₄ N ₄ O ₂ :174.20) 30.0~40.0%を含む。
1857	51	500367	ヘキシレングリコール			本品は、主としてヘキシレングリコール (C ₆ H ₁₄ O ₂ :118.17) からなる。
1858	51	105064	ペクチン			本品は、主にオレンジ、レモン、ライム等のかんきつ類又はリンゴ等から得られたコロイド性多糖類で、主としてD-ガラクトロン酸及びそのメチルエステルからなる。
1859	51	520954	ヘクトライト			本品は、天然に産するコロイド性含水ケイ酸マグネシウムである。
1860	51	520959	ヘチマエキス(1)	ヘチマ抽出液	ヘチマエキス-1	本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> (L.) Roemen (Cucurbitaceae) の地上部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1861	51	510069	ヘチマエキス(2)		ヘチマエキス-2	本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M. Roemen (Cucurbitaceae) の全草を水で抽出して乾燥し、これをメタノールで抽出して得られたものを乾燥し、更にこれに「ブタノール」と水を加え、得られた「ブタノール」層を乾燥し、これを「エタノール」及び水の混液に溶解したものである。
1862	51	505148	ヘチマ水			本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M. Roemen (Cucurbitaceae) の茎を切り、流出した液を採取したものである。
1863	51	520960	ヘチマ末			本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M. Roemen (Cucurbitaceae) の果実を粉末としたものである。
1864	51	503119	ベニバナ赤		紅花赤	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花から抽出して得られた赤色色素である。
1865	51	509092	ベニバナ赤処理セルロースパウダー		ベニバナ赤処理セルロース末、紅花赤処理セルロース末	本品は、「結晶セルロース」をベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> L. (Compositae) の花の水抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1866	51	520963	ベニバナエキス(1)		ベニバナエキス-1、紅花エキス-1	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花をそのまま又は黄色色素の大部分を除き、圧搾して板状としたものから、エタノール溶液又は1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1867	51	520964	ベニバナエキス(2)		ベニバナエキス-2、紅花エキス-2	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の全草から、エタノール溶液により抽出して得られるエキスである。
1868	51	540079	ベニバナエキス(3)		ベニバナエキス-3、紅花エキス-3	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花をそのまま又は黄色色素の大部分を除き、圧搾して板状としたものから「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1869	51	505149	ベニバナ黄	サフロールイエロー	紅花黄	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花期の管状花より抽出して得られる黄色色素である。
1870	51	520968	ヘプタステアリン酸ポリグリセリル	ヘプタステアリン酸デカグリセリル		本品は、主として「ステアリン酸」とポリグリセリンのヘプタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
1871	51	532123	2-ヘプタデシル-N-ヒドロキシエチル-N-カルボキシラートメチルイミダゾリニウムクロライド・2-ヘプタデシル-N, N-ビスヒドロキシエチルイミダゾリニウム塩		塩化ヘプタデシルヒドロキシエチルカルボキシラートメチルイミダゾリニウム・ヘプタデシルビスヒドロキシエチルイミダゾリニウム塩	本品は、主として、2位に炭素数17のアルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化及びアセチル化して得られるもので、通常、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。
1872	51	504328	ヘプタン酸ステアリル			本品は、主としてヘプタン酸と「ステアリルアルコール」のエステル(C25H50O2:382.66)よりなる。
1873	51	109250	ベヘニルアルコール			本品は、主としてベヘニルアルコール(C22H46O:326.60)からなる。
1874	51	520970	ベヘニルジメチルアミノオキシド液			本品は、主としてベヘニルジメチルアミノオキシドからなり「エタノール」若しくは「プロピレングリコール」及び水を含む。
1875	51	100762	ベヘニン酸			本品は、高級飽和脂肪酸の混合物で、主としてベヘニン酸(C22H44O2:340.58)からなる。
1876	51	523198	ベヘニン酸エイコサニル	ベヘン酸エイコサニル		本品は、主として、「ベヘニン酸」とエイコサニルのエステル(C42H84O2:621.12)からなる。
1877	51	505150	ベヘン酸グリセリル			本品は、主としてベヘン酸とグリセリンのモノエステル及びジエステルからなる。
1878	51	540080	ペラルゴン酸2-エチルヘキシル	ペラルゴン酸オクチル	ペラルゴン酸エチルヘキシル	本品は、主としてペラルゴン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C17H34O2:270.45)からなる。
1879	51	109870	ベンガラ	三二酸化鉄		本品は、主として三二酸化鉄(Fe2O3)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三二酸化鉄(Fe2O3:159.69)90.0%以上を含む。
1880	51	520501	ベンガラ・カルミン被覆雲母チタン	ベンガラ・カルミン被覆マイカチタン	ベンガラ・カルミン被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」と「カルミン」で被覆したものである。
1881	51	520505	ベンガラ・黒酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	ベンガラ・黒酸化鉄・コンジョウ被覆マイカチタン	ベンガラ・黒酸化鉄・紺青被覆雲母Ti、ベンガラ・黒酸化Fe・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」と「黒酸化鉄」及び「コンジョウ」で被覆したものである。
1882	51	520503	ベンガラ・黒酸化鉄被覆雲母チタン	ベンガラ・黒酸化鉄被覆マイカチタン	ベンガラ・黒酸化鉄被覆雲母Ti、ベンガラ・黒酸化Fe被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」と「黒酸化鉄」で被覆したものである。
1883	51	522046	ベンガラ・コンジョウ被覆雲母チタン	ベンガラ・コンジョウ被覆マイカチタン	ベンガラ・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」と「コンジョウ」で被覆したものである。
1884	51	520508	ベンガラ被覆雲母	ベンガラ被覆マイカ		本品は、「マイカ」を「ベンガラ」で被覆したものである。
1885	51	520509	ベンガラ被覆雲母チタン	ベンガラ被覆マイカチタン	ベンガラ被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」で被覆したものである。
1886	51	001574	ベンジルアルコール			本品は、定量するとき、ベンジルアルコール(C7H8O:108.14)97.0%以上を含む。
1887	51	523199	ベンジロキシエタノール			本品は、定量するとき、ベンジロキシエタノール(C9H12O2:152.19)95.0%以上を含む。
1888	51	520974	ベンジルジメチルステアリルアンモニウムヘクトライト			本品は、ヘクトライト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをベンジルジメチルステアリルアンモニウムでイオン交換したベンジルジメチルステアリルアンモニウムヘクトライトである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1889	51	532301	ペンタインステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主として「インステアリン酸」とポリグリセリンのペンタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
1890	51	540081	ペンタ-2-エチルヘキサン酸ジグリセロールソルビタン	ペンタオクタン酸ジグリセロールソルビタン	ペンタエチルヘキサン酸ジグリセロールソルビタン	本品は、主としてソルビタンと「ジグリセリン」からなるエーテル化合物と2-エチルヘキサン酸のペンタエステルである。
1891	51	540082	ペンタエリトリールクエン酸高級脂肪酸エステル・ミツロウ・ノニオン乳化剤混合物		(クエン酸・高級脂肪酸)ペンタエリトリット・ミツロウ・ノニオン乳化剤混合物、(クエン酸・高級脂肪酸)ペンタエリスリチル・ミツロウ・ノニオン乳化剤混合物	本品は、クエン酸ジステアリル・ヤシ油脂肪酸ペンタエリトリール約40%、「セスキオレイン酸ソルビタン」約35%、「サラシミツロウ」約20%及び「ステアリン酸アルミニウム」約5%からなる混合物である。
1892	51	520975	ペンタオレイン酸ポリオキシエチレンソルビット		ペンタオレイン酸POEソルビット	本品は、主として「オレイン酸」とポリオキシエチレンソルビットのペンタエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
1893	51	520976	ペンタオレイン酸ポリグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのペンタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は6~10である。
1894	51	510071	ペンタステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とデカグリセリンのペンタエステルからなる。
1895	51	511056	γ-ペンタデカラクトン			本品は、定量するとき、γ-ペンタデカラクトン(C ₁₅ H ₂₈ O ₂ :240.38)96.0%以上を含む。
1896	51	520979	n-ペンタン		ペンタン	本品は、定量するとき、n-ペンタン(C ₅ H ₁₂ :72.15)95.0%以上を含む。
1897	51	532168	1,2-ペンタンジオール	ペンチレングリコール		本品は定量するとき、1,2-ペンタンジオール(C ₅ H ₁₂ O ₂ :104.15)95.0%以上を含む。
1898	51	001579	ベントナイト			本品は、天然に産するコロイド性含水ケイ酸アルミニウムである。
1899	51	001586	ホウ砂			本品は、定量するとき、ホウ砂(Na ₂ B ₄ O ₇ ・10H ₂ O:381.37)98.5~110.0%を含む。
1900	51	520983	飽和脂肪酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」、「パルミチン酸」、「ミスチン酸」及び「ラウリン酸」からなる混合脂肪酸のモノ、ジ及びトリグリセリドの混合物である。
1901	51	510072	飽和脂肪酸セチル			本品は、炭素数12~18の飽和脂肪酸と「セタノール」のエステルである。
1902	51	523201	ホエイ(1)		ホエイ-1	本品は、生乳又は脱脂粉乳水溶液に、乳酸菌 <i>Lactobacillus bulgaricus</i> を接種培養して得る発酵乳から固形分を除いて得た乳漿である。
1903	51	523202	ホエイ(2)	乳清	ホエイ-2	本品は、牛乳たん白質の水溶液又は脱脂粉乳及びブドウ糖の水溶液を、乳酸連鎖球菌 <i>Streptococcus thermophilus</i> 又は乳酸桿菌 <i>Lactobacillus bulgaricus</i> で発酵させた液をろ過したものである。
1904	51	532124	ホエイ(3)		ホエイ-3	本品は、牛乳にたん白凝固剤レンネット及び乳酸菌 <i>Lactococcus lactis</i> , <i>Lactococcus cremoris</i> , <i>Streptococcus thermophilus</i> , <i>Leuconostoc mesenteroides</i> 及び <i>Lactobacillus bulgaricus</i> のいずれか一つ又は組み合わせて加え、発酵して得られた乳清から乳清たん白を除去し、乾燥したものである。本品は、定量するとき、カルシウム(Ca:40.08)0.3~1.5%、マグネシウム(Mg:24.31)0.1~0.5%及び窒素(N:14.01)1.0~3.0%含む。
1905	51	523203	ホエイ末			本品は、「ホエイ(1)」を粉末にしたものである。
1906	51	523204	ポダイジュ水			本品は、フユポダイジュ <i>Tilia cordata</i> Miller (Tiliaceae) の花から水にて抽出して得られたエキスより、水蒸気蒸留して得られる留液である。
1907	51	523205	ボタンエキス		牡丹エキス	本品は、ボタン <i>Paeonia suffruticosa</i> Andrews (Paeonia moutan Sims) (Paeoniaceae) の根皮からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
1908	51	508082	没食子酸オクチル			本品は、主として没食子酸とn-オクタノールのエステル(C ₁₅ H ₂₂ O ₅ :282.33)からなる。
1909	51	104604	没食子酸プロピル			本品は、主として没食子酸プロピル(C ₁₀ H ₁₂ O ₅ :212.20)からなる。
1910	51	102874	ホップエキス			本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> Linne' (Moraceae) の雌花穂から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1911	51	102875	ホップ末			本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> Linne' (Moraceae) の雌花穂を粉末にしたものである。
1912	51	507092	ホホバアルコール			本品は、「ホホバ油」から得られる高級アルコールで、主としてオクタデセノール、エイコセノール、ドコセノール、テトラコセノールからなる。
1913	51	520987	ホホバ油			本品は、ホホバ <i>Simmondsia chinensis</i> 又は <i>Simmondsia californica</i> Nuttall (Euphorbiaceae) の種子から得たエステルである。
1914	51	108622	ポリアクリル酸			本品は、主としてアクリル酸又はメタクリル酸の重合体である。
1915	51	520988	ポリアクリル酸アミド		ポリアクリルアミド	本品は、アクリル酸アミドの重合体である。
1916	51	522047	ポリアクリル酸アルキル			本品は、アクリル酸アルキル(C ₁ ~C ₄)又はメタクリル酸アルキル(C ₁ ~C ₄)の重合体である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1917	51	522048	ポリアクリル酸アルキル液			本品は、アクリル酸アルキル(C1~4, 8)又はメタクリル酸アルキル(C1~4, 8)の重合体のトルエン溶液である。
1918	51	522049	ポリアクリル酸アルキルエマルジョン			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4, C8)又はメタクリル酸アルキル(C1~C4, C8)の重合体のエマルジョンである。
1919	51	109243	ポリアクリル酸液			本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体の水、エタノール又はこれらの混液の溶液である。
1920	51	522116	ポリアクリル酸エチルエマルジョン			本品は、主としてポリアクリル酸エチルのエマルジョンからなる。
1921	51	522050	ポリアクリル酸エマルジョン(1)		ポリアクリル酸エマルジョン-1	本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のエマルジョンである。
1922	51	522051	ポリアクリル酸エマルジョン(2)		ポリアクリル酸エマルジョン-2	本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のエマルジョンである。
1923	51	520993	ポリアクリル酸塩			本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のアンモニウム塩、カリウム塩、ナトリウム塩又はこれらの混合物である。
1924	51	106734	ポリアクリル酸ナトリウム		ポリアクリル酸Na	本品は、アクリル酸重合物のナトリウム塩である。
1925	51	522117	ポリアクリル酸プチルエマルジョン			本品は、主としてポリアクリル酸プチルのエマルジョンである。
1926	51	532172	ポリアスパラギン酸ナトリウム液		ポリアスパラギン酸Na液	本品は、ポリアスパラギン酸のナトリウム塩の水溶液で、本品を定量するとき、窒素(N:14.01)2.3~3.0%を含む。
1927	51	505155	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂			本品は、アジピン酸とジエチルトリアミンからなるポリアミドにエピクロロヒドリンを付加・縮合して得られるポリアミドエピクロロヒドリン樹脂である。
1928	51	522052	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液(1)		ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液-1	本品は、「ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂」の水溶液である。
1929	51	522053	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液(2)		ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液-2	本品は、「ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂」の水溶液である。
1930	51	108623	ポリイソブレン			本品は、主として2-メチル-2,3-ブタジエンの重合体で、その平均分子量は、300~25000である。
1931	51	540083	ポリエチレンイミン液		PEI液	本品は、エチレンイミンの岐状重合体の水溶液である。本品は、定量するとき、ポリエチレンイミン((C2H5N)n)として27~33%を含む。
1932	51	108860	ポリエチレングリコール200		PEG-4、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、190~210である。
1933	51	108556	ポリエチレングリコール300		PEG-6、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、280~320である。
1934	51	110357	ポリエチレングリコール400		PEG-8、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、380~420である。
1935	51	110358	ポリエチレングリコール600		PEG-12、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、570~630である。
1936	51	105285	ポリエチレングリコール1000		PEG(20)、PEG1000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、950~1050である。
1937	51	109876	ポリエチレングリコール1500		PEG(30)、PEG1500	本品は、酸化エチレンの重合体で、重合度が5~6のもの及び28~36のもの等量混合物である。
1938	51	105288	ポリエチレングリコール1540		PEG(31)、PEG1540	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、1290~1650である。
1939	51	502125	ポリエチレングリコール2000		PEG(40)、PEG2000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は1850~2150である。
1940	51	105315	ポリエチレングリコール4000		PEG(80)、PEG4000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、2600~3800である。
1941	51	109877	ポリエチレングリコール6000		PEG(120)、PEG6000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、7300~9300である。
1942	51	508083	ポリエチレングリコール11000		PEG(220)、PEG11000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は9300~12500である。
1943	51	105289	ポリエチレングリコール20000		PEG(400)、PEG20000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、15500~25000である。
1944	51	505157	ポリエチレングリコール・エピクロロヒドリン・牛脂アルキルアミン・ジブロピレントリアミン縮合物		PEG・エピクロロヒドリン・牛脂アルキルアミン・ジブロピレントリアミン縮合物	本品は、ポリエチレングリコール、エピクロロヒドリン、牛脂アルキルアミン及びジブロピレントリアミンの縮合物である。
1945	51	540084	ポリエチレングリコール・エピクロロヒドリン・ヤシ油アルキルアミン・ジブロピレントリアミン液		PEG・エピクロロヒドリン・ヤシ油アルキルアミン・ジブロピレントリアミン液	本品は、「ポリエチレングリコール 600」、エピクロロヒドリン、炭素数8~18のヤシ油アルキルアミン及びジブロピレントリアミンとの縮重合体の50%水溶液である。
1946	51	507095	ポリエチレンテレフタレート・アルミニウム・エポキシ積層末		PET・Al・エポキシ積層末	本品は、アルミニウムを蒸着したポリエチレンテレフタレートフィルムに必要に応じて「黄酸化鉄」で又は法定色素で着色したエポキシ樹脂を被膜処理し、微細な薄片にしたものである。
1947	51	509099	ポリエチレンテレフタレート・金積層末		PET・金積層末	本品は、ポリエチレンテレフタレートに金を蒸着したフィルムを粉末状に切断したものである。本品は、定量するとき、金(Au:196.97)4.5~5.5%を含む。
1948	51	520998	ポリエチレンテレフタレート・ポリオレフィン積層フィルム末	ポリエチレンテレフタレート・ポリオレフィン積層末	PET・ポリオレフィン積層末	本品は、ポリエチレンテレフタレートとポリオレフィンの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1949	51	520999	ポリエチレンテレフタレート・ポリメチルメタクリレート積層フィルム末		PET・ポリメチルメタクリレート積層末、PET・ポリメタクリル酸メチル積層末	本品は、ポリエチレンテレフタレートとポリメチルメタクリレートの積層フィルムを粉末状に切断したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1950	51	507098	ポリエチレン・ポリエステル積層末			本品は、ポリエチレン及びテレフタル酸とペンタエリトリールからなるポリエステルの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1951	51	507099	ポリエチレン・ポリエチレンテレフタレート積層末		ポリエチレン・PET積層末	本品は、ポリエチレンテレフタレートとポリエチレンの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1952	51	105310	ポリエチレン末			本品は、エチレンを重合して得られるポリエチレンである。
1953	51	508087	ポリエチレンワックス			本品は、エチレンを重合して得られる低融点のポリエチレンである。
1954	51	506024	ポリ塩化ジメチルメチレンピペリジニウム液	ポリ塩化N, N' -ジメチル-3, 5-メチレンピペリジニウム		本品は、平均分子量約 20 万～28 万のポリ塩化ジメチルメチレンピペリジニウムの溶液である。本品は、定量するとき、塩化ジメチルメチレンピペリジニウム(C8H16ClN:161.67)として表示量の 90～110%を含む。
1955	51	523406	ポリオキシエチレンアセチル化ラノリン(7 E. O.)		POE(7)アセチル化ラノリン、POE(7)酢酸ラノリン	本品は、「酢酸ラノリン」に酸化エチレンを付加重合して得られたもので、酸化エチレンの平均付加モル数は 7 である。
1956	51	508088	ポリオキシエチレンアラキルエーテル(20 E. O.)		POE(20)アラキルエーテル	本品は、主としてアラキルアルコールからなる高級脂肪族アルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 20 である。
1957	51	120052	ポリオキシエチレンアラキルエーテル・ステアリアルアルコール混合物		POEアラキルエーテル・ステアリアルアルコール混合物	本品は、ポリオキシエチレンアラキルエーテル及び「ステアリアルアルコール」の混合物である。
1958	51	500606	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル(10E. O.)		POE(10)アルキル(12, 13)エーテル	本品は、主として炭素数 12 及び 13 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は 10 である。
1959	51	532125	ポリオキシエチレンアルキル(12～14)エーテル		POEアルキル(12～14)エーテル	本品は、主として炭素数 12～14 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの付加モル数は 3～12 である。
1960	51	509100	ポリオキシエチレンアルキル(12～14)エーテル(3E. O.)		POE(3)アルキル(12～14)エーテル	本品は、主として炭素数 12～14 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。
1961	51	508091	ポリオキシエチレンアルキル(12～14)エーテル(12E. O.)		POE(12)アルキル(12～14)エーテル	本品は、主として炭素数 12～14 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 12 である。
1962	51	523208	ポリオキシエチレン-sec-アルキル(14)エーテル		POE・sec-アルキル(14)エーテル	本品は、直鎖のパラフィン酸を酸化して得られる平均炭素数 14 の第 2 級アルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 3～9 である。
1963	51	523206	ポリオキシエチレンアルキル(12～15)エーテル酢酸プロピル		POEアルキル(12～15)エーテル酢酸プロピル	本品は、主としてポリオキシエチレンアルキル(12～15)エーテル酢酸プロピルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 8 である。
1964	51	523207	ポリオキシエチレンアルキル(12～15)エーテル酢酸ヘキサデシル		POEアルキル(12～15)エーテル酢酸ヘキサデシル	本品は、主としてポリオキシエチレンアルキル(12～15)エーテル酢酸ヘキサデシルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 8 である。
1965	51	508092	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸ジエタノールアミン(3E. O.)		POE(3)アルキル(12, 13)エーテル硫酸DEA	本品は、主として炭素数 12 及び 13 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのジエタノールアミン塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。本品は定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸ジエタノールアミン(3E. O.) (平均分子量: 510.29)として表示量の 90～110%を含む。
1966	51	508093	ポリオキシエチレンアルキル(11, 13, 15)エーテル硫酸トリエタノールアミン(1E. O.)		POE(1)アルキル(11, 13, 15)エーテル硫酸TEA	本品は、主として炭素数 11, 13 及び 15 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのトリエタノールアミン塩からなる。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸トリエタノールアミン(1E. O.) (平均分子量: 485.53)として表示量の 90～110%を含む。
1967	51	508094	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸トリエタノールアミン(3E. O.)		POE(3)アルキル(12, 13)エーテル硫酸TEA	本品は、主として炭素数 12 及び 13 のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのトリエタノールアミン塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。本品は、定量するとき、表示量の 90～110%のポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸トリエタノールアミン(3E. O.)を含む。
1968	51	507101	ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トリエタノールアミン(3E. O.)液		POE(3)アルキルエーテル硫酸TEA液	本品は、主としてポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トリエタノールアミンの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。本品は定量するとき表示量の 90～110%ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トリエタノールアミンを含む。
1969	51	508095	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸トリエタノールアミン・ナトリウム(3E. O.), アルキル(12, 13)硫酸ナトリウム混合物液		POE(3)アルキル(12, 13)エーテル硫酸TEA・Na, アルキル(12, 13)硫酸Na混合物液	本品は、主として炭素数 12, 13 のアルキル基を有するアルコール又はこれに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩又は硫酸エステルのトリエタノールアミン塩の水溶液の混合物である。本品を、定量するとき、表示量の 90～110%のポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸トリエタノールアミン・ナトリウム(3E. O.), アルキル(12, 13)硫酸ナトリウムを含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1970	51	508097	ポリオキシエチレンアルキル(11~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)		POE(3)アルキル(11~15)エーテル硫酸Na	本品は、主として炭素数11~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(11~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.) (平均分子量:450)として表示量の90~110%を含む。
1971	51	508096	ポリオキシエチレンアルキル(11, 13, 15)エーテル硫酸ナトリウム(1E. O.)		POE(1)アルキル(11, 13, 15)エーテル硫酸Na	本品は、主として炭素数11, 13及び15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩からなる。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸ナトリウム(1E. O.) (平均分子量:358.34)として表示量の90~110%のポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸ナトリウム(1E. O.)を含む。
1972	51	521003	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸ナトリウム(2E. O.)液		POE(2)アルキル(12, 13)エーテル硫酸Na液	本品は、主として炭素数12, 13のアルキル基を有するポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸ナトリウム(2E. O.) (平均分子量:376.10)として表示量の90~110%を含む。
1973	51	508098	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)		POE(3)アルキル(12, 13)エーテル硫酸Na	本品は、主として炭素数12及び13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.) (平均分子量:432)として表示量の90~110%を含む。
1974	51	508099	ポリオキシエチレンアルキル(12~14)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)		POE(3)アルキル(12~14)エーテル硫酸Na	本品は、主として炭素数12~14のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(12~14)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.) (平均分子量:428.21)として表示量の90~110%を含む。
1975	51	508100	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)		POE(3)アルキル(12~15)エーテル硫酸Na	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのナトリウム塩である。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品を定量するとき、ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E. O.) (平均分子量:439.4)として表示量の90~110%を含む。
1976	51	508101	ポリオキシエチレンアルキル(12, 13)エーテルリン酸(10E. O.)		POE(10)アルキル(12, 13)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12及び13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は10である。
1977	51	510073	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸		POEアルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルである。
1978	51	508103	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(8E. O.)		POE(8)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、8である。
1979	51	508104	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(10E. O.)		POE(10)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、10である。
1980	51	510074	ポリオキシエチレンアルキル(12~16)エーテルリン酸		POEアルキル(12~16)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~16のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
1981	51	509101	ポリオキシエチレンアルキル(12~16)エーテルリン酸(6E. O.)		POE(6)アルキル(12~16)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~16のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
1982	51	521043	ポリオキシエチレンアルキル(12~14)スルホコハク酸二ナトリウム液		POEアルキル(12~14)スルホコハク酸2Na液	本品は、炭素数12~14のポリオキシエチレンアルキルスルホコハク酸二ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するポリオキシエチレンアルキルスルホコハク酸二ナトリウムを含む。酸化エチレンの平均付加モル数は1~7である。
1983	51	500386	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸		POEアルキルフェニルエーテルリン酸	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
1984	51	500387	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸トリエタノールアミン		POEアルキルフェニルエーテルリン酸TEA	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルトリエタノールアミン塩からなる。
1985	51	500388	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸ナトリウム		POEアルキルフェニルエーテルリン酸Na	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。
1986	51	507103	ポリオキシエチレン(アルキロール・ラノリンアルコール)エーテル(16E. O.)		POE(16)(アルキロール・ラノリンアルコール)エーテル、POE(16)(アルキル・ラノリル)エーテル	本品は、ラノリンアルコール及び高級アルコール(「セタノール」、「オレイルアルコール」、「ステアリルアルコール」)の混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は16である。
1987	51	532302	ポリオキシエチレンアルモンド油		POEアルモンド油	本品は、主として「アルモンド油」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は60である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1988	51	521008	ポリオキシエチレンイソステアリルエーテル		POEイソステアリルエーテル	本品は、主として「イソステアリアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2～25である。
1989	51	509102	ポリオキシエチレン液状ラノリン(75E. O.)		POE(75)液状ラノリン	本品は、「液状ラノリン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、75である。
1990	51	521013	ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)メチルポリシロキサン共重合体		POE・POPジメチコン共重合体	本品は、主として直鎖状メチルポリシロキサンのメチル基の一部を、ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)基に置換した重合体である。
1991	51	505159	ポリオキシエチレンオクチルエーテルリン酸		POEオクチルエーテルリン酸	本品は、主としてオクチルアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
1992	51	502128	ポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテル		POEオクチルドデシルエーテル	本品は、主として「オクチルドデカノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5～25である。
1993	51	105381	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル		POEオクチルフェニルエーテル	本品は、オクチルフェノールに酸化エチレンを付加重合したものである。
1994	51	505160	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウム液		POEオクチルフェニルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウム(C ₂₀ H ₃₃ NaO ₆ S:424.53)として表示量の90～110%を含む。
1995	51	105384	ポリオキシエチレンオレイルアミン		POEオレイルアミン	本品は、主としてオレイルアミンに酸化エチレンを重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5～15である。
1996	51	105385	ポリオキシエチレンオレイルエーテル		POEオレイルエーテル	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
1997	51	500391	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸		POEオレイルエーテルリン酸	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
1998	51	503123	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ジエタノールアミン		POEオレイルエーテルリン酸DEA	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルのジエタノールアミン塩からなる。
1999	51	110366	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム		POEオレイルエーテルリン酸Na	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。
2000	51	504338	ポリオキシエチレンオレイルセチルエーテル		POEオレイルセチルエーテル	本品は、主として「オレイルアルコール」及び「セタノール」からなる混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2～24である。
2001	51	504340	ポリオキシエチレンオレイン酸グリセリル		POEオレイン酸グリセリル	本品は、主としてモノオレイン酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5～30である。
2002	51	523209	ポリオキシエチレン(カプリル/カプリン酸)グリセリル	ポリオキシエチレンカプリル/カプリン酸グリセリン	POE(カプリル・カプリン酸)グリセリル	本品は、主としてカプリル酸及びカプリン酸のモノ、ジ及びトリグリセリドの混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は4～8である。
2003	51	540086	ポリオキシエチレンカプリル酸グリセリル		POEカプリル酸グリセリル、ポリオキシエチレンカプリル酸グリセリン	本品は、主として「カプリル酸」とグリセリンのエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は6である。
2004	51	540157	ポリオキシエチレン・還元ラノリン		POE還元ラノリン、POE水添ラノリン	本品は、還元ラノリンに酸化エチレンを付加重合させたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5～40である。
2005	51	508106	ポリオキシエチレン牛脂アルキルジエタノールアミン(2E. O.)		POE(2)牛脂アルキルDEA	本品は、主としてポリオキシエチレン牛脂アルキルジエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として3.0～4.0%を含む。
2006	51	523211	ポリオキシエチレン牛脂脂肪酸グリセリル		POE牛脂脂肪酸グリセリル	本品は、「牛脂脂肪酸」とグリセリンのエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は82である。
2007	51	521017	ポリオキシエチレン牛脂脂肪酸グリセリル液		POE牛脂脂肪酸グリセリル液	本品は、主として牛脂脂肪酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は82～130である。
2008	51	509103	ポリオキシエチレングリセリン(26E. O.)		POE(26)グリセリン、POE(26)グリセリル	本品は、グリセリンに酸化エチレンを約26モル付加重合したものである。
2009	51	105359	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		POE硬化ヒマシ油、POE水添ヒマシ油	本品は、「硬化ヒマシ油」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2010	25	108405	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60	ポリオキシエチレングリセリントリオキシステアリン酸60	POE(60)硬化ヒマシ油、POE(60)水添ヒマシ油	本品はヒマシ油に水素を添加して得た硬化油に、酸化エチレンを付加重合させて得た非イオン界面活性剤で、酸化エチレンの平均付加モル数は約60である。
2011	51	509104	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油コハク酸		POE(50)硬化ヒマシ油コハク酸、P	本品は、「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」と無水コハク酸より得られるエステルである。酸化エチレンの平均付

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			(50E. O.)		OE(50)水添ヒマシ油コハク酸	加モル数は50である。
2012	51	504341	ポリオキシエチレンコレスタノールエーテル		POEコレスタノールエーテル	本品は、コレスタノールに酸化エチレンを付加重合したものである。
2013	51	501124	ポリオキシエチレンコレステリルエーテル		POEコレステリルエーテル	本品は、主として「コレステロール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2014	51	508107	ポリオキシエチレンジエタノールアミンラウリン酸エステル(4E. O.)		POE(4)DEAラウリン酸エステル	本品は、主としてポリオキシエチレンジエタノールアミンのラウリン酸エステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
2015	51	532126	ポリオキシエチレンジオレイン酸メチルグルコシド		POEジオレイン酸メチルグルコシド	本品は、主としてジオレイン酸メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は120である。
2016	51	504343	ポリオキシエチレンジニルフェニルエーテル		POEジニルフェニルエーテル	本品は、主としてジニルフェニルに酸化エチレンを付加重合したものである。
2017	51	521019	ポリオキシエチレンステアリアルアミン		POEステアリアルアミン	本品は、主としてステアリアルアミンに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2である。
2018	51	105420	ポリオキシエチレンステアリアルエーテル		POEステアリアルエーテル	本品は、主として「ステアリアルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2019	51	110368	ポリオキシエチレンステアリアルエーテルリン酸		POEステアリアルエーテルリン酸	本品は、主として「ステアリアルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
2020	51	500396	ポリオキシエチレンステアリン酸アミド		POEステアリン酸アミド	本品は、主として「ステアリン酸」をアミド化して得られる脂肪酸アミドに酸化エチレンを付加重合したものである。
2021	51	521022	ポリオキシエチレンスルホコハク酸β-シトステリル二ナトリウム液		POEスルホコハク酸β-シトステリル2Na液	本品は、ポリオキシエチレンスルホコハク酸β-シトステリル二ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90～110%に対応するポリオキシエチレンスルホコハク酸β-シトステリル二ナトリウム(C33H6607SN a・(C2H4O)n)を含む。
2022	51	540087	ポリオキシエチレンスルホコハク酸ラウリル二ナトリウム液	ポリオキシエチレンラウリルスルホコハク酸二ナトリウム液	POEスルホコハク酸ラウリル2Na液、 POEラウリルスルホコハク酸2Na液	本品は、ポリオキシエチレンスルホコハク酸ラウリル二ナトリウムからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は1～3である。本品を定量するとき、表示量の90.0～110.0%を含む。
2023	51	532127	ポリオキシエチレンセスキステアリン酸メチルグルコシド	セスキステアリン酸ポリオキシエチレンメチルグルコシド	POEセスキステアリン酸メチルグルコシド、 セスキステアリン酸POEメチルグルコシド	本品は、主としてモノステアリン酸メチルグルコシド及びジステアリン酸メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は20である。
2024	51	008806	ポリオキシエチレンセチルエーテル		POEセチルエーテル	本品は、「セタノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2025	51	500398	ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸		POEセチルエーテルリン酸	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
2026	51	500399	ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸ナトリウム		POEセチルエーテルリン酸Na	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルのナトリウム塩からなる。
2027	51	504346	ポリオキシエチレンセチルステアリアルジエーテル		POEセチルステアリアルジエーテル	本品は、主としてポリエチレングリコールのセチルステアリアルジエーテルである。
2028	51	501125	ポリオキシエチレンセトステアリアルエーテル		POEセトステアリアルエーテル	本品は、主としてセトステアリアルアルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2～30である。
2029	51	532266	ポリオキシエチレンセトステアリアルヒドロキシミリスチレンエーテル	ポリオキシエチレン牛脂アルキルヒドロキシミリスチレンエーテル	POEセトステアリアルヒドロキシミリスチレンエーテル、 POE牛脂アルキルヒドロキシミリスチレンエーテル	本品は、「セトステアリアルアルコール」に酸化エチレンを付加重合した後、更にα-酸化ミリスチレンを付加させたものである。酸化エチレンの平均重合度は60である。
2030	51	500400	ポリオキシエチレンソルビットミツロウ		POEソルビットミツロウ	本品は、「ソルビット」に酸化エチレンを付加重合して得られるポリオキシエチレンソルビットと「ミツロウ」を反応させたものである。
2031	51	508109	ポリオキシエチレンソルビトールラウリン(40E. O.)		POE(40)ソルビトールラウリン	本品は、ポリオキシエチレンソルビトールとラウリンとの縮合物である。酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
2032	51	523409	ポリオキシエチレン大豆油脂脂肪酸アミン(5E. O.)		POE(5)大豆油脂脂肪酸アミン	本品は、大豆油脂脂肪酸アミンに酸化エチレンを付加重合して得られたもので、酸化エチレンの平均付加モル数は5である。
2033	51	540088	ポリオキシエチレンドデシルフェニルエーテル		POEドデシルフェニルエーテル	本品は、ドデシルフェニルエーテルに酸化エチレンを付加重合して得られたもので、酸化エチレンの平均付加モル数は2～4である。
2034	51	505163	ポリオキシエチレントリデシルエーテル		POEトリデシルエーテル、 ポリオキシエチレントリデシルエーテル	本品は、主としてトリデシルアルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、3～15である。
2035	51	522105	ポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸		POEトリデシルエーテル酢酸	本品は、トリデシルアルコールに酸化エチレンを付加重合し、モノクロル酢酸を反応させて得られたものである。
2036	51	520310	ポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸		POEトリデシルエーテル酢酸Na	本品は、主としてポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸のナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			酸ナトリウム			モル数は3～6である。
2037	51	105377	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル		POEノニルフェニルエーテル	本品は、ノニルフェニルに酸化エチレンを付加重合したものである。
2038	51	540089	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E. O.)液		POE(4)ノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E. O.)	本品は、主としてノニルフェニルエーテルに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのアンモニウム塩である。酸化エチレンの平均付加モル数は、4である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E. O.) (平均分子量:493.65)として表示量の90.0～100.0%を含む。
2039	51	523212	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウム液		POEノニルフェニルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。本品を定量するとき、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウムとして表示量の90.0～110.0%を含む。
2040	51	105340	ポリオキシエチレンヒマシ油		POEヒマシ油	本品は、「ヒマシ油」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2041	51	503130	ポリオキシエチレンフィトスタノール		POEフィトスタノール	本品は、主としてフィトスタノールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、15～30である。
2042	51	503131	ポリオキシエチレンフィトステロール		POEフィトステロール	本品は、「フィトステロール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5～30である。
2043	51	501126	ポリオキシエチレンブチルエーテル		POEブチルエーテル	本品は、主として「ブタノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5～89である。
2044	51	540085	ポリオキシエチレン2-ヘキシルデシルエーテル	ポリオキシエチレンイソセチルエーテル	POEヘキシルデシルエーテル、POEイソセチルエーテル	本品は、主として「ヘキシルデカノール」に酸化エチレンを付加重合したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は5～50である。
2045	51	105339	ポリオキシエチレンベヘニルエーテル		POEベヘニルエーテル	本品は、「ベヘニルアルコール」に酸化エチレンを付加重合させたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5～50である。
2046	51	540158	ポリオキシエチレン飽和脂肪酸(10～18)グリセリル		POE飽和脂肪酸(10～18)グリセリル	本品は、主として炭素数10～18の飽和脂肪酸のモノグリセリドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、6である。
2047	51	505166	ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン液状ラノリン		POE・POP液状ラノリン	本品は、「液状ラノリン」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2048	51	540090	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン2-エチルヘキシルエーテルリン酸(4E. O.)(30P. O.)		POE(4)POP(30)エチルヘキシルエーテルリン酸	本品は、主として2-エチルヘキシルアルコールに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルであり、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約30及び約4である。
2049	51	508110	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンオリゴサクシネート(3E. O.)(20P. O.)		POE(3)POP(20)オリゴサクシネート	本品は、「コハク酸」とポリオキシアルキレングリコールとのオリゴエステルである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約20及び約3である。
2050	51	504349	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン還元ラノリン		POE・POP還元ラノリン、POE・POP水添ラノリン	本品は、「還元ラノリン」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2051	51	540100	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(1E. O.)(2P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(1)POP(2)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び1である。
2052	51	540112	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(3E. O.)(17P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(3)POP(17)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ17及び3である。
2053	51	540113	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(4E. O.)(2P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(4)POP(2)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び4である。
2054	51	540115	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(5E. O.)(30P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(5)POP(30)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ30及び5である。
2055	51	540116	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(5E. O.)(35P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(5)POP(35)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ35及び5である。
2056	51	540117	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(6E. O.)(2P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(6)POP(2)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2089	51	540114	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(50E. O.)(40P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(50)POP(40)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ40及び50である。
2090	51	522069	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(150E. O.)(30P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(150)POP(30)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約30及び約150である。
2091	51	540096	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(150E. O.)(35P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(150)POP(35)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ35及び150である。
2092	25	108269	ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール		POE(160)POP(30)	本品は水にプロピレンオキシドを付加重合させて得られるポリプロピレングリコールにエチレンオキシドを付加重合したもので、 $HO(C_2H_4O)_n(C_3H_6O)_m(C_2H_4O)_n'H$ で表され、プロピレンオキシド及びエチレンオキシドの平均重合度は、それぞれ約30及び約160である。
2093	51	540097	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(160E. O.)(30P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(160)POP(30)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ30及び160である。
2094	51	522070	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(160E. O.)(31P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(160)POP(31)	本品は、ポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約31及び約160である。
2095	51	522071	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(190E. O.)(60P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(190)POP(60)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約60及び約190である。
2096	51	540101	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(200E. O.)(40P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(200)POP(40)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ40及び200である。
2097	51	540102	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(200E. O.)(70P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(200)POP(70)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ70及び200である。
2098	51	522072	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(240E. O.)(60P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(240)POP(60)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約60及び約240である。
2099	51	540107	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(300E. O.)(55P. O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(300)POP(55)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ55及び300である。
2100	51	501127	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリセリルエーテル(24E. O.)(24P. O.)		POE(24)POP(24)グリセリルエーテル	本品は、グリセリンに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したもので、平均重合度は、それぞれ約24である。
2101	51	540122	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンステアリルエーテル		POE・POPステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリルアルコール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は30～38であり、酸化エチレンの平均付加モル数は3～6である。
2102	51	522074	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンステアリルエーテル(34E. O.)(23P. O.)		POE(34)POP(23)ステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約23及び約34である。
2103	51	105428	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル		POE・POPセチルエーテル	本品は、主として「セタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものである。
2104	51	540127	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(1E. O.)(1P. O.)		POE(1)POP(1)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度はそれぞれ1である。
2105	51	540128	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(1E. O.)(2P. O.)		POE(1)POP(2)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び1である。
2106	51	540129	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(1E. O.)(4P. O.)		POE(1)POP(4)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4及び1である。
2107	51	540130	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル		POE(1)POP(8)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレン

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			チルエーテル(1E. O.)(8P. O.)			を付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ8及び1である。
2108	51	540135	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(5E. O.)(1P. O.)		POE(5)POP(1)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ1及び5である。
2109	51	540136	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(5E. O.)(2P. O.)		POE(5)POP(2)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び5である。
2110	51	540137	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(5E. O.)(4P. O.)		POE(5)POP(4)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4及び5である。
2111	51	540138	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(5E. O.)(8P. O.)		POE(5)POP(8)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ8及び5である。
2112	51	540123	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(10E. O.)(1P. O.)		POE(10)POP(1)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ1及び10である。
2113	51	540124	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(10E. O.)(2P. O.)		POE(10)POP(2)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び10である。
2114	51	540125	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(10E. O.)(4P. O.)		POE(10)POP(4)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4及び10である。
2115	51	540126	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(10E. O.)(8P. O.)		POE(10)POP(8)セチルエーテル	本品は、セタノール又はセトステアリアルアルコールに酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約8及び約10である。
2116	51	540131	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(20E. O.)(1P. O.)		POE(20)POP(1)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ1及び20である。
2117	51	540132	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(20E. O.)(2P. O.)		POE(20)POP(2)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び20である。
2118	51	540133	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(20E. O.)(4P. O.)		POE(20)POP(4)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4及び20である。
2119	51	540134	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル(20E. O.)(8P. O.)		POE(20)POP(8)セチルエーテル	本品は、「セタノール」又は「セトステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ8及び20である。
2120	51	503134	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸(10E. O., 5P. O.)、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸(20E. O., 5P. O.)	POE・POPセチルエーテルリン酸、POE(10)POP(5)セチルエーテルリン酸、POE(20)POP(5)セチルエーテルリン酸	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレン、酸化プロピレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。酸化プロピレンの平均付加モル数は5であり、酸化エチレンの平均付加モル数は10～20である。
2121	51	523214	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルエーテル酢酸プロピル		POE・POPデシルエーテル酢酸プロピル	本品は、主としてポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルエーテル酢酸プロピルからなる。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約2及び約6である。
2122	51	503135	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルテトラデシルエーテル		POE・POPデシルテトラデシルエーテル	本品は、2-デシルテトラデシルアルコールに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は6～20であり、酸化エチレンの平均付加モル数は10～30である。
2123	51	523215	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレントリメチロールプロパン		POE・POP・TMP、(POE・POP)TMP	本品は、トリメチロールプロパンに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの付加モル数は25～68であり、酸化エチレンの付加モル数は10～25である。
2124	51	502134	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル		POE・POPブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2125	51	540143	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(2E. O.)(2P. O.)		POE(2)POP(2)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2である。
2126	51	540149	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(4E. O.)(4P. O.)		POE(4)POP(4)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4である。
2127	51	540150	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(5E. O.)(5P. O.)		POE(5)POP(5)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均付加モル数は、それぞれ5である。
2128	51	540151	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(9E. O.)(10P. O.)		POE(9)POP(10)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ10及び9である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2129	51	540139	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(10E. O.)(7P. O.)		POE(10)POP(7)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ7及び10である。
2130	51	540140	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(12E. O.)(12P. O.)		POE(12)POP(12)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ12である。
2131	51	540141	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(17E. O.)(17P. O.)		POE(17)POP(17)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ17である。
2132	51	540142	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(20E. O.)(15P. O.)		POE(20)POP(15)ブチルエーテル	本品は、ブタノールに酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ15及び20である。
2133	51	540144	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(30E. O.)(30P. O.)		POE(30)POP(30)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ30である。
2134	51	540145	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(35E. O.)(28P. O.)		POE(35)POP(28)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ28及び35である。
2135	51	540146	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(36E. O.)(36P. O.)		POE(36)POP(36)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ36である。
2136	51	540147	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(37E. O.)(38P. O.)		POE(37)POP(38)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ38及び37である。
2137	51	540148	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル(45E. O.)(33P. O.)		POE(45)POP(33)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ33及び45である。
2138	51	508112	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンヘキシレングリコールエーテル(300E. O.)(75P. O.)		POE(300)POP(75)ヘキシレングリコール	本品は、「ヘキシレングリコール」に酸化プロピレン及びエチレン酸化を付加重合したもので、平均重合度は、それぞれ約75及び約200である。
2139	51	540152	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンペンタエリトリールエーテル(5E. O.)(65P. O.)		POE(5)POP(65)ペンタエリトリールエーテル	本品は、ペンタエリトリールに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したもので、その平均重合度は、それぞれ約65及び約5である。
2140	51	523216	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラウリルエーテル		POE・POPラウリルエーテル	本品は、「ラウリルアルコール」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合させたものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は5～25、酸化エチレンの平均付加モル数は3～25である。
2141	51	504352	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラノリン	ポリオキシエチレンポリプロピレンラノリン(50E. O.、12P. O.)	POE・POPラノリン、POE(50)POP(12)ラノリン	本品は、ラノリンに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は12であり、酸化エチレンの平均付加モル数は50である。
2142	51	511057	ポリオキシエチレンミツロウ(8E. O.)		POE(8)ミツロウ	本品は、「ミツロウ」に酸化エチレンを付加したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は8である。
2143	51	504353	ポリオキシエチレンミリスチルエーテル	ポリエチレングリコールミリスチルエーテル	POEミリスチルエーテル	本品は、主として「ミリスチルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得たものである。
2144	51	523217	ポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウム液		POEミリスチルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3～4である。本品は、定量するとき、表示量の90.0～110.0%に対応するポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウム(C ₁₄ H ₂₉ O ₄ SNa・(C ₂ H ₄ O) _n)を含む。
2145	51	540153	ポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)液		POE(3)ミリスチルエーテル硫酸Na液、ポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウム(3E. O.)	本品は、主としてポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウムからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンミリスチルエーテル硫酸ナトリウム((3E. O.)として表示量の90～110%を含む。
2146	51	503136	ポリオキシエチレンメチルグルコシド		POEメチルグルコシド	本品は、メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は10～20である。
2147	51	532304	ポリオキシエチレンメチルシロキサン・ポリオキシプロピレンオレイルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体		POEメチルシロキサン・POPオレイルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体	本品は、主として「メチルポリシロキサン」のメチル基の一部を、ポリオキシプロピレンオレイル基及びポリオキシエチレン基で置換した型の重合体である。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均付加モル数は4及び10である。
2148	51	521039	ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体		POE・ジメチコン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を、炭素又は酸素を介してポリオキシエチレン基で置換した型の重合体である。
2149	51	523218	ポリオキシエチレンモノ硬化(パーム油・パーム核油)脂肪酸グリセリル		POE硬化(パーム油・パーム核油)脂肪酸グリセリル、POE水添(パーム油・パーム核油)脂肪酸グリセリル	本品は、主として硬化パーム油脂肪酸及び硬化パーム核油脂肪酸とグリセリンのモノエステルに酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は6である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2150	51	523219	ポリオキシエチレンモノヤシ油脂肪酸グリセリル		POEヤシ油脂肪酸グリセリル	本品は、主としてモノヤシ油脂肪酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は7～78モルである。
2151	51	521040	ポリオキシエチレンヤシ油アルキルアミン		POEヤシ油アルキルアミン	本品は、主としてヤシ油アルキルアミンに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2～15である。
2152	51	540154	ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド液	アルキルエトキシジメチルアミンオキシド液(3E. O.)	POEヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド液	本品は、ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシドの水溶液であり、酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド(3E. O.) 22.0～28.0%を含む。
2153	51	507105	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸アミド(5E. O.)		POE(5)ヤシ油脂肪酸アミド	本品は、ヤシ油脂肪酸アミド又はヤシ油脂肪酸モノエタノールアミドに、酸化エチレンを付加重合して得られるものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は約5である。
2154	51	521046	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウム液		POEヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸2Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウム水溶液で、酸化エチレンの平均付加モル数は4である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウムとして、表示量の90.0～110.0%を含む。
2155	51	504401	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリル	モノヤシ油脂肪酸ポリオキシエチレングリセリン	POEヤシ油脂肪酸グリセリル、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリン	本品は、主としてモノヤシ油脂肪酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合して得られる。酸化エチレンの平均付加モル数は7～30である。
2156	51	504357	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド		POEヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2157	51	508113	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸ソルビタン(20E. O.)		POE(20)ヤシ油脂肪酸ソルビタン	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、その平均付加モル数は約20である。
2158	51	540155	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド		POEヤシ油脂肪酸エタノールアミド	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、2～20である。
2159	51	521047	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム液		POEヤシ油脂肪酸エタノールアミド硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム(平均分子量:484.77)として、表示量の90.0～110.0%を含む。
2160	51	507106	ポリオキシエチレン(5)ヤシ油脂肪酸モノエタノールアミドリン酸エステル		POE(5)ヤシ油脂肪酸エタノールアミドリン酸エステル	本品は、「ヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド」に、酸化エチレンを付加重合して得られたものとリン酸とのエステルであり、酸化エチレンの平均重合度は約5である。
2161	51	105370	ポリオキシエチレンラウリルエーテル		POEラウリルエーテル	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2162	51	523220	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸		POEラウリルエーテル酢酸	本品は、主として、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は2.5～10である。
2163	51	532128	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸カリウム液		POEラウリルエーテル酢酸K液	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のカリウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は4.5～10である。
2164	51	521048	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム		POEラウリルエーテル酢酸Na	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のナトリウム塩からなり、水を含むものもある。酸化エチレンの平均付加モル数は、3～16である。
2165	51	530009	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム液(10E. O.)		POE(10)ラウリルエーテル酢酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、10である。本品は、定量するとき、表示量の90～110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム(10E. O.) [C34H67NaO13:694.88]を含む。
2166	51	511058	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム(16E. O.)液		POE(16)ラウリルエーテル酢酸Na液	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のナトリウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は16である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム(C46H91NaO19:971.19)19.8～24.2%を含む。
2167	51	521050	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸アンモニウム液		POEラウリルエーテル硫酸アンモニウム液	本品は、「ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸」のアンモニウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は2～3である。本品は、定量するとき、表示量の90.0～110.0%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸アンモニウムを含む。
2168	51	523221	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ジエタノールアミン・ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド混合物		POEラウリルエーテル硫酸DEA・ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド混合物、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸DEA・ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド混合物	本品は、「ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸」のジエタノールアミン塩と「ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド」からなる混合物である。ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸の酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
2169	51	500466	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミン		ラウレス硫酸TEA、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩、ラウレス	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、表示量の90～110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミン[C18H41NO7S・

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					硫酸トリエタノールアミン	(C2H4O)nを含む。
2170	51	500467	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム		ラウレス-5硫酸Na、ラウレス-7硫酸Na、ラウレス-8硫酸Na、ラウレス-12硫酸Na、ラウレス硫酸Na、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウムからなる。本品は、定量するとき、表示量の90～110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム[C12H25NaO4S・(C2H4O)n]を含む。
2171	51	500468	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸		POEラウリルエーテルリン酸	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
2172	51	521051	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸トリエタノールアミン		POEラウリルエーテルリン酸TEA	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルのトリエタノールアミン塩からなる。
2173	51	500469	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸ナトリウム		POEラウリルエーテルリン酸Na	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルのナトリウム塩からなる。
2174	51	523415	ポリオキシエチレンラウリン酸アミド(2E.O.)		POE(2)ラウリン酸アミド	本品は、ラウリン酸アミドに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。
2175	51	523222	ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド		POEラウリン酸エタノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるラウリン酸モノエタノールアミドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2～10である。
2176	51	532129	ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム液		POEラウリン酸エタノールアミド硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸のナトリウム塩の水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム(平均分子量:477.4)として、表示量の90～110%を含む。
2177	51	105365	ポリオキシエチレンラノリン		PEG-5ラノリン、PEG-10ラノリン、PEG-20ラノリン、PEG-24ラノリン、PEG-27ラノリン、PEG-30ラノリン、PEG-35ラノリン、PEG-40ラノリン、PEG-50ラノリン、PEG-55ラノリン、PEG-60ラノリン、PEG-75ラノリン、PEG-85ラノリン、PEG-100ラノリン、PEG-150ラノリン	本品は、「ラノリン」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2178	51	500471	ポリオキシエチレンラノリンアルコール		ラネス-5、ラネス-10、ラネス-15、ラネス-16、ラネス-20、ラネス-25、ラネス-40	本品は、主として「ラノリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5～40である。
2179	51	540156	ポリオキシエチレンラノリンアルコール(2)		ラネス-5、ラネス-10、ラネス-15、ラネス-16、ラネス-20、ラネス-25、ラネス-40、ラネス-50、ラネス-60、ラネス-75	本品は、「ラノリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2180	51	523223	ポリオキシエチレンリシノレイン酸アミド	ポリオキシエチレンリシノール酸アミド	POEリシノレイン酸アミド、POEリシノール酸アミド	本品は、リシノレイン酸アミドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は7である。
2181	51	521055	ポリオキシブチレンポリグリセリンモノステアリルエーテル		ポリオキシブチレンポリグリセリンステアリルエーテル	本品は、主としてポリオキシブチレンポリグリセリンモノステアリルエーテルからなる。酸化ブチレンとグリセリンの平均重合度は、それぞれ14及び13である。
2182	51	523224	ポリオキシプロピレンカルボキシアルキル(14～18)ジグリコシド		POPカルボキシアルキル(14～18)ジグリコシド	本品は、主として、ポリオキシプロピレンカルボキシアルキル(14～18)ジグリコシドからなる。
2183	51	501129	ポリオキシプロピレングリセリルエーテル	ポリオキシプロピレングリセリン	POPグリセリルエーテル	本品は、グリセリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。
2184	51	501130	ポリオキシプロピレングリセリルエーテルリン酸		POPグリセリルエーテルリン酸	本品は、グリセリンに酸化プロピレンを付加重合したもののリン酸エステルである。
2185	51	504359	ポリオキシプロピレン硬質ラノリン		POP硬質ラノリン、POP水添ラノリン	本品は、「硬質ラノリン」に酸化プロピレンを付加重合したものである。
2186	51	523225	ポリオキシプロピレンジグリセリルエーテル		POPジグリセリルエーテル	本品は、「ジグリセリン」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は9～14である。
2187	51	521058	ポリオキシプロピレンステアリルエーテル		POPステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2188	51	509108	ポリオキシプロピレンセチルエーテル(10 P. O.)		POP(10)セチルエーテル	本品は、「セタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は 10 である。
2189	51	505167	ポリオキシプロピレンソルビット		POPソルビット	本品は、「ソルビット」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は 6～60 である。
2190	51	509109	ポリオキシプロピレンソルビトール・ヒマシ油 (8P. O.)		POP(8)ソルビトール・ヒマシ油	本品は、「ソルビット」に酸化プロピレンを付加重合して得られるポリオキシプロピレンソルビットと「ヒマシ油」を反応させて得られるものであり、酸化プロピレンの平均付加モル数は 8 である。
2191	51	523226	ポリオキシプロピレンデカグリセリルエーテル		POPデカグリセリルエーテル	本品は、デカグリセリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は 70 である。
2192	51	540159	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(1)		POPブチルエーテル-1	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は、2～33 である。
2193	51	540160	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(2)		POPブチルエーテル-2	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は、40～52 である。
2194	51	540161	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(3)		POPブチルエーテル-3	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合して得られるものである。
2195	51	503141	ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸		POPブチルエーテルリン酸	本品は、ポリプロピレングリコールブチルエーテルのリン酸エステルである。
2196	51	511059	ポリオキシプロピレンミリスチルエーテル(3 P. O.)		POP(3)ミリスチルエーテル	本品は、主として「ミリスチルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均モル数は 3 である。
2197	51	503142	ポリオキシプロピレンメチルグルコシド	ポリオキシプロピレンメチルグルコースエーテル	POPメチルグルコシド	本品は、メチルグルコシドに酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は 10～25 である。
2198	51	521059	ポリオキシプロピレン・メチルポリシロキサン共重合体		POP・ジメチコン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を、ポリオキシプロピレン基で置換した型の重合体である。
2199	51	508115	ポリオキシプロピレンラノリン(5P. O.)		POP(5)ラノリン	本品は、「ラノリン」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均モル数は 5 である。
2200	51	503143	ポリオキシプロピレンラノリンアルコールエーテル		POPラノリンエーテル	本品は、「ラノリンアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。
2201	51	532303	ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)・ブチレン・メチルポリシロキサン共重合体		POE・POP・ブチレン・ジメチコン共重合体	本品は、主として両末端にヒドロキシル基を有するメチルポリシロキサンとポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)をブチレンで結合したブロック共重合体である。
2202	51	521062	ポリグリセリン			本品は、グリセリンを脱水縮合して得られるもので、グリセリンの平均重合度は 2～10 である。
2203	99	999999	ポリグルコシルオキシエチルメタクリレート液			本品は、ポリグルコシルオキシエチルメタクリレートを「グリセリン」及び「精製水」の混液に溶かした液である。
2204	51	505054	ポリグルタミン酸エチル			本品は、γ-グルタミン酸エチルの重合体で、その分子量は約 150000 である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として、9.5～10.1%含む。
2205	51	502138	ポリ酢酸ビニル		ポリVA	本品は、主として酢酸ビニルの重合体である。
2206	51	522077	ポリ酢酸ビニル液		ポリVA液	本品は、「ポリ酢酸ビニル」のエタノール溶液である。
2207	51	522078	ポリ酢酸ビニルエマルジョン		ポリVAエマルジョン	本品は、「ポリ酢酸ビニル」を水又はアルコール溶液中に乳化分散させたもので、「ポリビニルアルコール」を含む。
2208	51	521064	ポリスチレン			本品は、スチレンの重合体である。
2209	51	540162	ポリスチレン樹脂エマルジョン		ポリスチレンエマルジョン、ポリスチレン樹脂エマルジョン	本品は、スチレン重合体(重合度:4000～5000, 平均分子量:500000)のエマルジョンである。
2210	1	001594	ポリソルベート80			本品は無水ソルビトールの水酸基の一部をオレイン酸でエステル化したもののポリオキシエチレンエーテルである。
2211	51	523227	ポリテトラフルオロエチレン	ポリ四フッ化エチレン		本品は、主としてテトラフルオロエチレンの重合体からなる。
2212	51	532305	ポリヒドロキシステアリン酸	ポリオキシステアリン酸		本品は、「ヒドロキシステアリン酸」の重合体で、その平均重合度は 6 である。
2213	51	008804	ポリビニルアルコール			本品は、「ポリ酢酸ビニル」を加水分解して得たもので、ビニルアルコールの直鎖重合体である。
2214	51	105460	ポリビニルイソブチルエーテル			本品は、主としてイソブチルアルコールとアセチレンから合成されたビニルイソブチルエーテルを重合したものである。
2215	51	008805	ポリビニルピロリドン		PVP	本品は、ビニルピロリドンの直鎖重合体である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として 12.0～12.7%を含む。
2216	51	504362	ポリビニルブチラール			本品は、「ポリビニルアルコール」とブチルアルデヒドの縮合物である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2217	51	111801	ポリプロピレン			本品は、プロピレンの重合体であり、その平均重合度は6である。
2218	51	501131	ポリプロピレングリコール		PPG	本品は、酸化プロピレンの重合体である。
2219	51	523228	ポリプロピレン末			本品は、プロピレンを重合して得られるものである。
2220	51	521068	ポリメタクリル酸アミド			本品は、メタクリル酸アミドの重合体である。
2221	51	509115	ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末(1)		ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末-1	本品は、ポリメタクリル酸メチルとテレフタル酸、「ステアリン酸」、「パルミチン酸」及びペンタエリトリールからなるポリエステルの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
2222	51	509116	ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末(2)		ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末-2	本品は、ポリメタクリル酸メチルとテレフタル酸とペンタエリトリールからなるポリエステルの層状粒子である。
2223	51	521111	ポリメタクリロイルエチルジメチルベタイン液			本品は、N-メタクリロイルエチル-N, N-ジメチルアンモニウム- α -N-メチルカルボキシベタインの重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液である。
2224	99	999999	ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン液			本品は、ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンの水溶液である。
2225	99	999999	ポリメタクリロイル-L-リジン		ポリメタクリロイルリジン	本品は、メタクリロイル-L-リジンの重合体である。
2226	99	999999	ポリメチルシルセスキオキサン			本品は、シロキサン結合を骨格とした網目状構造の高分子量体で、 $(\text{CH}_3\text{SiO}1.5)_n$ で表される。分子量は、1,000,000以上である。
2227	51	106738	ポリリン酸ナトリウム		ポリリン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、五酸化リン(P ₂ O ₅ :141.94)として53.0~80.0%を含む。
2228	51	101968	dl-ボルネオール			本品は、定量するとき、ボルネオール(C ₁₀ H ₁₈ O:154.25)95.0%以上を含む。
2229	51	002348	ボレイ末	カキガラ末		本品は、カキ <i>Ostrea gigas</i> Thunberg (Ostreidae) の貝がらの白色部を、粉碎、洗浄、整粒したものである。
2230	51	500492	マイカ			本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムカリウムである。
2231	51	104226	マイクロクリスタリンワックス			本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物で、主としてイソパラフィンからなる。
2232	51	521074	マカデミアナッツ油			本品は、マカデミア <i>Macadamia ternifolia</i> F. Muell (Proteaceae) の種子から得た脂肪油である。
2233	51	523230	マカデミアナッツ油脂肪酸コレステリル			本品は、主として、「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸と、「コレステロール」のエステルからなる。
2234	51	532130	マカデミアナッツ油脂肪酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸と「ジヒドロコレステロール」のエステルからなる。
2235	51	532131	マカデミアナッツ油脂肪酸フィトステリル			本品は、主として「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸とフィトステロールとのエステルからなる。
2236	51	523231	マグネシア・シリカ			本品は、「無水ケイ酸」及び「酸化マグネシウム」の混合物からなる。本品は、定量するとき、換算した強熱物に対し、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)86.0~93.0%及び酸化マグネシウム(MgO:40.30)7.0~10.0%を含む。
2237	1	001601	マクロゴール1500	ポリエチレングリコール1500	PEG1500、PEG(30)	本品はエチレンオキシドと水との付加重合体で、HOCH ₂ (CH ₂ OCH ₂) _n CH ₂ OHで表され、nが5~6及び28~36の等量混合物である。
2238	99	999999	まごじゃくしエキス-II		マゴジャクシエキス-II	本品はマゴジャクシ <i>Ganoderma neo-japonicum</i> Imaz. のエキスである。
2239	51	105194	マツエキス		松エキス	本品は、セイウアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> Linne (Pinaceae) の球果から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、若しくは、1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2240	51	532306	マツリカエキス	サンパギータエキス		本品は、マツリカ <i>Jasminum sambac</i> Aiton (Oleaceae) の花からヘキサンで抽出した後、ヘキサンを留去したものに、エタノールを加えたものである。
2241	51	521076	マフノリ			本品は、マフノリ <i>Gloiopeltis aenax</i> Agardh (Endocladaceae) の全藻を乾燥したものである。
2242	51	103981	マムシ油			本品は、マムシ <i>Agkistrodon blomhoffii</i> Boie 又はその他同属動物 (Crotalinae) の脂肪組織から得た脂肪油である。
2243	99	999999	マヨラナエキス			本品は、マヨラナ:マジョラム <i>Origanum majorana</i> Linne (Labiatae): の葉を85vol%エタノール溶液にて抽出したエキスを50vol%1,3-ブチレングリコール溶液に溶かしたものである。
2244	51	532205	マリアアザミエキス	オオアザミエキス		本品は、オオアザミ <i>Silybum marianum</i> Gaertn (Compositae) の果実からアセトンで抽出して得られるエキスを乾燥させたものである。
2245	51	109329	マルチトール			本品は、「マルチトール液」を結晶化・粉末化したものである。
2246	51	521077	マルチトール液			本品は、でんぷんより得られる「マルトース」を還元して得られたものの水溶液である。
2247	51	532307	マルチトールヒドロキシアルキル(12,14)エーテル液			本品は、「マルチトール」に、1-エポキシドデカン及び1-エポキシテトラデカンの混合物を付加して得られたマルチトールヒドロキシアルキル(炭素数12,14)エーテルの60%水溶液である。
2248	51	103961	マルトース	麦芽糖		本品は、デンプンを糖化して得た麦芽糖である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2249	51	532204	マルトース・ショ糖縮合物			本品は、固定化酵素法により「マルトース」とショ糖を縮合して得られるオリゴ糖である。
2250	51	540163	マレイン酸ジ2-エチルヘキシル	マレイン酸ジオクチル	マレイン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてマレイン酸と2-エチルヘキシルアルコールのジエステルからなる。
2251	51	509117	マレイン酸変性エステルガム			本品は、「エステルガム」をマレイン酸で変性させたものである。
2252	51	521078	マロニエエキス	セイヨウトチノキエキス		本品は、セイヨウトチノキ <i>Aesculus hippocastanum</i> Linne (Hippocastanaceae)の種子、葉又は樹皮から水、「無水エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「グリセリン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである
2253	51	532189	マロニエエキス・シトステロール・大豆リン脂質混合物			本品は、セイヨウトチノキ <i>Aesculus hippocastanum</i> Linne (Hippocastanaceae)の種子からメタノールで抽出して得られるエキス末と「シトステロール」及び「大豆リン脂質」の混合物である。
2254	99	999999	マロニエエキス末			本品は、セイヨウトチノキ: <i>Aesculus hippocastanum</i> Linne () (Hippocastanaceae)の乾燥種子を抽出し、乾燥、粉末化したのものである。本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、トリテルペングリコシドの混合物[エスシン(主配糖体 C¹/sita>55</sup>/sita>H¹/sita>86</sup>/sita>O¹/sita>24</sup>/sita>:1131.27)として]14~26%を含む。
2255	51	521079	マンガンバイオレット	ピロリン酸マンガンアンモニウム		本品は、主としてピロリン酸のマンガン及びアンモニウムの塩からなる
2256	99	999999	マンゴスチンエキス			本品は、マンゴスチン <i>Garcinia mangostana</i> (フトギソウ科)の果皮から得た抽出液である。
2257	51	111412	D-マンニト			本品を乾燥したものは、定量するとき、D-マンニト(C ₆ H ₁₄ O ₆ :182.17)98.0%以上を含む。
2258	51	521083	水飴			本品は、デンプンを糖化したもので、主としてデキストリン及びマルトースからなる。
2259	51	500495	ミツロウ			本品は、トウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae), ヨーロッパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne などのミツバチの巣から得たろうを精製したものである。
2260	99	999999	雅の湯エキスパウダー			本品は、温泉水を濃縮し乾燥して製したものである。
2261	51	104372	ミスチルアルコール			本品は、主としてミスチルアルコール(C ₁₄ H ₃₀ :214.39)からなる高級脂肪族アルコールの混合物である。
2262	51	521089	ミスチルジメチルアミンオキシド液			本品は、ミスチルジメチルアミンオキシド(C ₁₆ H ₃₅ NO:257.46)の水溶液である。
2263	51	532132	ミスチルベタイン液	ミスチルジメチルアミノ酢酸液		本品は、主としてミスチルジメチルアミノ酢酸からなる水溶液である。
2264	51	502143	ミスチル硫酸ナトリウム		ミスチル硫酸Na	本品は、主としてミスチル硫酸ナトリウム(C ₁₄ H ₂₉ NaO ₄ S:316.43)からなる。
2265	51	104368	ミスチン酸			本品は、主としてミスチン酸(C ₁₄ H ₂₈ O ₂ :228.37)からなる。
2266	51	500497	ミスチン酸亜鉛		ミスチン酸Zn	本品は、主として「ミスチン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C ₃₂ H ₆₄ O ₂ :480.85)からなる。
2267	51	523233	ミスチン酸アルミニウム		ミスチン酸Al	本品は、主として「ミスチン酸」のアルミニウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム(Al:26.98)3.5~6.5%を含む。
2268	51	508117	ミスチン酸イソステアリル			本品は、主として「ミスチン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C ₃₂ H ₆₄ O ₂ :480.85)からなる。
2269	51	509120	ミスチン酸イソトリデシル			本品は、主として「ミスチン酸」とイソトリデシルアルコールのエステル(C ₂₇ H ₅₄ O ₂ :410.72)からなる。
2270	51	521091	ミスチン酸イソプロパノールアミン液			本品は、主としてミスチン酸モノイソプロパノールアミン、ミスチン酸ジイソプロパノールアミン及びミスチン酸トリイソプロパノールアミンの混合物の50%水溶液からなる。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)1.6~2.3%を含む。
2271	51	009100	ミスチン酸イソプロピル			本品は、主として「ミスチン酸」と「イソプロパノール」のエステル(C ₁₇ H ₃₄ O ₂ :270.45)からなる。
2272	51	100124	ミスチン酸オクチルドデシル			本品は、主として「ミスチン酸」と「オクチルドデカノール」のエステル(C ₃₄ H ₆₈ O ₂ :508.90)からなる。
2273	51	504372	ミスチン酸カリウム		ミスチン酸K	本品は、主として「ミスチン酸」のカリウム塩からなる。
2274	51	510075	ミスチン酸カルシウム		ミスチン酸Ca	本品は、主として「ミスチン酸」のカルシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、カルシウム(Ca:40.08)7.2~8.1%を含む。
2275	51	501134	ミスチン酸グリセリル	モノミスチン酸グリセリル		本品は、主として「ミスチン酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2276	51	501135	ミスチン酸ジエタノールアミド			本品は、主として「ミスチン酸」と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C ₁₈ H ₃₇ N ₃ O ₃ :315.49)である。
2277	51	500500	ミスチン酸セチル			本品は、主として「ミスチン酸」と「セタノール」のエステル(C ₃₀ H ₆₀ O ₂ :452.80)からなる。
2278	51	523234	ミスチン酸デキストリン			本品は、主として「ミスチン酸」とデキストリンのエステルからなる。
2279	51	504373	ミスチン酸デシル			本品は、主として「ミスチン酸」とデカノールのエステル(C ₂₄ H ₄₈ O ₂ :368.64)からなる。
2280	51	504374	ミスチン酸ブチル			本品は、主として「ミスチン酸」と「ブタノール」のエステル(C ₁₈ H ₃₆ O ₂ :284.48)からなる。
2281	51	540164	ミスチン酸2-ヘキシルデシル	ミスチン酸イソセチル	ミスチン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「ミスチン酸」と「ヘキシルデカノール」のエステル(C ₃₀ H ₆₀ O ₂ :452.80)からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2282	51	510076	ミスチン酸ポリエチレングリコール		ミスチン酸PEG	本品は、主として「ミスチン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は2～70である。
2283	51	510077	ミスチン酸ポリオキシエチレンミスチルエーテル(3E. O.)		ミスチン酸POE(3)ミスチルエーテル	本品は、「ミスチルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるエーテルのミスチン酸エステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。
2284	51	500501	ミスチン酸マグネシウム		ミスチン酸Mg	本品は、主として「ミスチン酸」のマグネシウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、マグネシウム(Mg:24:31)4.5～6.0%を含む。
2285	51	104370	ミスチン酸ミスチル			本品は、主として「ミスチン酸」と「ミスチルアルコール」のエステル(C28H56O2:424.74)からなる。
2286	51	540165	ミスチン酸ラフィノース			本品は、「ミスチン酸」とラフィノースのエステルである。
2287	51	509121	ミストイル加水分解コラーゲン液		ミストイル水解コラーゲン液	本品は、加水分解コラーゲンと「ミスチン酸」との縮合物の20%エタノール溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14:01)を1.6～1.8%を含む。
2288	51	523235	ミストイル加水分解コラーゲンカリウム液		ミストイル水解コラーゲンK液	本品は、加水分解コラーゲンと「ミスチン酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.6～3.0%を含む。
2289	51	523236	N-ミストイル-L-グルタミン酸		ミストイルグルタミン酸	本品は、主としてN-ミストイル-L-グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.5～4.5%を含む。
2290	51	523237	N-ミストイル-L-グルタミン酸カリウム		ミストイルグルタミン酸K	本品は、主として「N-ミストイル-L-グルタミン酸」のカリウム塩からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8～3.8%を含む。
2291	51	500503	N-ミストイル-L-グルタミン酸ナトリウム		ミストイルグルタミン酸Na	本品は、主としてN-ミストイル-L-グルタミン酸のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.4～3.7%を含む。
2292	51	523238	ミストイルサクシニルアテロコラーゲン液			本品は、コラーゲンのテロペプタイドを酵素により取り除いて得た水溶性コラーゲンを、ミストイル化した後サクシニル化した、ミストイルサクシニルアテロコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.11～0.17%を含む。
2293	51	504375	ミストイルメチルアミノ酢酸ナトリウム	ミストイルサルコシンナトリウム	ミストイルメチルアミノ酢酸Na、ミストイルサルコシンNa	本品は、主としてミストイルメチルアミノ酢酸ナトリウム(C17H32NNaO3:321.43)からなる。
2294	51	532308	N-ミストイル-N-メチル-β-アラニン		ミストイルメチル-β-アラニン	本品は、主としてN-ミストイル-N-メチル-β-アラニン(C18H35NO3:313.48)からなる。
2295	51	523239	N-ミストイル-N-メチル-β-アラニンナトリウム		ミストイルメチル-β-アラニンNa	本品は、主として、N-ミストイル-N-メチル-β-アラニンナトリウム(C18H34NNaO3:335.46)からなる。
2296	51	508118	ミストイルメチル-β-アラニンナトリウム液		ミストイルメチル-β-アラニンNa液	本品は、主として「N-ミストイル-N-メチル-β-アラニンナトリウム」の水溶液である。
2297	51	504377	ミストイルメチルタウリンナトリウム		ミストイルメチルタウリンNa	本品は、主としてN-ミストイルメチルタウリンのナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、N-ミストイルメチルタウリンナトリウム(C17H34NNaO4S:371.51)92.0%以上を含む。
2298	51	104247	ミンク油			本品は、ミンク <i>Mustela vison</i> (Mustelidae) の皮下脂肪組織から得た脂肪油を精製したものである。
2299	51	504378	ミンク油脂肪酸エチル			本品は、主として「ミンク油」から得た脂肪酸とエタノールのエステルからなる。
2300	51	510078	ミンクワックス			本品は、ミンク <i>Malstela vison</i> の新鮮な脂肪組織から得た、ミンク油の高融点部分を分離精製したものである。
2301	51	521096	ムクロジエキス			本品は、ムクロジ <i>Sapindus mukurossi</i> Gaertner (Sapindaceae) の果皮から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2302	51	523240	ムコ多糖体	酸性ムコポリサッカライド		本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) 又はブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae) の皮膚、結合組織、十二指腸粘膜、すい臓、肝臓などの臓器又は、魚類の軟骨から酵素処理又は、アルカリ処理によって得られるムコ多糖類(ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、その他のムコ多糖体)を乾燥したものである。
2303	51	523241	ムコ多糖体液	ムコ多糖抽出液		本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) 又は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae) の皮膚、軟骨、結合組織、幽門、十二指腸粘膜、眼球ガラス体などの臓器から酵素処理又はアルカリ処理によって得られるムコ多糖類(ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、その他のムコ多糖体)の水溶液で、エタノール又はグリセリンを含むものもある。
2304	51	110698	無水亜硫酸ナトリウム		無水亜硫酸Na	本品は、定量するとき、亜硫酸ナトリウム(Na2SO3:126.04)97.0%以上を含む。
2305	51	001076	無水エタノール			本品は、15℃でエタノール(C2H6O:46.07)99.5vol%以上を含む(比重による)。
2306	51	001216	無水クエン酸			本品は、定量するとき、無水クエン酸(C6H8O7:192.12)99.5%以上を含む。
2307	51	100549	無水ケイ酸			本品を強熱したものは、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO2:60.08)96.0%以上を含む。
2308	51	521099	無水ケイ酸アルミニウム		無水ケイ酸Al	本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウム又はカオリンを熱処理したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2309	51	532133	無水ケイ酸被覆雲母	無水ケイ酸被覆マイカ		本品は、「マイカ」に「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2310	51	532134	無水ケイ酸被覆(酸化セリウム・酸化チタン)ゾル		無水ケイ酸被覆(酸化セリウム・酸化Ti)ゾル	本品は、「酸化セリウム」及び「酸化チタン」を「無水ケイ酸」で被覆処理したものを水に分散して得たものである。
2311	51	532135	無水ケイ酸被覆酸化(鉄・チタン)ゾル		無水ケイ酸被覆酸化(Fe・Ti)ゾル	本品は、主として水溶液中で生成させた鉄・チタン複合酸化物を無水ケイ酸で被覆処理して得られるゾルである。本品を定量するとき、酸化チタン(TiO ₂ :79.87)3.5~25.0%を含む。
2312	51	523242	無水ケイ酸・ベンガラ被覆雲母			本品は、「マイカ」に「ベンガラ」及び「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2313	51	523243	無水ケイ酸・ベンガラ被覆チタンセリサイト		無水ケイ酸・ベンガラ被覆Tiセリサイト	本品は、チタンセリサイトに「ベンガラ」及び「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2314	51	540055	チオ硫酸ナトリウム(無水)	無水チオ硫酸ナトリウム	無水チオ硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、チオ硫酸ナトリウム(Na ₂ S ₂ O ₃ :158.11)95.0%以上を含む。
2315	51	106743	無水ピロリン酸ナトリウム		無水ピロリン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ピロリン酸ナトリウム(Na ₄ P ₂ O ₇ :265.90)97.0%以上を含む。
2316	51	521101	無水マルトース			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、無水マルトース(C ₁₂ H ₂₂ O ₁₁ :342.30)92.0%以上を含む。
2317	51	507108	無水マレイン酸・ジイソブチレン共重合体ナトリウム液		MA・ジイソブチレン共重合体Na液	本品は、無水マレイン酸-ジイソブチレン共重合体のナトリウム塩の水溶液である。
2318	51	521102	無水メタケイ酸ナトリウム		無水メタケイ酸Na	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)として 44.0~53.0%、酸化ナトリウム(Na ₂ O: 61.98)として 45.0~54.0%を含む
2319	99	999999	無水硫酸ナトリウム		無水硫酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)99.0%以上を含む。
2320	51	106760	無水硫酸ナトリウム		無水硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)99.0%以上を含む。
2321	51	111809	無水硫酸マグネシウム		無水硫酸Mg	本品は、「硫酸マグネシウム」を、強熱したものである。本品を強熱したものは定量するとき、硫酸マグネシウム(MgSO ₄ :120.37)99.0%以上を含む。
2322	51	002447	無水リン酸水素カルシウム	無水リン酸カルシウム	無水リン酸水素Ca	本品は、「リン酸」のカルシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO ₄ :136.06)98.0%以上を含む。
2323	51	108892	無水リン酸一水素ナトリウム	無水リン酸水素二ナトリウム	無水リン酸水素2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸一水素ナトリウム(Na ₂ HPO ₄ :141.97)98.0%以上を含む。
2324	51	109340	無水リン酸三ナトリウム		無水リン酸3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、無水リン酸三ナトリウム(Na ₃ PO ₄ :163.94)99.0~103.0%を含む。
2325	51	532309	ムラサキセンブリエキス			本品は、ムラサキセンブリ Swertia pseudochinensis Hara (Gentianaceae)の開花期の全草からエタノールで抽出して得られるエキスである。
2326	51	532243	ムラヤコエンジューエキス			本品は、Murraya koenigii Sprengel (Rutaceae)の枝及び葉軸から、エタノール溶液で抽出して得られたエキスを、ろ過したものである。
2327	51	523244	メタクリル酸ラウリル・ジメタクリル酸エチレングリコール共重合体		メタクリル酸ラウリル・ジメタクリル酸グリコール共重合体	本品は、主としてメタクリル酸ラウリルとジメタクリル酸エチレングリコールの共重合体である。
2328	51	523418	N-メタクリロイルエチルN、N-ジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン重合体液		メタクリロイルエチルジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン重合体液	本品は、N-メタクリロイルエチルN、N-ジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン重合体のエタノール及び水の混液の 30%溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として、5.7 ~ 6.0 %を含む。
2329	51	540009	N-メタクリロイルエチルN、N-ジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン・N-メタクリロイルエチル-N、N、N-トリメチルアンモニウムクロライド、2-ヒドロキシエチルメタクリレート共重合体		メタクリロイルエチルジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・HEMA共重合体	本品は、N-メタクリロイルエチルN、N-ジメチルアンモニウム・α-N-メチルカルボキシベタイン・N-メタクリロイルエチル-N、N、N-トリメチルアンモニウムクロライド及び2-ヒドロキシエチルメタクリレート共重合体のエタノール及び水の混液の 40%溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として、1.6 ~ 2.1 %を含む。
2330	51	523245	メタクリロイルエチルジメチルベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸2-ヒドロキシエチル共重合体液		メタクリロイルエチルジメチルベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・HEMA共重合体液	本品は、メタクリロイルエチルジメチルベタイン、塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム及びメタクリル酸2-ヒドロキシエチルの共重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液である。本品の平均分子量は100000 である
2331	51	521108	メタクリロイルエチルジメチルベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体液		メタクリロイルエチルジメチルベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸メキシPEG共重合体液	本品は、主としてメタクリロイルエチルジメチルベタイン、塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム及びメタクリル酸メキシポリエチレングリコールの共重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液からなる。本品の平均分子量は100000 である。
2332	51	521112	N-メタクリロイルオキシエチルN、N-ジメチルアンモニウム-α-N-メチルカルボ	メタクリロイルエチルベタイン・メタクリル酸エステル共	メタクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウム-α-N-メチルカルボキシ	本品は、主としてN-メタクリロイルオキシエチルN、N-ジメチルアンモニウム-α-N-メチルカルボキシベタインと、メタクリル酸アルキル(C ₁ ~C ₄ , C ₆ , C ₈ , C ₁₂ , C ₁₃ , C ₁₈)との共重合体の水、「エタノール」、変性アルコー

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			キシペタイン・メタクリル酸アルキルエステル共重合体液	重合体液	ペタイン・メタクリル酸アルキル共重合体液	ル又はこれらの混液の溶液である
2333	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。
2334	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。
2335	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。
2336	24	103929	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム		メタケイ酸アルミン酸Mg	本品は定量するとき、換算した乾燥物に対し、酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃ :101.96)29.1~35.5%、酸化マグネシウム(MgO:40.30)11.4~14.0%及び二酸化ケイ素(SiO ₂ :60.08)29.2~35.6%を含む。
2337	51	103929	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム		メタケイ酸アルミン酸Mg	本品は、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムからなる。
2338	51	106692	メタリン酸ナトリウム		メタリン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、五酸化リン(P ₂ O ₅ :141.94)として65.0~83.0%を含む。
2339	51	521117	メタリン酸ナトリウム処理酸化チタン		メタリン酸Na処理酸化Ti	本品は、「酸化チタン」をメタリン酸ナトリウムで表面処理したものである。
2340	51	001621	L-メチオニン		メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-メチオニン(C ₅ H ₁₁ NO ₂ S:149.21)98.0%以上を含む。
2341	51	523247	メチルクロロイソチアゾリン・メチルイソチアゾリン液			本品は、5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン及び2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンの水溶液である。本品は、定量するとき、5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン(C ₄ H ₄ ClNOS:149.60)1.0~1.3%及び2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン(C ₄ H ₅ ClNOS:115.15)0.30~0.42%を含む。
2342	51	521119	メチルシクロポリシロキサン		シクロジメチコン	本品は、シロキサン結合を骨格とした、環状の重合体で[(CH ₃) ₂ SiO] _n であらわされる。平均重合度は3~8である。
2343	51	532263	メチルシラノール・N-アセチルメチオニン・加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール・アセチルメチオニン・水解エラスチン縮合液、メチルシラノール・酢酸メチオニン・水解エラスチン縮合液	本品は、主としてモノメチルシラノールのアセチルメチオニンモノエステルのオリゴマーに加水分解エラスチンを反応させたもの水溶液である。
2344	51	532264	メチルシラノール・加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール・水解エラスチン縮合液	本品は、主としてメチルシラノールと加水分解エラスチンの反応生成物の水溶液である。
2345	51	532262	メチルシラノール・乳酸・加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール・乳酸・水解エラスチン縮合液	本品は、主として、メチルシラノールの乳酸モノエステルのオリゴマーと加水分解エラスチンの反応生成物の水溶液である。
2346	51	532245	メチルシラノール・乳酸縮合液			本品は、主としてメチルシラノールの乳酸モノエステルのオリゴマーの水溶液である。
2347	51	532259	メチルシラノール・ポリオキシエチレンヤシ脂肪酸グリセリン縮合物		メチルシラノール・POEヤシ油脂肪酸グリセリン縮合物	本品は、主としてモノメチルシラノールのオリゴマーのポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノグリセリントリエーテルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、8である。
2348	51	523248	メチルシロキサン網状重合体			本品は、シロキサン結合を骨格とした網状重合体で、(CH ₃ 0.5Si) _n で表される。分子量は1000000以上である。
2349	51	001624	メチルセルロース			本品は、セルロースのメチルエーテルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、メチル基(-OCH ₃ :31.03)26.0~33.0%を含む。
2350	51	521120	メチルハイドロジェンポリシロキサン			本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を水素で置換したものである、その平均重合度は、10~50である。
2351	51	504384	N-メチルピロリドン		メチルピロリドン	本品は、主としてN-メチルピロリドン(C ₅ H ₉ NO:99.13)からなる。
2352	51	500516	メチルフェニルグリシッド酸エチル			本品は、定量するとき、メチルフェニルグリシッド酸エチル(C ₁₂ H ₁₄ O ₃ :206.24)98.0%以上を含む。
2353	51	104207	メチルフェニルポリシロキサン			本品は、主として直鎖状のジメチルポリシロキサンのメチル基の一部がフェニル基、あるいはフェニル基とトリメチルシロキシ基になっている重合体からなり、その平均重合度は、1~410である
2354	51	521121	3-メチル-1,3-ブタンジオール	イソブレングリコール		本品は、主として3-メチル-1,3-ブタンジオール(C ₅ H ₁₂ O ₂ :104.05)からなる。
2355	51	104210	メチルポリシロキサン		ジメチコン	本品は、主として直鎖状のジメチルポリシロキサン((CH ₃) ₃ SiO[(CH ₃) ₂ SiO] _n Si(CH ₃) ₃)からなり、その平均重合度は、3~650である。
2356	51	508121	メチルポリシロキサンエマルジョン		ジメチコンエマルジョン	本品は、「メチルポリシロキサン」を主として炭素数12~18の脂肪酸のポリエチレングリコールエステルで分散させた約40%水懸濁液である。
2357	51	523249	メチルポリシロキサン・セチルメチルポリシロキサン・ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)メチルポリシロキサン共重合体		ジメチコン・セチルメチルポリシロキサンPOE・POPメチルポリシロキサン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をセチル基及びポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)基で置換した型の重合体である。本品の酸化エチレン及び酸化プロピレンの平均付加モル数は、それぞれ56及び68である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2358	51	532198	1, 1'-メチレンビス(4-イソシアナトシクロヘキサン)・ポリプロピレングリコール共重合体		メチレンビス(イソシアナトシクロヘキサン)・PPG共重合体	本品は、1,1'-メチレンビス(4-イソシアナトシクロヘキサン)とポリプロピレングリコールの共重合体である。酸化プロピレンの平均付加モル数は、12～55 である。
2359	51	521124	メドウフォーム油			本品は、 <i>Limnanthes alba</i> Hartw. (Limnathaceae)の種子から得た脂肪油である
2360	51	108609	メキシエチレン無水マレイン酸共重合体		メキシエチレン・MA共重合体	本品は、メチルビニルエーテルと無水マレイン酸との共重合体である。
2361	51	523250	メキシβ-シクロデキストリン液			本品は、主として「β-シクロデキストリン」をメチルエーテル化して得られたメキシβ-シクロデキストリンの水溶液からなり、水酸化ナトリウムを含む。
2362	51	521128	メリッサエキス	コウスイハッカエキス		本品は、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> Linne (Labiatae)の葉から水、「エタノール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは 1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2363	51	104107	メリロートエキス			本品は、メリロート <i>Melilotus officinalis</i> Linne (Leguminosae)の花、葉又は花及び葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2364	51	101585	綿実油			本品は、ワタ <i>Gossypium hirsutum</i> Linne (Malvaceae)又はその同属植物の種子から得た脂肪油である。
2365	51	502145	綿実油脂肪酸グリセリル			本品は、「綿実油」から得られる脂肪酸のモノグリセリドである。
2366	51	523251	1-メントルグリセリルエーテル	3-1-メントキシプロパン-1, 2-ジオール	メントルグリセリルエーテル	本品は、定量するとき 3-1-メントキシプロパン-1, 2-ジオール(C13H26O3:230.35)98.0%以上を含む。
2367	51	001641	dL-メントール			本品は、定量するとき、dL-メントール(C10H20O:156.27)98.0%以上を含む。
2368	1	001642	l-メントール		メントール	本品は定量するとき、l-メントール(C10H20O)98.0%以上を含む。
2369	51	001642	l-メントール		メントール	本品は、定量するとき、L-メントール(C10H20O:156.27)98.0%以上を含む。
2370	51	500523	モクロウ			本品は、ハゼノキ <i>Rhus succedanea</i> Linne (Anacardiaceae)の果皮から得た脂肪を漂白したものである。
2371	51	511061	モノイステアリン酸n-アルキレン(20～30)グリコール		イステアリン酸アルキレン(20～30)グリコール	本品は、主として「イステアリン酸」とn-アルキレン(炭素数 20～30)-1, 2-グリコールとのモノエステルである。
2372	51	510079	モノイステアリン酸アルキレン(18, 20)直鎖グリコール		イステアリン酸アルキレン(18, 20)グリコール	本品は、主として「イステアリン酸」と炭素数18と20の直鎖1, 2-アルキレングリコールとのモノエステルである。
2373	51	532136	モノイステアリン酸グリセリル		イステアリン酸グリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」とグリセリンのモノエステル(C21H42O4:358.56)からなる
2374	51	500524	モノイステアリン酸ソルビタン		イステアリン酸ソルビタン	本品は、主として「イステアリン酸」とソルビタンからなるモノエステルである。
2375	51	532137	モノイステアリン酸ポリエチレングリコール	イステアリン酸ポリエチレングリコール	イステアリン酸PEG	本品は、主として「イステアリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均重合度は、2～40 である
2376	51	523252	モノイステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		イステアリン酸POE硬化ヒマシ油、イステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油と「イステアリン酸」のモノエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は 20～58 である
2377	51	521134	モノイステアリン酸ポリグリセリル		イステアリン酸ポリグリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は 2～10 である。
2378	51	523253	モノイステアリン酸モノミスチン酸グリセリル		イステアリン酸ミスチン酸グリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」及び「ミスチン酸」とグリセリンとのジエステル(C35H68O5:568.917)からなる。
2379	51	532138	モノウンデシレン酸グリセリル		ウンデシレン酸グリセリル	本品は、主として「ウンデシレン酸」とグリセリンのモノエステル(C14H26O4:258.35)からなる。
2380	51	523422	モノエタノールアミン液		モノエタノールアミン、MEA液	本品は、「エタノールアミン」の水溶液である。本品を定量するとき、モノエタノールアミン(C2H7NO:61.08)として表示量の 97.5～103.0%を含む。
2381	51	532139	モノオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド		オキシエチレンラウリン酸エタノールアミド、POE(1)ラウリン酸エタノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と等量の「エタノールアミン」を縮合して得られるラウリン酸モノエタノールアミドに等モルの酸化エチレンを付加したものである。
2382	51	523254	モノオレイルグリセリルエーテル	セラキラルコール	オレイルグリセリルエーテル	本品は、主としてグリセリンのα-モノオレイルエーテル(C21H42O3:342.57)からなる。
2383	51	106815	モノオレイン酸ソルビタン		オレイン酸ソルビタン	本品は、主として「オレイン酸」とソルビタンからなるモノエステルである。
2384	51	105299	モノオレイン酸ポリエチレングリコール		オレイン酸PEG	本品は、主として「オレイン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 2～70 である。
2385	51	110401	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(6E. O.)		オレイン酸POE(6)ソルビタン	本品は、主として「モノオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、6 である。
2386	51	105409	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン		オレイン酸POE(20)ソルビタン	本品は、主として「モノオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレン

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ン(20E. O.)			の平均付加モル数は、20である。
2387	51	509125	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)・酢酸セチル・酢酸ラノリアルコール混合物		オレイン酸POE(20)ソルビタン・酢酸セチル・酢酸ラノリル混合物	本品は、「モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)」50%以上、「酢酸セチル」10~25%及び「酢酸ラノリアルコール」1~5%を混合したものである。
2388	51	521138	モノオレイン酸ポリグリセリル		オレイン酸ポリグリセリル	本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は2~10である。
2389	51	511062	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール(26P. O.)		オレイン酸PPG(26)	本品は、主として「オレイン酸」とポリプロピレングリコールのモノエステルからなる。酸化プロピレンの平均付加モル数は26である。
2390	51	540166	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール(36P. O.)	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール200	オレイン酸PPG(36)	本品は、「ポリプロピレングリコール」のモノオレイン酸エステルである。酸化プロピレンの平均付加モル数は36である。
2391	51	523255	モノ(カプリル/カプリン酸)メチルグルコシド液		(カプリル・カプリン酸)メチルグルコシド液	本品は、主としてカプリル酸及び「カプリン酸」とメチルグルコシドとのモノエステルの水溶液である。
2392	51	521140	モノカプリル酸ジプロピレングリコール		カプリル酸DPG	本品は、主としてカプリル酸と「ジプロピレングリコール」のモノエステルからなる。
2393	51	521141	モノ牛脂脂肪酸グリセリル		牛脂脂肪酸グリセリル	本品は、主として「牛脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2394	51	521142	モノ酢酸モノステアリン酸グリセリル		酢酸ステアリン酸グリセリル	本品は、主として「酢酸」と「ステアリン酸」からなるグリセリド(C ₂₃ H ₄₄ O ₅ :400.59)である。
2395	51	532140	モノサフラワー油脂脂肪酸グリセリル		サフラワー油脂脂肪酸グリセリル	本品は、主として「サフラワー油脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2396	51	002358	モノステアリン酸アルミニウム		ステアリン酸Al	本品は、主としてモノステアリン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム(A1:26.98)7.0~8.6%を含む。
2397	51	102269	モノステアリン酸エチレングリコール		ステアリン酸グリコール	本品は、主として「ステアリン酸」と「エチレングリコール」からなるモノエステルである。
2398	51	102129	モノステアリン酸ソルビタン		ステアリン酸ソルビタン	本品は、主として「ステアリン酸」とソルビタンからなるモノエステルである。
2399	51	105636	モノステアリン酸プロピレングリコール		ステアリン酸PG	本品は、主として「ステアリン酸」と「プロピレングリコール」からなるモノエステルである。
2400	51	105300	モノステアリン酸ポリエチレングリコール		ステアリン酸PEG	本品は、「ステアリン酸」に酸化エチレンを付加重合させるか又は「ステアリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。
2401	51	540167	モノステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		ステアリン酸POEグリセリル	本品は、主としてモノステアリン酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合して得られる。
2402	51	540168	モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン		ステアリン酸POEソルビタン	本品は、主としてモノステアリン酸ソルビタンに酸化エチレンを付加重合して得たものである。酸化エチレンの平均重合度付加モル数は、6~20である。
2403	51	521143	モノステアリン酸ポリグリセリル		ステアリン酸ポリグリセリル	本品は、「ステアリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均付加モル数は2~10である。
2404	51	508123	モノニトログアヤコール		ニトログアヤコール	本品を定量するとき、主として5-ニトログアヤコール(C ₇ H ₇ NO ₄ :169.13)98.0~102.0%を含む。
2405	51	508124	モノニトログアヤコールナトリウム		ニトログアヤコールNa	本品は、5-ニトログアヤコールナトリウムと水との等量混合物である。本品は定量するとき、主として5-ニトログアヤコールナトリウム(C ₇ H ₆ NNaO ₄ :191.12)47.0~53.0%を含む。
2406	51	521145	モノパルミチン酸エチレングリコール	パルミチン酸エチレングリコール	パルミチン酸グリコール	本品は、主として「パルミチン酸」とエチレングリコールのモノエステルからなる。
2407	51	106816	モノパルミチン酸ソルビタン		パルミチン酸ソルビタン	本品は、主として「パルミチン酸」とソルビタンからなるモノエステルである。
2408	51	109912	モノパルミチン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)		パルミチン酸POE(20)ソルビタン	本品は、主として「モノパルミチン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
2409	51	523256	モノヒドロキシルステアリン酸グリセリル	モノオキシステアリン酸グリセリル	ヒドロキシルステアリン酸グリセリル、オキシステアリン酸グリセリル	本品は、主として「ヒドロキシルステアリン酸」とグリセリンのモノエステル(C ₂₁ H ₄₂ O ₅ :374.56)からなる。
2410	51	508125	モノヒドロキシルステアリン酸硬化ヒマシ油		ヒドロキシルステアリン酸硬化ヒマシ油、オキシステアリン酸硬化ヒマシ油、オキシステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として「ヒドロキシルステアリン酸」と「硬化ヒマシ油」のエステルからなる。
2411	51	540169	モノミスチン酸デカグリセリル		ミスチン酸デカグリセリル	本品は、主として「ミスチン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
2412	51	532141	モノラウリン酸グリセリル		ラウリン酸グリセリル	本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのモノエステル(C ₁₅ H ₃₀ O ₄ :274.40)からなる。
2413	51	005802	モノラウリン酸ソルビタン		ラウリン酸ソルビタン	本品は、主として「ラウリン酸」とソルビタンからなるモノエステルである。
2414	51	109914	モノラウリン酸ポリエチレングリコール		ラウリン酸PEG	本品は、主として「ラウリン酸」に酸化エチレンを付加重合させるか又は「ラウリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。
2415	51	109916	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン		ラウリン酸POEソルビタン	本品は、主として「モノラウリン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は10~80である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2416	51	109477	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E. O.)		ラウリン酸POE(20)ソルビタン	本品は、主として「モノラウリン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合して得たものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
2417	51	111817	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビット		ラウリン酸POEソルビット	本品は、主として「ラウリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのモノエステルからなる。
2418	51	521150	モノラウリン酸ポリグリセリル		ラウリン酸ポリグリセリル	本品は、主として「ラウリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均付加モル数は 4～10 である。
2419	51	521151	モノラノリン脂肪酸グリセリル		ラノリン脂肪酸グリセリル	本品は、主として「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」、「硬質ラノリン脂肪酸」又はこれらの混合物とグリセリンのモノエステルからなる。
2420	51	532142	モノリノール酸グリセリル		リノール酸グリセリル	本品は、主として「リノール酸」とグリセリンのモノエステル(C21H38O4:354.52)からなる。
2421	51	523257	モモ核粒		桃核粒	本品は、モモ Prunus persica Batsch 又は Prunus persica Batsch var. davidiana Maximowicz (Rosaceae) の核(内果皮)を乾燥、破碎し、整粒したものである。
2422	51	521153	モモ果汁		桃果汁	本品は、モモ Prunus persica Batsch (Rosaceae) の果実(生)を圧搾して得られる果汁である。
2423	51	520806	モモ葉エキス		桃葉エキス	本品は、モモ Prunus persica Batsch (Rosaceae) の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
2424	51	521154	モヤシエキス			本品は、リョクトウ Phaseolus radiatus Linne ^ˆ (Leguminosae) より得られたもやしから豆部を除去した後、水にて抽出して得られるエキスである。
2425	51	521155	モルティエラ油	γ-リノレン酸油		本品は、糸状菌の一種である Mortierella isabellina から得られる油脂であり、γ-リノレン酸を含む混合脂肪酸のトリグリセライドである。
2426	51	501138	モルホリン			本品は、定量するとき、テトラヒドロ-1,4-オキサジン(C4H9NO:87.12)98.0%以上を含む。
2427	51	504389	モンモリロナイト			本品は、主としてAl2O5・4SiO2・4H2O からなる粘土鉱物である。
2428	99	999999	益母草エキス			本品は、益母草 Leonurus sibiricus L. (Labiatae) の花期の地上部から水及び「1,3-ブチレングリコール」の等量混液で抽出して得られるエキスである。
2429	51	521157	ヤグルマギクエキス			本品は、ヤグルマギク Centaurea cyanus Linne ^ˆ (Compositae) の頭花から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2430	51	510081	ヤグルマギク水			本品は、ヤグルマギク Centaurea cyanus L. (Compositae) の花から水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
2431	51	500543	ヤシ油			本品は、ココヤシ Cocos nucifera Linne ^ˆ (Palmae) の種皮を除いた種子を圧搾して得た脂肪油である。
2432	51	503154	ヤシ油アルキルジメチルアミノオキシド液			本品は、主としてヤシ油アルキルジメチルアミノオキシドの水溶液である。本品は定量するとき、ヤシ油アルキルジメチルアミノオキシドとして表示量の 90～110%を含む。
2433	51	532143	ヤシ油アルキルパタイン液	ヤシ油アルキルジメチルアミノ酢酸液		本品は、主としてヤシ油アルキルジメチルアミノ酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、ヤシ油アルキルジメチルアミノ酢酸として、表示量の 90.0～110.0%を含む。
2434	51	540170	ヤシ油アルキル硫酸マグネシウム・トリエタノールアミン液		ヤシ油アルキル硫酸Mg・TEA液	本品は、ヤシ油アルコールを硫酸化した後、水酸化マグネシウム及びトリエタノールアミン(モル比 1:4)により中和したものの水溶液である。本品を定量するとき、ヤシ油アルキル硫酸マグネシウム・トリエタノールアミン(平均分子量:383)として 25～31%を含む。
2435	51	523258	ヤシ油アルコール			本品は、「ヤシ油」又は「バーム核油」を還元して得られる高級脂肪酸アルコールの混合物で、主としてラウリルアルコール(C12H26O:186.33)からなる。
2436	51	523259	ヤシ油カリ石けん液			本品は、ヤシ油脂肪酸のカリウム塩の 40%水溶液である。
2437	51	521160	ヤシ油脂肪酸			本品は、「ヤシ油」より得られる脂肪酸である。
2438	51	532178	N-ヤシ油脂肪酸アシル-DL-アラニントリエタノールアミン液		ヤシ油脂肪酸アシルDL-アラニンTEA液	本品は、主として「DL-アラニン」と「ヤシ油脂肪酸」との縮合物のトリエタノールアミン塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として 1.6～2.2%を含む。
2439	51	540010	N-ヤシ油脂肪酸アシルL-アルギニンエチル・DL-ピロリドンカルボン酸塩		ヤシ油脂肪酸アシルアルギニンエチル・DL-PCA塩	本品は、定量するとき、N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル・DL-ピロリドンカルボン酸塩 90%以上を含む。
2440	51	532144	N-ヤシ油脂肪酸アシル加水分解酵母カリウム	ヤシ油脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム	ヤシ油脂肪酸アシル加水分解酵母K、ヤシ油脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム	本品は、酵母 Candida utilis たん白の加水分解物とヤシ油脂肪酸との縮合物のカリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2441	51	532145	N-ヤシ油脂肪酸アシル加水分解トウモロコシたん白カリウム		ヤシ油脂肪酸アシル加水分解トウモロコシたん白K、ヤシ油脂肪酸アシル加水分解コーンたん白K	本品は、「ヤシ油脂肪酸」と加水分解トウモロコシたん白との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2442	51	532146	N-ヤシ油脂肪酸アシル加水分解パレイショたん白カリウム	ヤシ油脂肪酸加水分解ジャガイモたん白カリウム	ヤシ油脂肪酸アシル加水分解パレイショたん白K、ヤシ油脂肪酸加水分解ジャガ	本品は、「ヤシ油脂肪酸」とパレイショ Solanum tuberosum Linne ^ˆ (Solanaceae) の根茎から得られたたん白の加水分解物との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素(N:14.01)5.0

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					イモたん白K	～11.0%を含む。
2443	51	532147	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N'-カルボキシエチル-N'-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム	ヤシ油アルキル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウム液	ヤシ油脂脂肪酸アシルカルボキシエチルヒドロキシエチルエチレンジアミンNa、ヤシ油アルキルカルボキシエチルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインNa液	本品は、主として、2 位に炭素数 11～17 のアルキル基を有する 1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシエチル化して得られるもので、通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。
2444	51	540011	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N'-カルボキシエトキシエチル-N'-カルボキシエチルエチレンジアミン二ナトリウム液	ヤシ油アルキル-N-カルボキシエトキシエチル-N-カルボキシエチルイミダゾリニウムジナトリウムヒドロキシド	ヤシ油脂脂肪酸アシルカルボキシエトキシエチルカルボキシエチルエチレンジアミン2Na、N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N'-カルボキシエトキシエチル-N'-カルボキシエチルエチレンジアミン二ナトリウム、ヤシ油アルキルカルボキシエトキシエチルカルボキシエチルイミダゾリニウム2Naヒドロキシド	本品は、主として 2 位に炭素数 11～17 のアルキル基を有する 1-ヒドロキシエチルイミダゾリンにモノクロルプロピオン酸ナトリウムを水酸化ナトリウム溶液中で反応させて得たものである。
2445	51	532149	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N'-カルボキシメチルエチレンジアミン二ナトリウムラウリル硫酸	2-ココアルキル-2-イミダゾリニウムラウリルサルフェート-1-カルボキシメチルジナトリウム	ヤシ油脂脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Naラウリル硫酸、ココアルキルイミダゾリニウムラウリルサルフェートカルボキシメチル2Na	本品は、主として 2 位に炭素数 11～17 のアルキル基を有する 1-ヒドロキシエチルイミダゾリンにカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩にラウリル硫酸ナトリウムをイオン結合させたものである。
2446	51	523260	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N-カルボキシメチルエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミンジナトリウムポリオキシエチレントリデシル硫酸液		ヤシ油脂脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na・POEトリデシル硫酸液	本品は、主としてN-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N-カルボキシメチルエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミンジナトリウムポリオキシエチレントリデシル硫酸でヘキシレングリコール及び水の混液の溶液からなる。
2447	51	521161	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N-カルボキシメチルエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミン二ナトリウム	ウンデシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルイミダゾリニウムベタインナトリウム液	ヤシ油脂脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na、ウンデシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルイミダゾリニウムベタインNa液	本品は、主として N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-N-カルボキシメチルエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミン二ナトリウムからなる。
2448	51	532173	N-ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンカリウム		ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンK	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」と「グリシン」との縮合物のカリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.3～4.8%を含む。
2449	51	532150	N-ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンK液	本品は、「N-ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンカリウム」の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.1～1.6%を含む。
2450	51	532179	N-ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシントリエタノールアミン液		ヤシ油脂脂肪酸アシルグリシンTEA液	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」と「グリシン」との縮合物のトリエタノールアミン塩の水溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)1.5～2.7%を含む。
2451	51	521162	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸		ヤシ油脂脂肪酸アシルグルタミン酸	本品は、主として N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0～5.0%を含む。
2452	51	523261	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸カリウム		ヤシ油脂脂肪酸アシルグルタミン酸K	本品は、主として N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸カリウムからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0～5.0%を含む。
2453	51	521164	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン液		ヤシ油脂脂肪酸アシルグルタミン酸TEA液	本品は、主として N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミンを約 30%含む水溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)1.6～1.9%を含む。
2454	51	502046	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸アシルグルタミン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム 93%以上を含む。
2455	51	521165	ヤシ油脂脂肪酸アミド			本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸アミドからなる。
2456	51	521167	ヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルベタイン			本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸(C19H38N2O3:342.52)からなる。定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸を 80%以上含む。
2457	51	522079	ヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルベタイン液			本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸からなり、通常、水、「エタノール」、「イソプロパノール」、「グリセリン」又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき表示量の 90～110%に対応するヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸を含む。
2458	51	507114	ヤシ油脂脂肪酸エチルエステルスルホン酸	ヤシ油脂脂肪酸アシルイセ	ヤシ油脂脂肪酸エチルエステルスルホ	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸と2-ヒドロキシエタンスルホン酸との縮合物のナトリウム塩からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ナトリウム	チオン酸ナトリウム	ン酸Na、ヤシ油脂脂肪酸アシルイセチオン酸Na	
2459	51	523262	ヤシ油脂脂肪酸加水分解カゼインカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解カゼインK液	本品は、「カゼイン」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2460	51	532310	ヤシ油脂脂肪酸加水分解ケラチンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解ケラチンK液	本品は、ケラチンたん白質の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2461	51	532311	ヤシ油脂脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解酵母たん白K	本品は、酵母たん白の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2462	51	532218	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コムギたん白カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コムギたん白K液、ヤシ油脂脂肪酸加水分解小麦たん白K液	本品は、コムギたん白の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2463	51	540174	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン液	本品は、加水分解コラーゲンとヤシ油脂脂肪酸との縮合物からなり、水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として1.4~2.2%を含む。
2464	51	532216	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン(2)		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン-2	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と加水分解コラーゲンとの縮合物である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として、7.0~13.0%を含む。
2465	51	521172	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンカリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンK	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩を粉末としたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として7.0%以上を含む。
2466	51	521173	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンK液	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.6~3.9%を含む。
2467	51	540175	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲントリエタノールアミン液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンTEA液	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のトリエタノールアミン塩又はその水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0%以上を含む。
2468	51	502149	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンNa	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0%以上を含む。
2469	51	532312	ヤシ油脂脂肪酸加水分解ジャガイモたん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解ジャガイモたん白K、ヤシ油脂脂肪酸加水分解パレイショたん白K	本品は、ジャガイモたん白の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む
2470	51	523263	ヤシ油脂脂肪酸加水分解大豆たん白カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解大豆たん白K液	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と加水分解大豆たん白との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.7~3.0%を含む。
2471	51	532313	ヤシ油脂脂肪酸加水分解トウモロコシたん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解トウモロコシたん白K、ヤシ油脂脂肪酸加水分解コーンたん白K	本品は、トウモロコシたん白の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2472	51	502150	ヤシ油脂脂肪酸カリウム		ヤシ油脂脂肪酸K	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」のナトリウム塩である。
2473	51	522080	ヤシ油脂脂肪酸カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸K液	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のナトリウム塩の水溶液で、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸カリウム 27.0~33.0%を含む。
2474	51	504393	ヤシ油脂脂肪酸グリセリル	モノヤシ油脂脂肪酸グリセリン		本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2475	51	521178	N-ヤシ油脂脂肪酸/硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸・硬化牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸Na、(ヤシ油・硬化牛脂)脂肪酸アシルグルタミン酸Na	本品は、主として「N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム」と「N-硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム」の混合物からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.1~3.4%を含む。
2476	51	504396	ヤシ油脂脂肪酸サルコシン			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とサルコシンからなる酸アミドである。
2477	51	504397	ヤシ油脂脂肪酸サルコシントリエタノールアミン		ヤシ油脂脂肪酸サルコシンTEA	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸サルコシン」のトリエタノールアミン塩からなる。
2478	51	540171	ヤシ油脂脂肪酸サルコシンナトリウム液		ヤシ油脂脂肪酸サルコシンNa液	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸サルコシン」のナトリウム塩の水溶液である。
2479	51	523264	ヤシ油脂脂肪酸・酸化加水分解ケラチンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸・酸化加水分解ケラチンK液	本品は、「加水分解ケラチン末」又は「加水分解ケラチン液」を酸化し、シスチン残基をシステイン酸残基としたものと、「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2480	51	101533	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、ヤシ油脂脂肪酸と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2481	51	532151	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド(2)	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノール	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド-2	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とジエタノールアミンとを縮合して得られる1:2型アルキロールアミドである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
				ルアミド(1:2型)		
2482	51	504399	ヤシ油脂脂肪酸シヨ糖エステル	シヨ糖ヤシ油脂脂肪酸エステル		本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とシヨ糖からなるエステルである。
2483	51	508130	ヤシ油脂脂肪酸ソルビタン			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とソルビタンのモノエステルからなる。
2484	51	521180	ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸タウリンNa	本品は、主として、ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウムからなり、通常、塩化ナトリウムを含む。本品を乾燥したものは、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウム(R・CONHC2H4SO3Na:平均分子量 346)として 45.0～55.0%を含む。
2485	51	504400	ヤシ油脂脂肪酸トリエタノールアミン液		ヤシ油脂脂肪酸TEA液	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のトリエタノールアミン塩の水溶液で、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸トリエタノールアミン 36.0～44.0%を含む。
2486	51	502151	ヤシ油脂脂肪酸ナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸Na	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のナトリウム塩である。
2487	51	532314	N-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-β-アラニン		ヤシ油脂脂肪酸メチル-β-アラニン	本品は、主としてN-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-β-アラニンからなる。
2488	51	504402	ヤシ油脂脂肪酸メチルアラニンナトリウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルアラニンNa液	本品は、主としてN-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-β-アラニンナトリウムの水溶液である。
2489	51	540172	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンK液	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンのカリウム塩の水溶液で、定量するときヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンカリウム(RCON(CH3)C2H4SO3K:平均分子量 380)として表示量の90～110%を含む。
2490	51	540173	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンナトリウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンNa液	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンのナトリウム塩からなる。通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液の溶液である。
2491	51	523265	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンMg液	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウムの水溶液である。本品は定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウム((RCON(CH3)CH2CH2SO3)2Mg:平均分子量 674.3)として 24.0～29.0%を含む。
2492	51	500545	ヤシ油脂脂肪酸モノエタノールアミド		ヤシ油脂脂肪酸エタノールアミド	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と当量の「エタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドからなる。
2493	51	523266	ヤシ油脂脂肪酸リジン液			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のリジン塩の水溶液である。本品は、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸リジン 26.5～33.0%を含む。
2494	51	521181	ユーカリエキス			本品は、ユーカリ <i>Eucalyptus globulus</i> Labillardiere 又はその他近縁植物(Myrtaceae)の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2495	51	532152	ユーカリ水			本品は、ユーカリ <i>Eucalyptus globulus</i> Labillardiere (Myrtaceae)の葉を水蒸気蒸留して得られた水層成分である。
2496	51	002364	ユーカリ油			本品は、ユーカリ <i>Eucalyptus globulus</i> Labillardiere 又はその他近縁植物(Myrtaceae)の葉を水蒸気蒸留して得た精油である。
2497	51	523267	ユーグレナ多糖体末			本品は、ミドリムシ <i>Euglenia gracilis</i> Klebs (Euglenida)から得られる多糖体の粉末である。
2498	51	523268	ユーグレナ油			本品は、ミドリムシ <i>Euglenia gracilis</i> Klebs (Euglenida)を通気培養後、「オレイン酸」を添加して嫌気培養して得られた液状油で、主として、不飽和エステルからなり、他に少量のトリグリセライドを含む。
2499	51	521184	ユキノシタエキス			本品は、ユキノシタ <i>Saxifraga stolonifera</i> Meerburg (Saxifragaceae)の全草から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2500	51	523835	ユズエキス		柚エキス、柚子エキス	本品は、ユズ <i>Citrus junos</i> Siebold (Rutaceae)の果実から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2501	51	503159	油溶性アルニカエキス			本品は、アルニカ <i>Arnica montana</i> L. (Compositae)の花又は根を「パーシク油」、「流動パラフィン」、日局ダイズ油、「大豆油」、「ミリスチン酸イソプロピル」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスである。
2502	51	503021	油溶性オトギリソウエキス(1)		油溶性オトギリソウエキス-1	本品は、セイヨウオトギリソウ <i>Hypericum perforatum</i> L.又はコゴメバオトギリソウ <i>Hypericum perforatum</i> L. var. <i>angustifolium</i> D.C. (Guttiferae)の開花期の全草を小麦胚芽油又は小麦胚芽油とトウモロコシ油の混合液で抽出したものである。
2503	51	522081	油溶性オトギリソウエキス(2)		油溶性オトギリソウエキス-2	本品は、セイヨウオトギリ <i>Hypericum perforatum</i> L.又はコゴメバオトギリ <i>Hypericum perforatum</i> L. var. <i>angustifolium</i> D.C. (Guttiferae)の花を「オリブ油」で抽出して得られるものである。
2504	51	503023	油溶性オドリコソウエキス			本品は、オドリコソウ <i>Lamium album</i> Linne' (Labiatae)の花を「パーシク油」、「流動パラフィン」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2505	51	522082	油溶性カモミラエキス	油溶性カミツレエキス		本品は、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)の花から「パーシク油」、「流動パラフィン」、「大豆油」、「ミリスチン酸イソプロピル」、「トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリン」、「ヒマワリ油(1)」又はこれらの混液にて抽出、又は「スクワラン」にて加温抽出して得られるものである。
2506	51	521187	油溶性カロットエキス			本品は、ニンジン <i>Daucus carota</i> Linne var. <i>sativa</i> DC. (Umbelliferae)の根から「大豆油」、「ラッカセイ油」又は「ヒ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						「マワリ油」にて抽出して得られるエキスである。
2507	51	509127	油溶性ゴボウエキス			本品は、ゴボウ <i>Arctium lappa</i> L. (Compositae) の根を「流動パラフィン」と「パーシク油」の混液(2:1)で抽出して得られるエキスである。
2508	51	510083	油溶性コラーゲンエキス			本品は、ウシ又はブタの皮膚組織から「オリブ油」にて抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として0.035~0.040%を含む。
2509	51	512031	油溶性混合植物抽出液			本品は、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)、シナノキ <i>Tilia platyphyllos</i> Scopoli (Tiliaceae)、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> L. (Labiatae)、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae)、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C. A. Meyer (Araliaceae)、キズタ <i>Hedera rhombea</i> Sieb. et Zucc. (Araliaceae)及び <i>Citrus aurantium</i> L. subsp. <i>amara</i> Engl. (Rutaceae)の枝、葉、根又は花を、ヒマワリ油で抽出したものである。
2510	51	521192	油溶性シコンエキス(1)		油溶性シコンエキス-1	本品は、ムラサキ <i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根から「パルミチン酸イソプロピル」又は「スクワラン」にて抽出して得られるエキスである。
2511	51	521193	油溶性シコンエキス(2)		油溶性シコンエキス-2	本品は、ムラサキ <i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根からエーテルにて抽出し、エーテルを留去したエキスである。
2512	51	505183	油溶性シナノキエキス	油溶性セイヨウシナノキエキス		本品は、シナノキ(セイヨウボダイジュ) <i>Tilia europaea</i> L. (Tiliaceae)の花又は葉を「ヒマワリ油(1)」で抽出したものである。
2513	51	522112	油溶性ショウキョウエキス	ショウガエキス		本品は、ショウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae)の根茎のアセトン抽出物から、ヘキサンを用いて抽出したエキスの無水エタノール溶液である。
2514	51	510085	油溶性シラカバエキス			本品は、シラカバ <i>Betula alba</i> L. (Betulaceae)の樹皮からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2515	51	504190	油溶性スギナエキス			本品は、スギナ <i>Equisetum arvense</i> Linne' (Equisetaceae)の栄養茎を乾燥したものに、「ヒマワリ油(1)」を加え、抽出したものである。
2516	51	510086	油溶性セイヨウノコギリソウエキス			本品は、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae)の開花時の全草をヒマワリ油にて抽出して得られるエキスである。
2517	51	521195	油溶性セージエキス	油溶性サルビアエキス		本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne' (Labiatae)の全草を「流動パラフィン」及び「パーシク油」の混液(2:1)又は「ヒマワリ油(1)」にて抽出して得られるエキスである。
2518	51	512032	油溶性テウチグルミエキス			本品は、テウチグルミ <i>Juglans regia</i> L. var. <i>sinensis</i> D. C. (Juglandaceae)の外果皮及び葉を乾燥し粉砕した後、「大豆油」及び日局ラッカセイ油の混合油にて抽出して得られるエキスである。
2519	51	512033	油溶性トウキエキス			本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba</i> Kitagawa 又はその他近縁植物(Umbelliferae)の根を「スクワラン」で抽出して得られるエキスである。
2520	51	532153	油溶性トウキエキス(2)		油溶性トウキエキス-2	本品は、トウキ <i>Angelica acutiloba</i> Kitagawa 又はその他近縁植物(Umbelliferae)の根からエーテルで抽出して得られるエキスである。
2521	51	505182	油溶性トウキンセンカエキス			本品は、トウキンセンカ <i>Calendula officinalis</i> Linne'、ホウキンセンカ <i>Calendula arvensis</i> Linne' (Compositae)花から「パーシク油」、「流動パラフィン」、「大豆油」、日局ラッカセイ油、又はこれらの混液で抽出したものである。
2522	51	510087	油溶性ニンジンエキス(2)		油溶性ニンジンエキス-2、油溶性人参エキス-2	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C. A. Meyer (Panax schinseng Nees) (Araliaceae)の根からヘキサンにて抽出して得られるエキスを濃縮し、「サフラワー油」又は「スクワラン」で抽出又は溶解したものである。
2523	51	532315	油溶性バラエキス			本品は、 <i>Rosa centifolia</i> Linne' (Rosaceae)の新鮮な花のヘキサン抽出物からヘキサンを留去したもののプロピレングリコール溶液である。
2524	51	510088	油溶性ビワ葉エキス			本品は、ビワ <i>Eriobotrya japonica</i> Lindley (Rosaceae)の葉から「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2525	51	503160	油溶性ブラセントアエキス	ブラセントアキッド・オイルソルブル		本品は、健康なブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae)の胎盤から、エーテルで抽出して得た減圧乾燥物を「オリブ油」又は、「ゴマ油」に溶かしたものである。本品は、定量するとき、レシチン 0.1~0.6%を含む。
2526	51	523270	油溶性ボダイジュエキス	油溶性セイヨウボダイジュエキス		本品は、ナツボダイジュ <i>Tilia platyphyllos</i> Scop. (Tiliaceae)の花及び葉から「パーシク油」、「流動パラフィン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2527	51	510090	油溶性ホップエキス			本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae)の雌花穂(球果)から「パーシク油」及び「流動パラフィン」の混液にて抽出されるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2528	51	503145	油性マロニエエキス			本品は、マロニエ(セイヨウトチノキ) <i>Aesculus hippocastanum</i> L. (Hippocastanaceae) の果実を「ヒマワリ油(1)」で抽出して得られるエキスである。
2529	51	523271	油性モモ葉エキス		油性桃葉エキス	本品は、モモ <i>Prunus persica</i> Batsch (Rosaceae) の葉から「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2530	51	504404	油性ヨクイニンエキス			本品は、ハトムギ <i>Coix lachryma-jobi</i> Linne' var. <i>ma-yuen</i> Stapf (Gramineae) の種皮を除いた種子から、「ミスチン酸オクチルドデシル」にて抽出して得られたエキス、またはヘキサンにて抽出した後ヘキサンを除去して得られたエキスである。
2531	51	523272	油性卵黄エキス(1)		油性卵黄エキス-1	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から「イソプロパノール」とエタノールの混液で抽出して得られるエキスである。
2532	51	523273	油性卵黄エキス(2)		油性卵黄エキス-2	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から「トウモロコシ油」で抽出して得られるエキスである。
2533	51	503174	油性ローズマリーエキス(1)		油性ローズマリーエキス-1	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の葉を「ヒマワリ油(1)」にて抽出して得られたエキスである。
2534	51	522083	油性ローズマリーエキス(2)		油性ローズマリーエキス-2	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の全草を「パーシク油」及び「流動パラフィン」の混液から抽出したエキスである。
2535	51	510092	油性ローズマリーエキス(3)		油性ローズマリーエキス-3	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の葉から水、「エタノール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2536	51	510093	油性ローヤルゼリーエキス			本品は、「ローヤルゼリー」から水とエタノールの混液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2537	51	503161	ユリエキス			本品は、ユリ <i>Lilium candidum</i> L. (Liliaceae) の球根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2538	51	521198	ヨウ化ニンニクエキス			本品は、ニンニク <i>Allium sativum</i> Linne' (Liliaceae) の鱗茎から「エタノール」により抽出されたエキスを、ヨウ素化して得られたものである。
2539	51	521199	ヨウ化パラジメチルアミノスチルヘプチルメチルチアゾリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、2-(p-ジメチルアミノスチル)-3-ヘプチル-4-メチルチアゾリウムアイオダイド(C ₂₁ H ₃₁ N ₂ S:470.45)97.0%以上を含む。
2540	99	999999	溶性シスチン			本品は、N,N'-ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル(C ₁₂ H ₂₀ N ₂ O ₆ S ₂ :352.44)からなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)7.5~8.5%を含む。
2541	51	107719	ヨクイニンエキス			本品は、ハトムギ <i>Coix lachryma-jobi</i> Linne' var. <i>ma-yuen</i> Stapf (Gramineae) の種皮を除いた種子から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2542	51	521204	ヨモギエキス			本品は、ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampanini, モウコヨモギ <i>Artemisia mongolia</i> Fischer 又はヤマヨモギ <i>Artemisia montana</i> Pampanini (Compositae) の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2543	99	999999	ヨモギエキス			本品は、ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampanini 又はモウコヨモギ <i>Artemisia mongolia</i> Fischer の葉の1,3-ブチレングリコール抽出液である。
2544	51	532170	ヨモギエキス(2)		ヨモギエキス-2	本品は、ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampanini (Compositae) の葉から、水で加熱抽出して得られるエキスであり、「1, 3-ブチレングリコール」を含むものがある。
2545	51	521206	ヨモギ水			本品は、ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampanini 又はヤマヨモギ <i>Artemisia montana</i> Pampanini (Compositae) の葉から水で抽出して得られたエキスを、水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2546	51	521207	ライム果汁			本品は、ライム <i>Citrus aurantifolia</i> Swingle 又はその変種(Rutaceae)の果実(生)を搾して得られる果汁である。
2547	51	523275	ライムギ末	ライ麦粉		本品は、ライムギ <i>Secale cereale</i> Linne' (Gramineae) の種子を、種皮を除いて粉末としたものである。
2548	51	532154	ラウリルアミノジ酢酸ナトリウム液		ラウリルアミノジ酢酸Na液	本品は、ラウリルアミノジ酢酸のナトリウム塩の水溶液からなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.5~1.7%を含む。
2549	51	540176	ラウリルアミノジプロピオン酸ナトリウム液		ラウリルアミノジプロピオン酸Na液	本品は、ラウリルアミノジプロピオン酸のナトリウム塩の水溶液からなる。
2550	51	504407	ラウリルアミノプロピオン酸液			本品は、主として、ラウリルアミノプロピオン酸の水溶液である。
2551	51	106684	β-ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウム		β-ラウリルアミノプロピオン酸Na	本品は、主としてβ-ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウムからなる。通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2552	51	103811	ラウリルアルコール			本品は、主としてラウリルアルコール(C12H26O:186.33)からなる。
2553	51	521210	ラウリルイソキノリニウムサッカリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、ラウリルイソキノリニウムサッカリン(C28H36N2O3S:480.66)90.0%以上を含む。
2554	51	523276	N-ラウリル-N-カルボキシメトキシエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミンジナトリウムポリオキシエチレントリデシル硫酸液		ラウリルカルボキシメトキシエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na・POEトリデシル硫酸液	本品は、主としてN-ラウリル-N-カルボキシメトキシエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミンジナトリウムポリオキシエチレントリデシル硫酸の水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。
2555	51	500608	ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム液		ラウリルジアミノエチルグリシンNa液	本品は、主としてラウリルジアミノエチルグリシンナトリウムからなり、通常エタノール、水の混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム(C18H38N3NaO2:351.50)を含む。
2556	51	509128	N-ラウリルジエタノールアミン		ラウリルDEA	本品は、主としてラウリルジエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、ラウリルジエタノールアミン(C16H35NO2:273.45)として95.0%以上を含む。
2557	51	500549	ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン		ラウリルジメチルベタイン	本品は、主としてラウリルジメチルアミノ酢酸ベタインからなる。通常、イソプロパノール、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
2558	51	501141	ラウリルジメチルアミノオキシド液			本品は、主としてラウリルジメチルアミノオキシドの水溶液で、定量するとき、ラウリルジメチルアミノオキシド(C14H31NO:229.40)として27.0~37.0%を含む。
2559	51	502155	ラウリルスルホ酢酸ナトリウム		ラウリルスルホ酢酸Na	本品を定量するとき、ラウリルスルホ酢酸ナトリウム(C14H27NaO5S:330.42)92.5%以上を含む。
2560	51	532316	N-ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウム		ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸Na	本品は、主としてN-ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウムからなる。本品は定量するとき、N-ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウム(C14H28NNaO5S:345.43)として27.0~33.0%を含む。
2561	51	523277	ラウリルヒドロキシスルホベタイン液			本品は、定量するとき、ラウリルジメチルアミノ-2-ヒドロキシプロピルスルホベタイン(C17H37NO4S:351.54)として28.0~32.0%を含む。
2562	51	501142	ラウリル硫酸アンモニウム		ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸アンモニウムからなる。本品を定量するとき、ラウリル硫酸アンモニウム(C12H29NO4S:283.43)として表示量の90~110%を含む。
2563	51	501143	ラウリル硫酸カリウム		ラウリル硫酸K、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸カリウム(C12H25KO4S:304.49)からなる。
2564	51	502157	ラウリル硫酸ジエタノールアミン		ラウリル硫酸DEA、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸のジエタノールアミン塩である。本品を定量するとき、ラウリル硫酸ジエタノールアミン(C16H37NO6S:371.53)として表示量の90~110%を含む。
2565	51	107444	ラウリル硫酸トリエタノールアミン		ラウリル硫酸TEA、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、ラウリル硫酸トリエタノールアミン(C18H41NO7S:415.59)として表示量の90~110%を含む。
2566	51	001662	ラウリル硫酸ナトリウム		ラウリル硫酸Na、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸ナトリウム(C12H25NaO4S:288.38)からなる。
2567	51	521212	ラウリル硫酸マグネシウム		ラウリル硫酸Mg、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸マグネシウム(C24H50MgO8S2:555.08)からなる。
2568	51	521214	ラウリル硫酸マグネシウム液		ラウリル硫酸Mg液	本品は、「ラウリル硫酸マグネシウム」の水溶液である。
2569	51	504414	ラウリル硫酸モノエタノールアミン		ラウリル硫酸MEA、ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸のモノエタノールアミン塩である。本品を定量するとき、ラウリル硫酸モノエタノールアミン(C14H33NO5S:327.48)として表示量の90~110%を含む。
2570	51	504417	ラウリルリン酸			本品は、主として「リン酸」と「ラウリルアルコール」のモノエステルからなり、ジエステルも含む。
2571	51	504418	ラウリルリン酸ナトリウム(1)		ラウリルリン酸Na-1	本品は、主としてラウリルリン酸のモノナトリウム塩である。
2572	51	511074	ラウリルリン酸ナトリウム(2)		ラウリルリン酸Na-2	本品は、主としてラウリルリン酸のナトリウム塩である。
2573	51	103809	ラウリン酸			本品は、主としてラウリン酸(C12H24O2:200.32)からなる。
2574	51	500553	ラウリン酸亜鉛		ラウリン酸Zn	本品は、主として「ラウリン酸」の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn:65.41)として12.5~14.5%を含む。
2575	51	509129	ラウリン酸アミドプロピルベタイン液	ラウリン酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸液		本品は、主としてラウリン酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸の水溶液からなる。
2576	51	504419	ラウリン酸イソステアリル			本品は、主として「ラウリン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C30H60O2:452.80)からなる。
2577	51	540178	ラウリン酸加水分解コラーゲンナトリウム液		ラウリン酸加水分解コラーゲンNa液	本品は、主として「ラウリン酸」と加水分解コラーゲンとの縮合物のナトリウム塩からなり、プロピレングリコール溶液を含む。本品を定量する時、窒素(N:14.01)として3.5%以上を含む。
2578	51	504420	ラウリン酸カリウム		ラウリン酸K	本品は、主として「ラウリン酸」のカリウム塩(C12H23KO2:238.41)からなる。
2579	51	103812	ラウリン酸ジエタノールアミド			本品は、「ラウリン酸」と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2580	51	504422	ラウリン酸ジエチレングリコール		ラウリン酸ジグリコール	本品は、主として「ラウリン酸」と「ジエチレングリコール」のモノエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2581	51	504423	ラウリン酸トリエタノールアミン液		ラウリン酸TEA液	本品は、主として「ラウリン酸」のトリエタノールアミン塩(C18H39NO5:349.51)の水溶液である。
2582	51	504425	ラウリン酸プロピレングリコール		ラウリン酸PG	本品は、主として「ラウリン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステル(C15H30O3:258.40)からなる。
2583	51	108822	ラウリン酸ヘキシル			本品は、主として「ラウリン酸」とヘキシルアルコールからなるエステル(C18H36O2:284.48)である。
2584	51	504428	ラウリン酸ポリオキシエチレングリセリル		ラウリン酸POEグリセリル	本品は、主としてモノラウリン酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合したものである。
2585	51	503164	ラウリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油モノラウリン酸エステル	ラウリン酸POE硬化ヒマシ油、ラウリン酸POE水添ヒマシ油、POE硬化ヒマシ油ラウリン酸エステル、POE水添ヒマシ油ラウリン酸エステル	本品は、主として、「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」と「ラウリン酸」とのモノエステルからなる。
2586	51	540177	ラウリン酸マルチール			本品は、主として「ラウリン酸」と「マルチール」のエステルである。
2587	51	507116	ラウリン酸ミスチン酸ジエタノールアミド			本品は、「ラウリン酸」と「ミスチン酸」を約 7:3 の比率で混合した脂肪酸と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2588	51	509047	ラウリン酸ミスチン酸トリエタノールアミン		ラウリン酸ミスチン酸TEA	本品は、主として「ラウリン酸」と「ミスチン酸」を約 3:1 の比率で混合した脂肪酸のトリエタノールアミン塩からなる。
2589	51	532155	ラウリン酸モノイソプロパノールアミド		ラウリン酸イソプロパノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と当量のイソプロパノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C15H31NO2:257.41)である。
2590	51	532156	ラウリン酸モノエタノールアミド	ラウリン酸エタノールアミド		本品は、主として「ラウリン酸」と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(CH4H29NO2:243.39)である。
2591	51	532176	N-ラウロイル-L-アスパラギン酸ナトリウム液		ラウロイルアスパラギン酸Na液	本品は、主として N-ラウロイル-L-アスパラギン酸ナトリウムを含む水溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)0.7~1.4%を含む。
2592	51	523278	ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインヒドロキシプロピルリン酸ナトリウム液		ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインPGリン酸Na液	本品は、ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインヒドロキシプロピルリン酸ナトリウムの水溶液である。
2593	51	521216	ラウロイル加水分解コラーゲンカリウム		ラウロイル加水分解コラーゲンK	本品は、コラーゲンたん白質の加水分解物と「ラウリン酸」との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)6.3~11.5%を含む。
2594	51	523279	ラウロイル加水分解シルクナトリウム液		ラウロイル加水分解シルクNa液	本品は、加水分解シルクと「ラウリン酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.0~2.5%を含む。
2595	51	540013	N-ラウロイル-N'-カルボキシメチル-N'-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム液	ウンデシレン酸-N-ヒドロキシエチル-N-カルボキシメチルイミダゾリニウムベタインナトリウム	ラウロイルカルボキシメチルヒドロキシエチルエチレンジアミンNa、ウンデシレン酸ヒドロキシエチルカルボキシメチルイミダゾリニウムベタインNa	本品は、主として 2 位にウンデシル基を有する 1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩である。通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
2596	51	532158	N-ラウロイル-N'-カルボキシメチル-N'-カルボキシメチルエチレンジアミン二ナトリウムドデカノイルサルコシン	ラウリル-N-カルボキシメチル-N-カルボキシメチルイミダゾリニウムナトリウムドデカノイルサルコシン	ラウロイルカルボキシメチルエチルエチレンジアミン2Naドデカノイルサルコシン、ラウリルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルイミダゾリニウム2Naドデカノイルサルコシン	本品は、主として、2 位にラウリル基を有する 1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩にドデカノイルサルコシンをイオン結合させたものである。
2597	51	523280	N-ラウロイル-L-グルタミン酸		ラウロイルグルタミン酸	本品は、主として N-ラウロイル-L-グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.5~4.5%を含む。
2598	51	523281	N-ラウロイル-L-グルタミン酸カリウム		ラウロイルグルタミン酸K	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」のカリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~4.0%を含む。
2599	51	503165	ラウロイルグルタミン酸ジオクチルドデシル			本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「オクチルドデカノール」とのエステルである。
2600	51	523282	N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジ(コレステリル・オクチルドデシル)	ジ(コレステリル、オクチルドデシル)N-ラウロイル-L-グルタミン酸エステル	ラウロイルグルタミン酸ジ(コレステリル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「コレステロール」及び「オクチルドデカノール」の混合アルコールのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.25~1.47%を含む。
2601	51	523283	N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジ(コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル)	ジ(コレステリル、ベヘニル、オクチルドデシル)N-ラウロイル-L-グルタミン酸エステル	ラウロイルグルタミン酸ジ(コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「コレステロール」、「ベヘニルアルコール」、「オクチルドデカノール」の混合アルコールとのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.25~1.47%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2602	51	532159	N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジ(フィトステリル・2-オクチルドデシル)		ラウロイルグルタミン酸ジ(フィトステリル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「フィトステロール」及び「オクチルドデカノール」の混合物のエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.29~1.51%を含む。
2603	51	532160	N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジ-2-ヘキシルデシル	ラウロイルグルタミン酸ジヘキシルデソセチル	ラウロイルグルタミン酸ジヘキシルデシル	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「ヘキシルデカノール」のジエステルの混合物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.53~1.80%を含む。
2604	51	540179	ラウロイル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン液	N-アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン液	ラウロイルグルタミン酸TEA、アシルグルタミン酸TEA液	本品は、「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」のトリエタノールアミン塩の水溶液で、定量するとき N-ラウロイル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン(C23H46N2O8:478.62)として表示量の90~110%を含む。
2605	51	109262	N-ラウロイル-L-グルタミン酸ナトリウム		ラウロイルグルタミン酸Na	本品は、主として N-ラウロイル-L-グルタミン酸ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.6~3.9%を含む。
2606	51	503166	ラウロイルグルタミン酸ポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテルジエステル		ラウロイルグルタミン酸POEオクチルドデシルエーテルジエステル	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」とポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテルとからなるジエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2~5 である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.89%以上を含む。
2607	51	523284	ラウロイルグルタミン酸ポリオキシエチレンステアリルエーテルジエステル		ラウロイルグルタミン酸POEステアリルエーテルジエステル	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」と「ポリオキシエチレンステアリルエーテル」とからなるジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.93%以上を含む。
2608	51	540012	N-ラウロイル-L-グルタミン酸・マグネシウム		ラウロイルグルタミン酸Mg	本品は、主として「N-ラウロイル-L-グルタミン酸」のマグネシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~4.5%を含む。
2609	51	502162	ラウロイルサルコシン			本品は、主として「ラウリン酸」とN-メチルグリシンの縮合物(C15H29NO3:271.40)からなる。
2610	51	507117	ラウロイルサルコシントリエタノールアミン液		ラウロイルサルコシンTEA液	本品は、「ラウロイルサルコシン」を「トリエタノールアミン」で中和した塩の水溶液である。
2611	51	500557	ラウロイルサルコシンナトリウム		ラウロイルサルコシンNa、ラウロイルサルコシン塩	本品は、主として「ラウロイルサルコシン」のナトリウム塩(C15H28NNaO3:293.38)からなる。
2612	51	532174	N-ラウロイル-L-スレオニンカリウム		ラウロイルスレオニンK	本品は、主として N-ラウロイル-L-スレオニンカリウム(C16H29KO4:324.50)からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~3.5%を含む。
2613	51	532318	ラウロイル乳酸ナトリウム		ラウロイル乳酸Na	本品は、「ラウリン酸」と「乳酸」とのエステルの部分中和ナトリウム塩である。
2614	51	523285	N-ラウロイル-N-メチル-β-アラニン		ラウロイルメチル-β-アラニン	本品は、主としてN-ラウロイル-N-メチル-β-アラニン(C16H31NO3:285.42)からなる。
2615	51	523286	N-ラウロイル-N-メチル-β-アラニントリエタノールアミン液		ラウロイルメチル-β-アラニンTEA液	本品は、N-ラウロイル-N-メチル-β-アラニンのトリエタノールアミン塩の溶液である。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応する N-ラウロイル-N-メチル-β-アラニントリエタノールアミン(C22H46N2O6:434.61)を含む。
2616	51	503167	ラウロイルメチル-β-アラニンナトリウム液		ラウロイルメチル-β-アラニンNa液	本品は、主としてN-ラウロイル-N-メチル-β-アラニンナトリウムの水溶液である。
2617	51	500558	ラウロイルメチルタウリンナトリウム		ラウロイルメチルタウリンNa	本品は、主としてラウロイルメチルタウリンのナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、ラウロイルメチルタウリンナトリウム(C15H30NNaO4S:343.46)95.0%以上を含む。
2618	51	500559	ラウロイルメチルタウリンナトリウム液		ラウロイルメチルタウリンNa液	本品は、主として「ラウロイルメチルタウリンナトリウム」からなり、通常、水、「イソプロパノール」、エタノール又はこれらの混液の溶液である。本品は、定量するとき、ラウロイルメチルタウリンナトリウム(C15H30NNaO4S:343.46)として表示量の90~110%を含む。
2619	51	511064	N-ε-ラウロイル-L-リジン		ラウロイル-ε-リジン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N-ε-ラウロイル-L-リジン(C18H36N2O3:328.49)94.0%以上を含む。
2620	51	521220	酪酸コレステリル	酪酸コレステリン		本品は、主として食添の酪酸と「コレステロール」のエステル(C31H52O2:456.74)からなる。
2621	51	521221	酪酸ジヒドロコレステリル	酪酸ジヒドロコレステリン		本品は、主として食添の酪酸と「ジヒドロコレステロール」からなるエステル(C31H54O2:458.76)である。
2622	51	523287	ラクトフェリン液			本品は、脱脂牛乳から得られる糖たん白質であるラクトフェリンを含む10%エタノール水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.15~0.30%を含む。
2623	51	504433	ラッカイン酸	ラック色素		本品は、「セラック」から得られる色素で、主として、ラッカイン酸(C26H19NO12:537.43)からなる。
2624	51	523288	ラッカイン酸被覆雲母			本品は、「ラッカイン酸」のアルミニウムレーキで「マイカ」を被覆したものである。
2625	51	002376	ラッカセイ油	ピーナツ油		本品は、ラッカセイ Arachis hypogaea Linne' (Leguminosae)の種子から得た脂肪油である。
2626	51	504434	ラノステロール			本品は、「ラノリンアルコール」から得られたトリテルペンアルコールで、主としてラノステロール(C30H50O:426.37)及びジヒドロラノステロール(C30H52O:428.73)からなる。
2627	51	103799	ラノリン			本品は、ヒツジ Ovis aries Linne' (Bovidae)の毛から得た脂肪様の物質を精製したものである。
2628	51	103800	ラノリンアルコール			本品は、「ラノリン」をけん化して得られる高級脂肪酸アルコール及びコレステロールなどの脂環族アルコールの混合物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、コレステロール(C27H46O:386.65)30.0%以上を含む。
2629	51	500562	ラノリン脂肪酸			本品は、「ラノリン」をけん化して得たものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2630	51	110408	ラノリン脂肪酸イソプロピル			本品は、主として「ラノリン脂肪酸」と「イソプロパノール」からなるエステルである。
2631	51	503169	ラノリン脂肪酸オクチルドデシル			本品は、「ラノリン脂肪酸」、「硬質ラノリン脂肪酸」又は「軟質ラノリン脂肪酸」と「オクチルドデカノール」とのエステルである。
2632	51	506027	ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主としてラノリン脂肪酸とコレステロールからなるモノエステルである。
2633	51	508135	ラノリン脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、主として「ラノリン脂肪酸」と当量の「ジエタノールアミン」を縮合して得られるラノリン脂肪酸ジエタノールアミドと等量の水の混合物である。
2634	51	500564	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール200		ラノリン脂肪酸PEG-4	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約4モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール200」を反応して得られるエステルである。
2635	51	500565	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール300		ラノリン脂肪酸PEG-6	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約7モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール300」を反応して得られるエステルである。
2636	51	500566	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール400		ラノリン脂肪酸PEG-8	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約10モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール400」を反応して得られるエステルである。
2637	51	500567	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール600		ラノリン脂肪酸PEG-12	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約15モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール600」を反応して得られるエステルである。
2638	51	500568	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール1000		ラノリン脂肪酸PEG-20	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約20モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール1000」を反応して得られるエステルである。
2639	99	999999	ラフマエキス			本品は、ラフマ <i>Apocynum venetum</i> L. (Apocynaceae) の葉及び茎から熱水で抽出して得られるエキスである。
2640	51	523289	ラベンダーエキス(1)		ラベンダーエキス-1	本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はそれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2641	51	523290	ラベンダーエキス(2)		ラベンダーエキス-2	本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
2642	51	523291	ラベンダー水			本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> DeCandolle (Labiatae) の花から水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2643	51	521226	ラベンダー末			本品は、ラベンダー <i>Laveandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花を粉末にしたものである。
2644	51	002377	ラベンダー油			本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> DeCandolle (Labiatae) の花から水蒸気蒸留して得た精油である。本品は、定量するとき、酢酸リナリル (C ₁₂ H ₂₀ O ₂ :196.29) として 30.0%以上を含む。
2645	51	510094	卵黄脂肪油			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄油より、リン脂質を除いた脂肪油である。
2646	51	107725	卵黄油			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から有機溶剤で抽出して得た脂肪油で、リン脂質を含む。
2647	51	523292	卵黄リゾホスファチジルコリン			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄をホスフォリパーゼ A2 で加水分解した後、エタノールで抽出精製した脂質で、主として、リゾホスファチジルコリンからなる。本品は、定量するとき、リン (P:30.97) 4.0~6.0%を含む。
2648	51	107724	卵黄リンチン	卵黄リン脂質		本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から得られものである。本品を定量するとき、リン脂質(平均分子量:788)として 60.0%以上を含む。
2649	51	521230	卵殻末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵の殻を乾燥した後、粉碎したものである。
2650	51	532161	藍藻エキス			本品は、温泉に生息する淡水性の藍藻類 (Cyanophyta) の <i>Chroococcus</i> 及び <i>Microcystis</i> 並びに <i>Oscillatoriales</i> , <i>Spirulina</i> 及び <i>Phormidium</i> の全藻よりエタノールで抽出して得られるエキスである。本品は、「プロピレングリコール」を含む。
2651	51	508136	卵白(非熱凝固)			本品は、卵白を加熱処理し、熱凝固成分を除去したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01) として 12.48%以上を含む。
2652	99	999999	ランプータンエキス			本品は、ランプータン <i>Nephelium lappaceum</i> L.. (ムクロジ科) の果皮から得た抽出液である。
2653	51	521233	リシノール酸オクチルドデシル	リシノレイン酸オクチルドデシル		本品は、主としてリシノール酸と「オクチルドデカノール」のエステルからなる。
2654	51	523293	リシノレイン酸アミドプロピルベタイン液			本品は、リシノレイン酸アミドプロピルベタインの水溶液である。
2655	51	503170	リシノレイン酸グリセリル			本品は、主としてリシノレイン酸とグリセリンのモノエステルからなる。
2656	51	501146	リシノレイン酸セチル	リシノール酸セチル		本品は、主としてリシノレイン酸と「セタノール」のエステル (C ₃₄ H ₈₆ O ₃ :522.89) からなる。
2657	51	504438	リシノレイン酸テトラヒドロフルフリル			本品は、主としてリシノレイン酸とテトラヒドロフルフリルアルコールからなるエステル (C ₂₃ H ₄₂ O ₄ :382.58) である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2658	51	503171	リシノレイン酸プロピレングリコール	モノリシノール酸プロピレングリコール	リシノレイン酸PG、リシノール酸PG	本品は、主としてリシノレイン酸と「プロピレングリコール」のモノエステル(C21H40O4:356.54)からなる。
2659	51	511066	リシノレイン酸ヘキサグリセリル	リシノール酸ヘキサグリセリル		本品は、主としてリシノレイン酸とグリセリンの6量体とのモノエステルからなる。
2660	51	504440	リシノレイン酸ポリオキシプロピレンソルビット	モノリシノール酸ポリオキシプロピレンソルビット	リシノレイン酸POPソルビット、リシノール酸POPソルビット	本品は、主としてリシノレイン酸と「ポリオキシプロピレンソルビット」のモノエステルからなる。
2661	51	521237	L-リジン液		リジン液	本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するL-リジン(C6H14N2O2:146.19)を含む。
2662	51	500570	リナロール			本品は、定量するとき、リナロール(C10H18O:154.25)として92.0%以上を含む。
2663		000000	リナロール変性アルコール			本品は、「エタノール」にリナロールを加え、変性させたものである。
2664	51	512035	(リノール/オレイン酸)dL- α -トコフェロール		(リノール・オレイン酸)dL- α -トコフェロール、ビタミンE(リノール酸・オレイン酸)エステル、ビタミンE(リノール・オレイン酸)	本品は、主としてリノール酸とオレイン酸の混合脂肪酸と「dL- α -トコフェロール」からなるエステルである。本品は、定量するとき、リノール酸 dL- α -トコフェロール(C47H80O3:693.14)に換算した dL- α -トコフェロール脂肪酸エステルとして 96.0~102.0%を含む。また、dL- α -トコフェロール脂肪酸エステルのうち、そのうち、リノール酸 dL- α -トコフェロール(C47H80O3:693.15)45.0~65.0%及びオレイン酸dL- α -トコフェロール(C47H82O3:695.17)20.0~40.0%を含む。
2665	51	103851	リノール酸			本品は、主としてリノール酸(C18H32O2:280.45)からなる。
2666	51	109925	リノール酸イソプロピル	リノレイン酸イソプロピル		本品は、主として「リノール酸」と「イソプロパノール」のエステル(C21H38O2:322.53)からなる。
2667	51	102241	リノール酸エチル	リノレイン酸エチル		本品は、主として「リノール酸」のエチルエステル(C20H36O2:308.50)からなる。
2668	51	504446	リノール酸ジエタノールアミド	リノレイン酸ジエタノールアミド		本品は、主として「リノール酸」と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2669	51	502170	リノール酸dL- α -トコフェロール		ビタミンEリノール酸エステル、ビタミンEリノレート	本品は、定量するとき、リノール酸 dL- α -トコフェロール(C47H80O3:693.14)96.0%以上を含む。
2670	51	540180	リノール酸ラノリンアルコール		リノール酸ラノリル、リノール酸ラノリンアルコールエステル	本品は、主として「リノール酸」と「ラノリンアルコール」からなるエステルである。
2671	51	523296	リパーゼ(1)		リパーゼ-1	本品は、カビ Rhizopus japonicus から得られた脂肪分解酵素である。本品は、定量するとき、表示単位以上を含む。
2672	51	523297	リパーゼ(2)		リパーゼ-2	本品は、酵母 Candida cylindracea から得られた脂肪分解酵素である。本品は、定量するとき、表示単位以上を含む。
2673	51	523298	リボ核酸(1)		RNA-1	本品は、主としてビール酵母菌体から得られるリボ核酸を精製したものである。
2674	51	523299	リボ核酸(2)		RNA-2	本品は、酵母 Candida utilis から抽出して得られるリボ核酸である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)15.3~16.5%及びリン(P:30.97)9.0~9.8%を含む。
2675	51	521241	リボ核酸ナトリウム		RNA・Na	本品は、酵母 Candida utilis の菌体から抽出、精製して得られるポリヌクレオチドのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.5~15.5%及びリン(P:30.97)7.5~9.5%を含む。
2676	51	001672	硫酸亜鉛		硫酸Zn	本品は、硫酸の亜鉛塩からなる。本品は、定量するとき、硫酸亜鉛(ZnSO4·7H2O:287.58)99.0%以上を含む。
2677	51	001676	硫酸アルミニウム		硫酸Al	本品は、定量するとき、硫酸アルミニウム[Al(SO4)3·18H2O:666.44]98.0~112.0%を含む。
2678	31	001677	硫酸アルミニウムカリウム	結晶物:カリヨウバン、ミョウバン、乾燥物:焼ミョウバン	ミョウバン、カリヨウバン、硫酸Al・K	本品には結晶物及び乾燥物があり、それぞれを硫酸アルミニウムカリウム及び硫酸アルミニウムカリウム(乾燥)と称する。
2679	51	001677	硫酸アルミニウムカリウム	ミョウバン	硫酸Al・K	本品は、硫酸のアルミニウム塩とカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、硫酸アルミニウムカリウム[AlK(SO4)2·12H2O:474.38]の無水物[AlK(SO4)2:258.21]として99.5%以上を含む。
2680	1	001677	硫酸アルミニウムカリウム	ミョウバン	硫酸Al・K	本品は定量するとき、硫酸アルミニウムカリウム[AlK(SO4)2·12H2O]99.5%以上を含む。
2681	51	104953	硫酸オキシキノリン			本品を乾燥したものは、定量するとき硫酸オキシキノリン[(C9H70N)2·H2SO4:388.39]90.0%以上を含む。
2682	51	523433	硫酸オキシキノリン(2)		硫酸オキシキノリン-2	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸オキシキノリン[(C9H70N)2·H2SO4:388.39]95.0%以上を含む。
2683	51	101192	硫酸カルシウム		硫酸Ca	本品は、定量するとき、硫酸カルシウム(CaSO4·2H2O:172.17)98.0~105.0%を含む。
2684	51	509130	硫酸セルロースジ牛脂アルキルジメチルアンモニウム			本品は、主として硫酸セルロースのジ牛脂アルキルジメチルアンモニウム塩からなる。
2685	51	523302	硫酸セルロースジメチルジアルキル(12~20)アンモニウム			本品は、主として、硫酸セルロースのジメチルジアルキルアンモニウム塩からなり、アルキル鎖の炭素数は、12から20である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2686	1	001690	硫酸鉄		硫酸Fe	本品は定量するとき、硫酸鉄(FeSO ₄ ・7H ₂ O)98.0～104.0%を含む。
2687	31	001693	硫酸ナトリウム		硫酸Na	本品には、結晶物(10水塩)及び無水物があり、それぞれを硫酸ナトリウム(結晶)及び硫酸ナトリウム(無水)と称する。
2688	51	001693	硫酸ナトリウム		硫酸Na	本品は、硫酸のナトリウム塩の10水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)として99.0%以上を含む。
2689	51	540205	硫酸ナトリウム(乾燥)	乾燥硫酸ナトリウム	乾燥硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na ₂ SO ₄ :142.04)99.0%以上を含む。
2690	51	001696	硫酸バリウム		硫酸Ba	本品は、硫酸のバリウム塩(BaSO ₄ :233.39)からなる。
2691	51	523303	硫酸バリウム被覆雲母チタン		硫酸Ba被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「硫酸バリウム」で被覆したものである。
2692		000000	硫酸ブルシン変性アルコール			本品は、「エタノール」に硫酸ブルシンを加え、変性させたものである。
2693	31	001702	硫酸マグネシウム		硫酸Mg	本品には結晶物(7水塩)及び乾燥物(3水塩)があり、それぞれを硫酸マグネシウム(結晶)及び硫酸マグネシウム(乾燥)と称する。
2694	51	001702	硫酸マグネシウム		硫酸Mg	本品は、硫酸のマグネシウム塩の7水和物からなる。本品を強熱したものは、定量するとき、硫酸マグネシウム(MgSO ₄ :120.37)として99.0%以上を含む。
2695	51	504451	硫酸化ヒマシ油	ロート油		本品は、ヒマシ油を硫酸化し水酸化ナトリウムで中和したものである。
2696	51	106054	粒状トウモロコシデンブ		粒状コーンデンブ、粒状コーンスターチ	本品は、日局トウモロコシデンブの温湯懸濁液を噴霧造粒して得た粒状のトウモロコシデンブである。
2697	51	500576	流動イソパラフィン	流動ポリイソブチレン		本品は、イソブテンとn-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は5～10である。
2698	51	001496	流動パラフィン			本品は、石油から得た液状の炭化水素類の混合物である。
2699	51	521262	流動ポリイソブレン			本品は、主として2-メチル-1,3-ブタジエンを重合したもので、その平均分子量は150である。
2700	51	100606	リンゴエキス			本品は、リンゴMalus domestica Borkhausen (Rosaceae)の果実(生)からプロピレングリコール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2701	51	521278	リンゴ果汁			本品は、リンゴMalus domestica Borkhausen (Rosaceae)の果実(生)から圧搾、ろ過して得られる液である。
2702	51	505197	DL-リンゴ酸			本品は、定量するとき、DL-リンゴ酸(C ₄ H ₆ O ₅ :134.09)として99.0%以上を含む。
2703	51	532252	リンゴ酸ジアルキル(12, 13)			本品は、主としてリンゴ酸と炭素数12及び13の分岐アルキル基を有するアルコールのジエステルである。
2704	51	502172	リンゴ酸ジイソステアリル			本品は、主としてリンゴ酸と5,7,7-トリメチル-2-(1,3,3-トリメチルブチル)-オクタノールからなるジエステル(C ₄₀ H ₇₈ O ₅ :639.05)である。
2705	51	532319	L-リンゴ酸・L-チロシン縮合物二ナトリウム塩		リンゴ酸・チロシン縮合物2Na	本品は、主としてL-リンゴ酸とL-チロシンの縮合物のナトリウム塩(C ₁₃ H ₁₃ NO ₇ ・2Na:341.22)である。
2706	51	532237	リンゴ水			本品は、「リンゴ果汁」を水蒸気蒸留して得られる液で、「エタノール」を含むものもある。
2707	51	532202	リンゴタンニン			本品は、リンゴMalus domestica Borkhausen (Rosaceae)の果実(生)を圧搾、ろ過して得られる液汁から、糖及び有機酸を除去したものである。
2708	51	105169	リン酸			本品は、定量するとき、リン酸(H ₃ PO ₄ :98.00)85.0%以上を含む。
2709	99	999999	リン酸L-アスコルビルマグネシウム		ビタミンCリン酸Mg、ビタミンCリン酸マグネシウム、リン酸アスコルビルマグネシウム、リン酸アスコルビルMg	本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、リン酸L-アスコルビルマグネシウム(C ₆ H ₆ Mg ₃ /2O ₉ P:289.54)98.0%以上を含む。
2710	51	506029	リン酸L-アスコルビルマグネシウム	リン酸L-アスコルビル酸エステルマグネシウム	リン酸アスコルビルMg、リン酸アスコルビル酸エステルMg、ビタミンCリン酸エステルMg、ビタミンCリン酸Mg	本品は、主としてリン酸L-アスコルビルマグネシウムからなる。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対してリン酸L-アスコルビルマグネシウム(C ₆ H ₆ O ₉ P _{1.5} Mg:289.54)として、85.0%以上含む。
2711	51	510095	リン酸アデノシン	アデノシン-リン酸、モノリン酸アデノシン		本品を定量するとき、換算した乾燥物に対してアデノシン-5'-リン酸(C ₁₀ H ₁₄ N ₅ O ₇ P:347.22)95.0～103.0%を含む。
2712	51	521286	リン酸ジグリセリル二ナトリウム		リン酸ジグリセリル2Na	本品は、主として、「リン酸」と「ジグリセリン」のモノエステルのナトリウム塩からなる。
2713	51	523304	リン酸ジセチル	ジセチルリン酸		本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のジエステル(C ₃₂ H ₆₆ O ₄ P:546.84)からなる。
2714	51	523305	リン酸ジセチルアルミニウム		リン酸ジセチルAl	本品は、主として「リン酸ジセチル」のアルミニウム塩からなる。
2715	51	521282	リン酸一水素アンモニウム	リン酸水素二アンモニウム	リン酸1水素アンモニウム、リン酸水素2アンモニウム、リン酸2アンモニウム	本品は、定量するとき、リン酸一水素アンモニウム[(NH ₄) ₂ HPO ₄ :132.06]95.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2716	51	110627	リン酸二水素アンモニウム	リン酸一アンモニウム	リン酸2水素アンモニウム、リン酸1アンモニウム	本品は、定量するとき、リン酸二水素アンモニウム(NH ₄ H ₂ PO ₄ :115.03)96.0～102.0%を含む。
2717	31	523306	リン酸水素二カリウム	リン酸一カリウム	リン酸水素2K	本品を乾燥したものは、リン酸水素二カリウム(K ₂ HPO ₄)98.0%以上。
2718	51	109096	リン酸二水素カリウム		リン酸2水素K、リン酸1K	本品は、「リン酸」のカルシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素カリウム(KH ₂ PO ₄ :136.09)98.0%以上を含む。
2719	51	001714	リン酸水素カルシウム		リン酸水素Ca	本品は、「リン酸」のカルシウム塩の2水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO ₄ :136.06)98.0%以上を含む。
2720	51	500579	リン酸一水素ナトリウム	リン酸二ナトリウム	リン酸1水素Na、リン酸2Na、リン酸水素2Na	本品は、「リン酸」の二ナトリウム塩の12水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸一水素ナトリウム(Na ₂ HPO ₄ :141.96)として98.0%以上を含む。
2721	51	009757	リン酸二水素ナトリウム		リン酸2水素Na、リン酸1Na	本品は、「リン酸」のナトリウム塩の2水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素ナトリウム(NaH ₂ PO ₄ :119.98)として98.0%以上を含む。
2722	51	523307	リン酸二水素ナトリウム(一水塩)		リン酸2水素Na(1水塩)、リン酸1Na(1水塩)	本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素ナトリウム(NaH ₂ PO ₄ :119.98)として98.0%以上を含む。
2723	51	501148	リン酸トリオレイル	トリオレイルリン酸		本品は、主として「リン酸」と「オレイルアルコール」とのトリエステル(C ₅₄ H ₁₀₅ O ₄ P:849.38)からなる。
2724	51	521292	リン酸トリステアリル			本品は、主として「リン酸」と「ステアリルアルコール」のトリエステルからなる。
2725	51	532320	リン酸トリセチル	トリセチルリン酸		本品は、「リン酸」と「セタノール」のトリエステルである。
2726	51	540181	リン酸トリセチル(2)	リン酸トリパルミチル	リン酸トリセチル-2	本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のトリエステルからなる。
2727	51	009759	リン酸三ナトリウム		リン酸3Na	本品は、「リン酸」の三ナトリウム塩の12水和物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸三ナトリウム(Na ₃ PO ₄ :163.94)として99.0～103.0%を含む。
2728	51	009760	リン酸ピリドキサル			本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸ピリドキサル(C ₈ H ₁₀ NO ₆ P·H ₂ O:265.16)98.0%以上を含む。
2729	51	103946	リン酸マグネシウム		リン酸Mg	本品は、定量するとき、リン酸マグネシウム[Mg ₃ (PO ₄) ₂ :262.86]95.0%以上を含む。
2730	51	532321	リン酸モノステアリル		リン酸ステアリル	本品は、主として「リン酸」と「ステアリルアルコール」のモノエステルからなる。
2731	51	523308	リン酸モノセチル		リン酸セチル	本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のモノエステルからなる。
2732	51	532322	リン酸モノミリスチル		リン酸ミリスチル	本品は、主として「リン酸」と「ミリスチルアルコール」を縮合して得られるリン酸エステルからなる。本品は、定量するとき、リン酸モノミリスチル(C ₁₄ H ₃₁ O ₄ P:294.37)93.0%以上を含む。
2733	99	999999	ルイボスティーエキス末			本品は別添規格(4)-1「ルイボスティ」(Asparathus Linearis (Leguminosae)) (略)を常水にて抽出して得られたエキスを乾燥したものである。
2734	51	001721	ルチン			本品は、マメ科のエンジュ <i>Sophora japonica</i> L. (Leguminosae) のつぼみ又は花から得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ルチン(C ₂₇ H ₃₀ O ₁₆ :610.52)85.0～101.5%を含む。
2735	99	999999	ルチングルコシド			本品はルチンにα-グルコシル転移酵素等を用いてグルコースを付加して得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するときルチングルコシド(C ₃₃ H ₄₀ O ₂₁ :772.67)として95～115%を含む。
2736	51	521298	レイシエキス			本品は、マンネンタケ <i>Ganoderma lucidum</i> (Fr.) Karst. (Polyporaceae) の子実体から水にて抽出して得られるエキスである。
2737	99	999999	霊芝エキスCS-III			本品はマンネンタケ <i>Ganoderma lucidum</i> Karst.のエキスである。
2738	51	540182	レイシ培養液エキス			本品は、マンネンタケ <i>Ganoderma lucidum</i> (Fr.) Karst. (Polyporaceae) の菌子体を液体培養して得られる培養液を乾燥したものから「エタノール」と水の混液(4:1)にて抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として0.02～0.12%を含む。
2739	51	001728	レゾルシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、レゾルシン(C ₆ H ₆ O ₂ :110.11)99.0%以上を含む。
2740	51	521303	レタス液汁			本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉(生)から圧搾、ろ過して得られる液である。
2741	51	523309	レタスエキス(1)		レタスエキス-1	本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉(生)から水、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2742	51	521305	レタスエキス(2)		レタスエキス-2	本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉(生)から水にて抽出して得られるエキスである。
2743	51	504469	レブリン酸			本品は、定量するとき、レブリン酸(C ₅ H ₈ O ₃ :116.12)97.0%以上を含む。
2744	51	103823	レモンエキス			本品は、レモン <i>Citrus limon</i> Burmann fil. (Rutaceae) の果実(生)又は果汁から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、グリセリン又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2745	51	521308	レモン果汁			本品は、レモン <i>Citrus limon</i> Burmann fil. (Rutaceae) の果実(生)を圧搾して得られる果汁又はこれを濃縮したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2746	51	523310	レンゲソウエキス			本品は、レンゲソウ <i>Astragalus sinicus</i> Linne' (Leguminosae)の全草及び種子から水、「無水エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2747	99	999999	レンシュエキス A			本品はハス <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertner (Nymphaeaceae)の雄しべから熱水で抽出して得られるエキスである。
2748	51	510097	ローカストビーンガム			本品は、カروب樹 <i>Ceratonia siliqua</i> L.(Leguminosae)の種子の胚乳部を粉砕した後、精製したものであり、本品は主としてガラクトマンナンからなる。
2749	51	106017	ローズ水			本品は、セイヨウバラ <i>Rosa centifolia</i> Linne' 又は <i>Rosa damascena</i> Miller forma <i>trigintipetala</i> Dieck (Rosaceae)の花を水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2750	51	510098	ローズヒップ油			本品は、カナナバラ <i>Rosa canina</i> L.又はエグランチンバラ <i>Rosa eglanteria</i> L. (Rosaceae)の種子を圧搾して得られる脂肪油である。
2751	51	521310	ローズマリーエキス	マンネンロウエキス		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae)の葉又は葉及び花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」若しくはこれらの混液又は 1%尿素含有エタノール溶液若しくは 1%尿素含有 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2752	51	521311	ローズマリー末	マンネンロウ末		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae)の葉を粉末にしたものである。
2753	51	104829	ローズマリー油			本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L (Labiatae)の新鮮な葉、枝及び花を水蒸気蒸留して得た精油である。
2754	51	532162	ローズマリー水	マンネンロウ水		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae)の葉を水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2755	51	521312	ローマカミツレエキス			本品は、ローマカミツレ <i>Anthemis nobilis</i> Linne' (Compositae)の頭花から「ジエチレングリコールエチルエーテル」、プロピレングリコール溶液又は1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2756	51	508141	ローマカミツレ油			本品は、ローマカミツレ <i>Anthemis nobilis</i> L. (Compositae)の乾燥した花頭から得た精油である。
2757	51	106028	ローヤルゼリー			本品は、ヨーロッパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne' 又はトウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae)の分泌する物質である。
2758	51	521313	ローヤルゼリーエキス			本品は、ヨーロッパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne' 又はトウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae)の分泌する物質から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又は、これらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2759	51	532323	ログウッドエキス			本品は、 <i>Haematoxylon campechianum</i> Linne' (Leguminosae)の材から熱水で抽出して得られるエキスである。
2760	51	002383	ロジン			本品は、 <i>Pinus</i> 属植物 (Pinaceae)の分泌物から精油を除いて得た固形の樹脂である。
2761	51	508140	ロジン酸ナトリウム処理炭酸カルシウム		ロジン酸Na処理炭酸Ca	本品は、「軽質炭酸カルシウム」をロジン酸ナトリウムで表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム (CaCO ₃ :100.09)として 90%以上を含む。
2762	51	540183	ロジン酸ペンタエリトリット		ロジン酸ペンタエリスリチル	本品は、主として「ロジン」から得られた樹脂酸とペンタエリトリールのエステルである。
2763	51	107552	ワセリン			本品は、石油から得た半固形の炭化水素類の混合物である
2764	51	521314	ワレモコウエキス	チユエキス		本品は、ワレモコウ <i>Sanguisorba officinalis</i> Linne' (Rosaceae)の根及び根茎から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。

医薬部外品の成分表示名称リスト：タール色素（平成15年厚生労働省令第126号収載品目）

番号	成分名	別名	簡略名	本質
1	赤色2号	アマランス	赤2	平成15年厚生労働省令第126号による
2	赤色2号アルミニウムレーキ	アマランスアルミニウムレーキ	赤色2号、赤2	同上
3	赤色3号	エリスロシン	赤3	同上
4	赤色3号アルミニウムレーキ	エリスロシンアルミニウムレーキ	赤色3号、赤3	同上
5	赤色102号	ニューコクシン	赤102	同上
6	赤色102号アルミニウムレーキ	ニューコクシンアルミニウムレーキ	赤色102号、赤102	同上
7	赤色104号の(1)	フロキシシンB	赤104(1)	同上
8	赤色104号の(1)アルミニウムレーキ	フロキシシンBアルミニウムレーキ	赤色104号の(1)、赤104(1)	同上
9	赤色104号の(1)バリウムレーキ	フロキシシンBバリウムレーキ	赤色104号の(1)、赤104(1)	同上
10	赤色105号の(1)	ローズベンガル	赤105(1)	同上
11	赤色105号の(1)アルミニウムレーキ	ローズベンガルアルミニウムレーキ	赤色105号の(1)、赤105(1)	同上
12	赤色106号	アシッドレッド	赤106	同上
13	赤色106号アルミニウムレーキ	アシッドレッドアルミニウムレーキ	赤色106号、赤106	同上
14	黄色4号	タートラジン	黄4	同上
15	黄色4号アルミニウムレーキ	タートラジンアルミニウムレーキ	黄色4号、黄4	同上
16	黄色4号バリウムレーキ	タートラジンバリウムレーキ	黄色4号、黄4	同上
17	黄色4号ジルコニウムレーキ	タートラジンジルコニウムレーキ	黄色4号、黄4	同上
18	黄色5号	サンセットイエローFCF	黄5	同上
19	黄色5号アルミニウムレーキ	サンセットイエローFCFアルミニウムレーキ	黄色5号、黄5	同上
20	黄色5号バリウムレーキ	サンセットイエローFCFバリウムレーキ	黄色5号、黄5	同上
21	黄色5号ジルコニウムレーキ	サンセットイエローFCFジルコニウムレーキ	黄色5号、黄5	同上
22	緑色3号	ファストグリーンFCF	緑3	同上
23	緑色3号アルミニウムレーキ	ファストグリーンFCFアルミニウムレーキ	緑色3号、緑3	同上
24	青色1号	ブリリアントブルーFCF	青1	同上
25	青色1号アルミニウムレーキ	ブリリアントブルーFCFアルミニウムレーキ	青色1号、青1	同上
26	青色1号バリウムレーキ	ブリリアントブルーFCFバリウムレーキ	青色1号、青1	同上
27	青色1号ジルコニウムレーキ	ブリリアントブルーFCFジルコニウムレーキ	青色1号、青1	同上
28	青色2号	インジゴカルミン	青2	同上
29	青色2号アルミニウムレーキ	インジゴカルミンアルミニウムレーキ	青色2号、青2	同上
30	赤色201号	リゾールルビンB	赤201	同上
31	赤色202号	リゾールルビンBCA	赤202	同上
32	赤色203号	レーキレッドC	赤203	同上
33	赤色204号	レーキレッドCBA	赤204	同上
34	赤色205号	リゾールレッド	赤205	同上
35	赤色206号	リゾールレッドCA	赤206	同上
36	赤色207号	リゾールレッドBA	赤207	同上
37	赤色208号	リゾールレッドSR	赤208	同上
38	赤色213号	ローダミンB	赤213	同上
39	赤色214号	ローダミンBアセテート	赤214	同上
40	赤色215号	ローダミンBステアレート	赤215	同上
41	赤色218号	テトラクロロテトラプロモフルオレセイン	赤218	同上
42	赤色219号	ブリリアントレーキレッドR	赤219	同上
43	赤色220号	ディーブマルーン	赤220	同上
44	赤色221号	トルイジンレッド	赤221	同上
45	赤色223号	テトラプロモフルオレセイン	赤223	同上

番号	成分名	別名	簡略名	本質
46	赤色 225 号	スダンⅢ	赤 225	同上
47	赤色 226 号	ヘリンドンピンクCN	赤 226	同上
48	赤色 227 号	ファストアシッドマゼンタ	赤 227	同上
49	赤色 227 号アルミニウムレーキ	ファストアシッドマゼンタアルミニウムレーキ	赤色 227 号、赤 227	同上
50	赤色 228 号	パーマトンレッド	赤 228	同上
51	赤色 230 号の(1)	エオシンYS	赤 230(1)	同上
52	赤色 230 号の(1)アルミニウムレーキ	エオシンYSアルミニウムレーキ	赤色 230 号の(1)、赤 230(1)	同上
53	赤色 230 号の(2)	エオシンYSK	赤 230(2)	同上
54	赤色 230 号の(2)アルミニウムレーキ	エオシンYSK アルミニウムレーキ	赤色 230 号の(2)、赤 230(2)	同上
55	赤色 231 号	フロシキンBK	赤 231	同上
56	赤色 231 号アルミニウムレーキ	フロシキンBKアルミニウムレーキ	赤色 231 号、赤 231	同上
57	赤色 232 号	ローズベンガルK	赤 232	同上
58	赤色 232 号アルミニウムレーキ	ローズベンガルKアルミニウムレーキ	赤色 232 号、赤 232	同上
59	だいたい色 201 号	ジプロモフルオレセイン	橙色 201 号、だいたい 201、橙 201	同上
60	だいたい色 203 号	パーマネントオレンジ	橙色 203 号、だいたい 203、橙 203	同上
61	だいたい色 204 号	ベンチジンオレンジG	橙色 204 号、だいたい 204、橙 204	同上
62	だいたい色 205 号	オレンジⅡ	橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
63	だいたい色 205 号アルミニウムレーキ	オレンジⅡアルミニウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
64	だいたい色 205 号バリウムレーキ	オレンジⅡバリウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
65	だいたい色 205 号ジルコニウムレーキ	オレンジⅡジルコニウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
66	だいたい色 206 号	ジヨードフルオレセイン	橙色 206 号、だいたい 206、橙 206	同上
67	だいたい色 207 号	エリスロシン黄NA	橙色 207 号、だいたい 207、橙 207	同上
68	だいたい色 207 号アルミニウムレーキ	エリスロシン黄NAアルミニウムレーキ	だいたい色 207 号、橙色 207 号、だいたい 207、橙 207	同上
69	黄色 201 号	フルオレセイン	黄 201	同上
70	黄色 202 号の(1)	ウラニン	黄 202(1)	同上
71	黄色 202 号の(1)アルミニウムレーキ	ウラニンアルミニウムレーキ	黄色 202 号の(1)、黄 202(1)	同上
72	黄色 202 号の(2)	ウラニンK	黄 202(2)	同上
73	黄色 202 号の(2)アルミニウムレーキ	ウラニンKアルミニウムレーキ	黄色 202 号の(2)、黄 202(2)	同上
74	黄色 203 号	キノリンイエローWS	黄 203	同上
75	黄色 203 号アルミニウムレーキ	キノリンイエローWSアルミニウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
76	黄色 203 号バリウムレーキ	キノリンイエローWSバリウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
77	黄色 203 号ジルコニウムレーキ	キノリンイエローWSジルコニウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
78	黄色 204 号	キノリンイエローSS	黄 204	同上
79	黄色 205 号	ベンチジンイエローG	黄 205	同上
80	緑色 201 号	アリザリンシアニングリーンF	緑 201	同上
81	緑色 201 号アルミニウムレーキ	アリザリンシアニングリーンFアルミニウムレーキ	緑色 201 号、緑 201	同上
82	緑色 202 号	キニザリングリーンSS	緑 202	同上
83	緑色 204 号	ピラニンコンク	緑 204	同上
84	緑色 204 号アルミニウムレーキ	ピラニンコンクアルミニウムレーキ	緑色 204 号、緑 204	同上
85	緑色 205 号	ライトグリーンSF黄	緑 205	同上
86	緑色 205 号アルミニウムレーキ	ライトグリーンSF黄アルミニウムレーキ	緑色 205 号、緑 205	同上
87	緑色 205 号ジルコニウムレーキ	ライトグリーンSF黄ジルコニウムレーキ	緑色 205 号、緑 205	同上
88	青色 201 号	インジゴ	青 201	同上
89	青色 202 号	パテントブルーNA	青 202	同上
90	青色 202 号バリウムレーキ	パテントブルーNAバリウムレーキ	青色 202 号、青 202	同上
91	青色 203 号	パテントブルーCA	青 203	同上

番号	成分名	別名	簡略名	本質
92	青色 204 号	カルバンスレンブルー	青 204	同上
93	青色 205 号	アルファズリンFG	青 205	同上
94	青色 205 号アルミニウムレーキ	アルファズリンFGアルミニウムレーキ	青色 205 号、青 205	同上
95	褐色 201 号	レゾルシンプラウン	褐 201	同上
96	褐色 201 号アルミニウムレーキ	レゾルシンプラウンアルミニウムレーキ	褐色 201 号、褐 201	同上
97	紫色 201 号	アリズリンパープルSS	紫 201	同上
98	赤色 401 号	ビオラミンR	赤 401	同上
99	赤色 401 号アルミニウムレーキ	ビオラミンRアルミニウムレーキ	赤色 401 号、赤 401	同上
100	赤色 404 号	ブリリアントファストスカーレット	赤 404	同上
101	赤色 405 号	パーマネントレッドF5R	赤 405	同上
102	赤色 501 号	スカーレットレッドNF	赤 501	同上
103	赤色 502 号	ボンソー3R	赤 502	同上
104	赤色 502 号アルミニウムレーキ	ボンソー3Rアルミニウムレーキ	赤色 502 号、赤 502	同上
105	赤色 503 号	ボンソーR	赤 503	同上
106	赤色 503 号アルミニウムレーキ	ボンソーRアルミニウムレーキ	赤色 503 号、赤 503	同上
107	赤色 504 号	ボンソーSX	赤 504	同上
108	赤色 504 号アルミニウムレーキ	ボンソーSXアルミニウムレーキ	赤色 504 号、赤 504	同上
109	赤色 505 号	オイルレッドXO	赤 505	同上
110	赤色 506 号	ファストレッドS	赤 506	同上
111	赤色 506 号アルミニウムレーキ	ファストレッドSアルミニウムレーキ	赤色 506 号、赤 506	同上
112	だいだい色 401 号	ハンサオレンジ	橙色 401 号、だいだい 401、橙 401	同上
113	だいだい色 402 号	オレンジ I	橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
114	だいだい色 402 号アルミニウムレーキ	オレンジ I アルミニウムレーキ	だいだい色 402 号、橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
115	だいだい色 402 号バリウムレーキ	オレンジ I バリウムレーキ	だいだい色 402 号、橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
116	だいだい色 403 号	オレンジSS	橙色 403 号、だいだい 403、橙 403	同上
117	黄色 401 号	ハンサイエロー	黄 401	同上
118	黄色 402 号	ポーライエロー5G	黄 402	同上
119	黄色 402 号アルミニウムレーキ	ポーライエロー5Gアルミニウムレーキ	黄色 402 号、黄 402	同上
120	黄色 403 号の(1)	ナフトールイエローS	黄 403(1)	同上
121	黄色 403 号の(1)アルミニウムレーキ	ナフトールイエローSアルミニウムレーキ	黄色 403 号の(1)、黄 403(1)	同上
122	黄色 404 号	イエローAB	黄 404	同上
123	黄色 405 号	イエローOB	黄 405	同上
124	黄色 406 号	メタニルイエロー	黄 406	同上
125	黄色 406 号アルミニウムレーキ	メタニルイエローアルミニウムレーキ	黄色 406 号、黄 406	同上
126	黄色 407 号	ファストライトイエロー3G	黄 407	同上
127	黄色 407 号アルミニウムレーキ	ファストライトイエロー3Gアルミニウムレーキ	黄色 407 号、黄 407	同上
128	緑色 401 号	ナフトールグリーンB	緑 401	同上
129	緑色 402 号	ギネアグリーンB	緑 402	同上
130	緑色 402 号アルミニウムレーキ	ギネアグリーンBアルミニウムレーキ	緑色 402 号、緑 402	同上
131	緑色 402 号バリウムレーキ	ギネアグリーンBバリウムレーキ	緑色 402 号、緑 402	同上
132	青色 403 号	スタンブルーB	青 403	同上
133	青色 404 号	フタロシアンブルー	青 404	同上
134	紫色 401 号	アリズロールパープル	紫 401	同上
135	紫色 401 号アルミニウムレーキ	アリズロールパープルアルミニウムレーキ	紫色 401 号、紫 401	同上
136	黒色 401 号	ナフトールブルーブラック	黒 401	同上
137	黒色 401 号アルミニウムレーキ	ナフトールブルーブラックアルミニウムレーキ	黒色 401 号、黒 401	同上

追加リスト

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質	収載年月日
1	99	999999	安息香酸デナトニウム変性アルコール			本品は、変性アルコールで、粧原規エタノール 99.8703%に、下記の別紙規格(略)安息香酸デナトニウム 0.0047%と粧配規第三ブタノール 0.125%を加えたものである。	08/04/10
2	99	999999	加水分解ローヤルゼリータンパク液			本品は、粧配規ローヤルゼリー中に含まれるタンパクのたん白分解酵素による加水分解抽出エキスであって、総窒素として 0.2~0.4%を含む。	08/04/10
3	01	110838	カルメロースナトリウム	カルボキシメチルセルロースナトリウム、CMCナトリウム	カルメロースNa	本品はセルロースの多価カルボキシメチルエーテルのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは定量するとき、ナトリウム(Na: 22.99) 6.5~8.5%を含む。	08/04/10
4	99	999999	カンゾウ抽出末		甘草抽出末	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne var. <i>glandullifera</i> Regal et Herder <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 又は、その他同属植物(Leguminosae)の根及びビストロンの水抽出液に希硝酸を加え、糖、デンプン及び粘液質を除き、更にエタノール抽出によってタンパク質及びペクチンを除く。得られた抽出液よりエタノールを留去し、水酸化ナトリウムで中和した後乾燥して得られるエキス粉末である。本品は主としてグリチルリチン酸三ナトリウムを含む。本品を乾燥したものは、定量するときグリチルリチン酸(C42H62O16:822.94)として 35.0~41.0%を含む。	08/04/10
5	99	999999	玄米酢			本品は下記(略)に示す製法により製した玄米酢である。本品は定量するとき酢酸(C2H4O2 60.05)0.0~1.1w/w%を含む。	08/04/10
6	99	999999	ジイソステアリン酸ダイマージリノレイル			本品は、主としてリノール酸を2~3分子重合して得られたダイマー酸を水素還元し、更に蒸留精製することによって得られたダイマージオールとイソステアリン酸を結合させたジエステルである。	08/04/10
7	99	999999	シトラスパウダーA			本品は、「日局 チンピ」及びその近縁植物(Rutaceae)の果皮を製剤総則・基材の製法を準用して製したものであり、ウンシュウミカン・ユズ及び少量のレモンを含む合剤粉末である。	08/04/10
8	99	999999	シロキクラゲ多糖体			本品は、シロキクラゲ <i>Tremella fuciformis</i> Berk. の子実体から得られる多糖体の粉末である。本品を定量法(略)の項により乾燥したものは、定量するとき、グルクロン酸(C6H10O7) 13~33%を含む。	08/04/10
9	99	999999	水溶性イオウ			本品を定量する時、イオウ (S:32.06) 2.70~3.30% を含む。	08/04/10
10	99	999999	水溶性プラセンタエキス			本品は健康なブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae)の胎盤を凍結、融解後、血液等の不純物を洗浄、除去し、粥状胎盤となし、水溶性成分のみを減圧、低温化で抽出を行った後、さらに遠心分離、無菌濾過して得られた水溶性胎盤抽出液である。本品は定量するとき 0.025~0.12%の総窒素を含む。	08/04/10
11	99	999999	セルニチンK			本品は下記植物の花粉より抽出されたアミノ酸(L-シスチン、L-セリン、グリシン、L-スレオニン、L-アラニン、L-バリン、L-ロイシン、L-イソロイシン、L-フェニルアラニン、L-メチオニン、L-プロリン、L-ヒスチジン、L-アルギニン、L-アスパラギン酸、L-アスパラギン、L-グルタミン酸、L-リジン)で、定量するとき総窒素(N:14.007) 1.1~1.8%及びアミノ総窒素(N:14.007)0.9~1.6%を含む。	08/04/10
12	99	999999	ダイマージリノール酸ジ(イソステアリル・フィトステリル)			本品は、主としてリノール酸を2~3分子重合して得られたダイマー酸に、フィトステロール、イソステアリルアルコールを重合させたジエステルである。	08/04/10
13	01	001455	豚脂			本品はブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. <i>domesticus</i> Gray (sudae) の脂肪である。	08/04/10
14	99	999999	ハーバルエキスM-1			本品は、アシタバ <i>Angelica keiskei</i> koidzumi (Umbelliferae)の葉及び茎、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> Linne(Compositae)の花、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae)の果実、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae) の葉、バセリ(オランダゼリ) <i>Petroselinum sativum</i> Hoffman (Umbelliferae) の葉、ローズマリー(マンネンロウ) <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne (labiatae) の葉、タチジャコウソウ <i>Thymus vulgaris</i> Linne (Labiatae) の地上部、リンゴ <i>Malus domestica</i> Borkhausen (rosaceae) の果実、ゴボウ <i>Arctium lappa</i> Linne (Compositae) の根、ショウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae)の根茎、セイヨウハッカ <i>Mentha Piperita</i> Linne (Labiatae)の葉、パパイヤ <i>Carica papaya</i> Linne (Caricaceae)の果肉及び果皮、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> Linne (Compositae)の全草、アロエ <i>Aloe barbadensis</i> Miller 及びその変種 (Liliaceae)の葉及びゲンノショウコ <i>Geranium thunbergii</i> Siebold et Zuccarini (Geraniaceae)の地上部から水にて抽出して得られるエキスである。	08/04/10
15	99	999999	ホモスルフアミン	塩酸マフェニド		本品を乾燥したものは定量するとき、ホモスルフアミン(C7H10N2O2S.HCl:222.89) 99.0%以上を含む。	08/04/10
16	99	999999	マツエキス(2)			本品はフランス海岸松 <i>Pinus naster</i> Salander (Pinaceae)の樹皮を粉碎し水及びエタノールにて抽出して得られるエキス末である。	08/04/10
17	99	999999	モクツウ抽出液			本品は、アケビ <i>Akebia quinata</i> Deceisne 又は ミツバアケビ <i>Akebia trifoliata</i> Koidzumi (Lardizabalaceae)のつる性の茎から水にて抽出して得られるエキスである。	08/04/10
18	01	001715	リン酸水素ナトリウム水和物	リン酸水素ナトリウム、リン酸ナトリウム	リン酸水素2Na (12水塩)	本品を乾燥したものは定量するとき、リン酸水素ナトリウム(Na2HPO4: 141.96)98.0%以上を含む。	08/04/10